

村上市 子ども子育てに関する ニーズ調査結果報告書

《就学前児童調査、小学生児童調査》

平成 26 年 3 月

村 上 市

目 次

第1章 調査実施の概要	1
1 調査の目的	3
2 調査の実施	3
3 調査の回収状況	4
4 報告書の見方について	4
第2章 就学前児童調査結果	5
1 子どもと家族の状況	7
2 両方の保護者の就労状況	15
3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況	29
4 村上市ファミリー・サポート・センターの利用	44
5 病気やケガで通常の事業が利用できないとき	52
6 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用	61
7 小学校就学後の放課後の過ごし方(5歳以上)	73
8 育児休業とライフワークバランス	88
9 子育て環境や支援	103
第3章 小学生児童調査結果	107
1 子どもと家族の状況	109
2 両方の保護者の就労状況	116
3 学童保育所の利用	129
4 村上市ファミリー・サポート・センターの利用	135
5 病気やケガをした際の対応・宿泊を伴う一時預かりの利用	137
6 不定期の一時預かりの利用	146
7 泊まりがけの外出	149
8 日常生活、放課後の過ごし方	153
9 子育てについて	162

第 1 章

調査実施の概要

1 調査の目的

村上市では、「子ども・子育て支援法」をはじめとする「子ども・子育て関連三法」を受けて、「村上市子ども・子育て支援事業計画」を策定することとなりました。

市では、既に平成21年度に策定した「次世代育成支援地域行動計画（後期計画）」に基づき、次代を担う子どもが健やかに生まれ育つ環境の整備に、総合的に取り組んできました。

新計画策定に先立ち、より一層の子どもの育成支援と、教育・保育施設の環境整備、子育ての社会化を推し進めるため、前計画の評価を行うとともに、新たな子ども・子育て支援の施策動向を踏まえ、それらに対応し、かつ市独自の支援策を盛り込んだ計画内容の見直しが必要となっています。

これらの見直しや計画の策定に必要な情報を得るため、住民ニーズの動向分析等を行い、市の現状と今後の子ども・子育て育成支援における課題を整理することを目的としたアンケート調査を実施しました。

2 調査の実施

この調査は、子ども・子育て支援事業行動計画に関する基礎資料を得るためのものであり、「就学前児童用」と「小学生児童用」の2種類の調査票を作成し、調査を実施しました。調査は各保育園、幼稚園、小学校で実施したほか、一部を郵送法で実施しました。それぞれの調査の状況等は以下のとおりです。

また、調査期間は、平成25年10月25日～平成25年11月8日にかけて調査を実施し、調査票の配布・回収は以下のとおりです。

図表1-1 調査対象の母数と抽出方法、調査内容等

①就学前児童調査	
調査対象者	就学前児童の保護者
母数	平成25年10月1日現在、住民基本台帳0～5歳
調査件数	1,950件
抽出法	全数（世帯内での重複はないものとする）
調査方法	教育・保育施設を通じて実施、一部郵送法

②小学生児童調査	
調査対象者	小学生児童の保護者
母数	平成25年10月1日現在、小学校児童名簿
調査件数	2,330件
抽出法	全数（世帯内での重複はないものとする）
調査方法	学校を通じて実施、一部郵送法

3 調査の回収状況

調査によるそれぞれの配布・回収状況は、以下のとおりです。

図表1-2 調査票の配布・回収状況

調査対象者	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前児童	1,950	1,360	69.7%
小学生児童	2,330	1,890	81.1%
計	4,280	3,250	75.9%

4 報告書の見方について

(1)年齢・学年の定義

就学前児童の年齢定義は、アンケート調査において誕生日の年月を回答していますが、保育園、幼稚園等のクラス分けを基本として、下表による年齢区分により集計を行いました。したがって、0歳児が平成25年度生まれの乳児を含むため回答者数が多くなっています。

図表1-3 年齢区分

年齢区分	該当する生年月
0歳児	平成24年4月以降
1歳児	平成23年4月～平成24年3月
2歳児	平成22年4月～平成23年3月
3歳児	平成21年4月～平成22年3月
4歳児	平成20年4月～平成21年3月
5歳児	平成19年4月～平成20年3月

(2)図表の見方

調査結果の数値については小数点第2位以下を四捨五入しているため、内訳を合計しても100%に合致しない場合があります。

図表の項目の部分に（n＝〇〇）とありますが、この数値はこの項目に対して回答した人数（〇〇人）を表しています。

複数回答の設問は回答者数で比率を出しているため、合計が100%を超える場合があります。

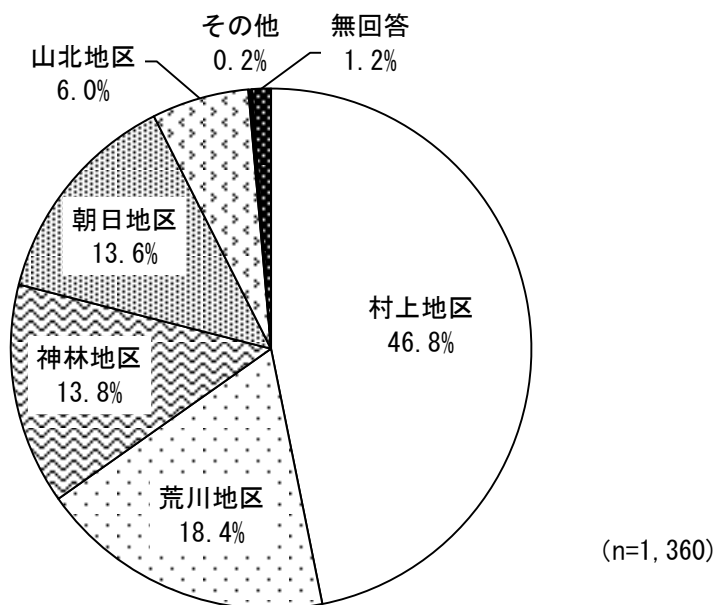
第 2 章

就学前児童調査結果

1 子どもと家族の状況

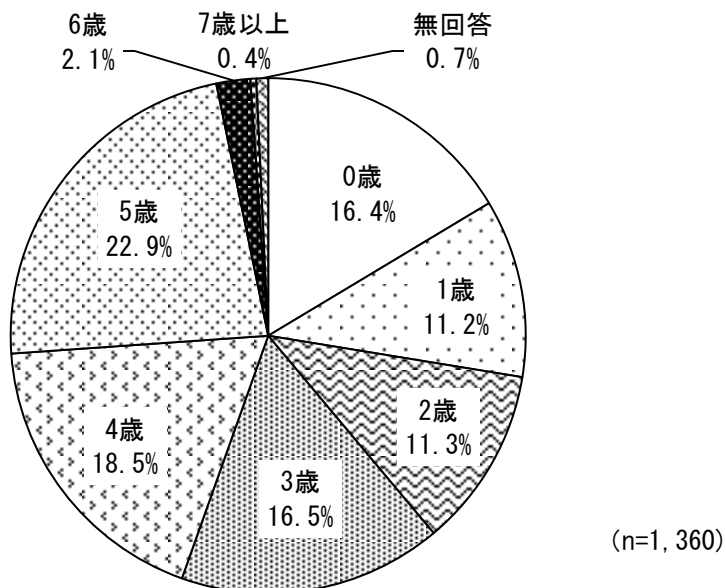
問1 お住まいの地区はどちらですか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

今回調査における回答者の地区別の構成比は、以下のグラフのとおりです。



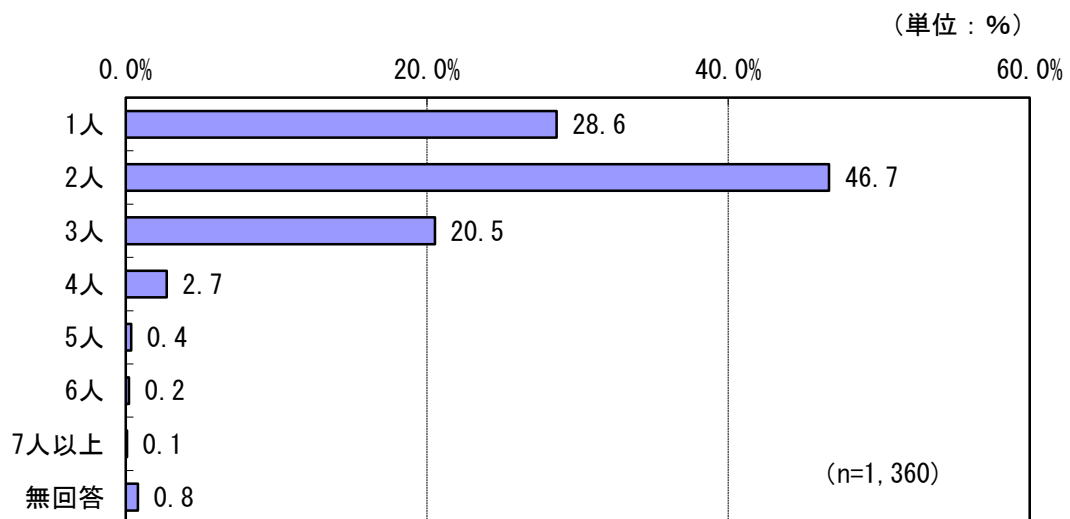
問2 あて名のお子さんの生年月を口内に数字でご記入ください。(数字は一枠に一字。)

対象の児童の年齢の構成比は以下のとおりとなっています。回答者は「5歳児」が22.9%と最も多くなっています。

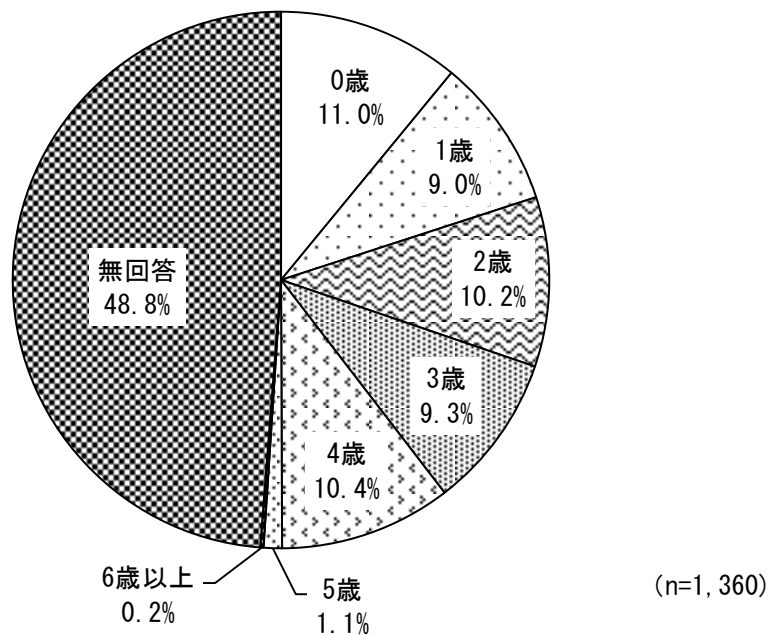


問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を口内に数字でご記入ください。
(数字は一桁に一字。)

最も多いのは「2人」兄弟の家庭で 46.7%とほぼ半数に近い割合となっています。次いで「1人」が 28.6%、「3人」が 20.5%となっており、4人以上は少数です。

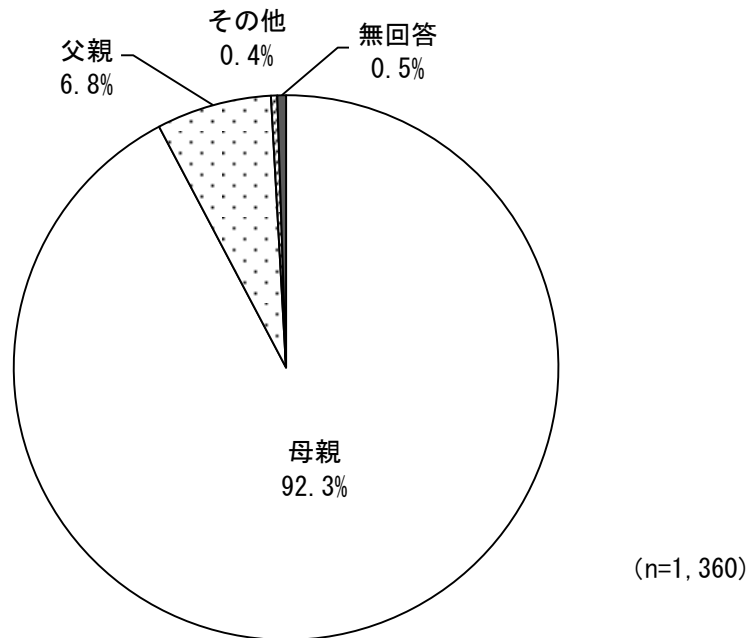


末子の年齢は次の通りですが、無回答が半数となっています。



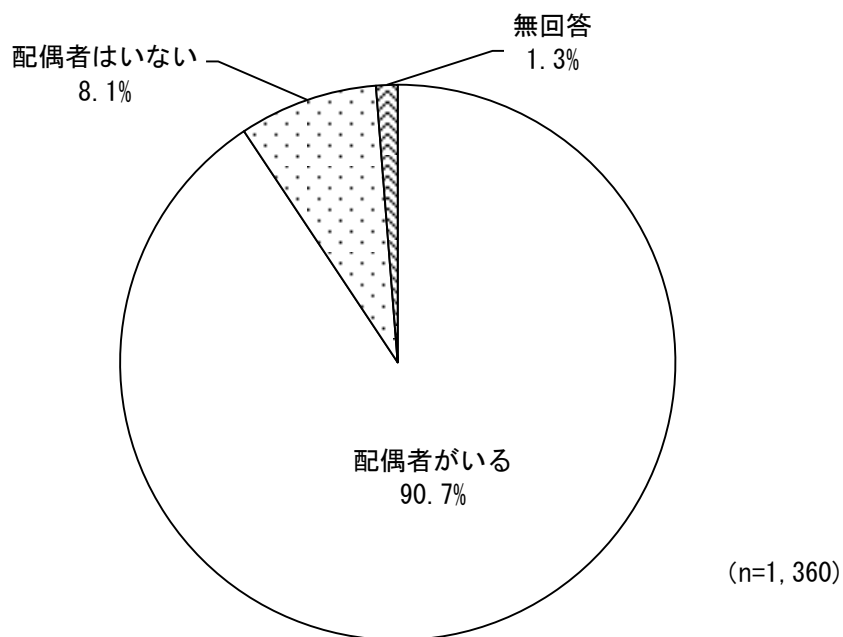
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。あてはまるものひとつに○をつけてください。

回答者は「母親」が92.3%で大多数となっています。



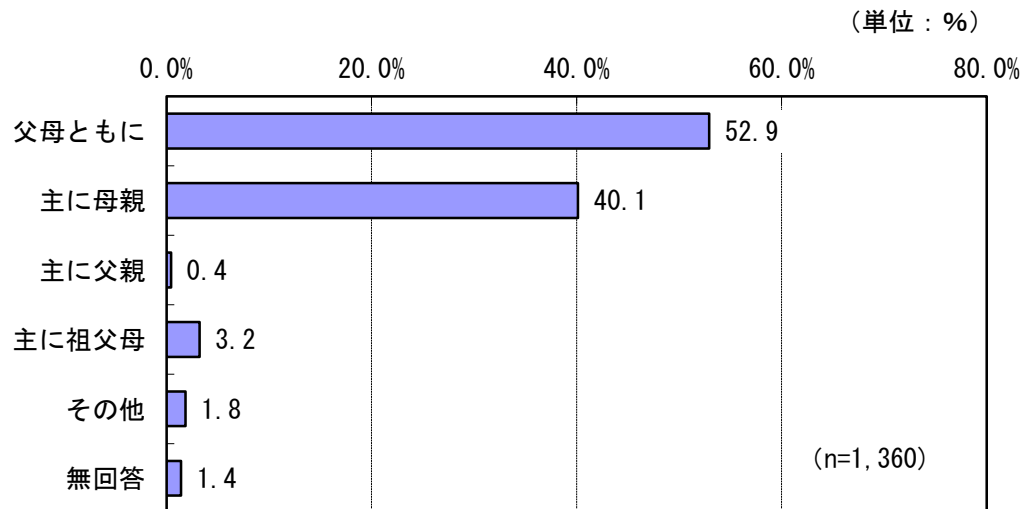
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまるものに○をつけてください。

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が90.7%、「配偶者がいない」が8.1%です。



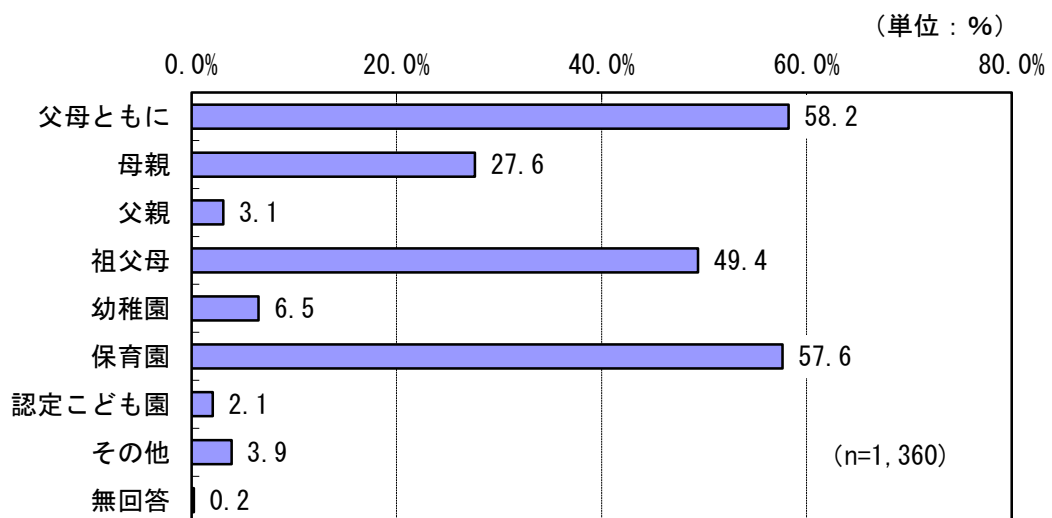
問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまるものひとつに○をつけてください。

「父母ともに」が52.9%、「主に母親」が40.1%で大多数です。「主に祖父母」は3.2%となっています。また「主に父親」はわずか0.4%でした。



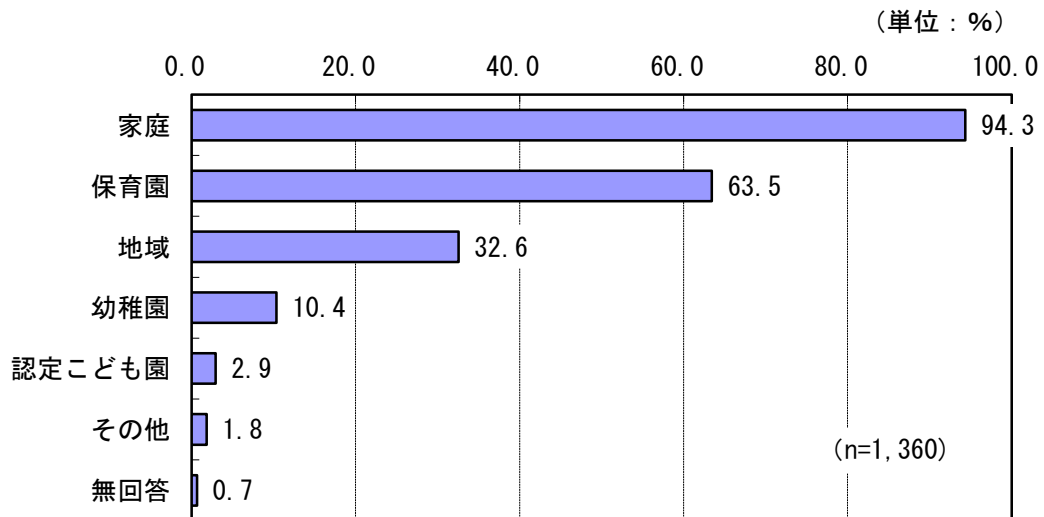
問7 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で、あてはまるものすべてに○をつけてください。

家族では「父母ともに」が58.2%、施設では「保育園」が57.6%とともに6割近くの回答となっています。



問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）にもっとも影響すると思われる環境のあてはまるものすべてに○をつけてください。

子育てに影響するのは「家庭」が94.3%と最も多く、「保育園」が63.5%、「地域」が32.6%などとなっています。

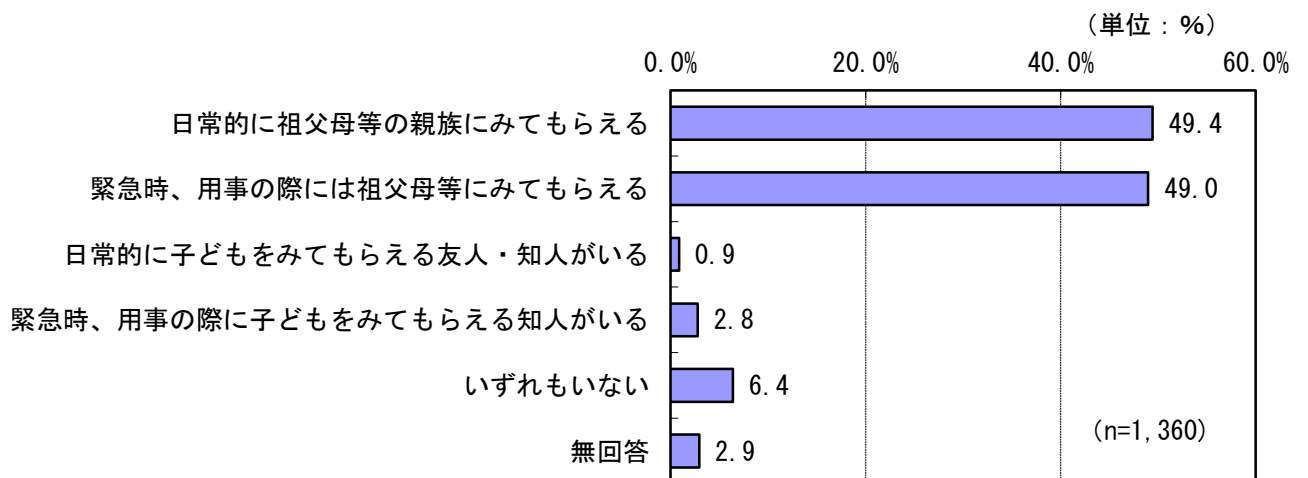


問9 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が49.4%、「緊急時、用事の際には祖父母等にみてもらえる」が49.0%でともに半数となっています。

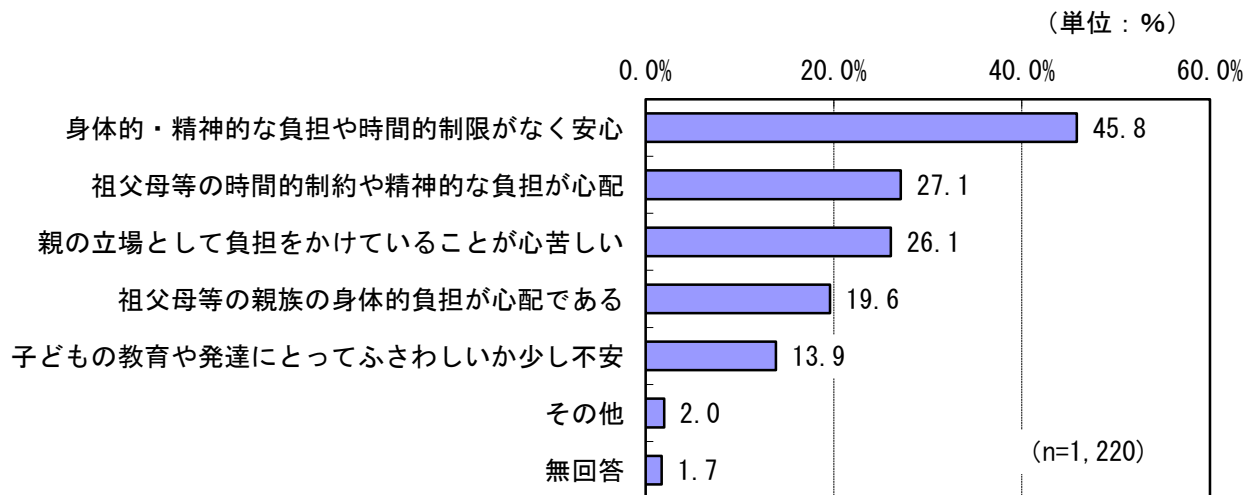
「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は0.9%、「緊急時、用事の際に子どもをみてもらえる知人がいる」が2.8%とわずかです。

また、「いずれもない」は6.4%と少数ですが回答がありました。



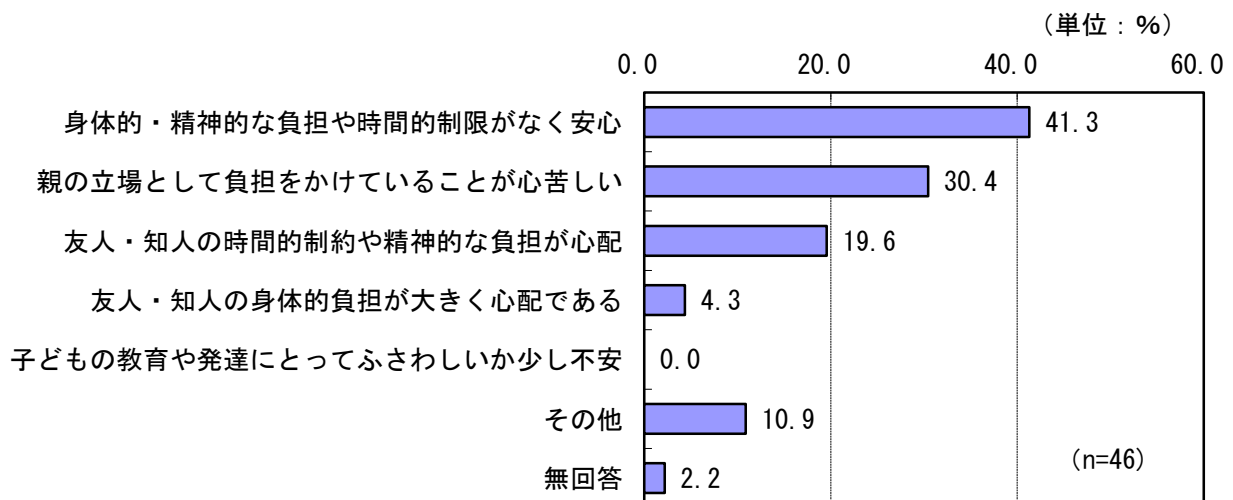
問9-1 問9で「1.」または「2.」に回答された方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

親族に子どもをみてもらっている状況では「身体的・精神的な負担や時間的制限がなく安心」が45.8%で最も多く、次いで「祖父母等の時間的制約や精神的な負担が心配」が27.1%、「親の立場として負担をかけていることが心苦しい」が26.1%といった順になっています。



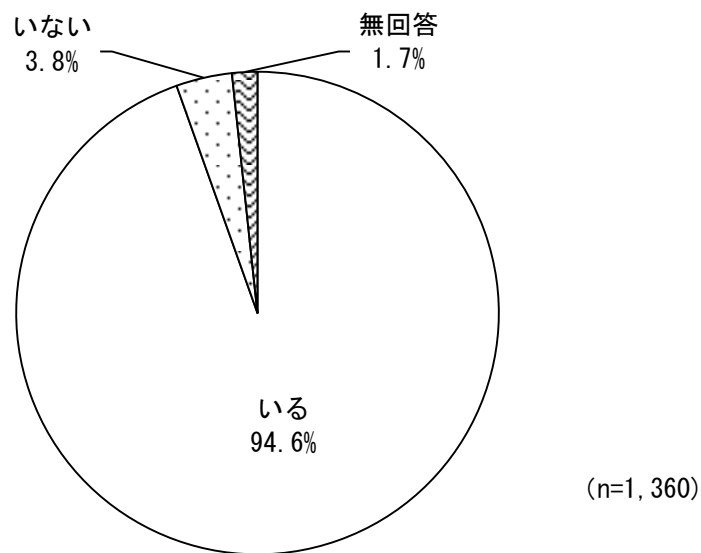
問9-2 問9で「3.」または「4.」に回答された方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

友人・知人に子どもをみてもらっている状況では「身体的・精神的な負担や時間的制限がなく安心」が41.3%で最も多く、次いで「親の立場として負担をかけていることが心苦しい」が30.4%、「友人・知人の時間的制約や精神的な負担が心配」が19.6%といった順になっています。



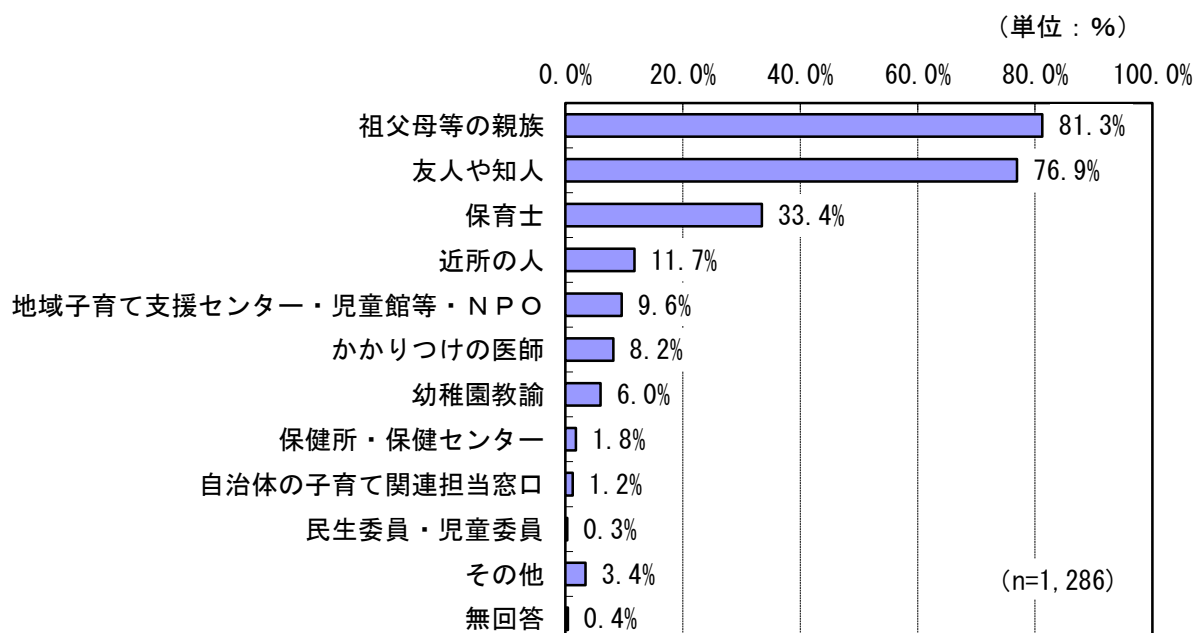
問 10 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。あてはまるものに○をつけてください。

子育てについて気軽に相談できる人の有無では「いる」が 94.6%で、9割以上の方が相談できる人がいる状況がうかがえます。「いない」の回答は3.8%でした。



問 10-1 問 10 で「1. いる」に回答された方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できるのは、誰（どこ）ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

子育てについて気軽に相談できるのは「祖父母等の親族」が 81.3%で最も多く、次いで「友人や知人」が 76.9%、「保育士」が 33.4%といった順になっています。



問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

その他・自由意見
平日、子育て支援センターが開放しているようですが(私も仕事始めるまでよく利用していました)、土曜日、日曜日も開放されているといいなと思います。そこで同じ年頃のママさん達と情報交換できたり、保育士さんや保健師さんがいたら相談できたりと、良いと思うのですが。土、日、広々と遊べる所があるといいなと思います。
一時あずかりなど、もうすこし気軽に頼めるような所があるとよい。子供と参加できる行事みたいなものがあるとよい。小児科の先生がみってくれる、救急外来があってほしい。
子育て相談会のような集会を、定期的に行う。
土日祝日も行ける支援施設の設置。保健師に気軽に相談できる窓口など。
祖父母世代と子育ての考え方が違うので、祖父母向けの情報発信があると良い。
サポートセンター(ファミリー)がありますが、預けるとなると人数も多ければ、1時間のお金が高い為、預けられない。結局働いた時間1日分以上に、支払わなければいけないので、利用したくても緊急時等預けられない。
病児保育を村上にも早急にお願したい。
現在保育園入園手続き中です。生活保護担当からもっと早く話をしてくれれば良かったのに、4月に入園可能か聞いて8月に市役所で初めて入園出来る事を知り、12月入園希望出しましたが、無理なので、来年4月の申し込みをします。もっと情報等きちっとして欲しいです。
近場に子育て支援施設ができて欲しい。
私は近くに母親がいるので日常的にみてもらえる環境があり、何とかやれたと思っています。0歳から職場復帰したので、保育園に預け、病気の時は母にみてもらい、とても一人ではできなかったと思います。すべての人がそういうわけにはいかないと思いますので、行政の力で何とかできないものかと思っています。
胎内市のように子育てに関する助成が増えたり、イベントがたくさん行われるといいと思う。
ごく短時間気軽に預けられる所。安心な遊具、雨天でも遊ばせられる所が欲しい。
一時保育を子育て支援センターだけでなく、近くの保育園でもやってもらえるとありがたい。場所が自宅から遠いと預けにくい。行政でももう少しサポートがあると嬉しい。
祖父母はお風呂上りに果汁を飲ませようとしたり、昔の育児しようとするので困っています。行政側から祖父母に対しても現在の育児方法を教えてあげて欲しいです。
親の悩み相談も必要だが、祖父母に今の子育てについて教えてもらいたい。
急な用事でも保育を受け入れてくれる施設が欲しい。
子供と介護の両立をしている人は負担が大きいので、どちらか優先するようなサポートがあると良い。子供が大きくなるまで優先的に施設に入所できるなど。

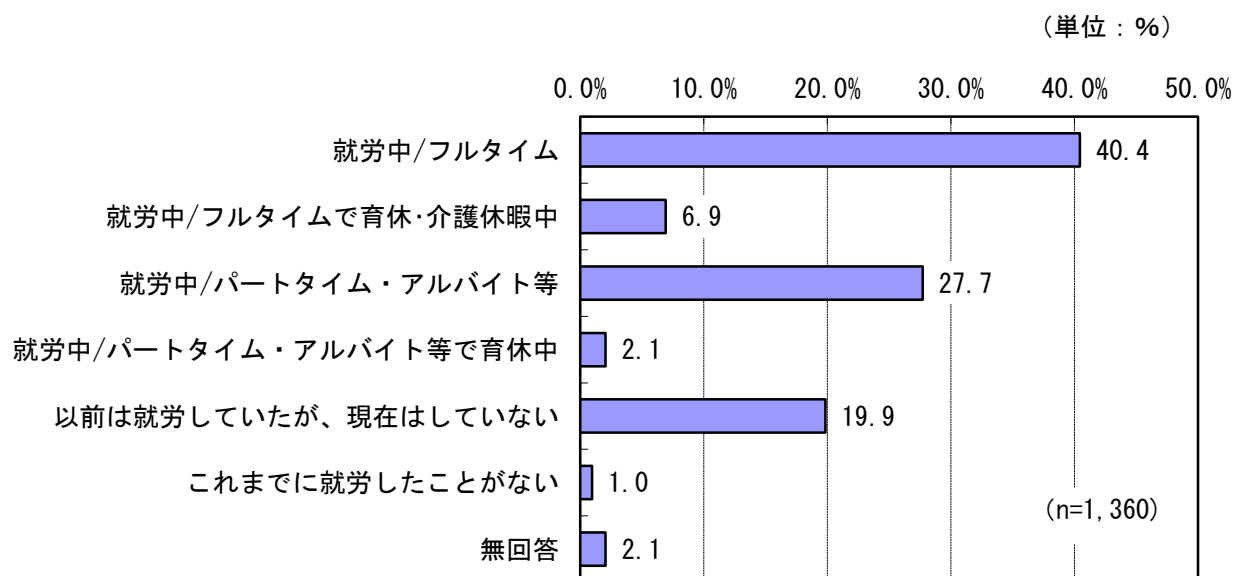
※一部意見を抜粋して掲載

2 両方の保護者の就労状況

問 12 あて名のお子さんの両方の保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

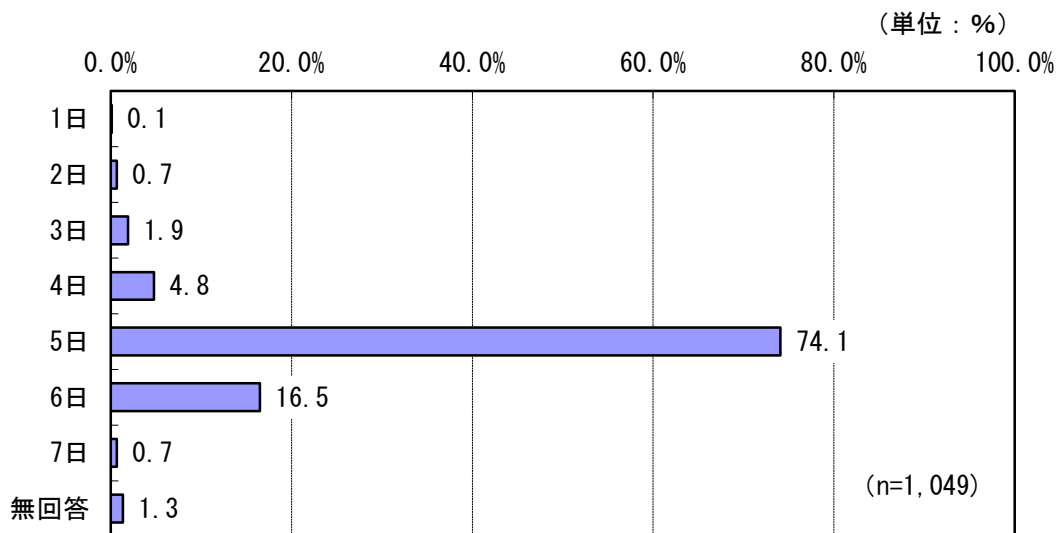
（1）母親 あてはまるものひとつに○をつけてください。

母親は、「就労中／フルタイム」は 40.4%となっており、「就労中／パートタイム・アルバイト等」が 27.7%です。また、「以前は就労していたが、現在はしていない」は 19.9%と2割を占めています。

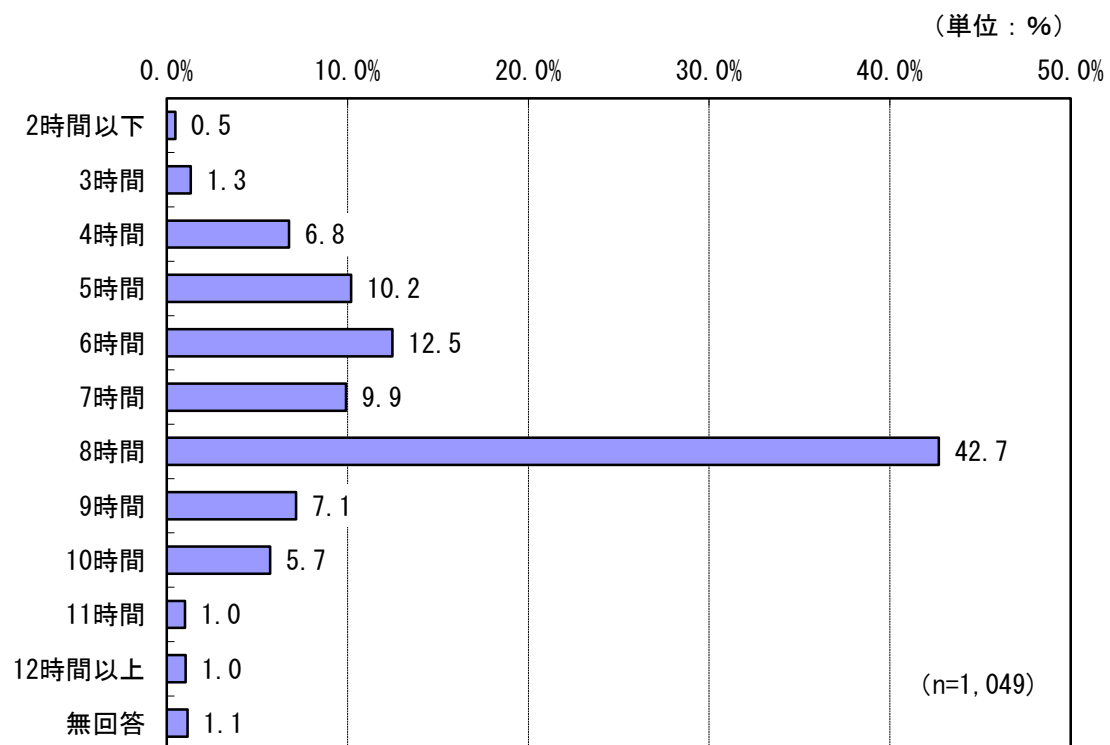


(1) - 1 (1) で「1.~4.」(就労している)に回答した方にうかがいます。
 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

週当たりの就労日数は「5日」が最も多く74.1%、次いで「6日」が16.5%となっています。

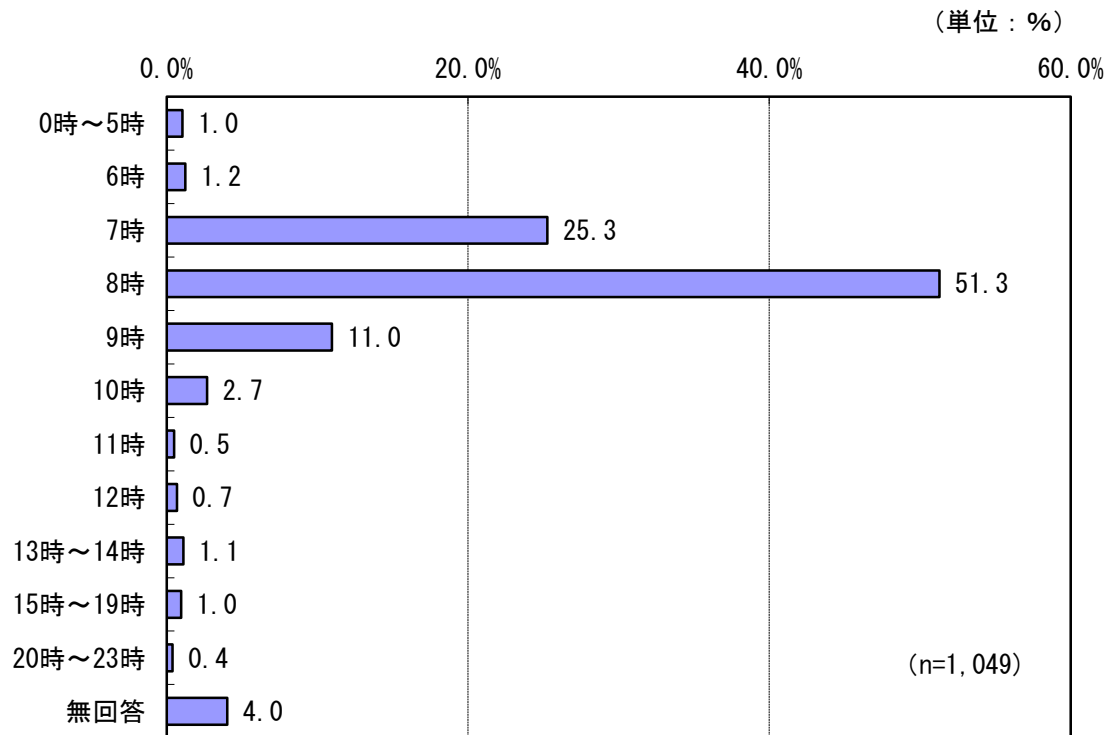


一日の就労時間は「8時間」が最も多く42.7%、次いで「6時間」が12.5%などとなっています。



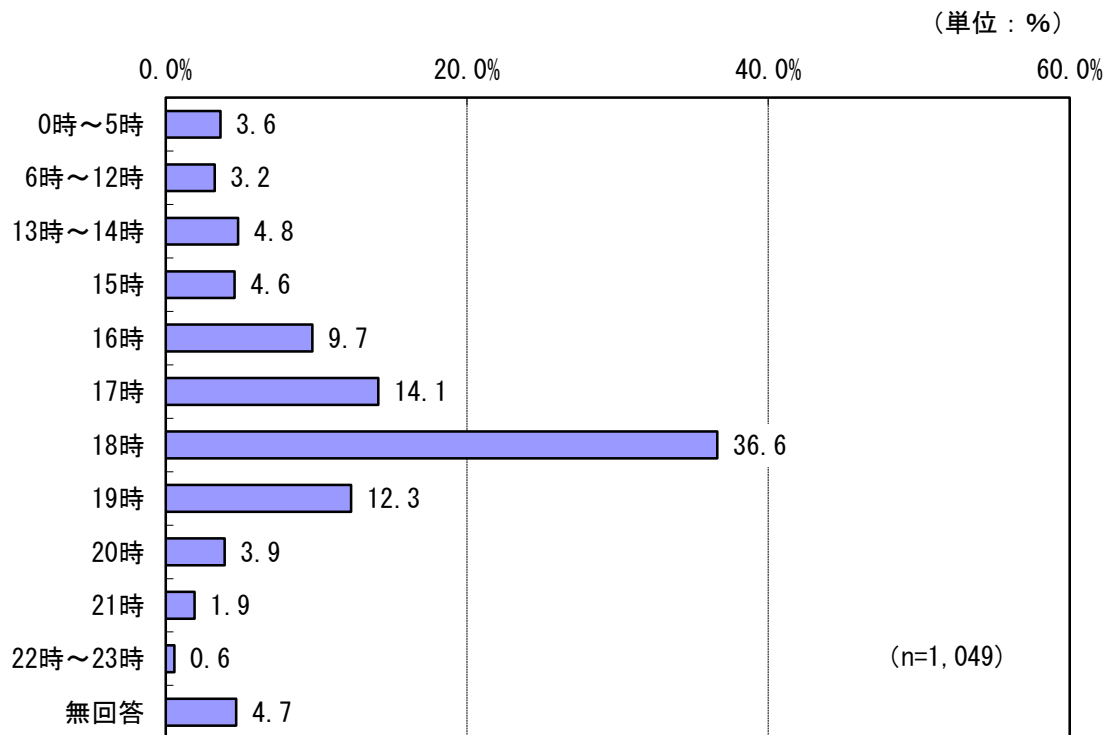
(1) - 2 (1) で「1.~4.」(就労している)に回答した方にうかがいます。
 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親が、就労のために家を出る時間は「8時」が 51.3%、「7時」が 25.3%となっています。



	合計	問1 居住地区						無回答
		村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区	その他	
全体	1049	491	193	143	146	61	3	12
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0時~5時	11	4	2	4	1	0	0	0
	1.0%	0.8%	1.0%	2.8%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
6時	13	9	0	1	1	2	0	0
	1.2%	1.8%	0.0%	0.7%	0.7%	3.3%	0.0%	0.0%
7時	265	101	57	36	43	22	1	5
	25.3%	20.6%	29.5%	25.2%	29.5%	36.1%	33.3%	41.7%
8時	538	267	89	72	74	30	1	5
	51.3%	54.4%	46.1%	50.3%	50.7%	49.2%	33.3%	41.7%
9時	115	55	21	18	14	5	0	2
	11.0%	11.2%	10.9%	12.6%	9.6%	8.2%	0.0%	16.7%
10時	28	18	5	1	4	0	0	0
	2.7%	3.7%	2.6%	0.7%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%
11時	5	2	1	2	0	0	0	0
	0.5%	0.4%	0.5%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12時	7	6	0	0	1	0	0	0
	0.7%	1.2%	0.0%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
13時	7	2	1	2	1	0	1	0
	0.7%	0.4%	0.5%	1.4%	0.7%	0.0%	33.3%	0.0%
14時	4	1	2	0	0	1	0	0
	0.4%	0.2%	1.0%	0.0%	0.0%	1.6%	0.0%	0.0%
15時~19時	10	6	2	0	1	1	0	0
	1.0%	1.2%	1.0%	0.0%	0.7%	1.6%	0.0%	0.0%
20時~23時	4	2	1	0	1	0	0	0
	0.4%	0.4%	0.5%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	42	18	12	7	5	0	0	0
	4.0%	3.7%	6.2%	4.9%	3.4%	0.0%	0.0%	0.0%

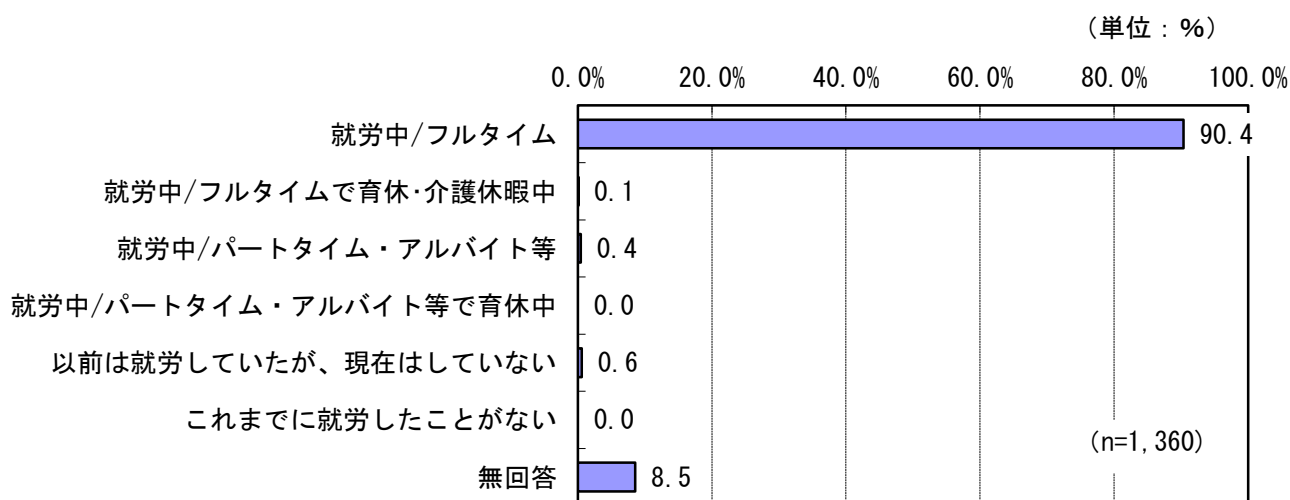
帰宅時間は、「18時」が36.6%、「17時」が14.1%、「19時」が12.3%などとなっており、16時から19時が最も多い時間帯となっています。



	合計	問1 居住地区						無回答
		村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区	その他	
全体	1049	491	193	143	146	61	3	12
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0時～5時	38	21	4	4	6	3	0	0
	3.6%	4.3%	2.1%	2.8%	4.1%	4.9%	0.0%	0.0%
6時～12時	34	12	11	4	6	1	0	0
	3.2%	2.4%	5.7%	2.8%	4.1%	1.6%	0.0%	0.0%
13時	26	14	5	2	4	1	0	0
	2.5%	2.9%	2.6%	1.4%	2.7%	1.6%	0.0%	0.0%
14時	24	15	1	3	4	1	0	0
	2.3%	3.1%	0.5%	2.1%	2.7%	1.6%	0.0%	0.0%
15時	48	28	8	3	4	4	1	0
	4.6%	5.7%	4.1%	2.1%	2.7%	6.6%	33.3%	0.0%
16時	102	48	15	18	14	4	1	2
	9.7%	9.8%	7.8%	12.6%	9.6%	6.6%	33.3%	16.7%
17時	148	77	25	17	18	8	1	2
	14.1%	15.7%	13.0%	11.9%	12.3%	13.1%	33.3%	16.7%
18時	384	178	59	51	61	29	0	6
	36.6%	36.3%	30.6%	35.7%	41.8%	47.5%	0.0%	50.0%
19時	129	47	37	24	13	6	0	2
	12.3%	9.6%	19.2%	16.8%	8.9%	9.8%	0.0%	16.7%
20時	41	19	9	4	5	4	0	0
	3.9%	3.9%	4.7%	2.8%	3.4%	6.6%	0.0%	0.0%
21時	20	8	4	5	3	0	0	0
	1.9%	1.6%	2.1%	3.5%	2.1%	0.0%	0.0%	0.0%
22時～23時	6	4	1	0	1	0	0	0
	0.6%	0.8%	0.5%	0.0%	0.7%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	49	20	14	8	7	0	0	0
	4.7%	4.1%	7.3%	5.6%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%

(2) 父親 あてはまるものひとつに○をつけてください。

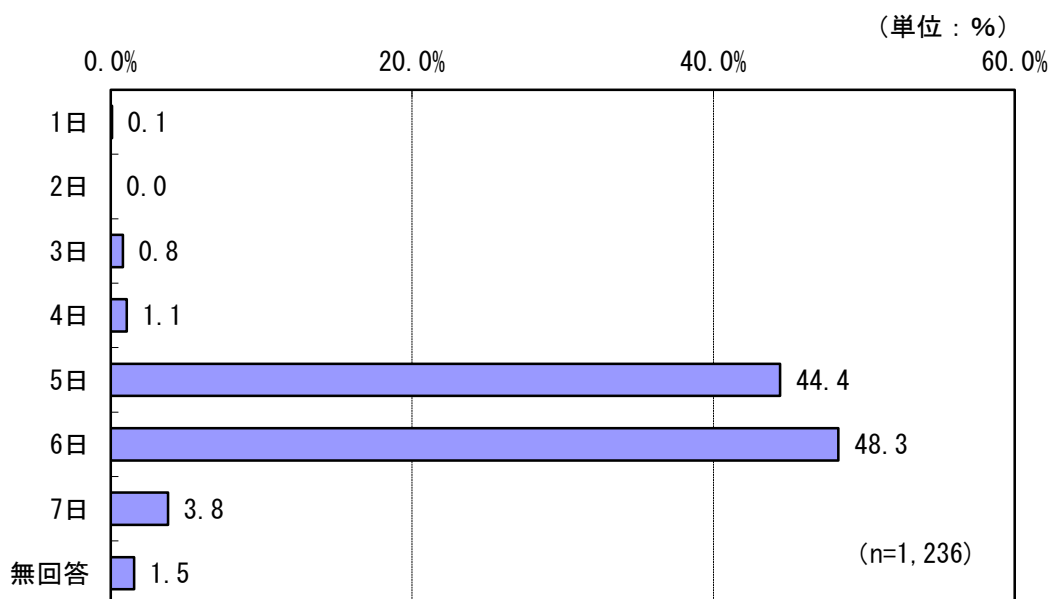
父親の就労は、「就労中／フルタイム」が90.4%と大多数となっています。



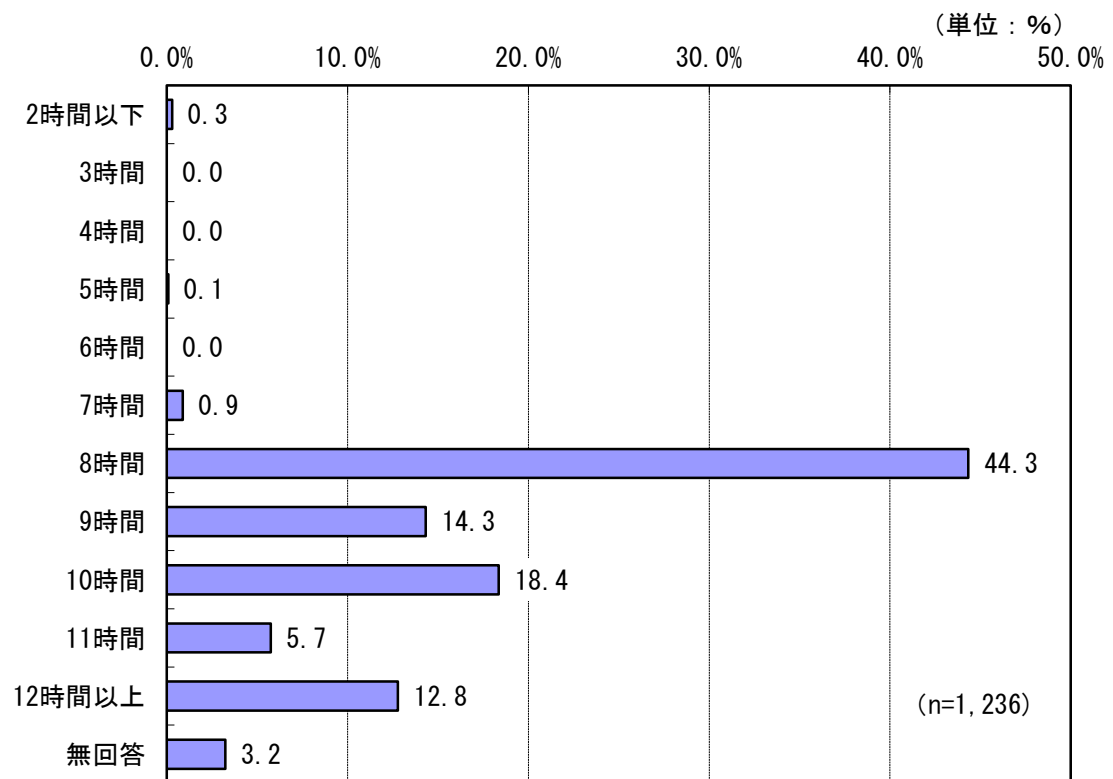
(2) - 1 (1) で「1.～4.」(就労している)に回答した方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

父親の就労日数は「6日」が48.3%、「5日」が44.4%となっています。

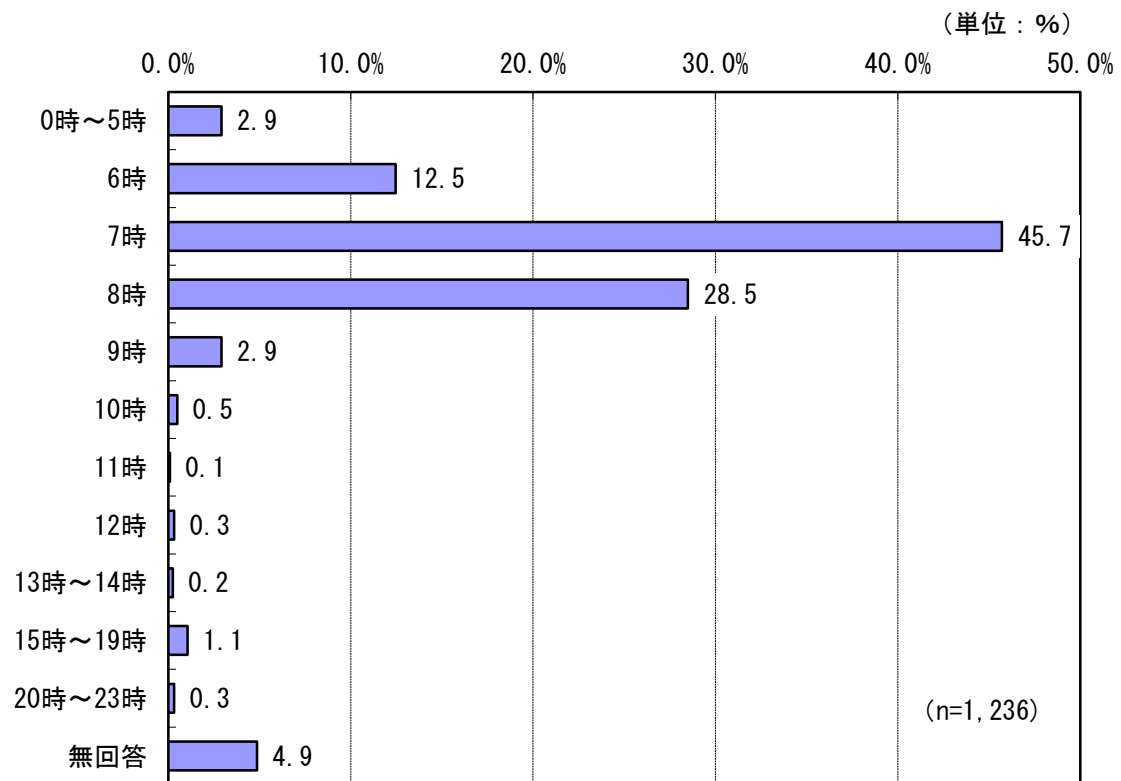


就労時間は「8時間」が44.3%、「10時間」が18.4%、「9時間」が14.3%となっており、「12時間以上」も12.8%みられます。



(2) - 2 (1) で「1.~4.」(就労している)に回答した方にうかがいます。
 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

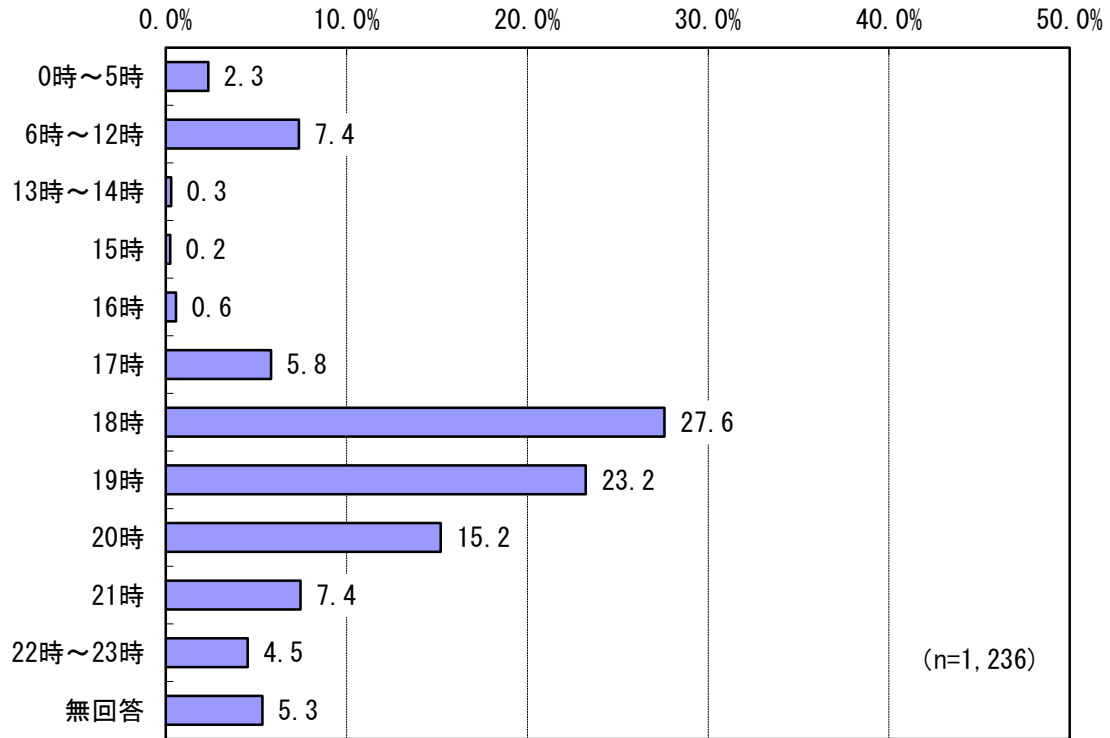
家を出る時間は「7時」が45.7%と最も多く、次いで「8時」が28.5%となっています。



	合計	問1 居住地区						無回答
		村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区	その他	
全体	1236	581	221	176	171	70	3	14
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0時~5時	36	21	7	5	2	1	0	0
	2.9%	3.6%	3.2%	2.8%	1.2%	1.4%	0.0%	0.0%
6時	154	56	30	24	27	17	0	0
	12.5%	9.6%	13.6%	13.6%	15.8%	24.3%	0.0%	0.0%
7時	565	252	106	87	74	37	0	9
	45.7%	43.4%	48.0%	49.4%	43.3%	52.9%	0.0%	64.3%
8時	352	191	54	49	43	9	2	4
	28.5%	32.9%	24.4%	27.8%	25.1%	12.9%	66.7%	28.6%
9時	36	17	8	3	7	0	1	0
	2.9%	2.9%	3.6%	1.7%	4.1%	0.0%	33.3%	0.0%
10時	6	2	1	0	3	0	0	0
	0.5%	0.3%	0.5%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
11時	1	1	0	0	0	0	0	0
	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12時	4	1	0	0	1	2	0	0
	0.3%	0.2%	0.0%	0.0%	0.6%	2.9%	0.0%	0.0%
13時	3	2	1	0	0	0	0	0
	0.2%	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14時	2	1	0	1	0	0	0	0
	0.2%	0.2%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15時~19時	13	5	5	1	2	0	0	0
	1.1%	0.9%	2.3%	0.6%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%
20時~23時	4	2	1	1	0	0	0	0
	0.3%	0.3%	0.5%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	60	30	8	5	12	4	0	1
	4.9%	5.2%	3.6%	2.8%	7.0%	5.7%	0.0%	7.1%

帰宅時間は「18時」が最も多く27.6%、次いで「19時」が23.2%、「20時」が15.2%となっており、「0時」を超える人も2.3%みられます。

(単位：%)

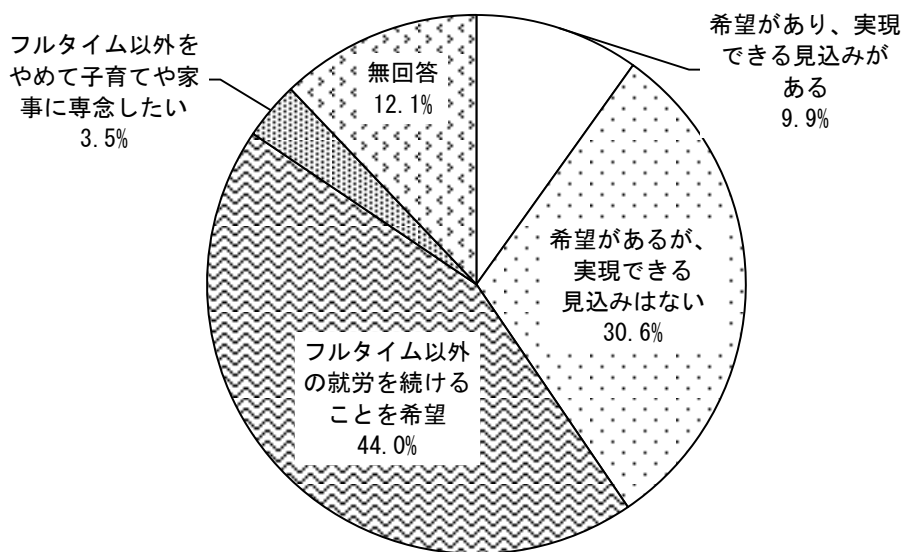


	合計	問1 居住地区						無回答
		村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区	その他	
全体	1236	581	221	176	171	70	3	14
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0時～5時	29	14	5	4	3	3	0	0
	2.3%	2.4%	2.3%	2.3%	1.8%	4.3%	0.0%	0.0%
6時～12時	91	42	19	14	12	3	0	1
	7.4%	7.2%	8.6%	8.0%	7.0%	4.3%	0.0%	7.1%
13時	1	1	0	0	0	0	0	0
	0.1%	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14時	3	1	1	1	0	0	0	0
	0.2%	0.2%	0.5%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15時	3	2	0	0	1	0	0	0
	0.2%	0.3%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
16時	7	4	0	2	1	0	0	0
	0.6%	0.7%	0.0%	1.1%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%
17時	72	38	9	10	6	5	0	4
	5.8%	6.5%	4.1%	5.7%	3.5%	7.1%	0.0%	28.6%
18時	341	164	47	45	51	30	0	4
	27.6%	28.2%	21.3%	25.6%	29.8%	42.9%	0.0%	28.6%
19時	287	128	53	53	31	17	2	3
	23.2%	22.0%	24.0%	30.1%	18.1%	24.3%	66.7%	21.4%
20時	188	87	40	23	32	5	1	0
	15.2%	15.0%	18.1%	13.1%	18.7%	7.1%	33.3%	0.0%
21時	92	40	26	9	15	1	0	1
	7.4%	6.9%	11.8%	5.1%	8.8%	1.4%	0.0%	7.1%
22時～23時	56	28	11	9	6	2	0	0
	4.5%	4.8%	5.0%	5.1%	3.5%	2.9%	0.0%	0.0%
無回答	66	32	10	6	13	4	0	1
	5.3%	5.5%	4.5%	3.4%	7.6%	5.7%	0.0%	7.1%

問 13 問 12 の (1) または (2) で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している) に回答された方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

(1) 母親

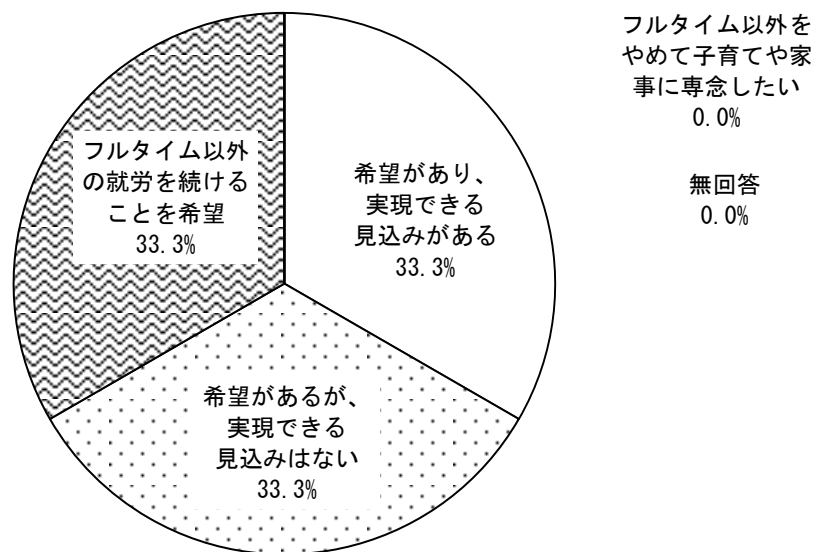
パート・アルバイトで就労している母親のフルタイムへの希望は「フルタイム以外の就労を続けることを希望」が 44.0%、「希望があるが実現できる見込みはない」が 30.6%となっており、「希望があり実現できる見込みがある」の 9.9%を加えると 84.5%と大多数が就労意欲を持っておりことがわかります。



(n=405)

(2) 父親

父親の回答は 3 人のみで全員が何らかの就労意欲を持っています。

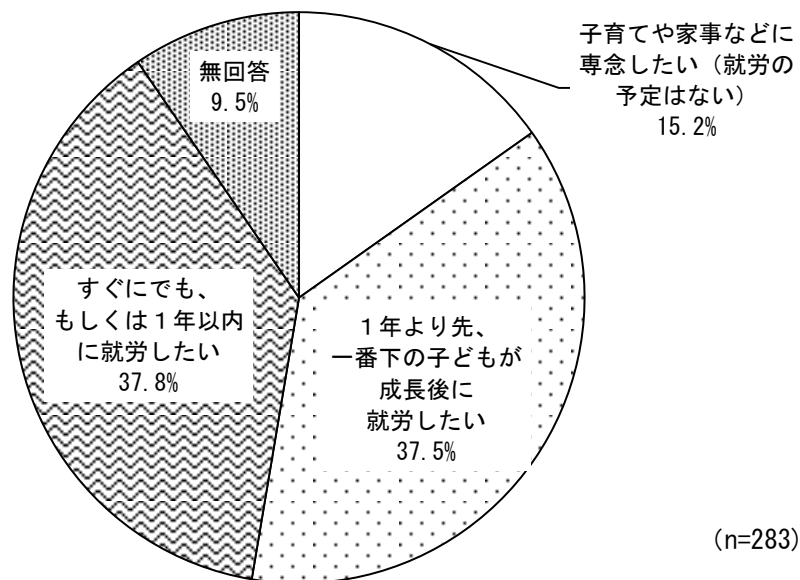


(n=6)

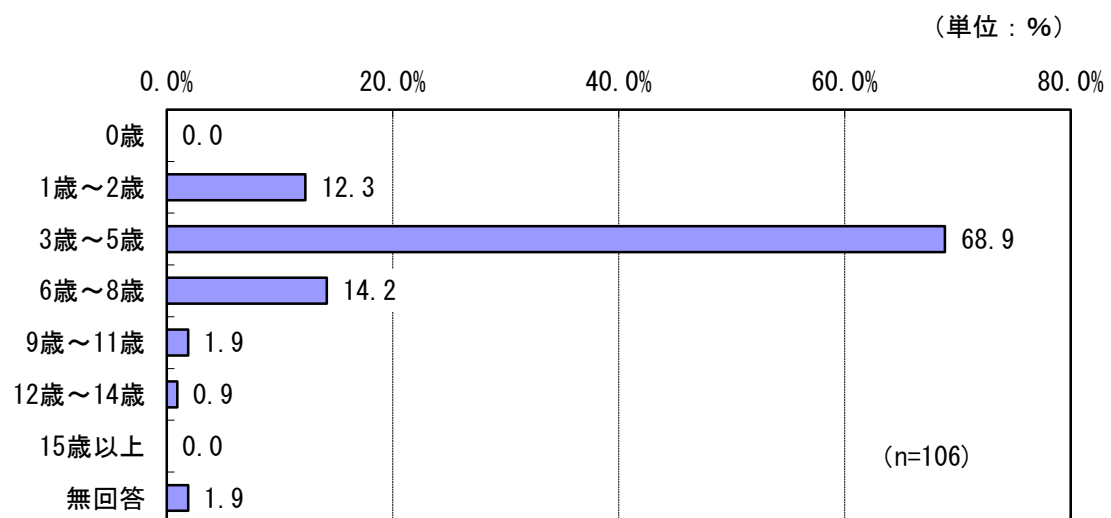
問14 問12の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に回答された方にうかがいます。該当しない方は、問15へお進みください。就労したいという希望はありますか。

(1) 母親

「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」が37.8%、「1年より先、一番下の子どもが成長後に就労したい」が37.5%で高い就労意欲が見られます。これに対し「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」は15.2%となっています。

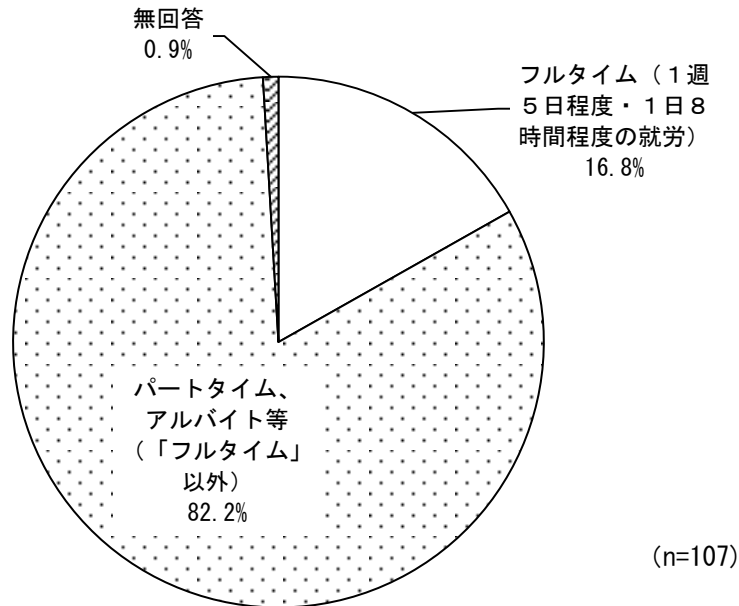


「1年より先、一番下の子どもが成長後に就労したい」人の希望する子どもの年齢は「3～5歳」が68.9%と7割となっています。「0歳」はゼロで「1～2歳」は12.3%と少数です。

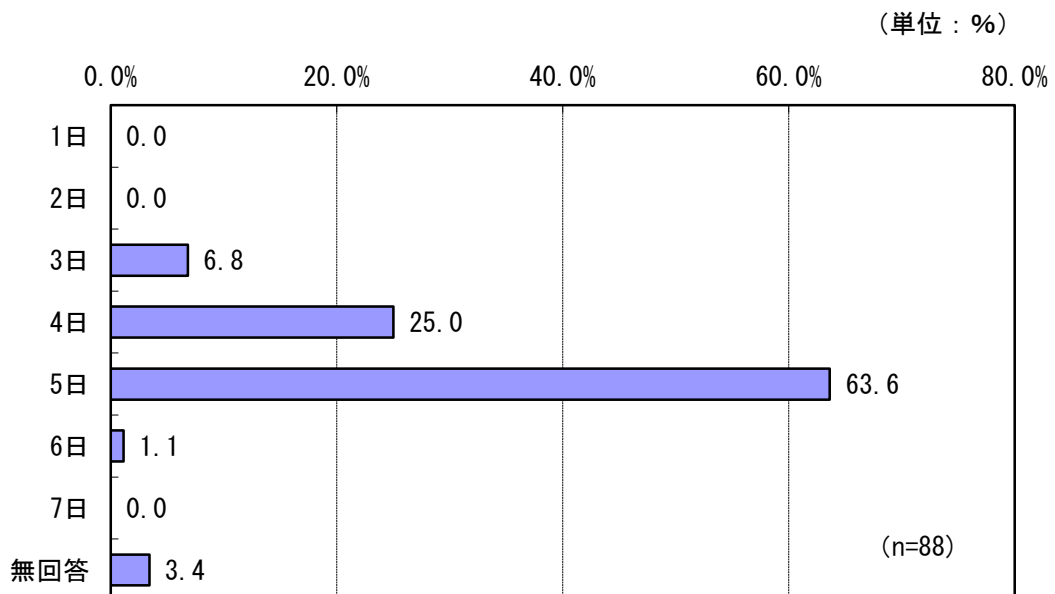


3 希望する就業形態

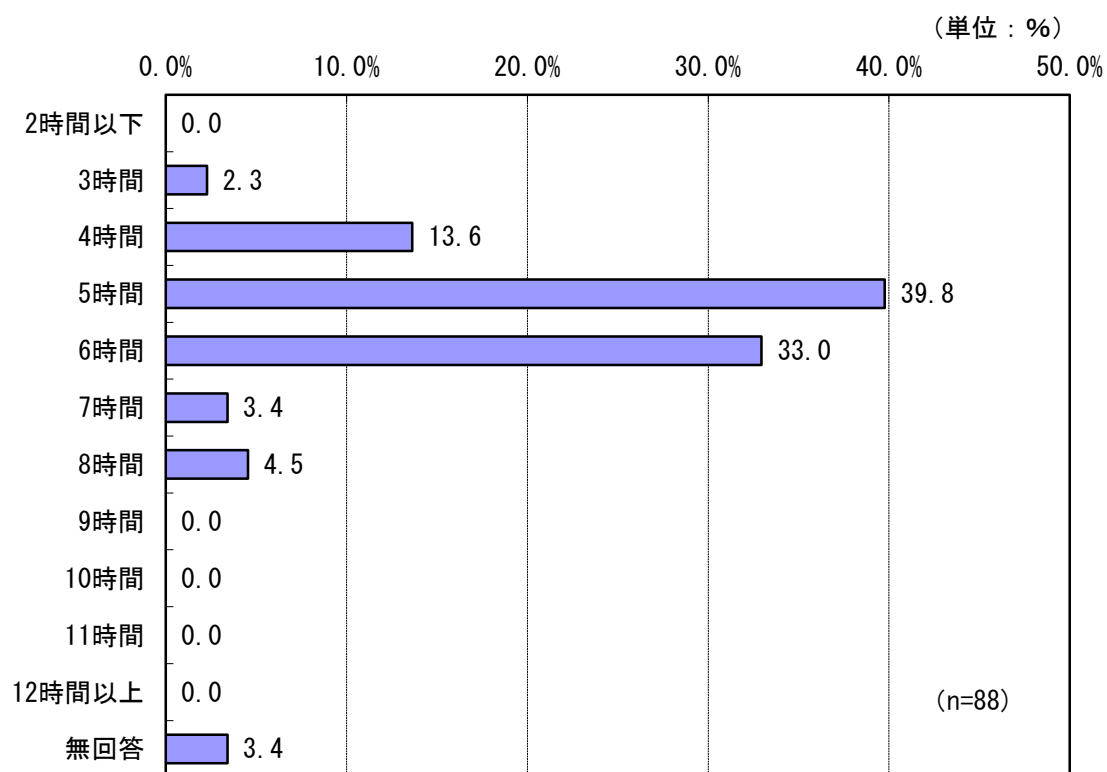
「すぐにも、もしくは1年以内に就労したい」という母親 107 人の希望する就業形態は「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）が 82.2%と大多数となっています。 「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」は 16.8%でおおよそ6人に1人の割合となっています。



パートタイムで働きたい母親の週当たりの就労日数の希望は5日が 63.6%と最も多く、「4日」が 25.0%となっています。

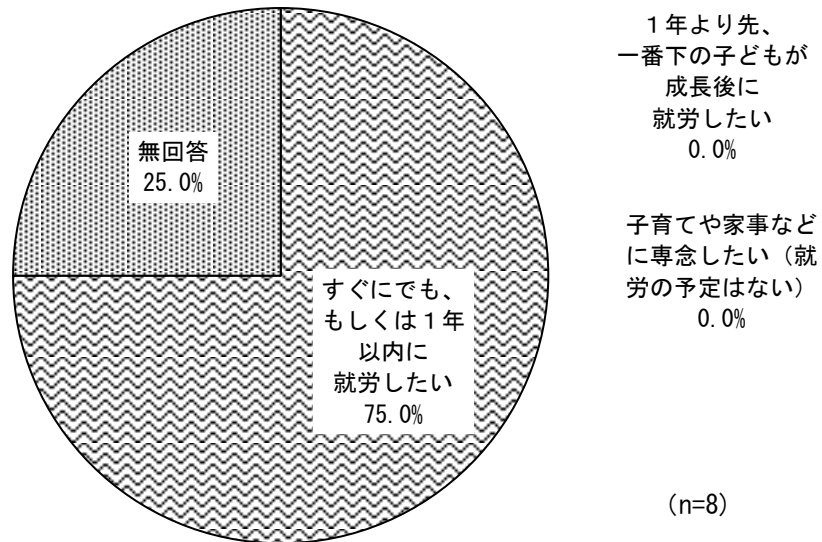


また、1日当たりの時間は「5時間」が最も多く、39.8%、「6時間」が33.0%となっており、「8時間」を希望する母親は4.5%と少数です。



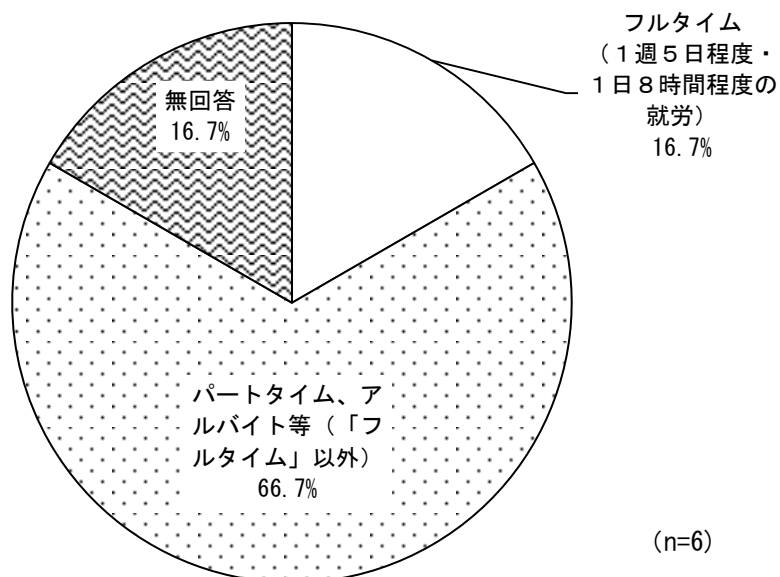
(2) 父親

就労していない父親（8人）の場合は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が75.0%（6人）となっており、残りの25.0%は「無回答」となっています。

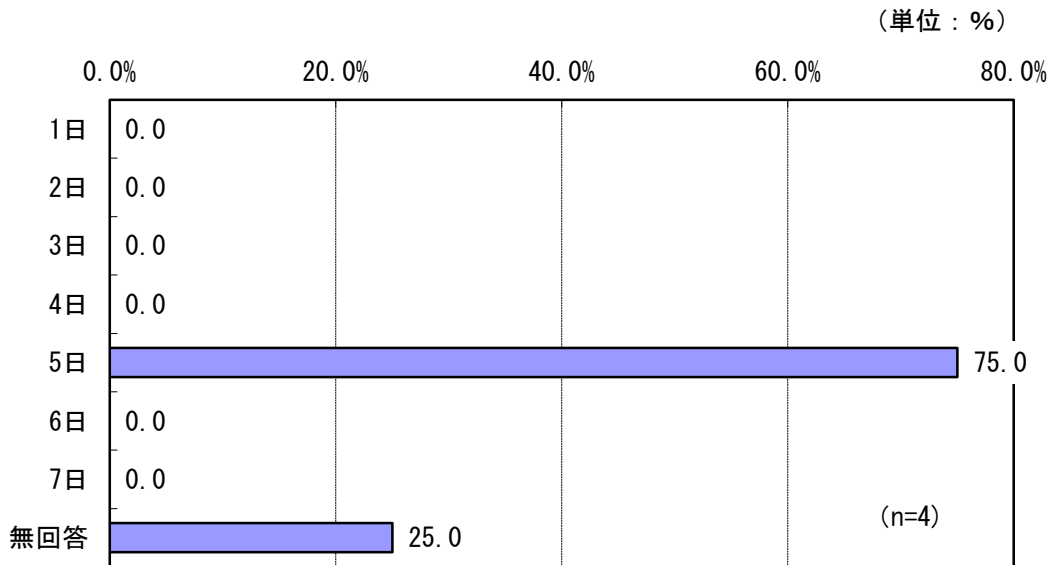


3 希望する就業形態

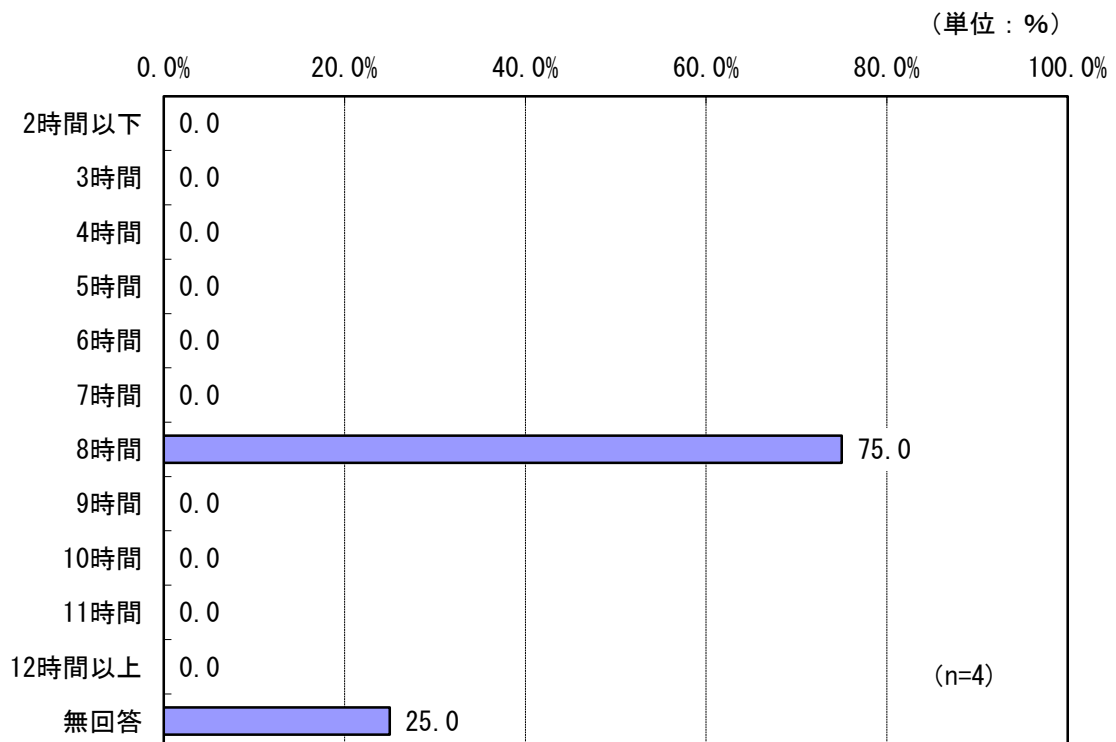
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」6人の内訳は、は「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が66.7%（4人）、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が16.7%（1人）となっています。



「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」を希望する父親の1週間の就労日数は「5日」が75.0%(3人)となっています。



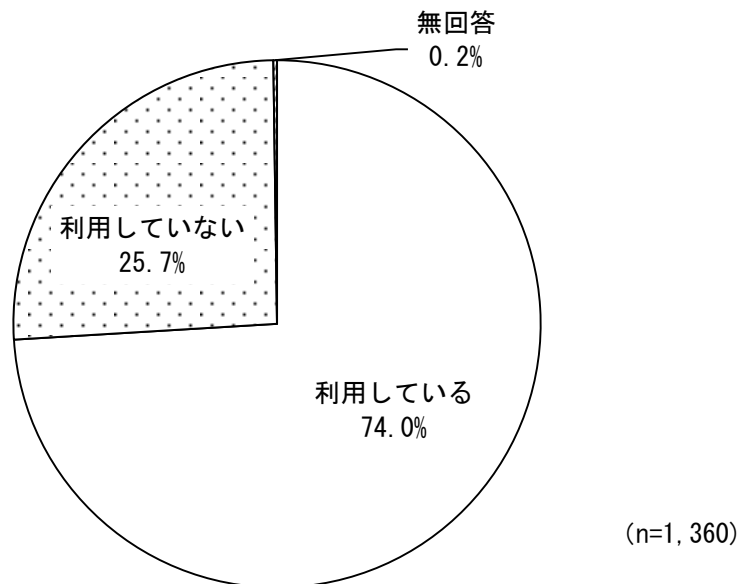
また、1日の就労時間は「8時間」が75.0%です。



3 平日の定期的な教育・保育事業の利用状況

問 15 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園などの「定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか。あてはまるものに○をつけてください。

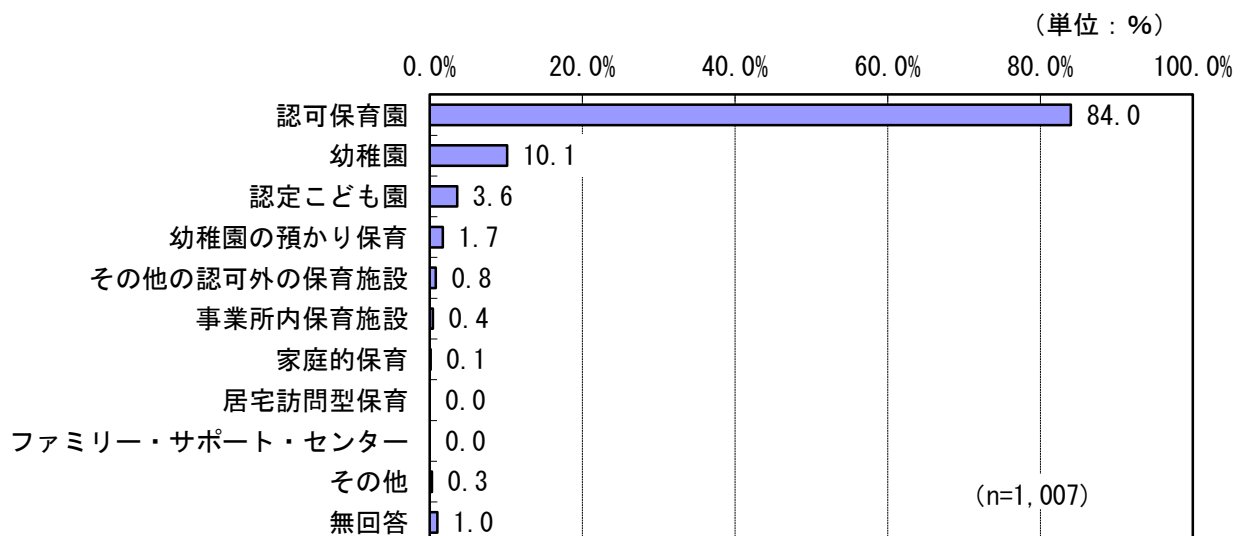
「利用している」が74.0%です。



問 15-1～問 15-4 は問 15 で「1. 利用している」と回答された方にかがいます。

問 15-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的に」利用している事業をお答えください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

旧市町村では幼稚園が設置されているのは旧村上市のみであることから「認可保育所」が84.0%と大多数となっています。「幼稚園」は10.1%、「認定こども園」は3.6%です。

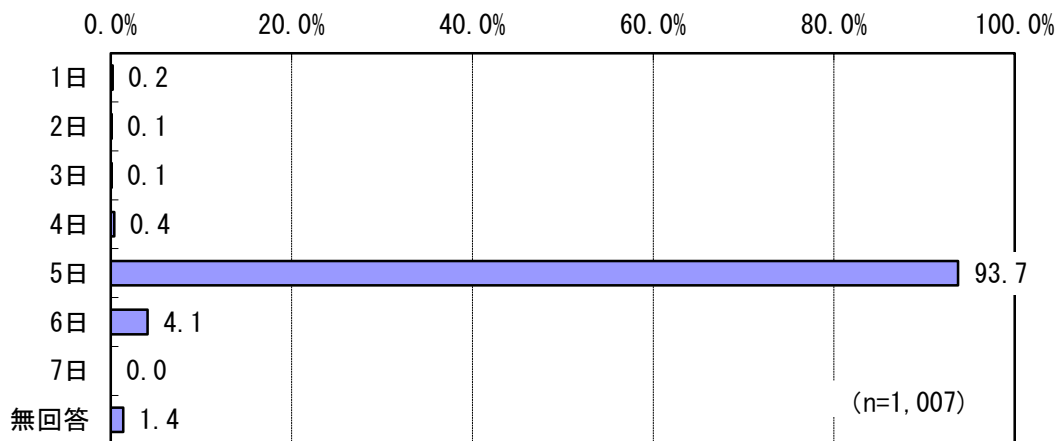


問 15-2 平日に定期的に利用している教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。また、希望としてはどのくらい利用したいですか。
1週当たり何日、1日当たり何時間（何時から何時まで）かを口内に具体的な数字でご記入ください。

(1) 現在

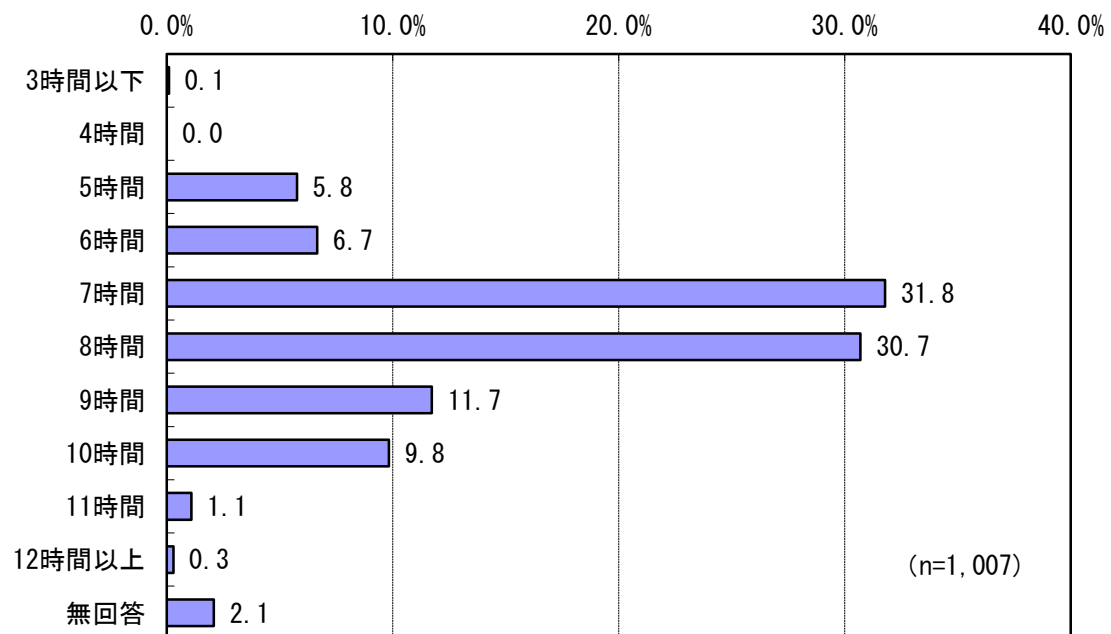
現在では1週間の教育・保育日数は、「5日」が93.7%と大多数となっています。

(単位：%)



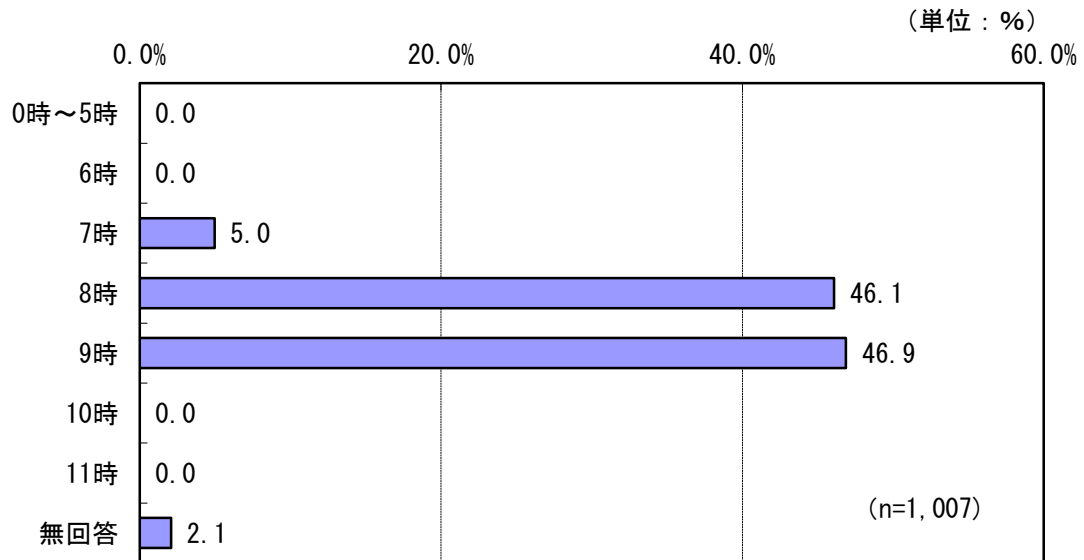
時間は「7時間」が31.8%、「8時間」が30.7%です。また、「9時間」が11.7%、「10時間」が9.8%、「11時間」は1.1%です。

(単位：%)



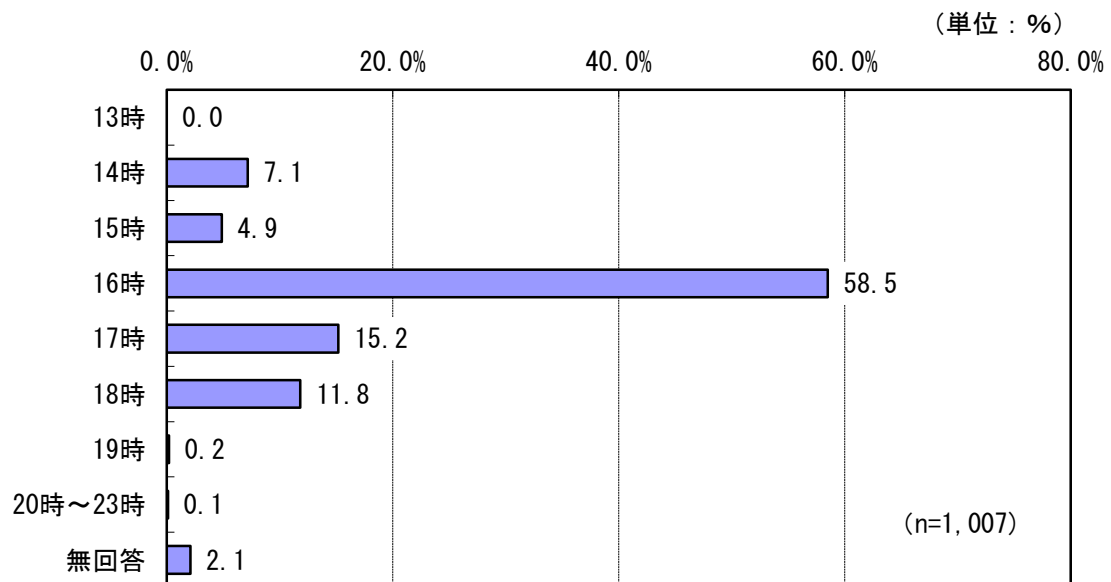
開始時刻

開始時間は「8時」が46.1%、「9時」が46.9%となっています。



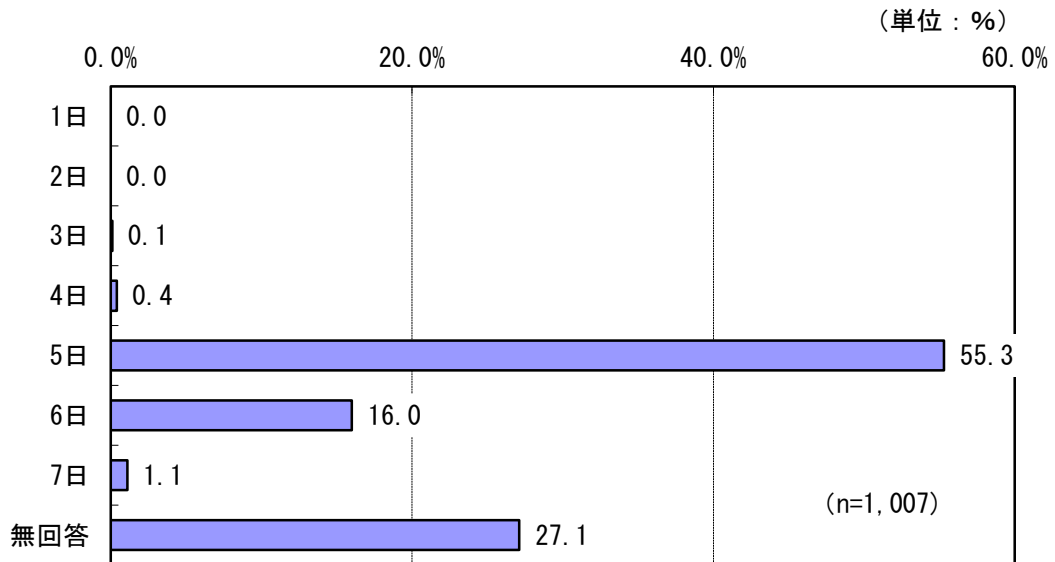
終了時刻

終了時間は「16時」が58.5%、「17時」が15.2%、「18時」が11.8%となっています。

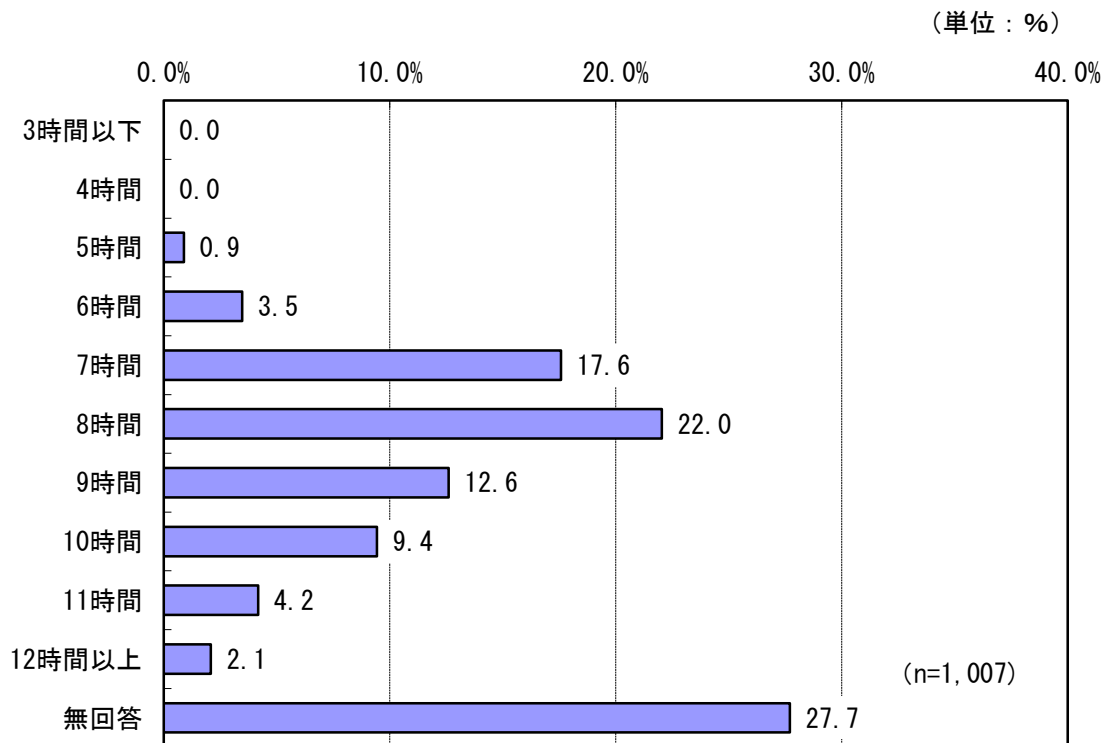


(2) 希望

希望する1週間の教育・保育日数は、「5日」が55.3%と現在より少なくなり、「6日」が16.0%と増えています。

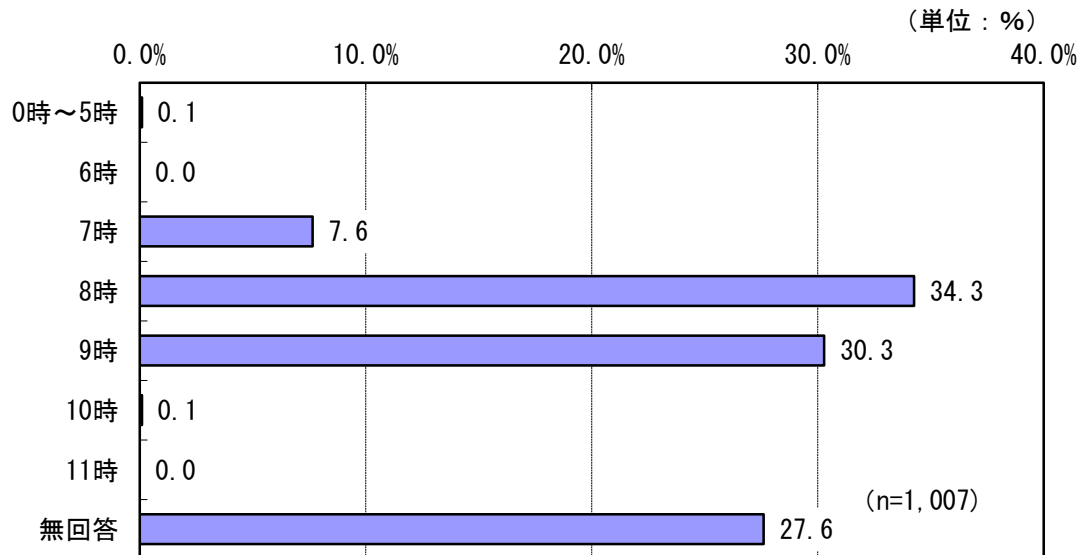


希望する1日の教育・保育時間は「8時間」が最も多く22.0%、「7時間」が17.6%、「9時間」が12.6%など現在より分散しています。



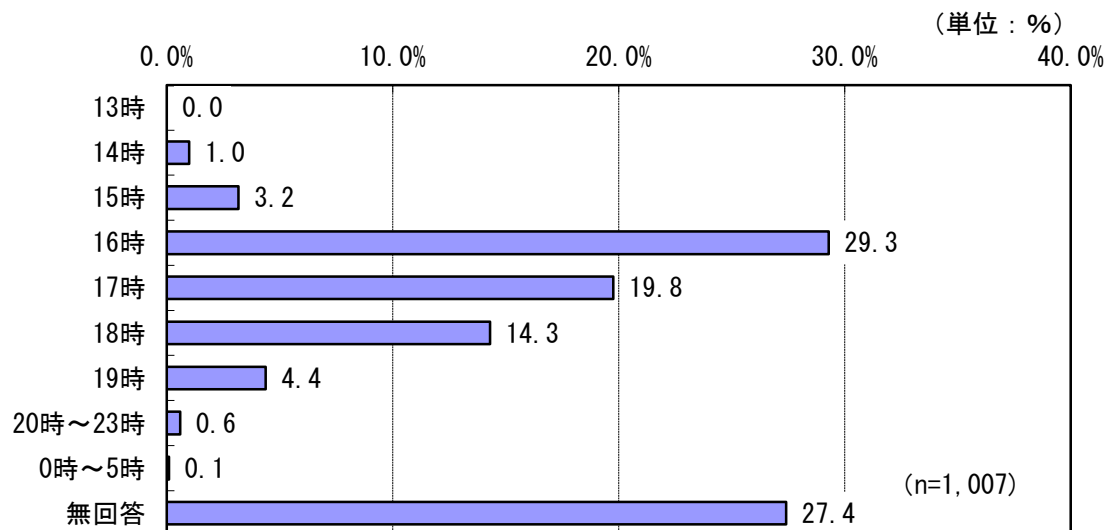
開始時刻

希望する教育・保育時間は「8時」が最も多く 34.3%、「9時」が 30.3%となっています。早朝は「7時」が 7.6%で、「6時」より前はわずかです。



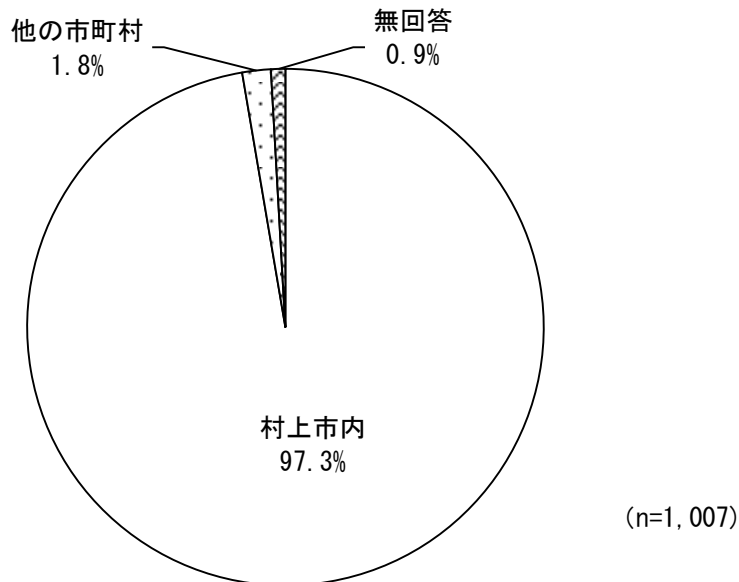
終了時刻

また、終了時間は、「16時」が最も多く 29.3%、「17時」が 19.8%、「18時」が 14.3%などとなっています。「20時」以降は少数です。



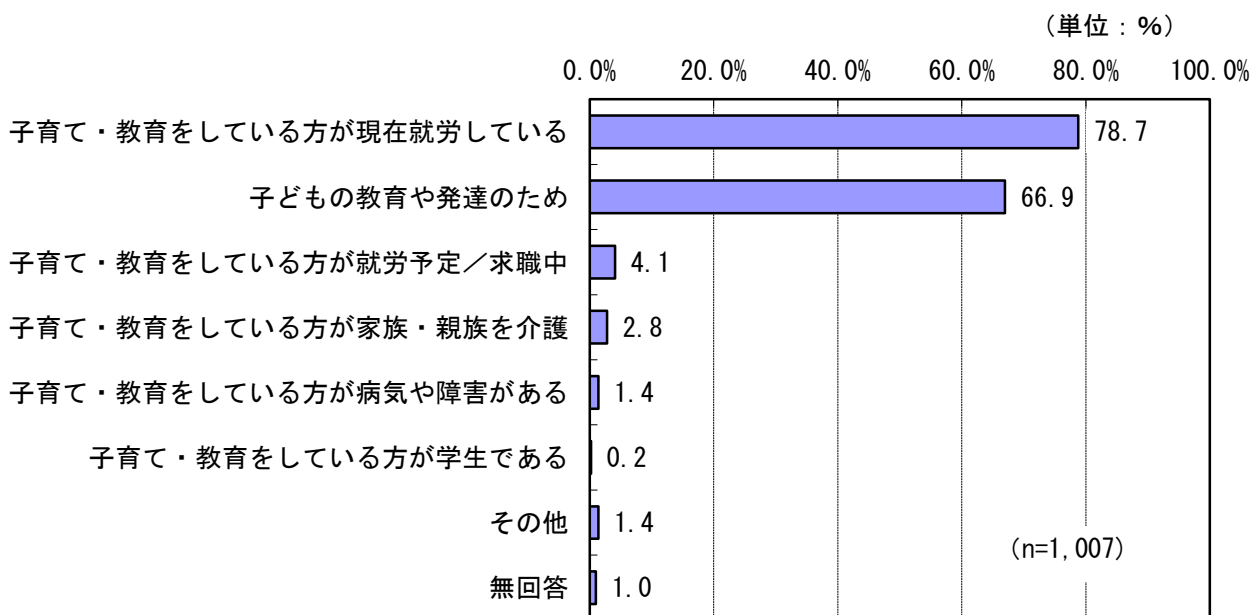
問 15-3 現在、利用している教育・保育事業の実施場所はどちらですか。あてはまるものに○をつけてください。

「村上市内」が97.3%で大多数です。



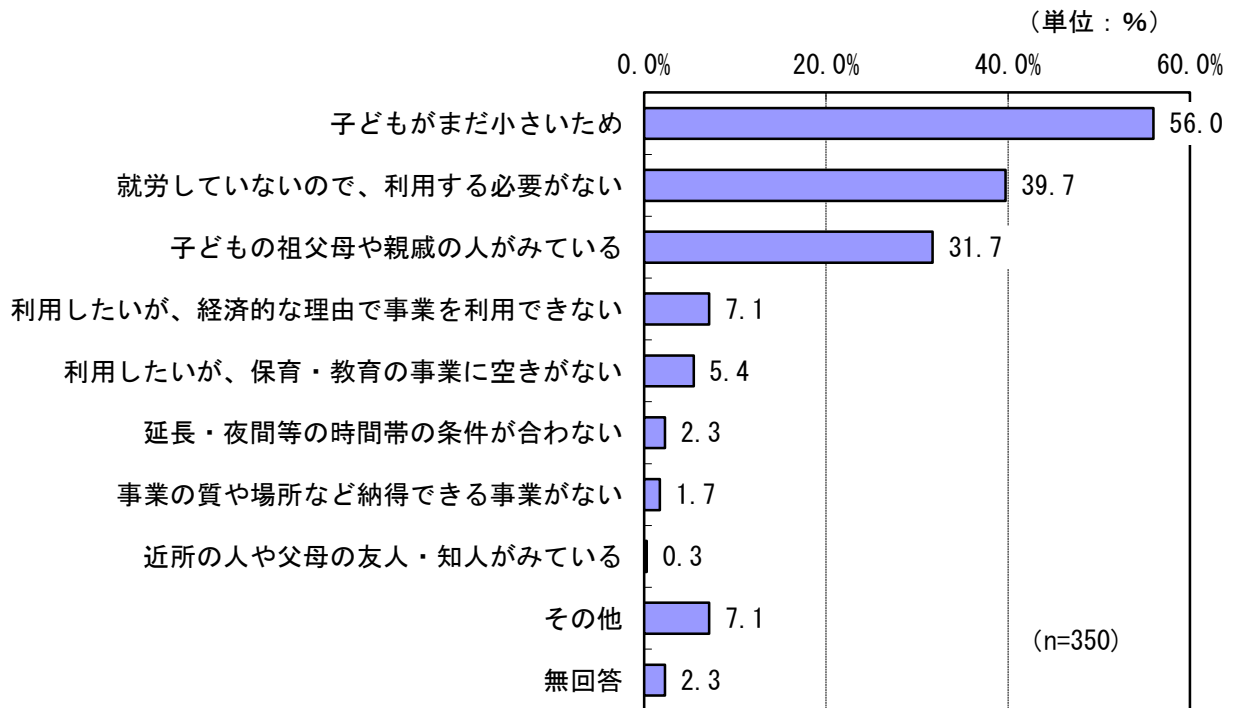
問 15-4 平日に定期的に教育・保育の事業を利用されている理由についてうかがいます。主な理由としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

定期的に教育・保育の事業を利用している理由は、「子育て・教育をしている方が現在就労している」が78.7%、「子どもの教育や発達のため」が66.9%となっており、この2つの選択肢に回答が集中しています。



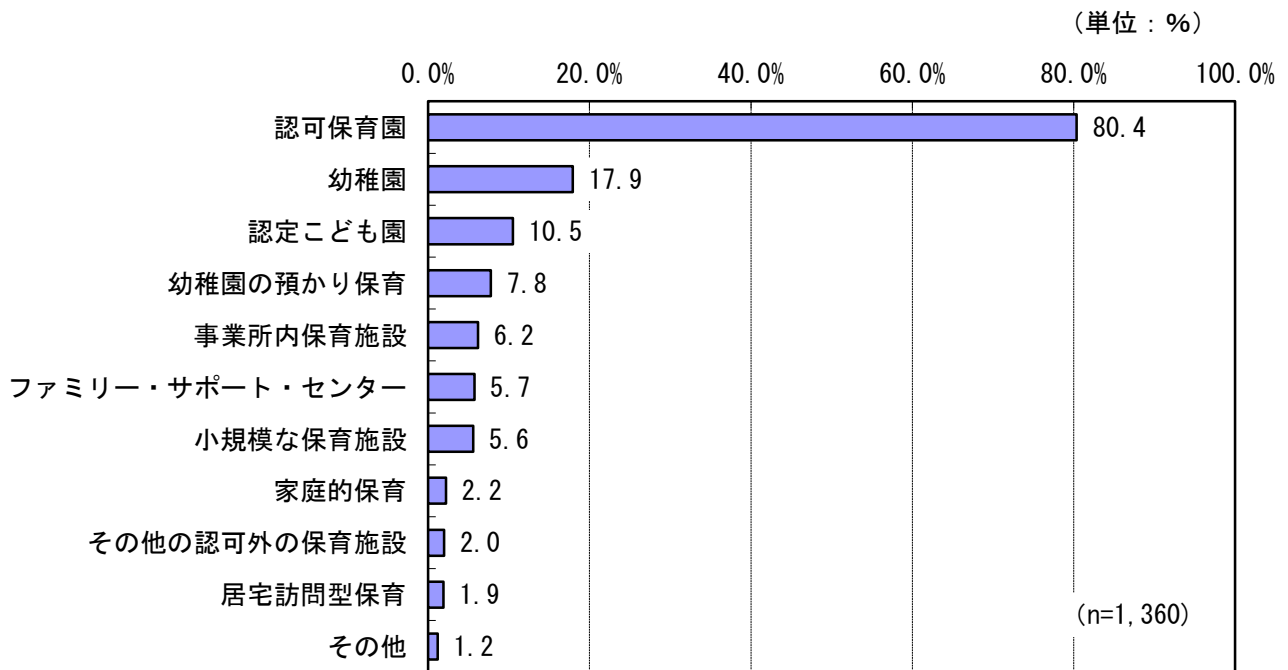
問 15-5 問 15 で「2. 利用していない」と回答された方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。理由としてあてはまるものすべてに○をつけてください。

利用していない理由では「子どもがまだ小さいため」が 56.0%と最も多く、「就労していないので、利用する必要がない」が 39.7%、「子どもの祖父母や親戚の人がみている」が 31.7%となっています。



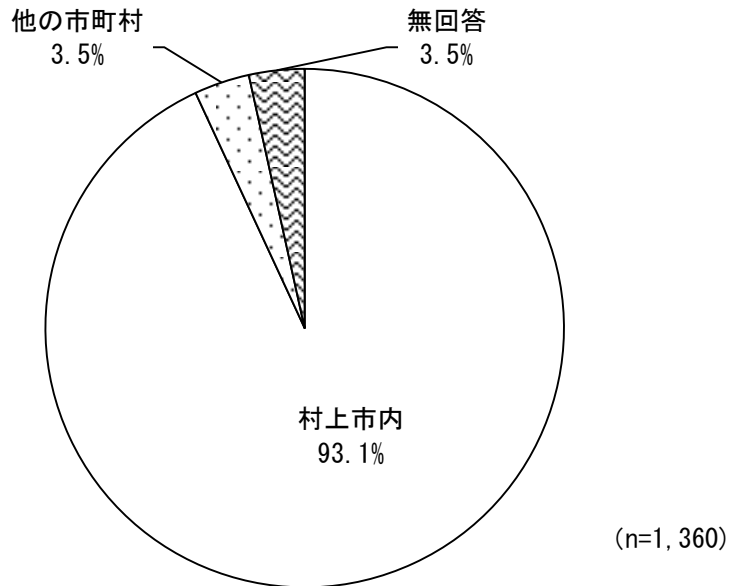
問 16 すべての方にうかがいます。現在利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業についてお答えください。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「認可保育園」が80.4%、「幼稚園」が17.9%となっています。また「認定こども園」は10.5%、「幼稚園の預かり保育」は7.8%です。



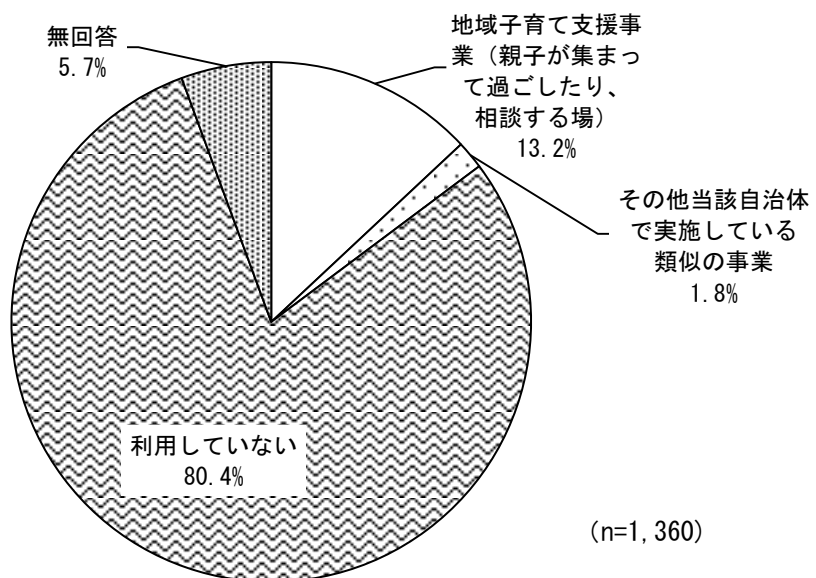
問 16-1 教育・保育事業を利用したい場所はどこですか。あてはまるものに○をつけてください。

「村上市内」が93.1%で大多数となっています。

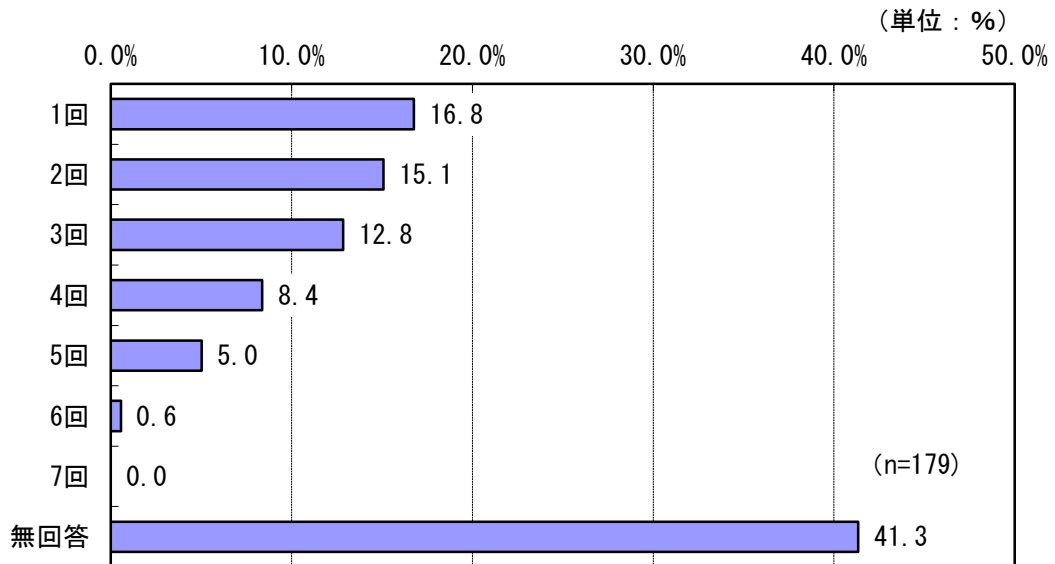


問 17 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援拠事業を利用していますか。次の中から、利用されているものすべてに○をつけてください。また、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

「利用していない」が80.4%と最も多くなっています。利用している人は、「地域子育て支援事業（親子が集まって過ごしたり、相談する場）」が13.2%、「その他当該自治体で実施している類似の事業」が1.8%となっています。

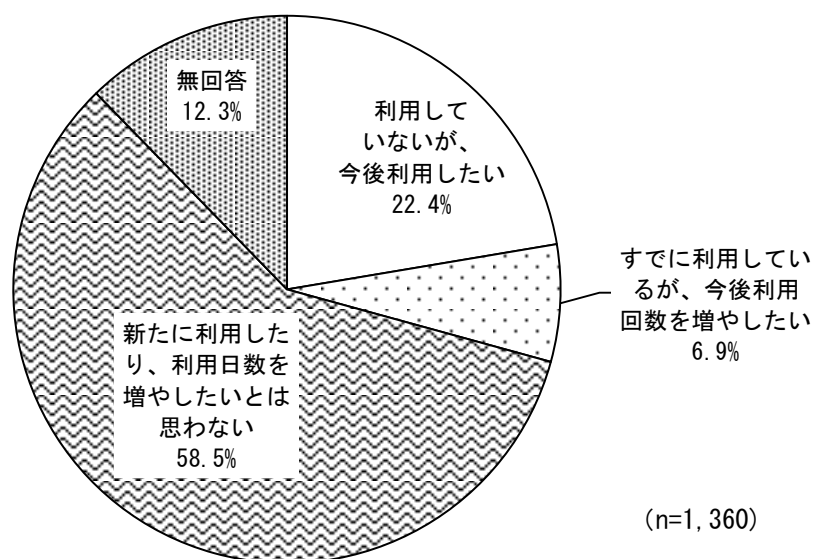


「地域子育て支援事業（親子が集まって過ごしたり、相談する場）」の利用者(179人)の利用回数は、「週1回」が16.8%、「週2回」が15.1%、「週3回」が12.8%となっており、利用者の平均は1週間で2.5回となっています。



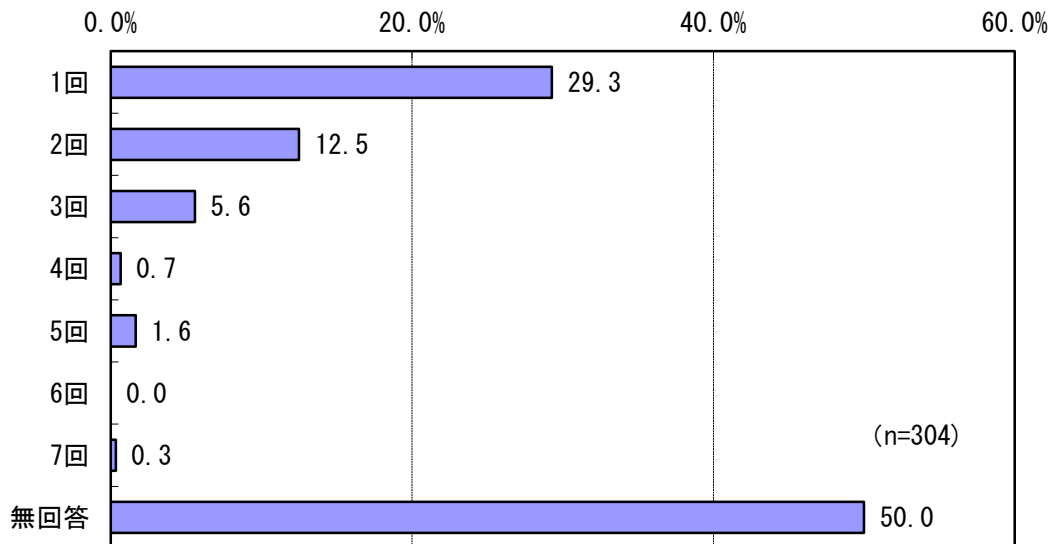
問18 問17のような地域子育て支援拠点事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いますか。あてはまるものひとつに○をつけ、おおよその利用回数（頻度）を口内に数字でご記入ください。

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が58.5%と最も多く、「利用していないが、今後利用したい」は22.4%です。「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」は6.9%となっています。



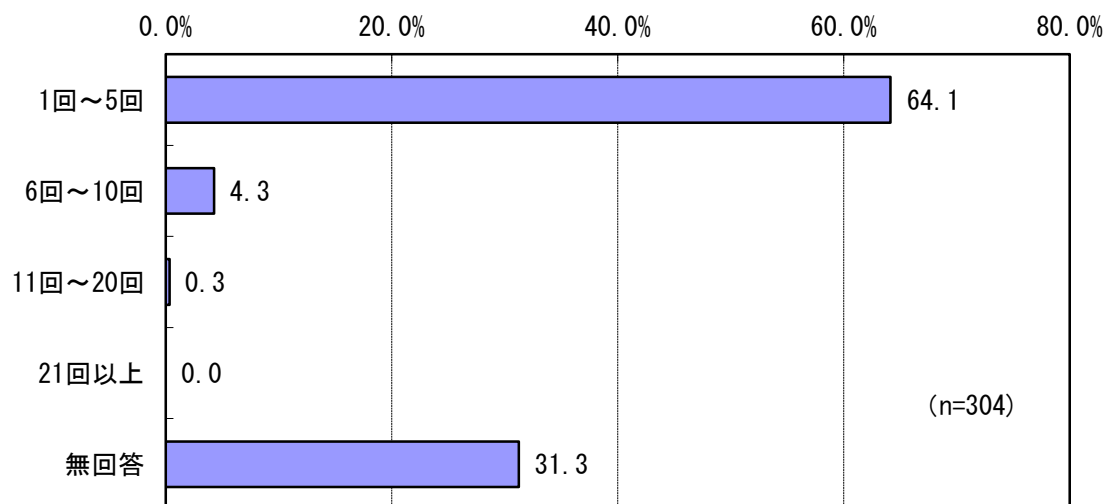
「利用していないが、今後利用したい」という人（304人）の利用希望は「週1回」が29.3%で、最も多く「週2回」が12.5%となっています。

(単位：%)



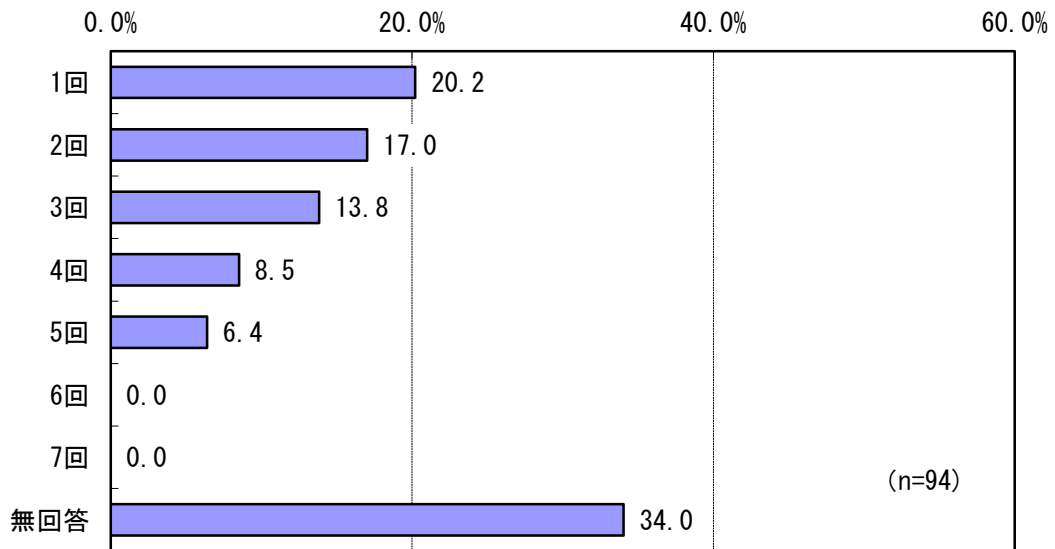
また月単位では「1回～5回」が64.1%と過半数となっています。

(単位：%)



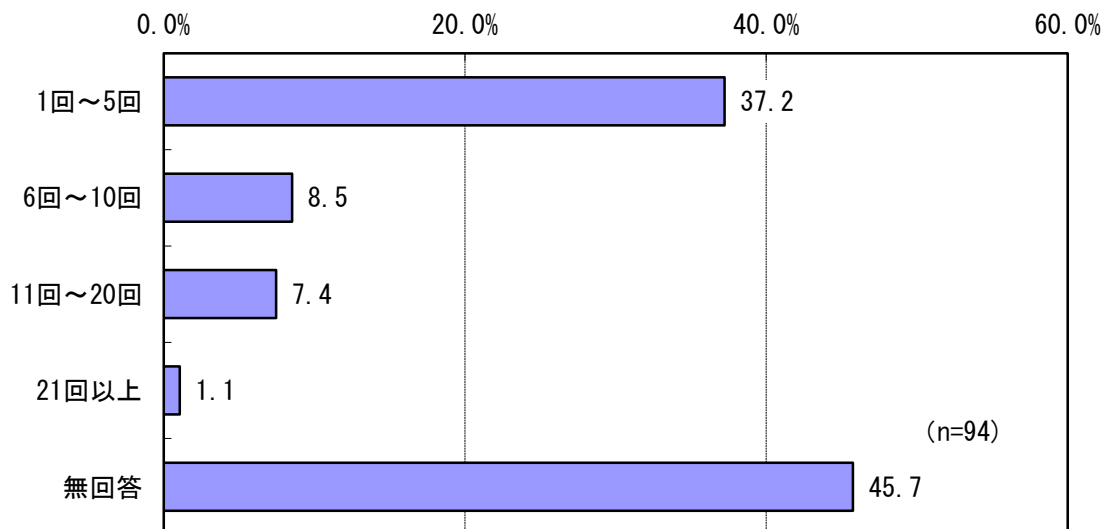
「すでに利用しているが、今後利用回数を増やしたい」人（94人）では、「週1回」が20.2%、「週2回」が17.0%、「週3回」が13.8%となっており、現況の利用実績をやや上回る希望となっています。

（単位：％）



また月単位では「1回～5回」が37.2%、「6回～10回」が8.5%などとなっています。

（単位：％）



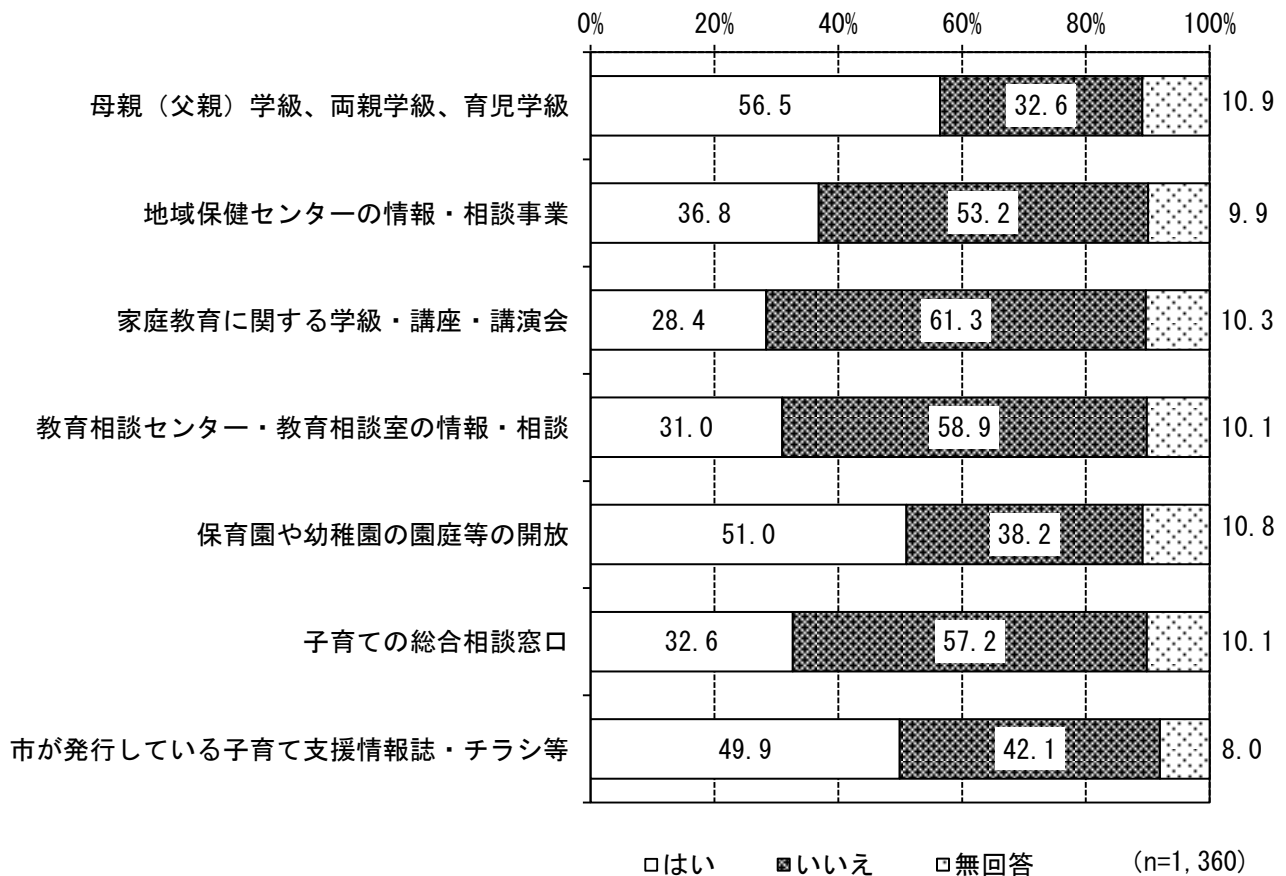
問 19 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに「はい」は「1」、「いいえ」は「2」のいずれかに○をつけてください。

(1) 知っている

「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が 56.5%、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が 51.0%、「市が発行している子育て支援情報誌・チラシ等」が 49.9%でよく知られています。

これに対し「家庭教育に関する学級・講座・講演会」は 28.4%、「教育相談センター・教育相談室の情報・相談」が 31.0%、「子育ての総合相談窓口」は 32.6%とやや低くなっています。

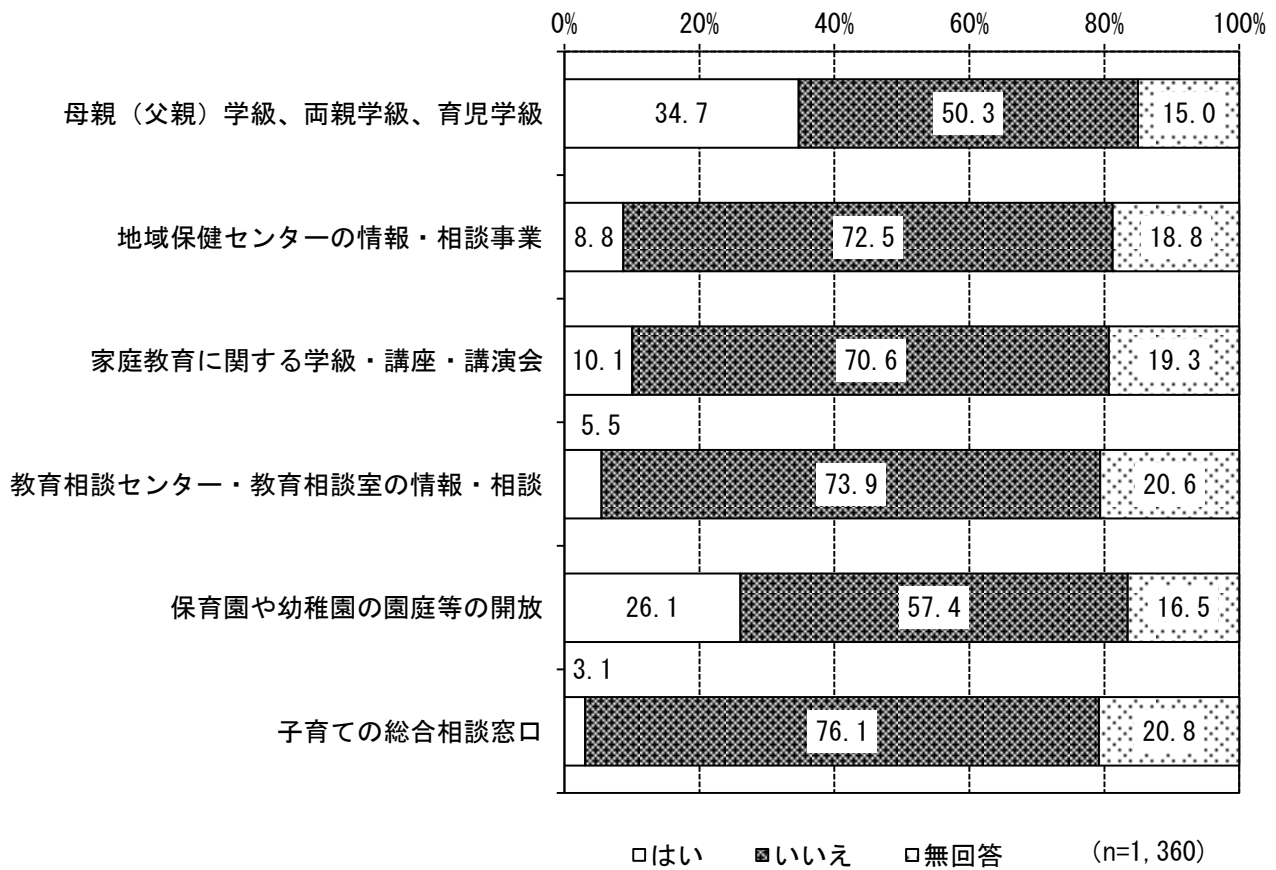
(単位：%)



(2) これまでに利用したことがある

利用したことがある事業は「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」が34.7%、「保育園や幼稚園の園庭等の開放」が26.1%となっており、(1)の知っている事業と同様の事業が高くなっています。

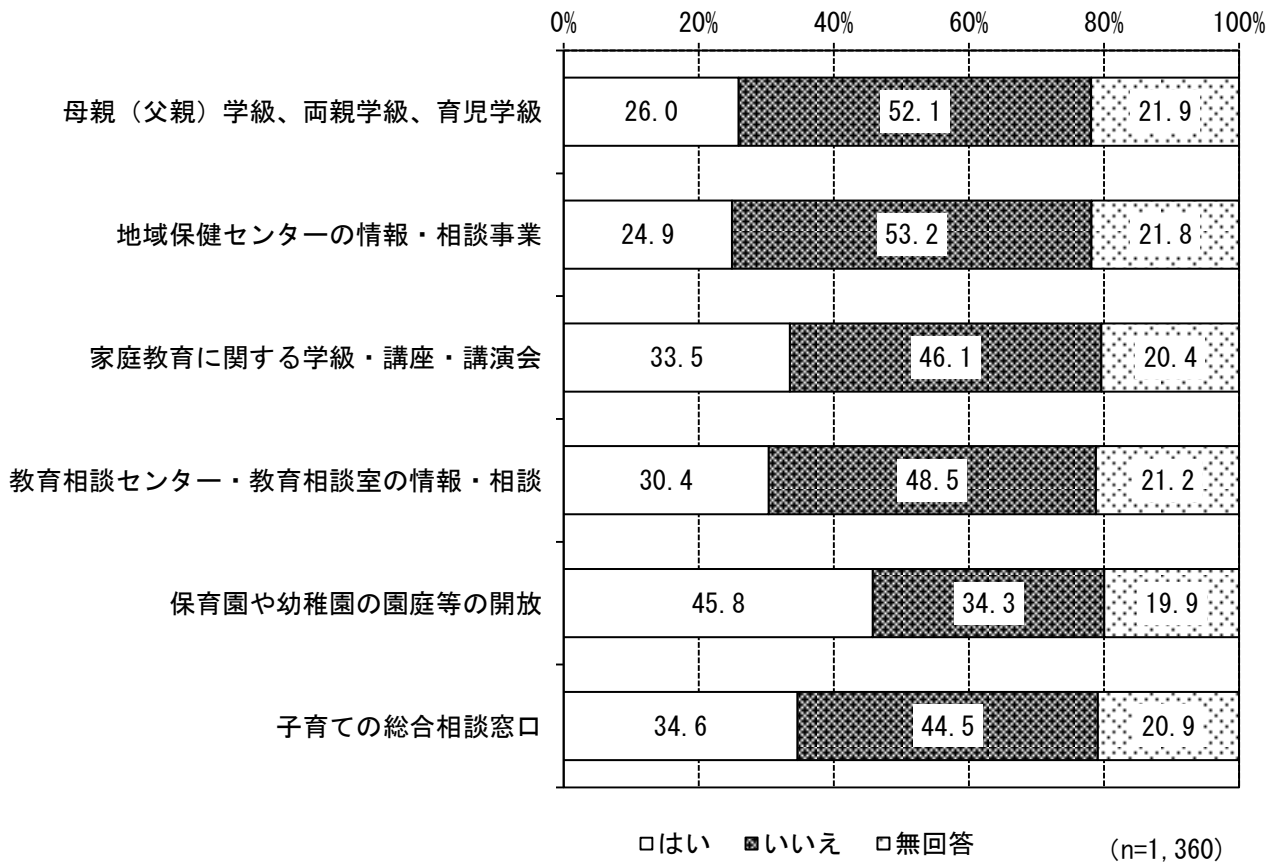
(単位：%)



(3) 今後利用したい

(2) に比べて「母親（父親）学級、両親学級、育児学級」を除いて各事業とも利用希望は実際の利用より高くなっており、最も少ない「地域保健センターの情報・相談事業」でも 24.9%となっています。

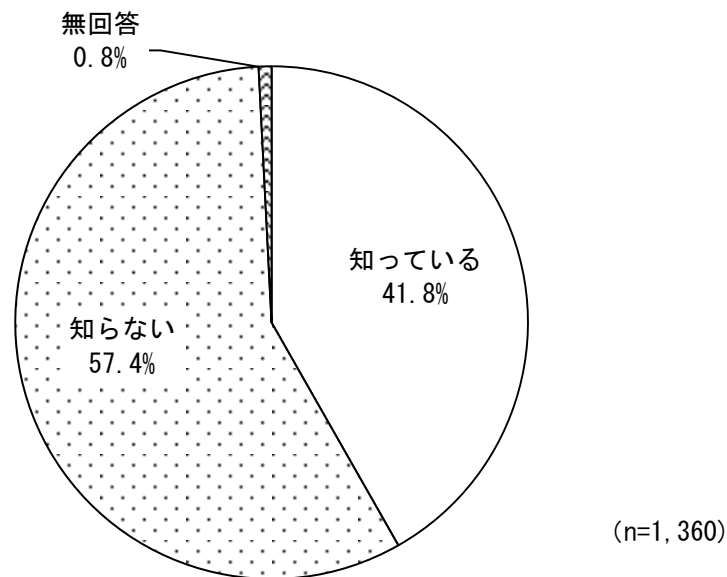
(単位：%)



4 村上市ファミリー・サポート・センターの利用

問 20 村上市ファミリー・サポート・センターを知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

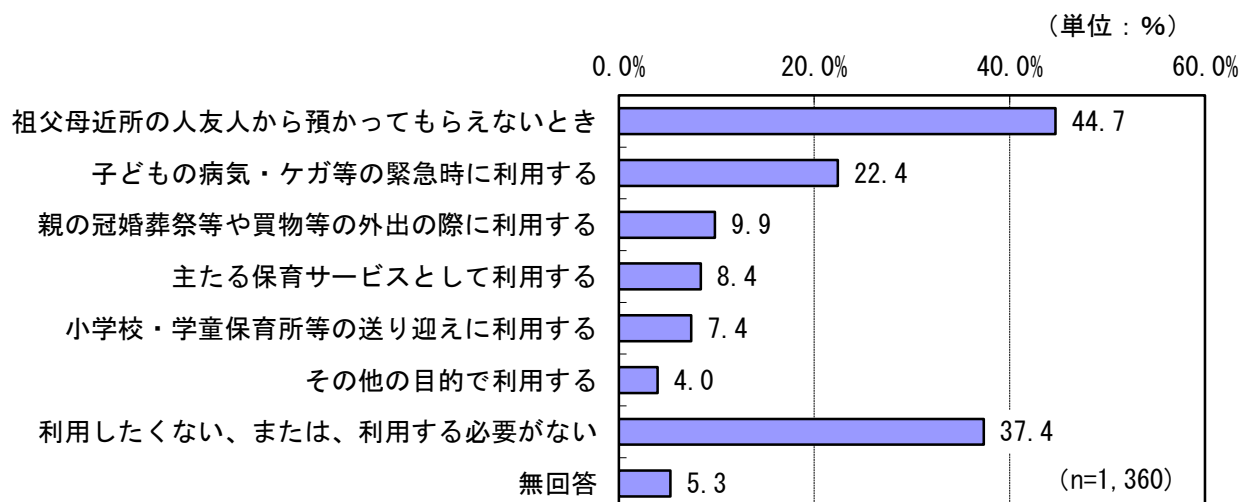
「知っている」は 41.8%、「知らない」は 57.4%で知らない方がやや多い結果となっています。



問 20-1 どのような目的で利用したいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

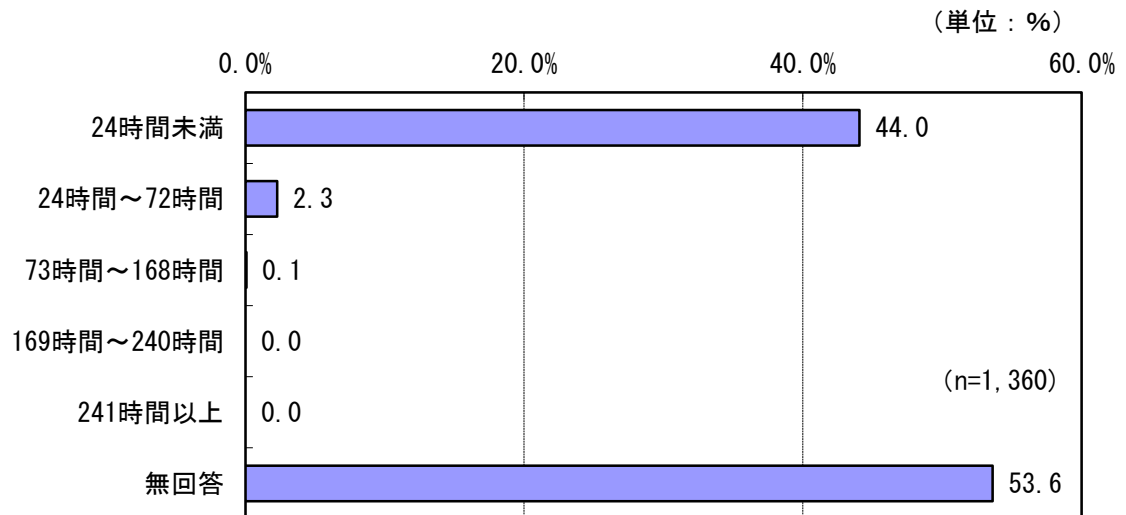
「祖父母、近所の人、友人から預かってもらえないとき」が 44.7%と最も多くなっています。「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用する」が 22.4%となっています。

「利用したくない、または、利用する必要がない」が 37.4%を占めていることからおよそ全体の半分から3分の2の利用希望があるものとみられます。



問 20-2 利用したい場合は、希望の時間はどれくらいですか。口内に数字でご記入ください。(数字は一桁に一字です。)

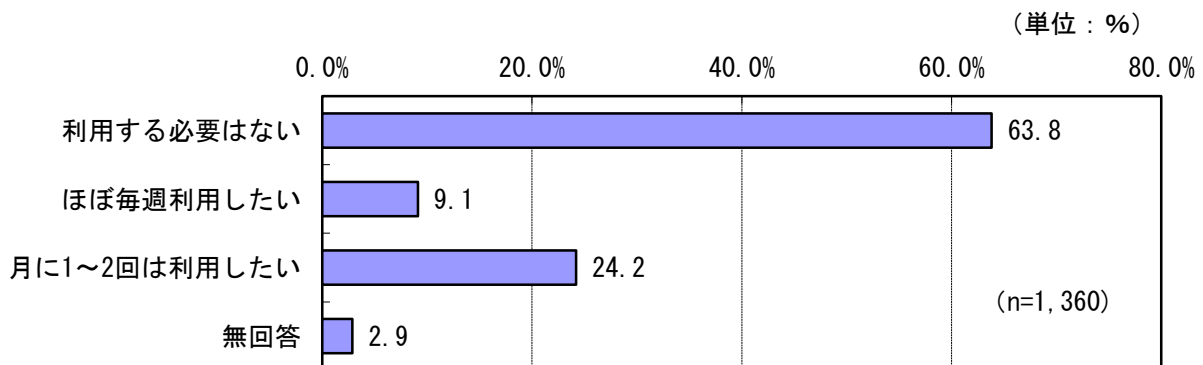
ファミリー・サポート・センターの利用希望時間は「24 時間未満」が 44.0%です。



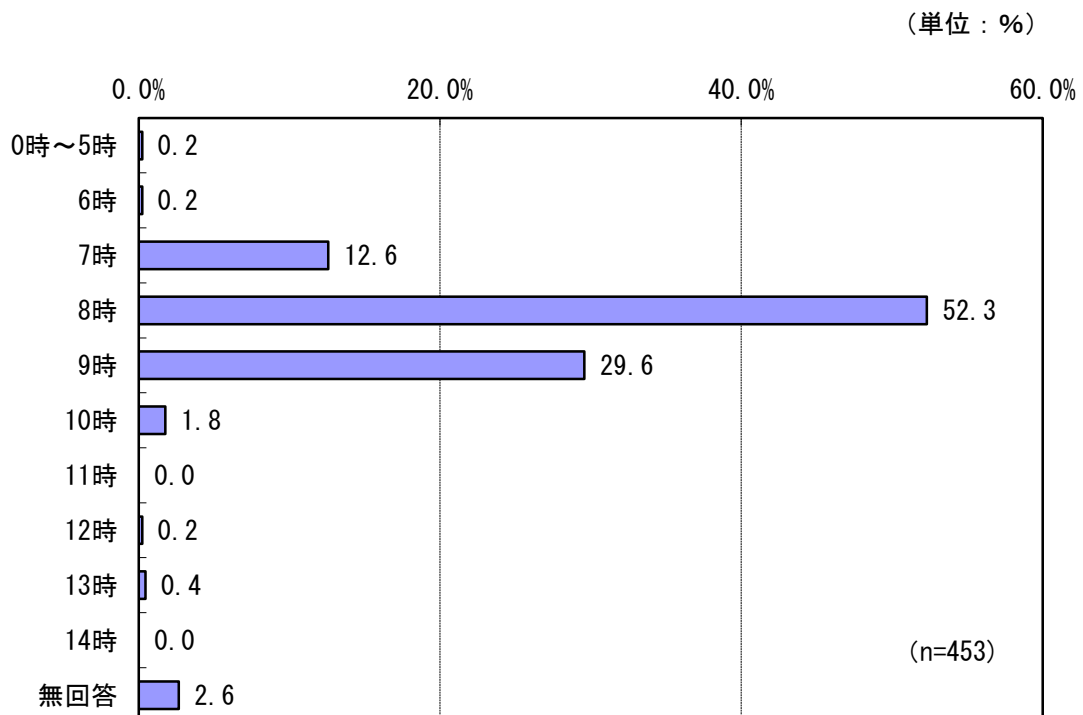
問 21 あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業の利用希望はありますか。（一時的な利用は除きます）希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に24時間制でご記入ください。

（1）土曜日

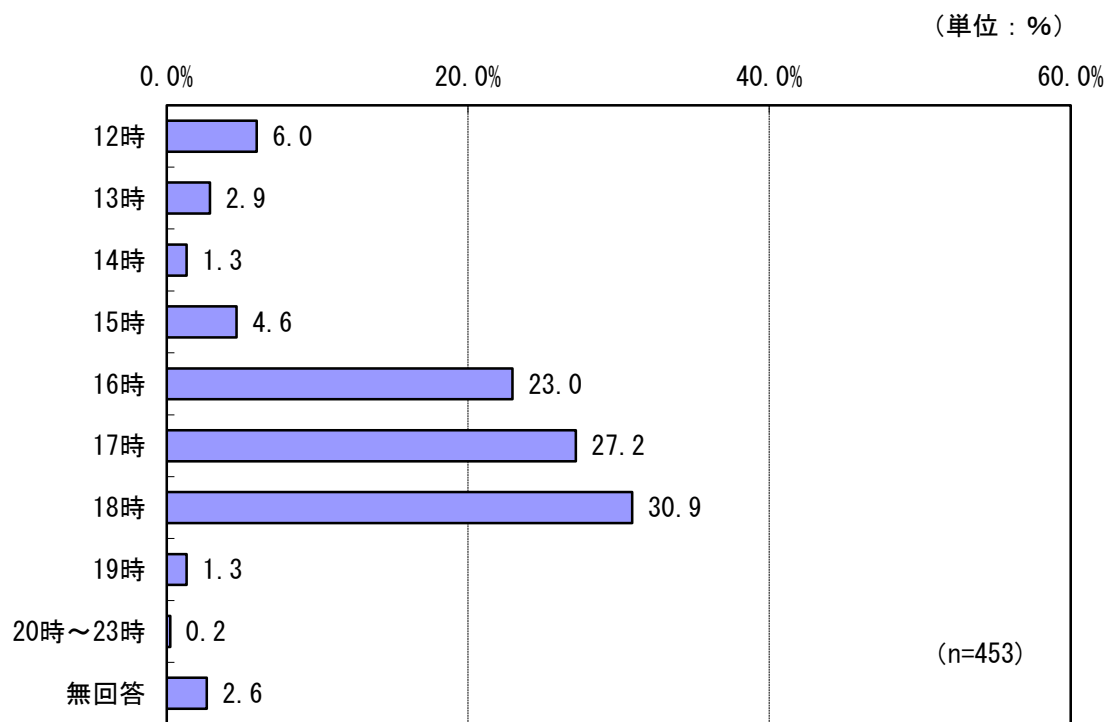
土曜日の希望は「月に1～2回は利用したい」が24.2%、「ほぼ毎週利用したい」が9.1%とあわせて33.3%と3人に1人の利用希望がみられます。



利用時間の開始時刻は「8時」が52.3%と最も多く、「9時」が29.6%となっています。

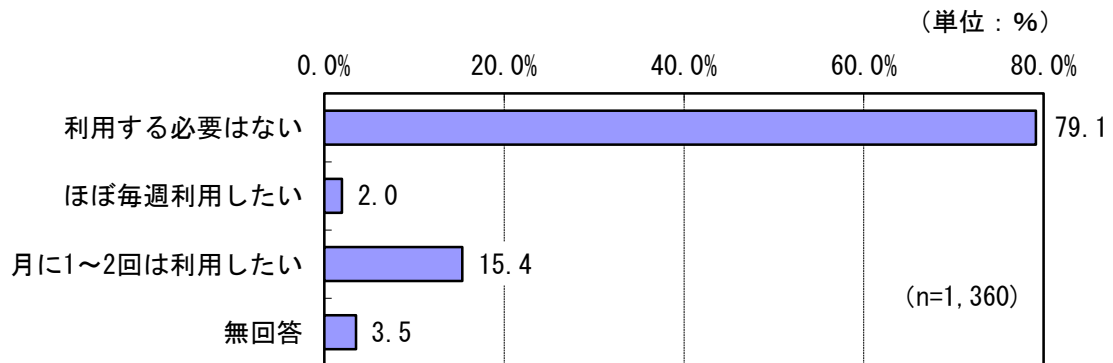


終了時刻は「16時」が23.0%、「17時」が27.2%、「18時」が30.9%となっています。

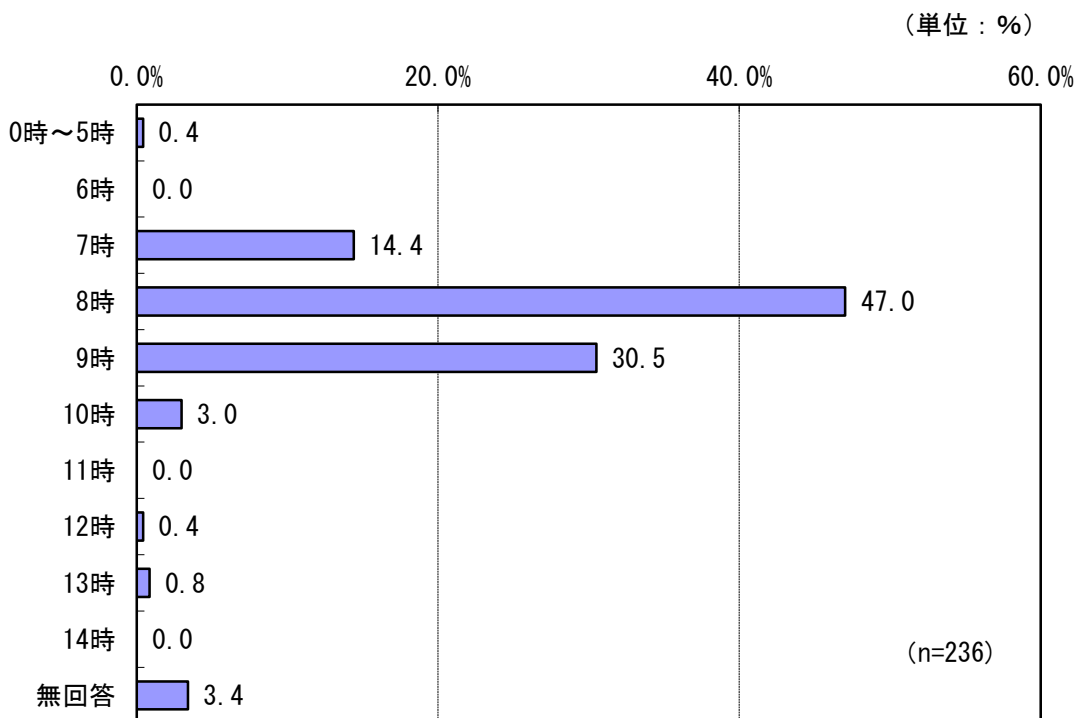


(2) 日曜日・祝日

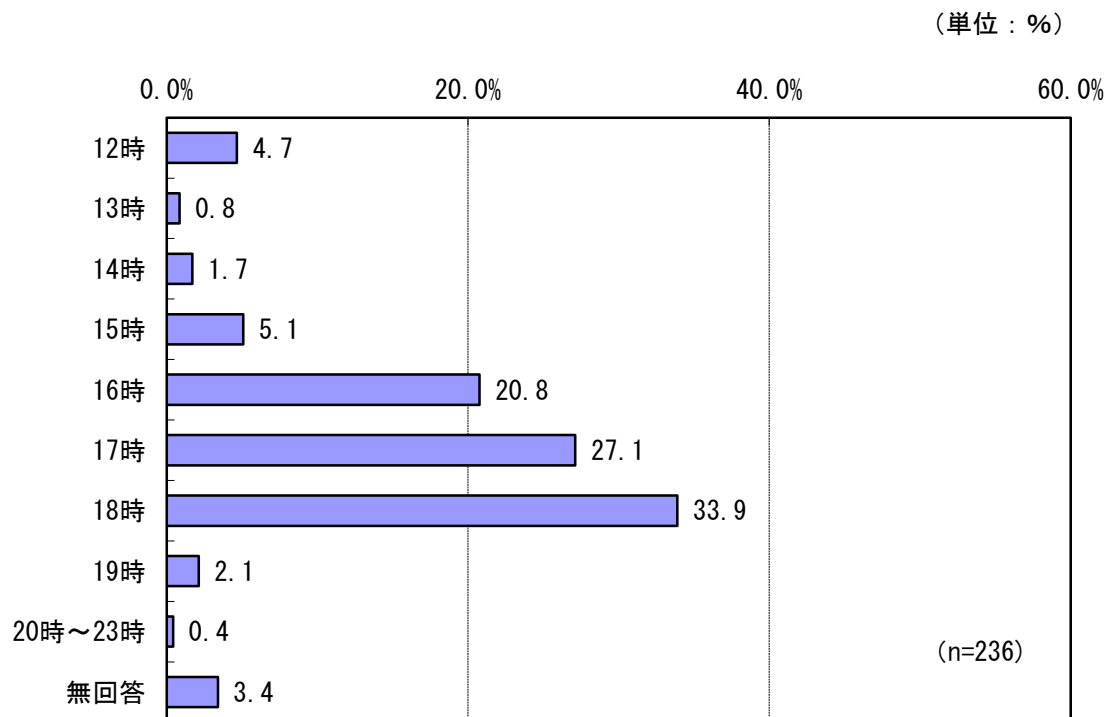
日曜日・祝日の希望は「月に1～2回は利用したい」が15.4%、「ほぼ毎週利用したい」が2.0%とあわせて17.4%となり、およそ6人に1人の利用希望がみられます。



日曜日の開始時刻は「8時」が47.0%、「9時」が30.5%、「7時」が14.4%となっています。

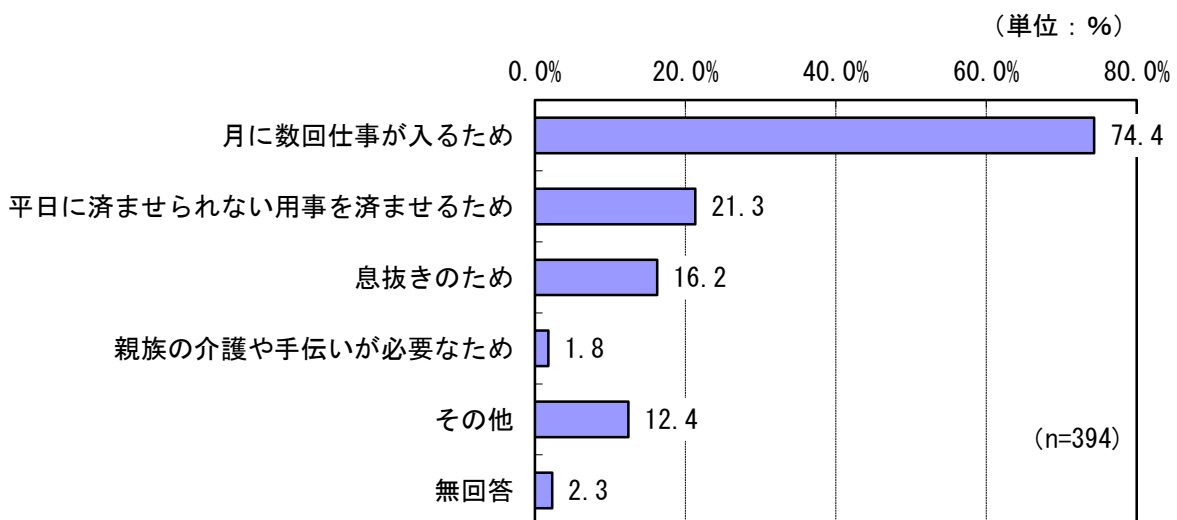


終了時刻は「16時」が20.8%、「17時」が27.1%、「18時」が33.9%となっており、おむね土曜日の傾向と同様となっています。



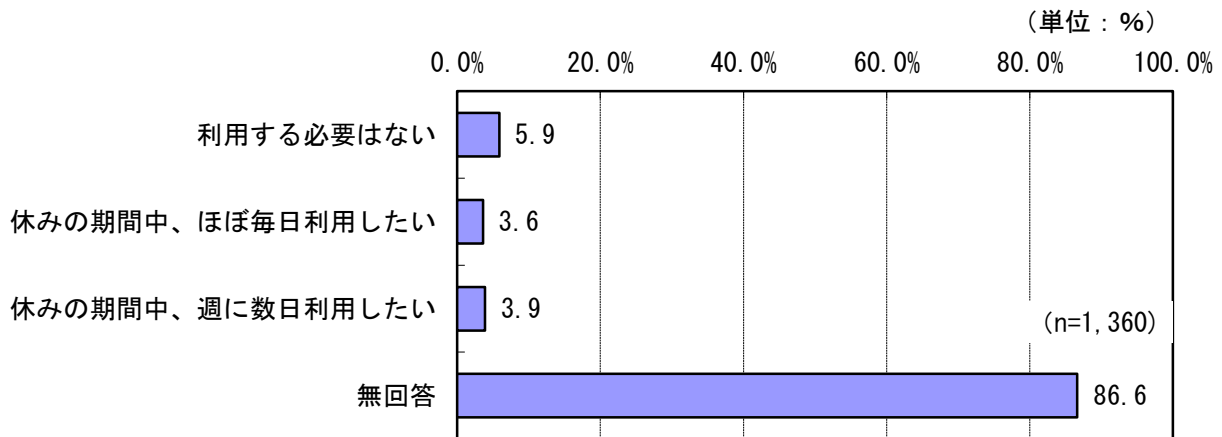
問21-1 問21の(1)もしくは(2)で「3.月に1~2回は利用したい」と回答された方にうかがいます。毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」が74.4%、「平日に済ませられない用事を済ませるため」が21.3%と仕事や用事が多くなっています。

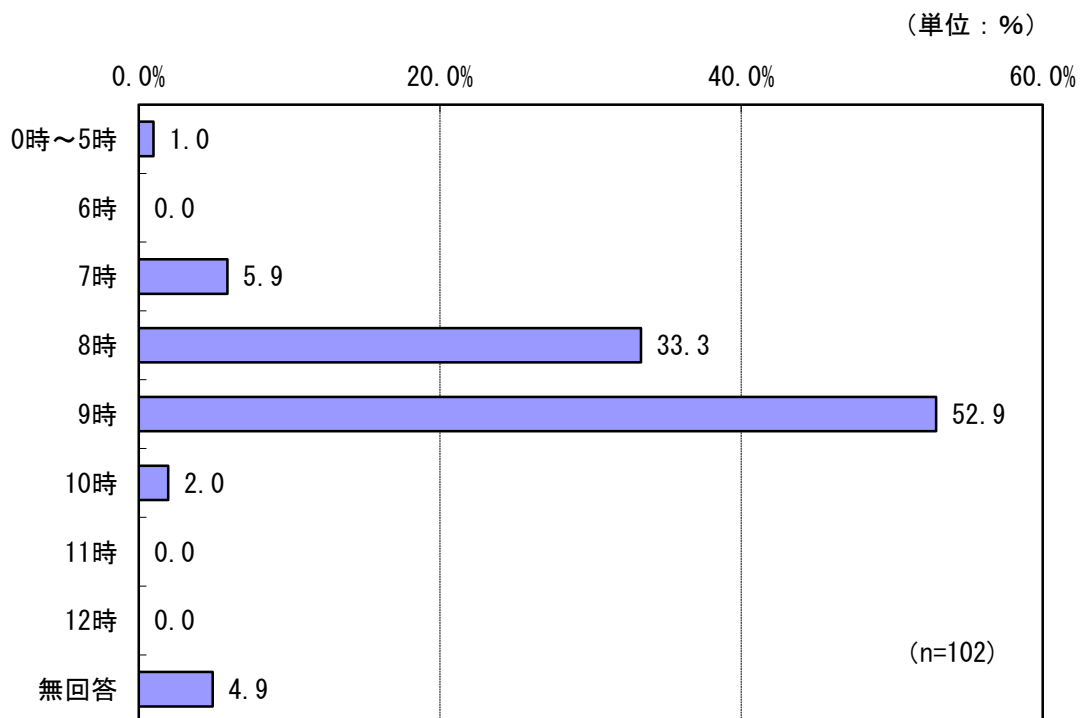


問 22 「幼稚園」を利用されている方にうかがいます。あて名のお子さんについて、夏休み・冬休みなど長期休暇中の教育・保育の事業の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい時間帯を口内に24時間制でご記入ください。

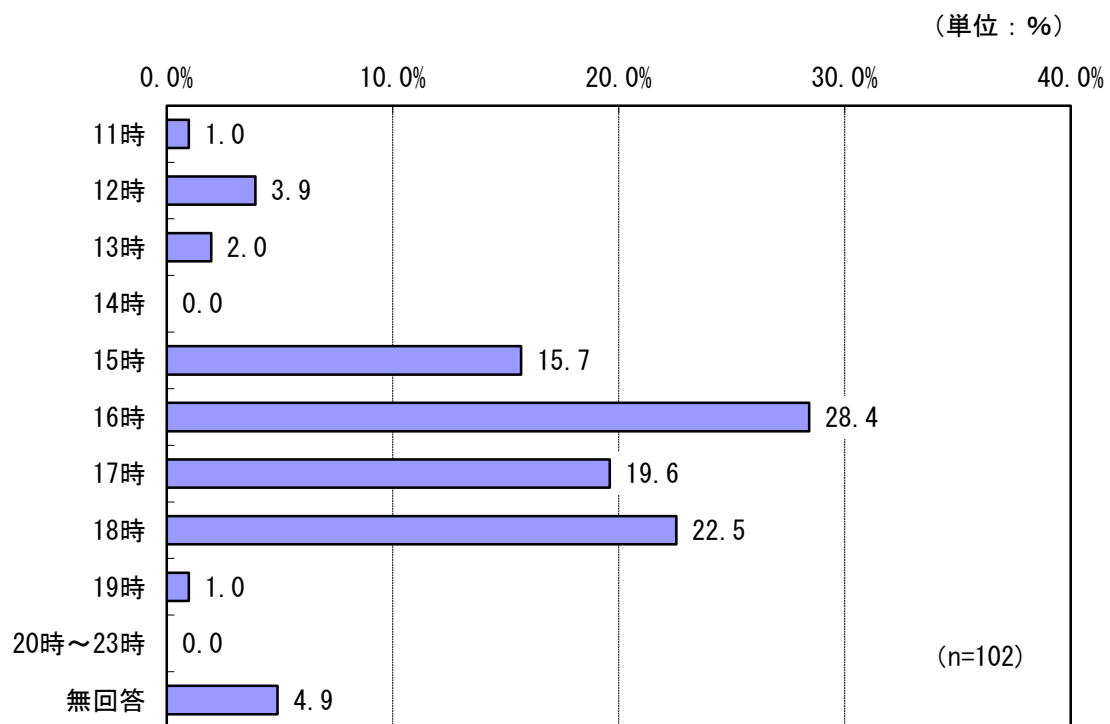
回答者はわずかでほとんど（86.6%）が「無回答」です。「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が3.6%、「休みの期間中、週に数日利用したい」が3.9%みられます。



開始時間はやや遅い「9時」が52.9%と最も多く、「8時」が33.3%が続いています。

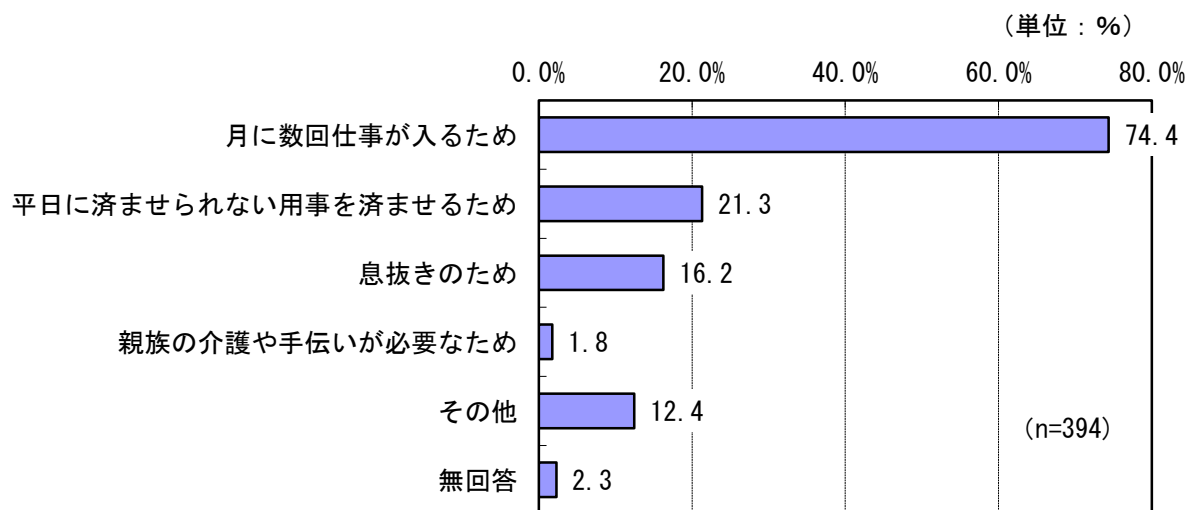


また、終了時間は「16時」が28.4%、「18時」が22.5%などとなっています。



問 22-1 問 22 で、「3.週に数日利用したい」と回答された方にうかがいます。毎日ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「月に数回仕事が入るため」が74.4%と多く、「平日に済ませられない用事を済ませるため」が21.3%と仕事や用事のためという回答が多くみられます。

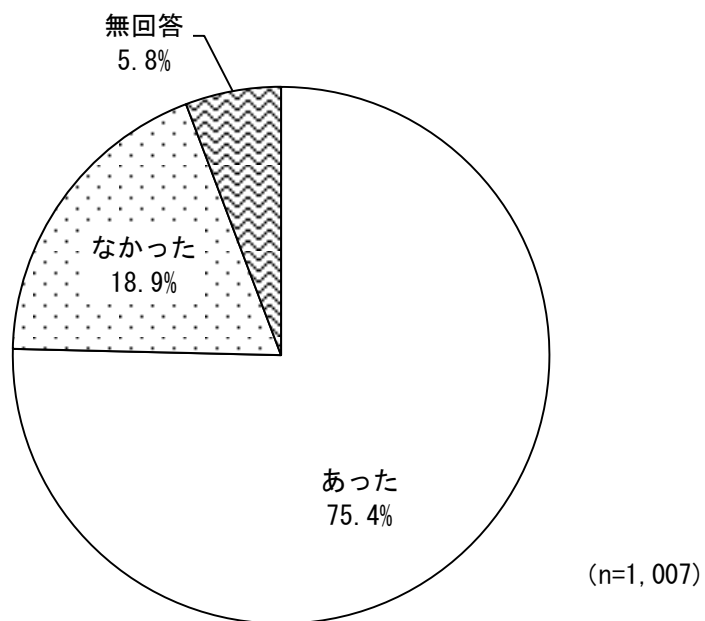


5 病気やケガで通常の事業が利用できないとき

問 23 平日の定期的な教育・保育事業を利用している方（問 15 で「1. 利用している」と回答された方）にうかがいます。問 15 で利用していないと回答された方は問 24 へお進みください。

この1年間にあて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。あてはまるものに○をつけてください。

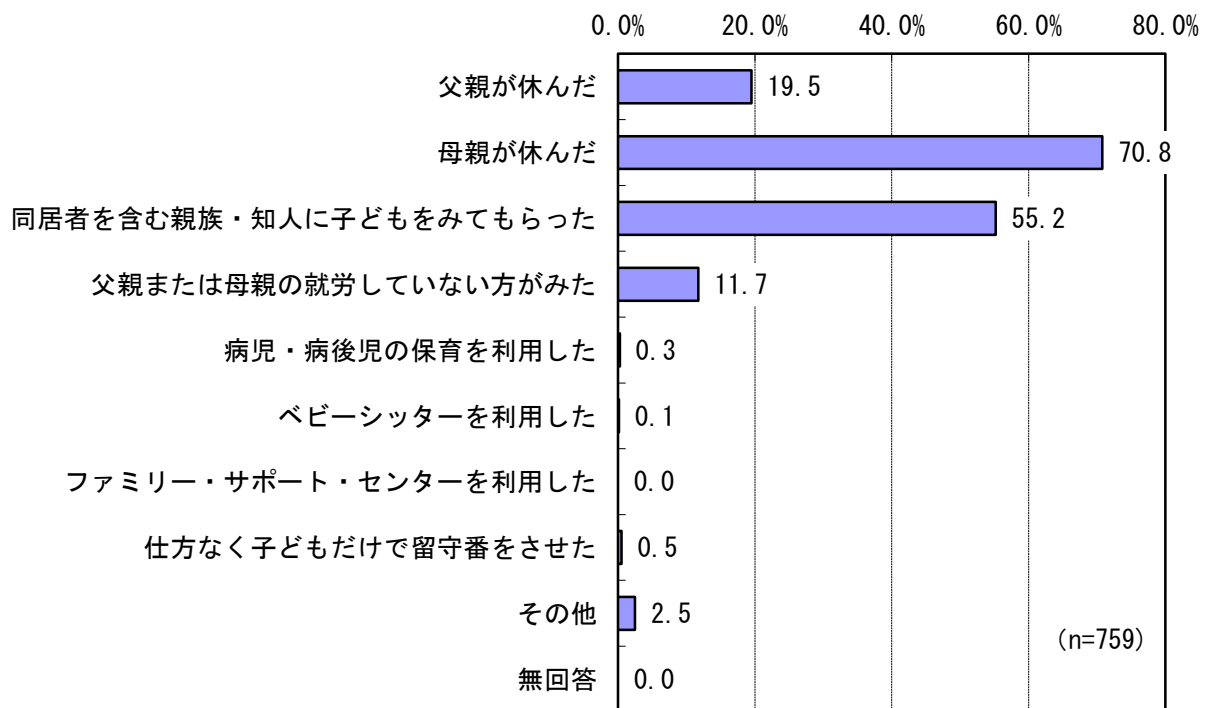
「あった」が75.4%で4人のうち3人の高い割合となっています。



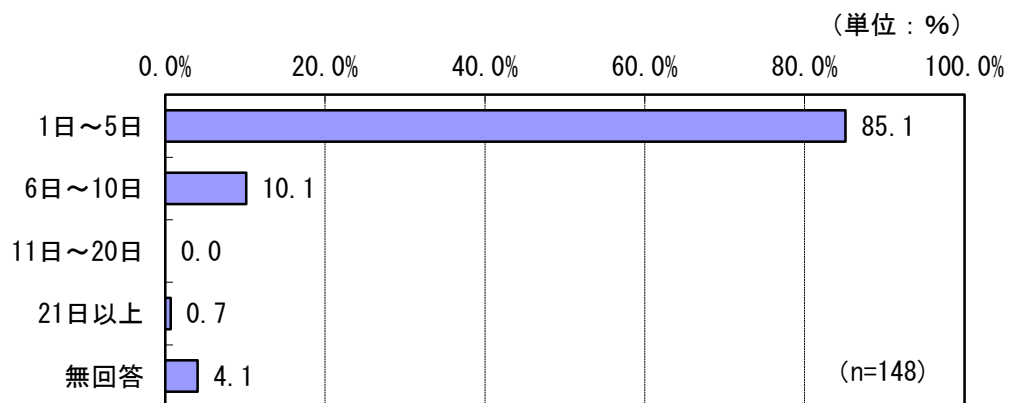
問 23-1 問 23 で「1. あった」と回答された方にうかがいます。この1年間の対処方法とそれぞれの日数はおおよそ何日ですか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数を口内に数字でご記入ください。

「母親が休んだ」が最も多く 70.8%、「同居者を含む親族・知人に子どもをみてもらった」が 55.2%となっていますが、「父親が休んだ」は 19.5%です。

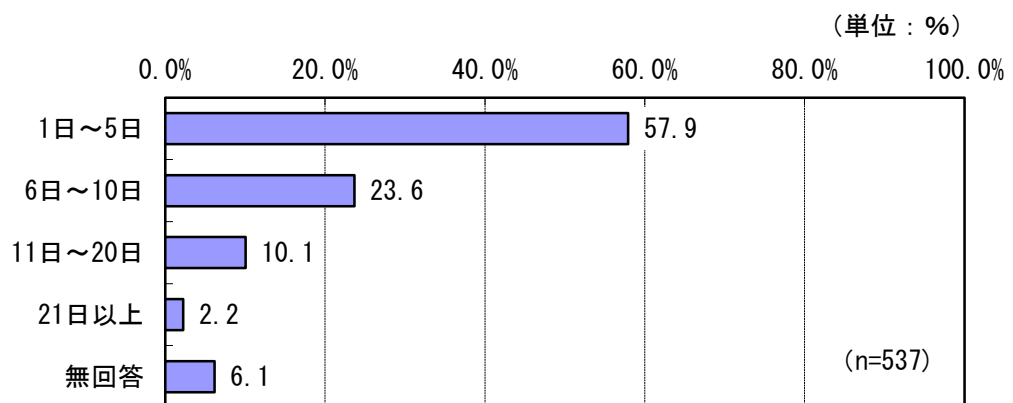
(単位：%)



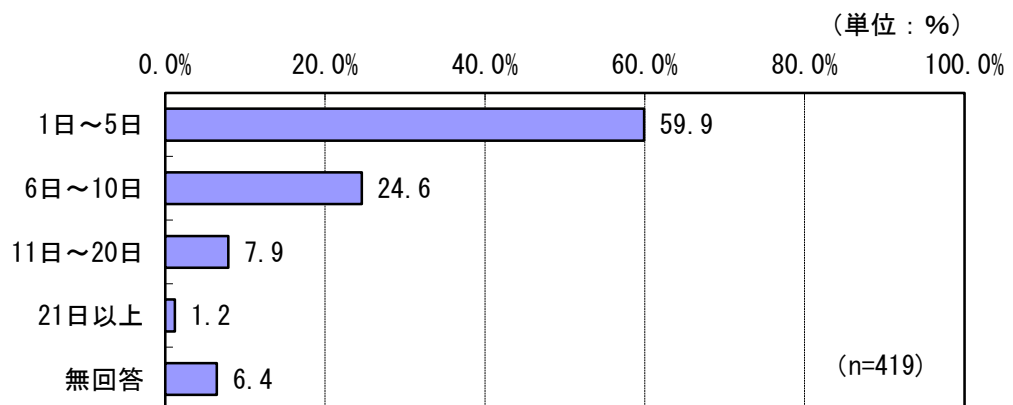
「父親が休んだ」日数は、「1日～5日」が85.1%と大多数です。



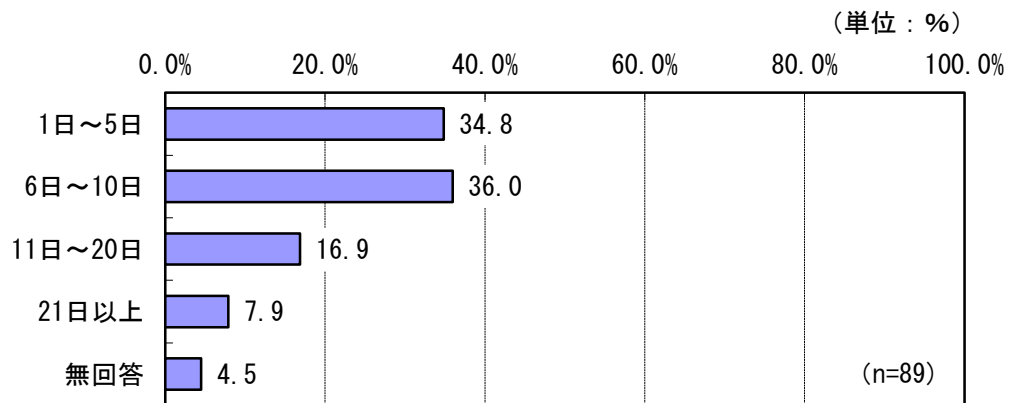
「母親が休んだ」日数は、「1日～5日」が57.9%、「6日～10日」が23.6%などとなっており、父親より長くなっています。



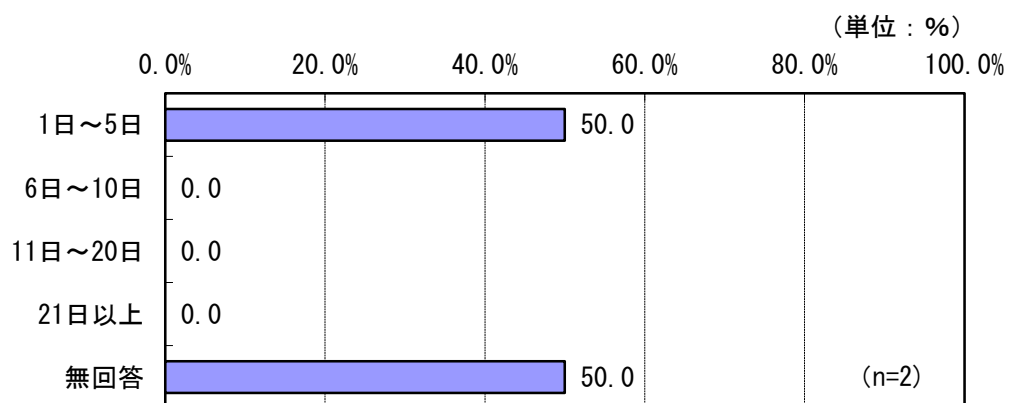
「親族・知人に子どもをみてもらった」場合は、「1日～5日」が59.9%、「6日～10日」が24.6%などとなっており、母親とほぼ同じ長さです。



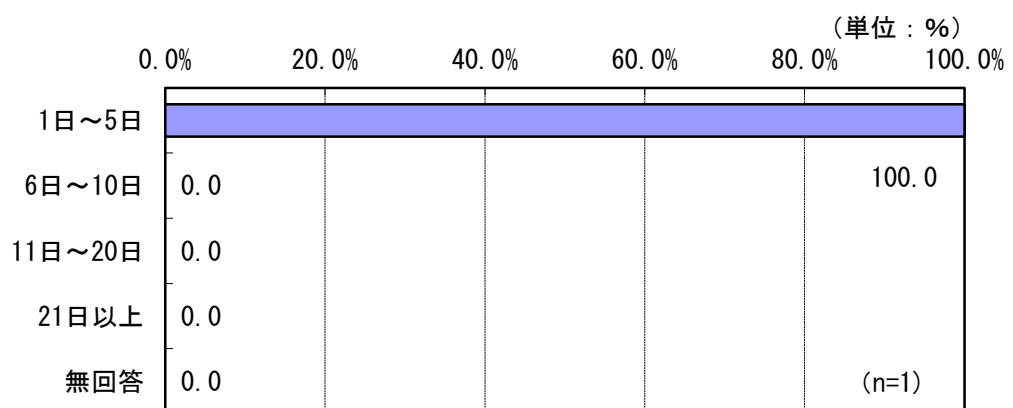
父親または母親の就労していない方がみたところでは「1日～5日」が34.8%と少なく、「6日～10日」が36.0%となっています。



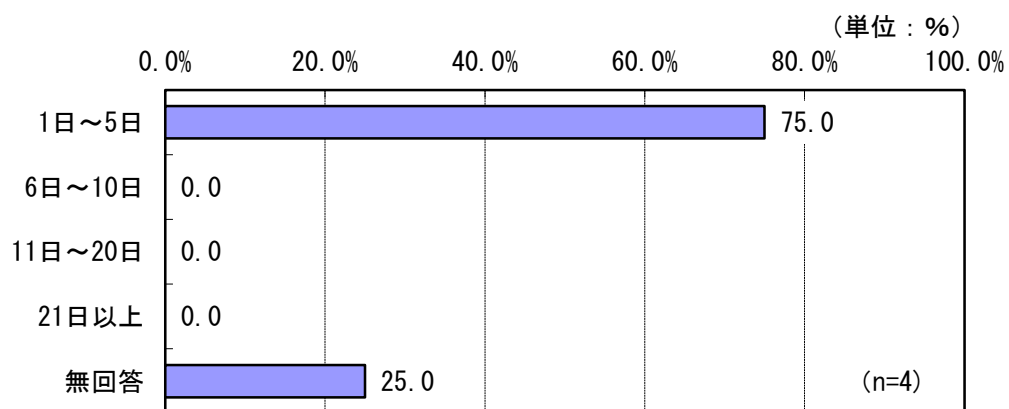
病児・病後児の保育を利用した人は2人だけです。1人が「1日～5日」と回答しています。



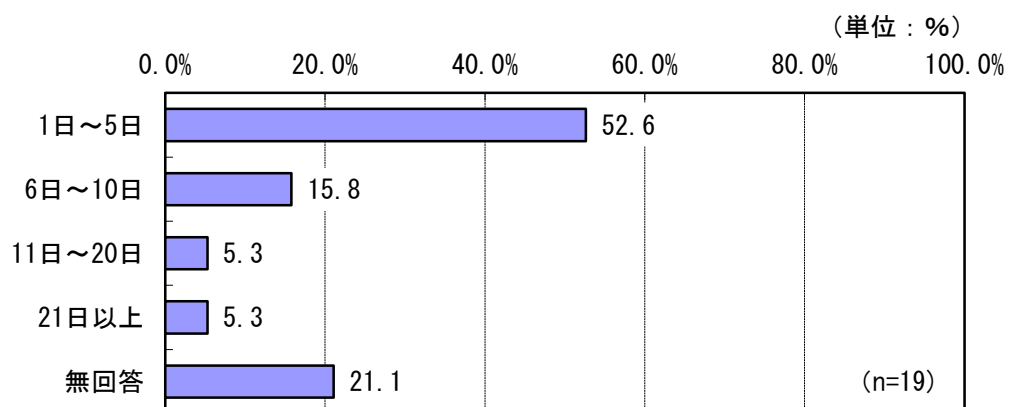
ベビーシッターは1人だけで「1日～5日」の利用です。



「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」人は4人、うち3人が「1日～5日」となっています。



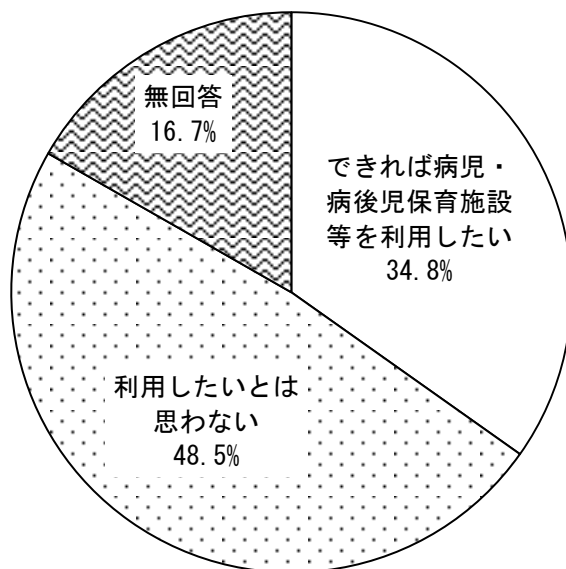
「その他」の日数は、「1日～5日」が52.6%、「6日～10日」が15.8%です。



問 23-2 問 23-1で「ア.」、「イ.」のいずれかに回答された方にうかがいます。

その際に、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。あてはまるものひとつに○をつけ、日数を口内に数字でご記入ください。

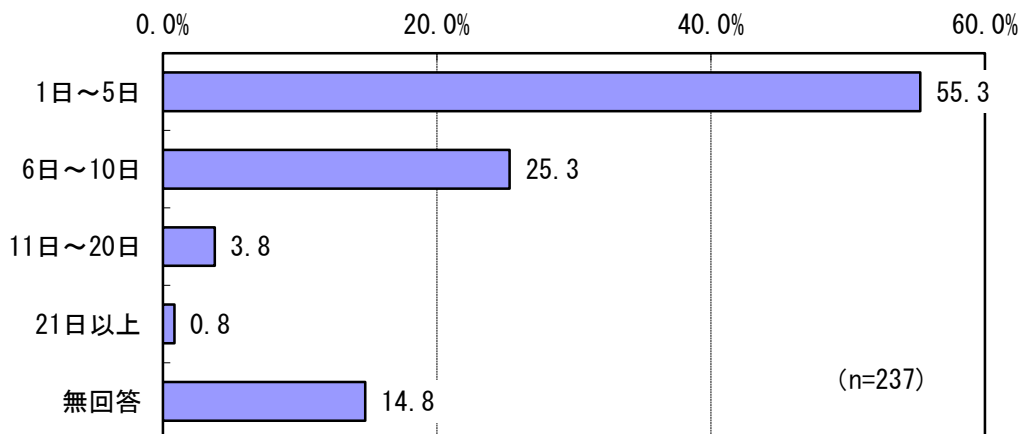
「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は 34.8%、「利用したいとは思わない」が 48.5%です。



(n=681)

その日数は、「1日～5日」が 55.3%、「6日～10日」が 25.3%です。

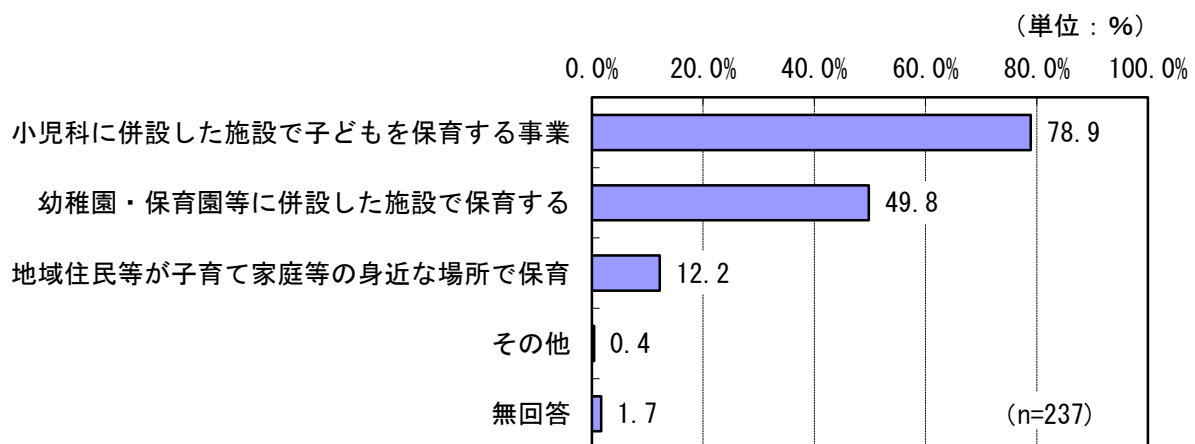
(単位：%)



(n=237)

問 23-3 問 23-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答された方にかがいます。病児・病後児を預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われるですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

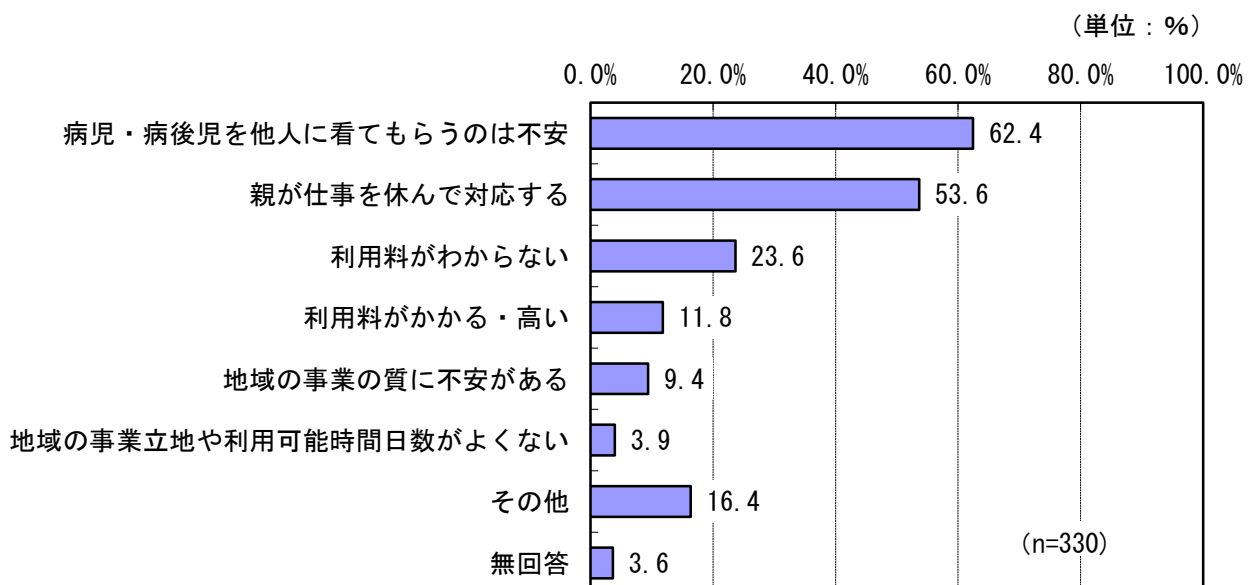
「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 78.9%と 8割に近い高い回答がみられます。また、「幼稚園・保育園等に併設した施設で保育する」が 49.8%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育」は 12.2%です。



問 23-2 で「2. 利用したいと思わない」と回答された方にかがいます。

問 23-4 そう思われる理由についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

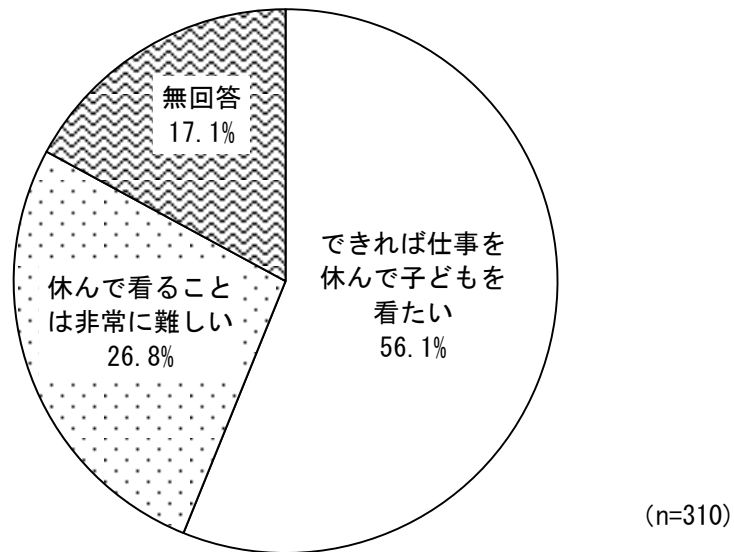
「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 62.4%、「親が仕事を休んで対応する」が 53.6%で高い回答を集めています。



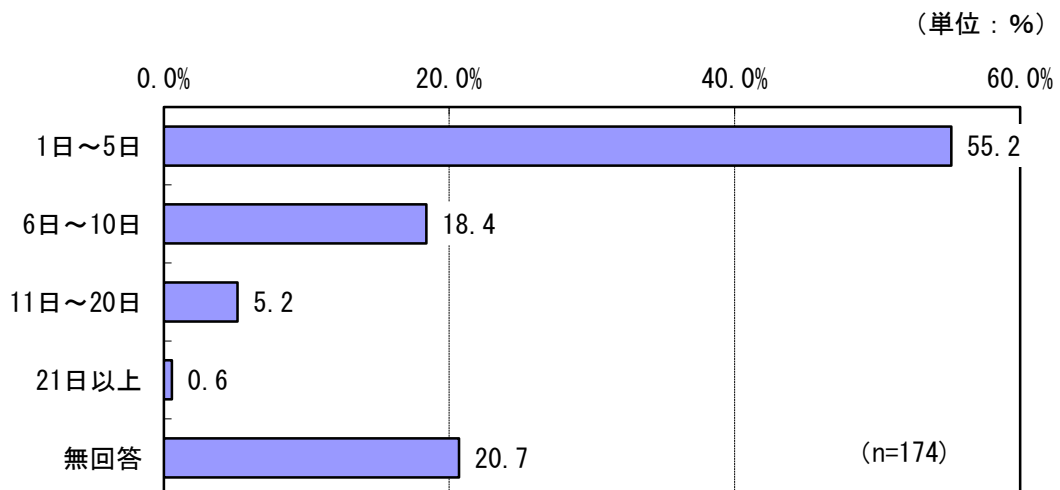
問 23-1 で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答された方にうかがいます。

問 23-5 その際に、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たい」と思われましたか。あてはまるものに○をつけ、仕事を休んで看たかった日数を口内に数字でご記入ください。

「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たい」が 56.1%で半数を超えています。「休んで看ることは非常に難しい」は 26.8%です。



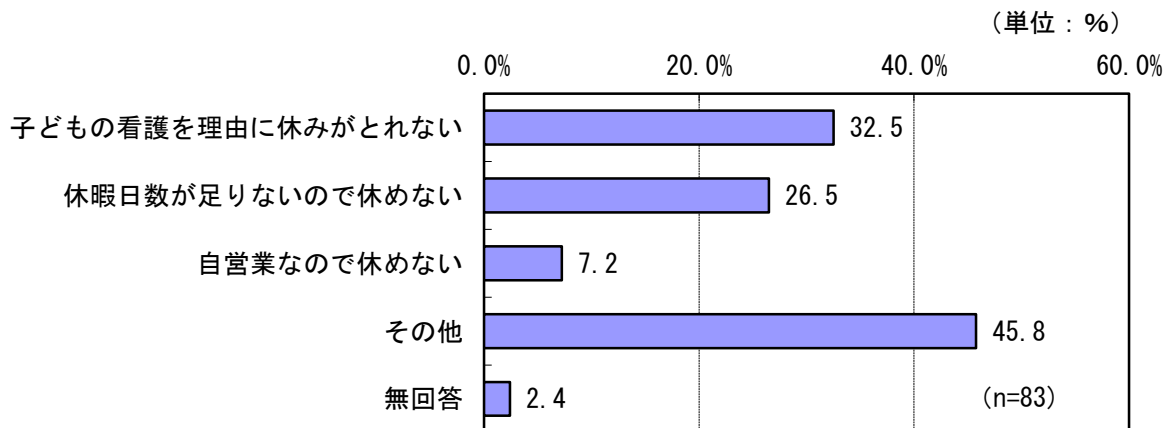
休みたい日数は、「1日～5日」が 55.2%、「6日～10日」が 18.4%です。



問 23-5 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」と回答された方にうかがいます。

問 23-6 そう思われる理由についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 32.5%、「休暇日数が足りないので休めない」が 26.5%です。「その他」が 45.8%もあり、多様な理由がうかがえます。



その他
交替勤務の為、その時々で休めない時がある
働き始めたばかりなので、休みがとりにくい
その日は休めない仕事であった
休暇日数は十分あり、子の看護を理由に休めるが、仕事が忙しかったり、何度も休むことになると思し出にくい
仕事が忙しく、休むと他で残業などのしわよせがでる
仕事上自分がないと困る
保育園行事や医者などで休んだり遅刻早退があるので、風邪や軽い病気では休めない
仕事が分担制の為仕事量が多い時は休めない
仕事の関係上休みを取りにくい
指名客の予約が入っていると休めない
休められる限りは休んだのでそれ以上は厳しかった
頻繁に休暇は取得しづらい
連続して数日休みを取る事が仕事上難しい
忙しく自分でないと仕事がまわらなかったため

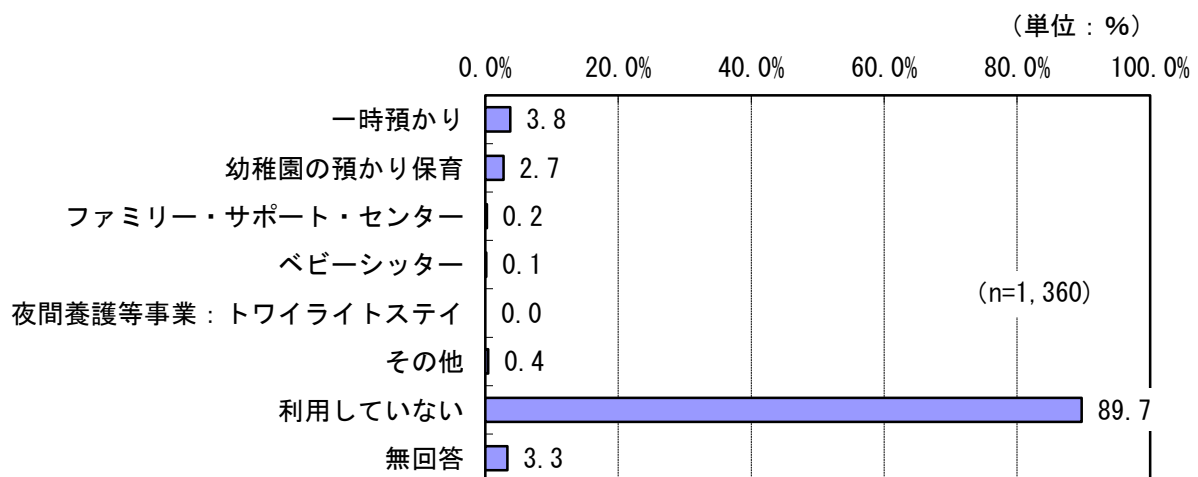
※一部意見を抜粋して掲載

6 不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用

問 24 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合はあてはまるものすべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）を口内に数字で記入してください。

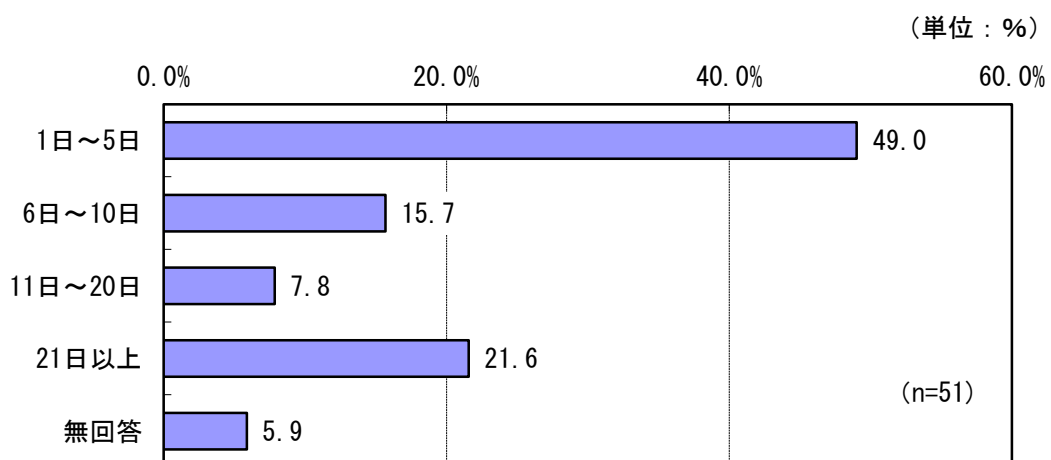
「利用していない」が89.7%と大多数です。

利用しているサービスは、「一時預かり」が3.8%、「幼稚園の預かり保育」が2.7%で利用みられます。



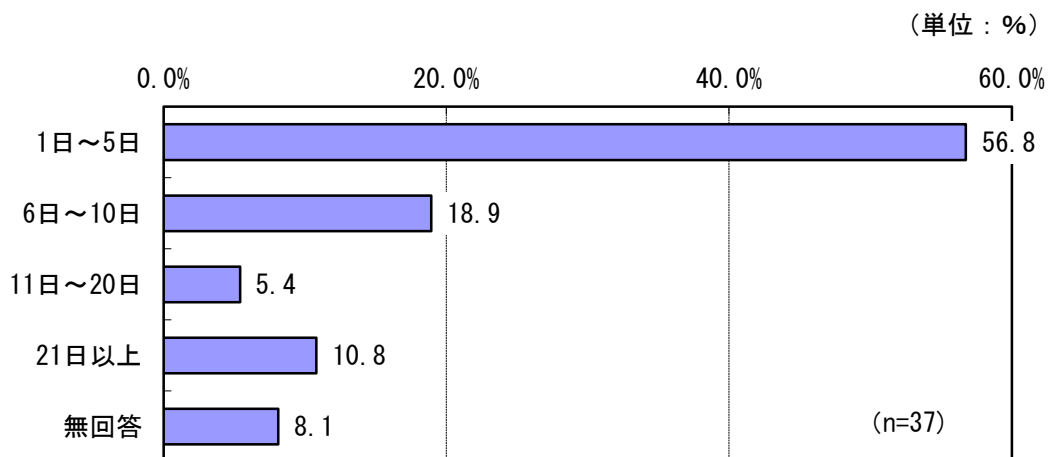
一時預かり

一時預かりの利用日数は「1日～5日」が49.0%と半数ですが、「21日以上」も21.6%みられます。



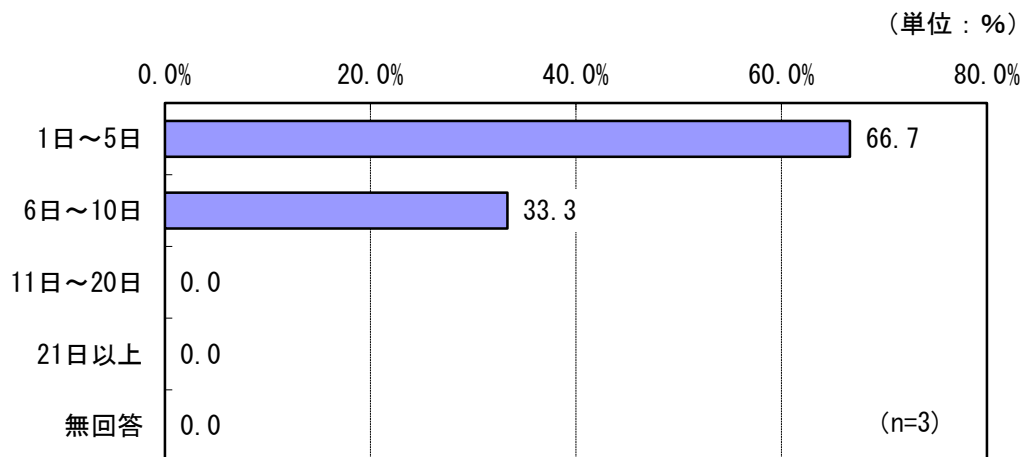
幼稚園の預かり保育

「1日～5日」が56.8%と過半数となっています。



ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターの利用は、平成 25 年7月から開始ということもあり、3人だけで、うち2人が「1日～5日」となっています。

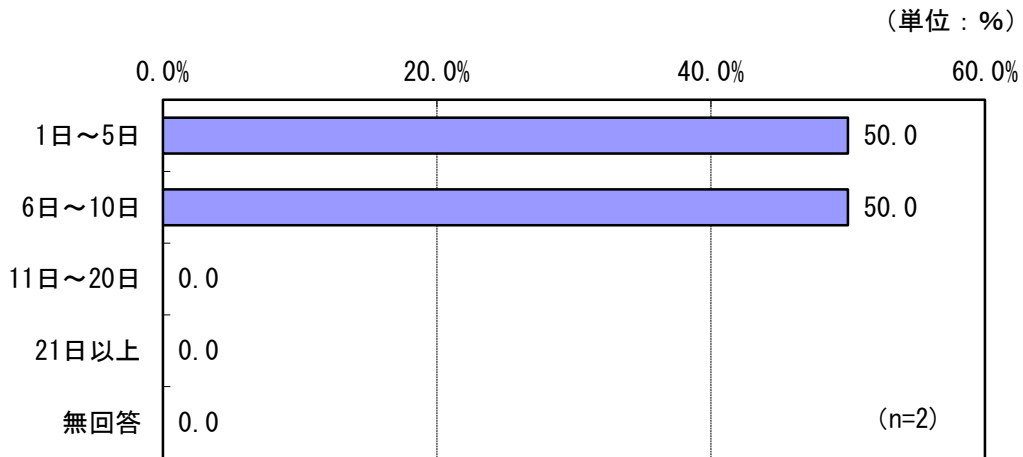


夜間養護等事業「トワイライト」

夜間養護等事業「トワイライト」の利用者はいませんでした。

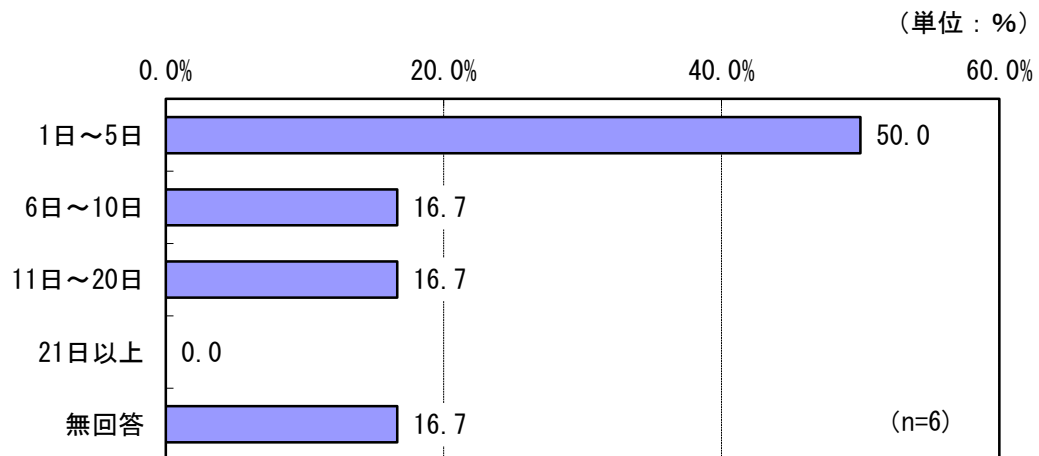
ベビーシッター

ベビーシッターの利用者は2人で、「1日～5日」と「6日～10日」が各1人ずつです。



その他

その他事業の利用は6人で半分の3人が「1日～5日」となっています。



その他
親族
託児所
療育教室
託児所の人に、個人的にたのんでいる
個人の託児所

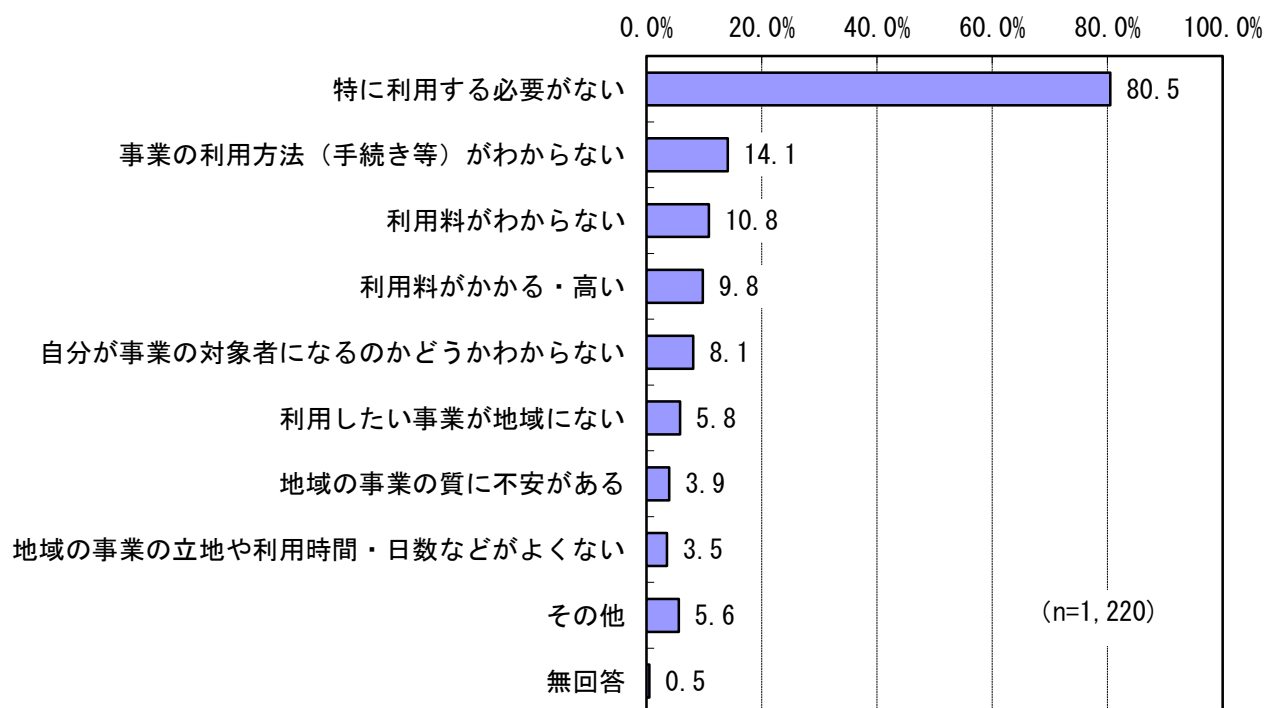
問 24 で「7. 利用していない」と回答された方にうかがいます。

問 24-1 現在利用していない理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「特に利用する必要がない」が 80.5%と大多数です。

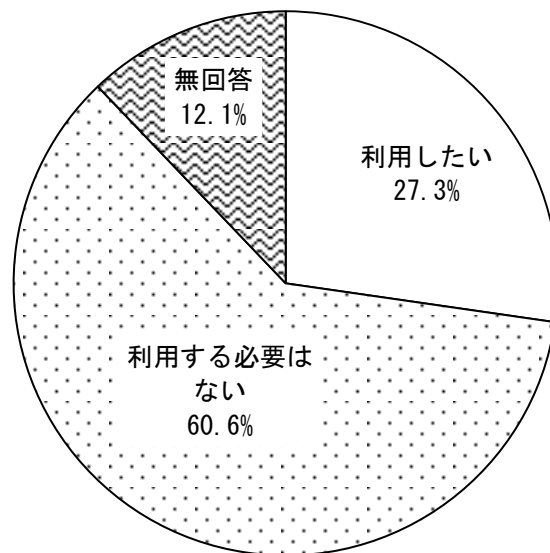
その他の理由では、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 14.1%、「利用料がわからない」が 10.8%、「利用料がかかる・高い」が 9.8%、「自分が事業の対象者になるかどうかわからない」が 8.1%などの理由があげられています。

(単位：%)

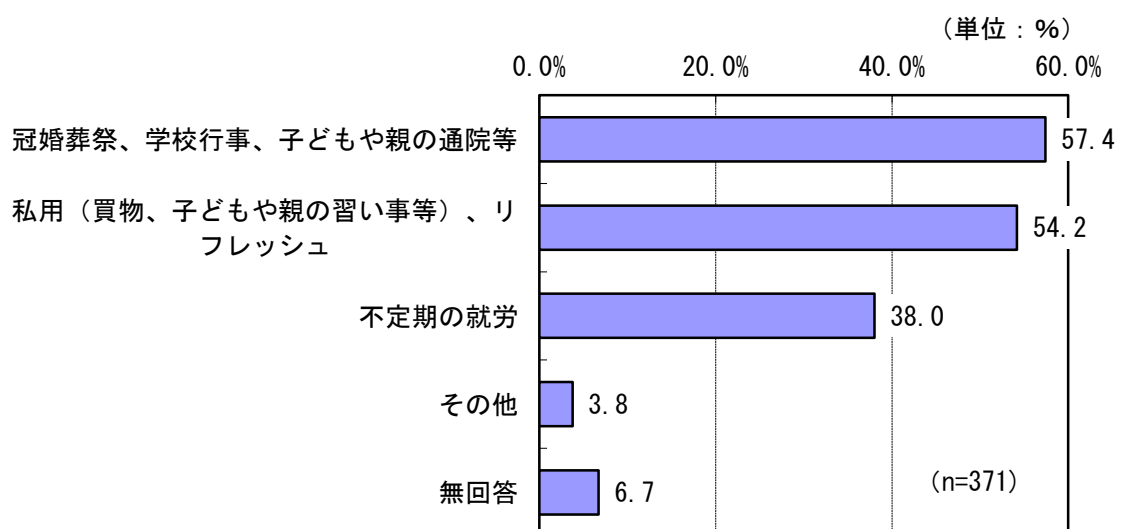


問 25 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数の合計とそれぞれの目的別の内訳日数を口内へご記入ください。

「利用したい」は27.3%、「利用する必要はない」が60.6%となっています。

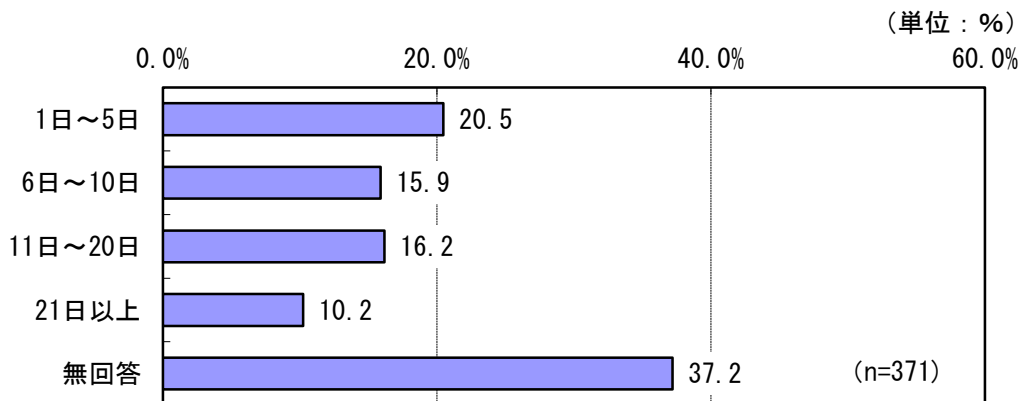


その理由は「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が57.4%、「私用（買物、子どもや親の習い事等）、リフレッシュ」が54.2%、「不定期の就労」も38.0%などどの選択肢も高い回答となっています。



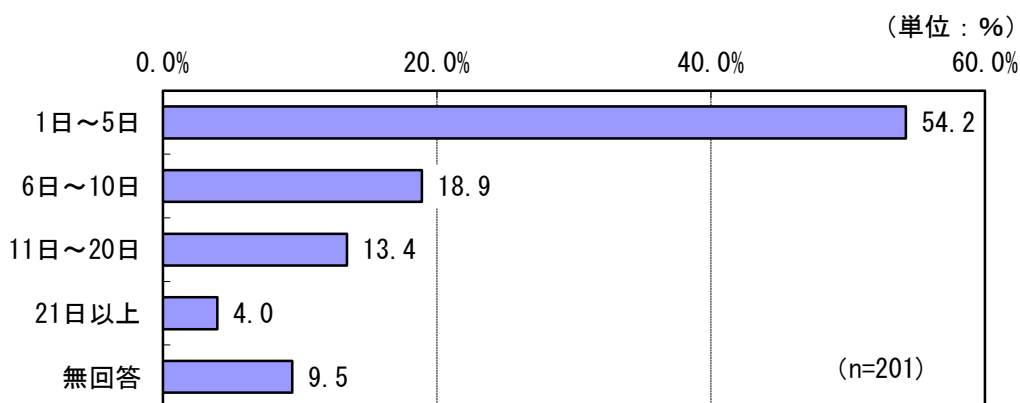
不定期利用希望日数合計

合計日数は「1日～5日」が20.5%、「6日～10日」が15.9%、「11日～20日」が16.2%となっており、分散した結果となっています。



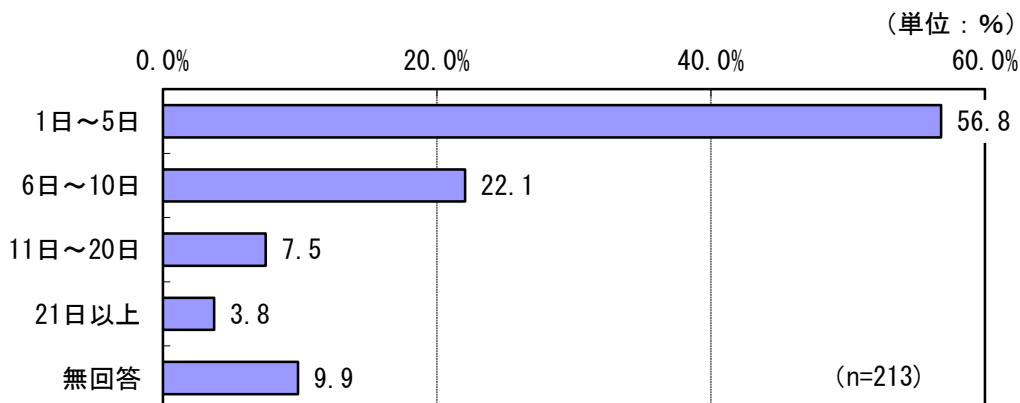
私用・リフレッシュ目的

私用・リフレッシュ目的では「1日～5日」が54.2%と半数となっています。「6日～10日」が18.9%です。



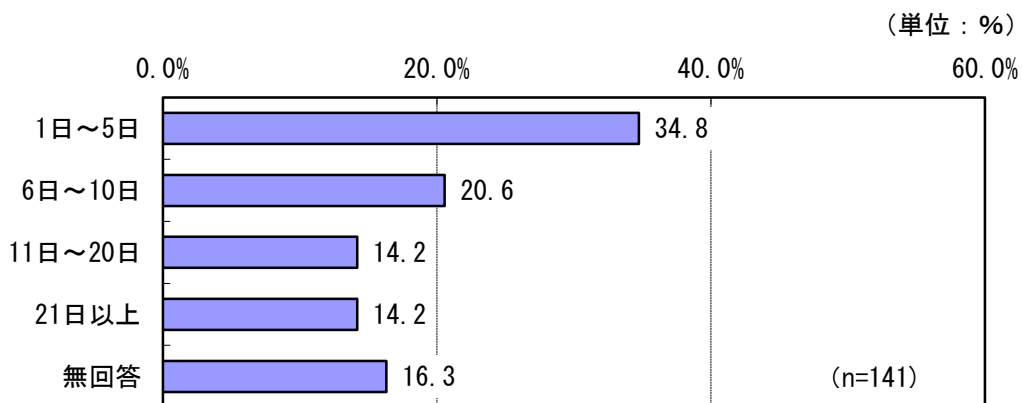
冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等

冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等では「1日～5日」が56.8%、「6日～10日」が22.1%となっています。



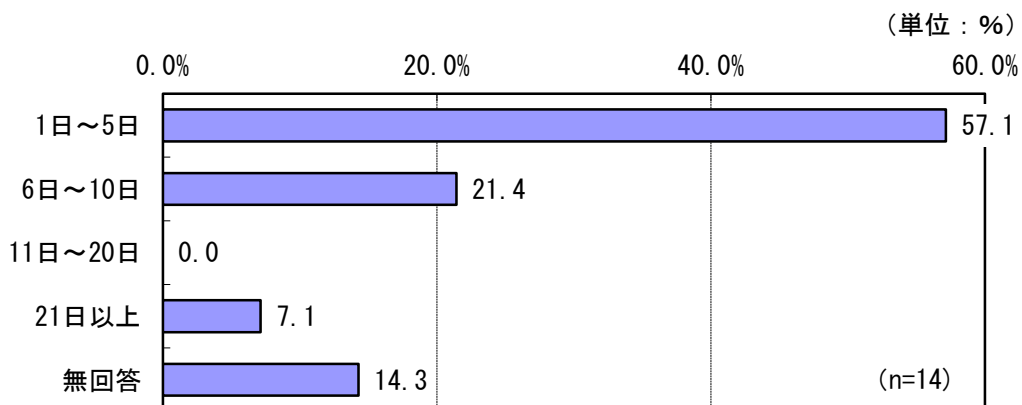
不定期の就労・出張等

不定期の就労・出張等では、「1日～5日」が34.8%、「6日～10日」が20.6%となっていますが、「11日～20日」や「21日以上」も14.2%となっています。



その他

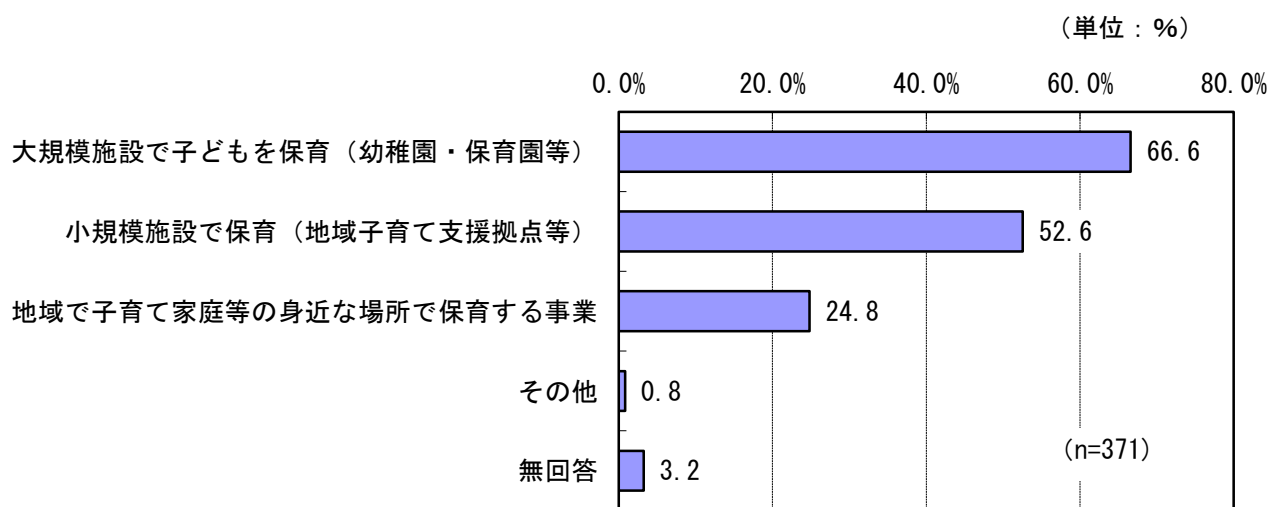
その他の理由の場合は「1日～5日」が57.1%、となっています。



問 25 で「1. 利用したい」と回答された方にうかがいます。

問 25-1 問 25 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われませんか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

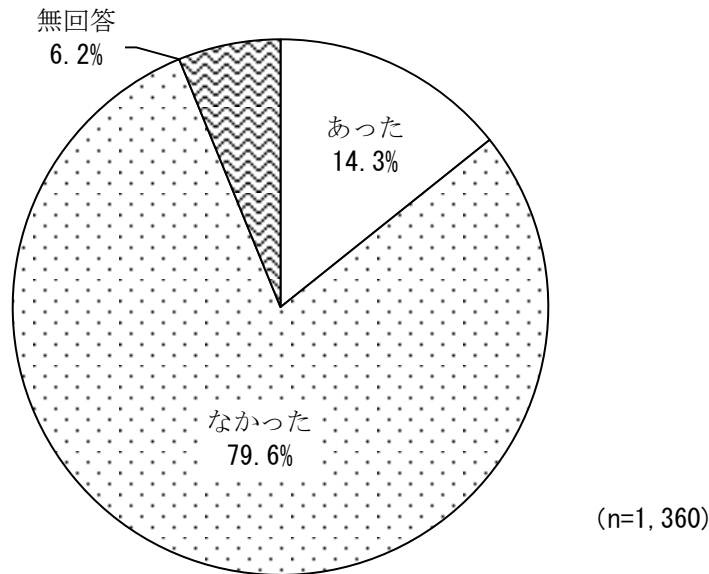
「大規模施設で子どもを保育（幼稚園・保育園等）」が 66.6%となっているほか、「小規模施設で保育（地域子育て支援拠点等）」も 52.6%と利用を着実に伸ばしてきました。これに対し「地域で子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリーサポートセンター等）」は 24.8%にとどまっています。



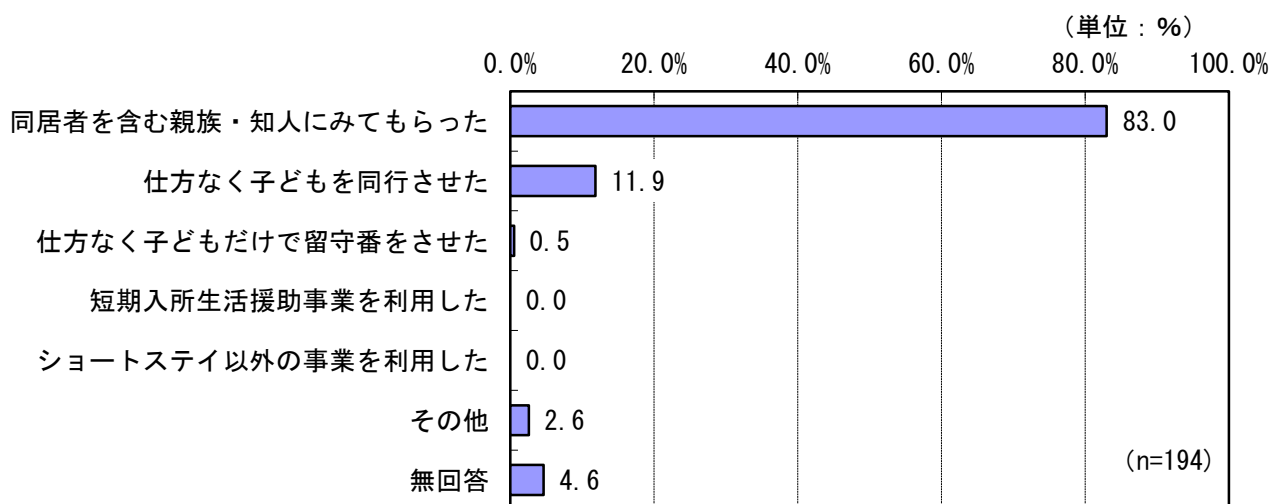
	合計	問1 居住地区						無回答
		村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区	その他	
全体	371	174	64	53	54	21	0	5
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%
大規模施設で子どもを保育する事業（幼稚園・保育園等）	247	119	37	39	34	13	0	5
	66.6%	68.4%	57.8%	73.6%	63.0%	61.9%	0.0%	100.0%
小規模施設で子どもを保育する事業（地域子育て支援拠点等）	195	91	38	26	27	11	0	2
	52.6%	52.3%	59.4%	49.1%	50.0%	52.4%	0.0%	40.0%
地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業（ファミリーサポートセンター等）	92	44	15	13	11	8	0	1
	24.8%	25.3%	23.4%	24.5%	20.4%	38.1%	0.0%	20.0%
その他	3	3	0	0	0	0	0	0
	0.8%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	12	4	3	3	2	0	0	0
	3.2%	2.3%	4.7%	5.7%	3.7%	0.0%	0.0%	0.0%

問 26 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に記入してください。

「あった」が14.3%、「なかった」が79.6%となっています。

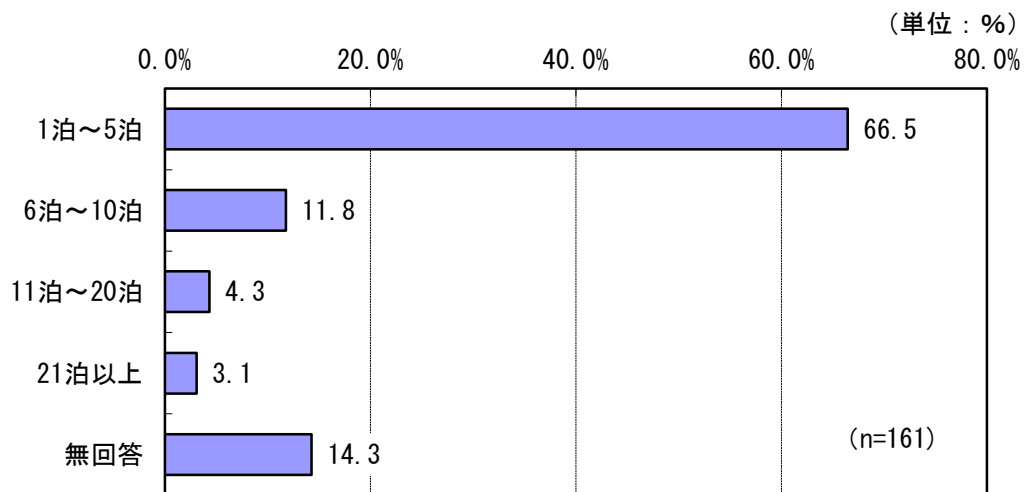


その措置は「同居者を含む親族・知人にみてもらった」が83.0%と大多数となっています。また「仕方なく子どもを同行させた」が11.9%みられます。



同居者を含む親族・知人にみてもらった

同居者を含む親族・知人にみてもらった場合の泊数は「1泊～5泊」が66.5%となっています。



短期入所生活援助事業を利用した

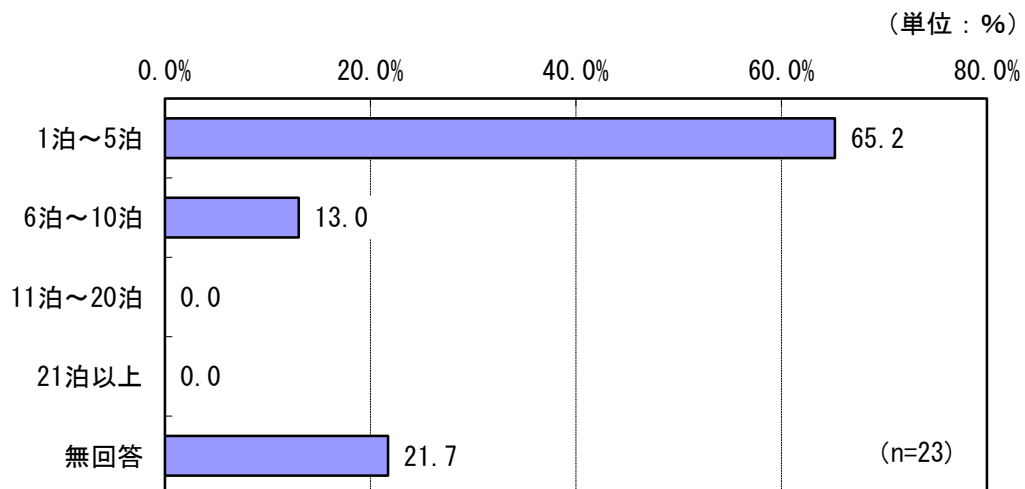
短期入所生活援助事業（ショートステイ）の利用者はいませんでした。

短期入所生活援助事業以外の保育事業

短期入所生活援助事業以外の保育事業を利用した人もいませんでした。

仕方なく子どもを同行させた

仕方なく子どもを同行させた場合の泊数は「1泊～5泊」が65.2%となっています。

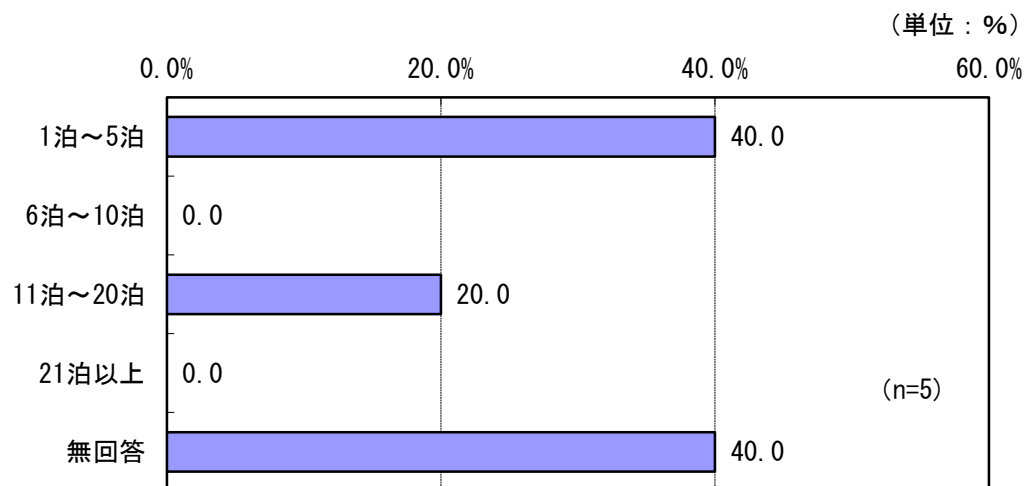


仕方なく子どもだけで留守番をさせた

仕方なく子どもだけで留守番をさせた人は、1人ですが、無回答でした。

その他

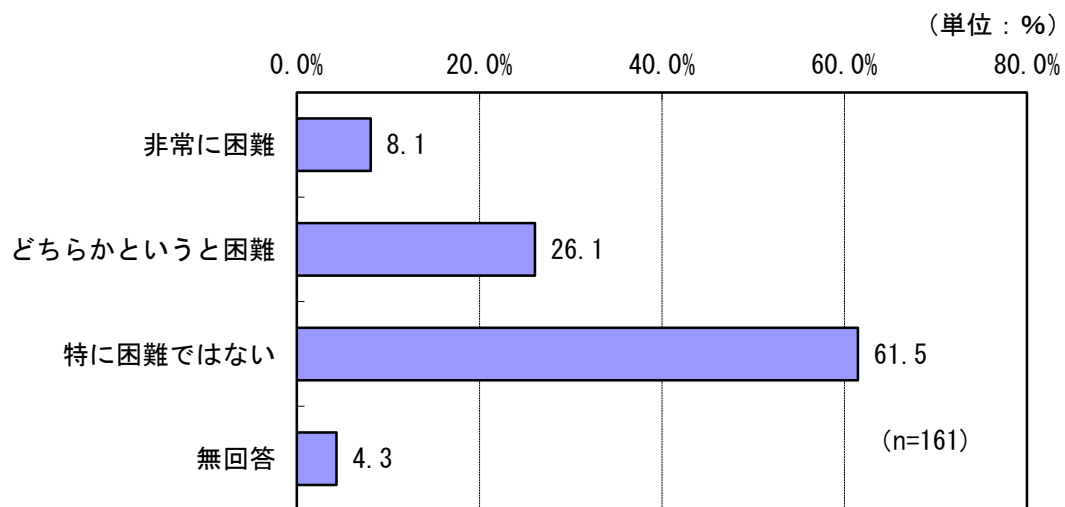
その他の対象方法の回答者は5人、「1泊～5泊」が2人、「11泊～20泊」が1人です。



問 26 で「1. あった ア. 同居者を含む親族・知人にみてもらった」と回答された方にかがいます。「ア。」以外を選択した方は 問 27 へ

問 26-1 親族・知人にみてもらった場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

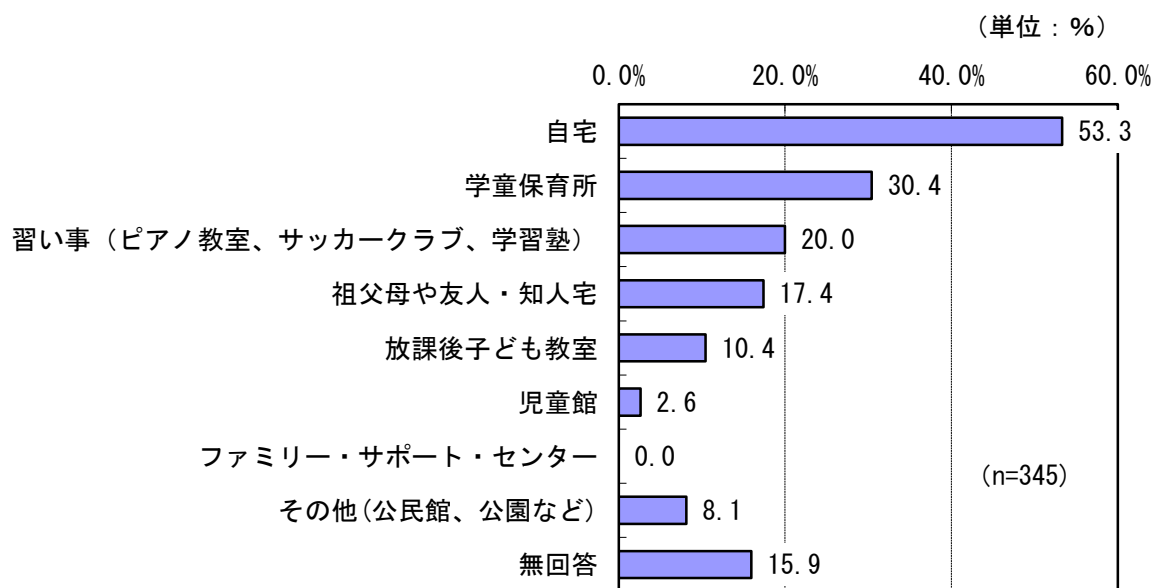
「非常に困難」が 8.1%、「どちらかという困難」26.1%となっています。「特に困難ではない」は 61.5%です。



7 小学校就学後の放課後の過ごし方（5歳以上）

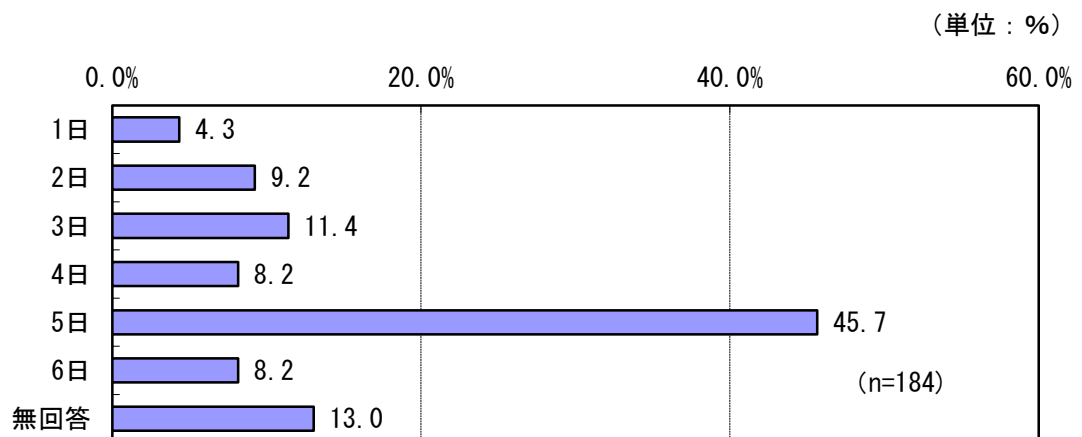
問27 あて名のお子さんについて、小学校低学年（1～3年生）のうちは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を口内に数字でご記入ください。「学童保育所」の場合は、利用希望時間もご記入ください。

小学校低学年では「自宅」が53.3%、「学童保育所」が30.4%、「習い事（ピアノ教室、サッカー、学習塾など）」が20.0%などで、上位となっています。



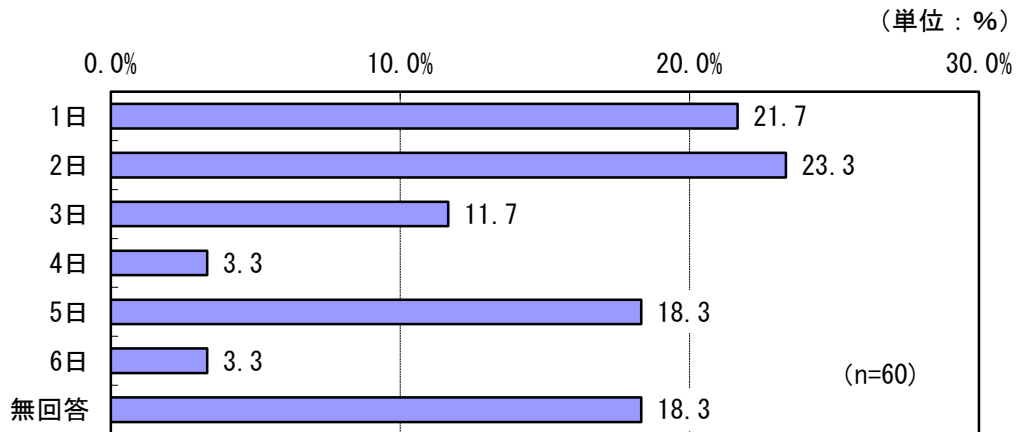
自宅

放課後を、自宅で過ごすのは1週間で「5日」が45.7%と最も多くなっています。



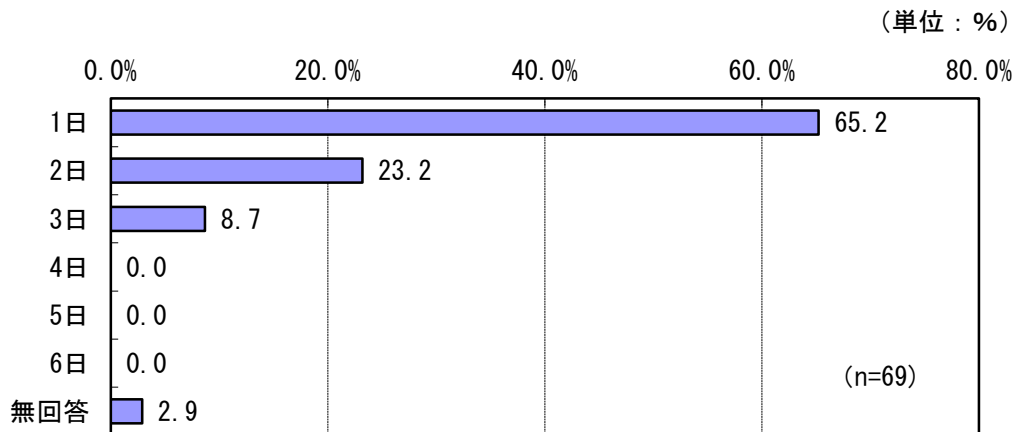
祖父母宅や友人・知人宅

「1日」(21.7%)や「2日」(23.3%)など少ない日数の回答が多く、「5日」が18.3%となっています。



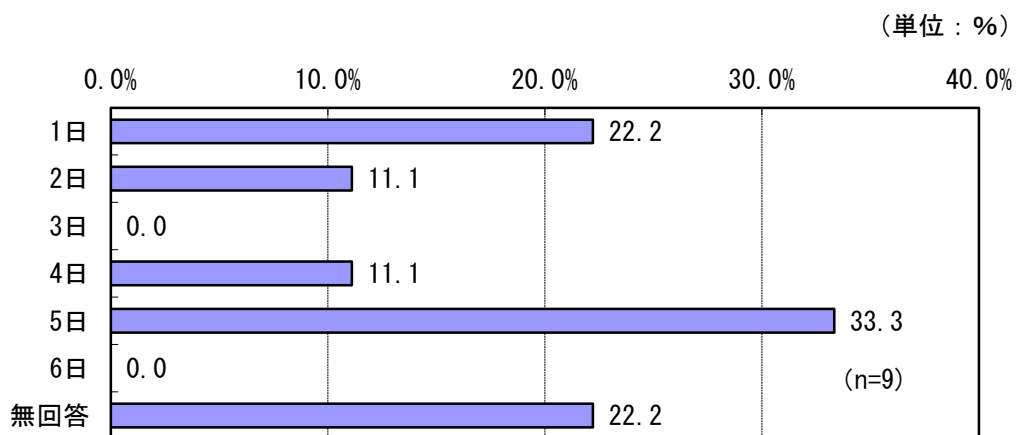
習い事

習い事は1週間で「1日」が65.2%で3分の2の割合となっています。また「2日」が23.2%となっています。



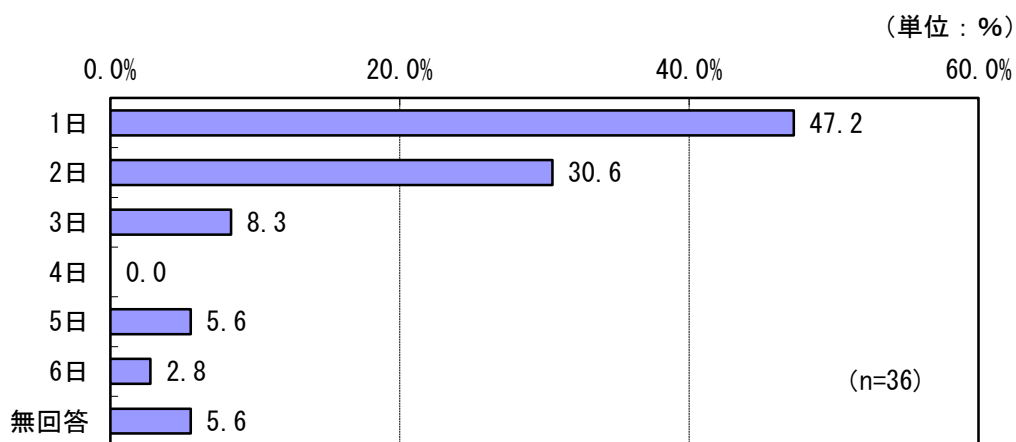
児童館

児童館は、「5日」が33.3%と最も多くなっていますが、「1日」も22.2%となっています。



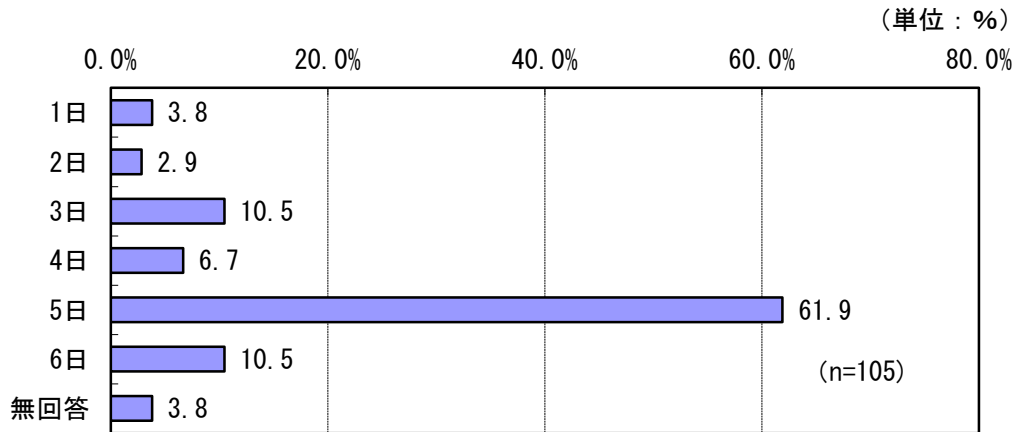
放課後子ども教室

1週間で「1日」が47.2%と半数弱となっています。「2日」が30.6%です。

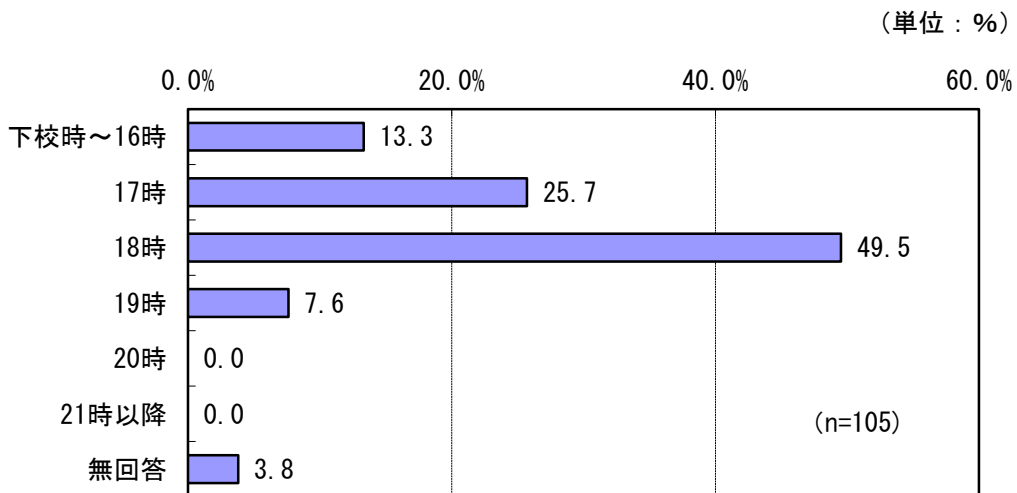


学童保育所

学童保育所は「5日」が61.9%と高い利用率を示しています。



学童保育所の利用時間（終了時刻）は、「18時」までを希望する人が49.5%と半数、「17時」が25.7%となっています。

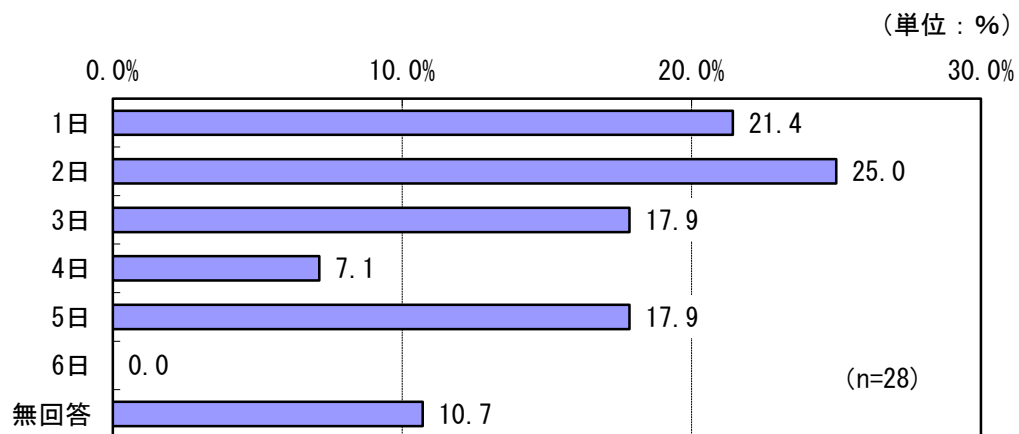


ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターの利用希望はありませんでした。

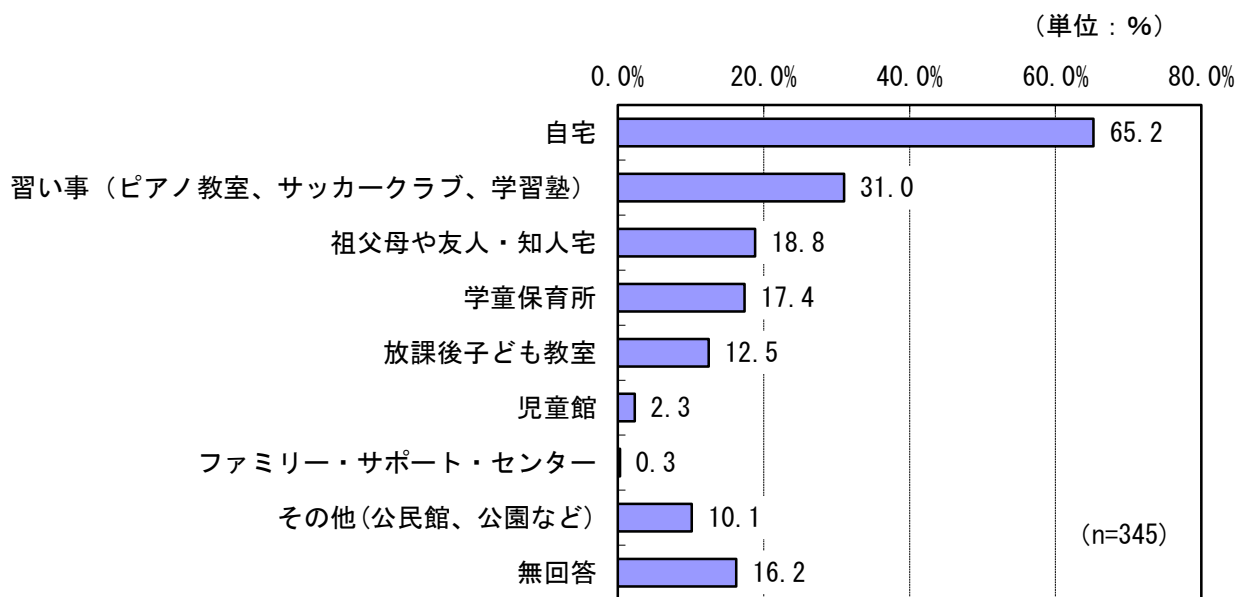
その他(公民館、公園など)

その他の施設等の利用は「2日」が25.0%、「1日」が21.4%となっていますが、「3日」や「5日」も17.9%と多く分散傾向となっています。



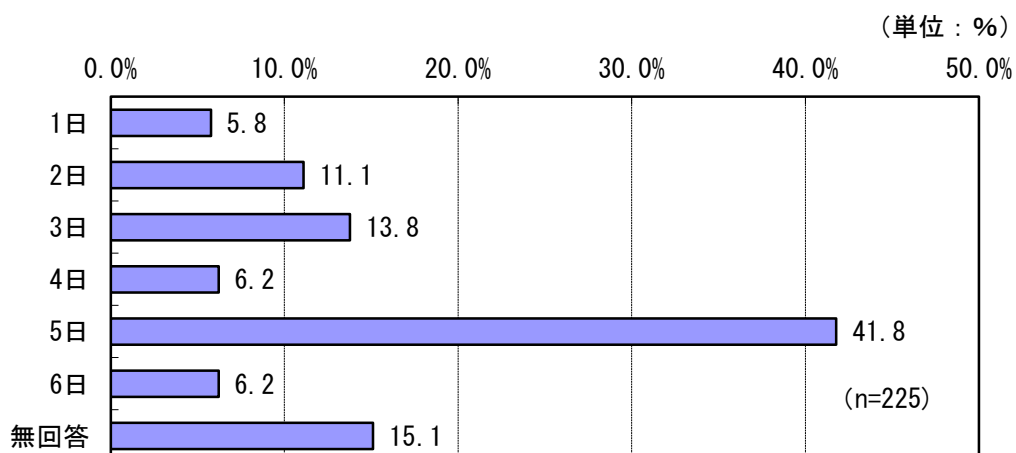
問 28 あて名のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を口内に数字でご記入ください。学童保育所の場合は、利用希望時間もご記入ください。

小学校高学年の希望は、第1位は低学年と同様に「自宅」で65.2%となっていますが、「学童保育所」が低学年の30.4%から17.4%に低下し、第2位から第4位になっています。逆に「習い事」が2位に上がり31.0%と増えてきています。



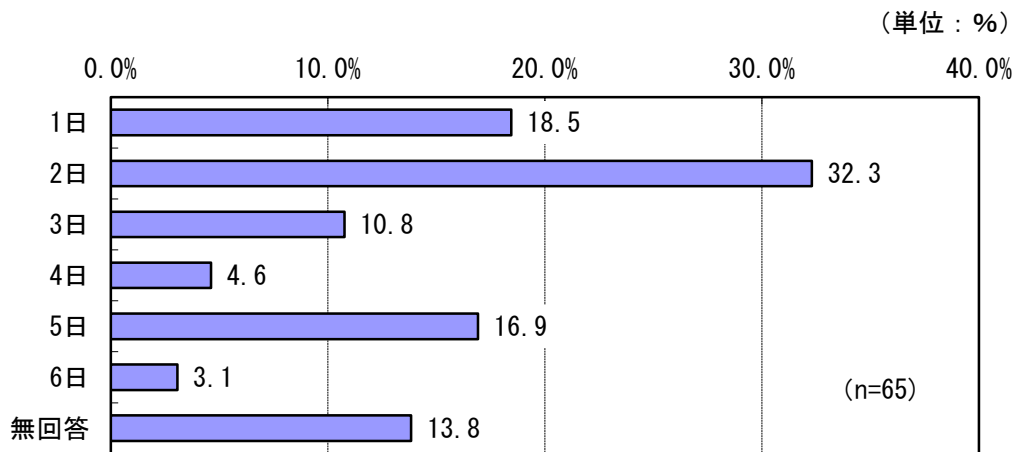
自宅

放課後を自宅で過ごしたい人の日数は、「5日」が41.8%、次は「3日」が13.8%となっています。



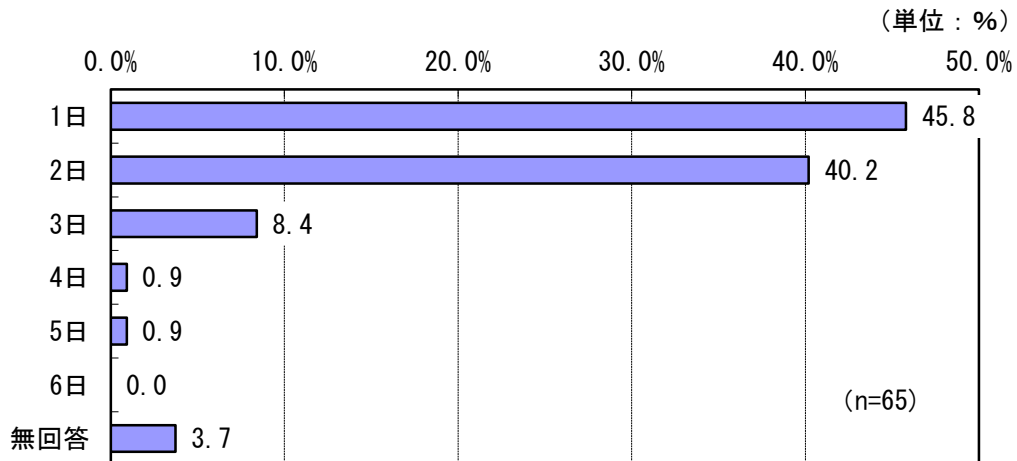
祖父母宅や友人・知人宅

祖父母宅や友人・知人宅は「2日」が32.3%、「1日」が18.5%、「5日」が16.9%など各家庭の事情により分散している様子がうかがえます。



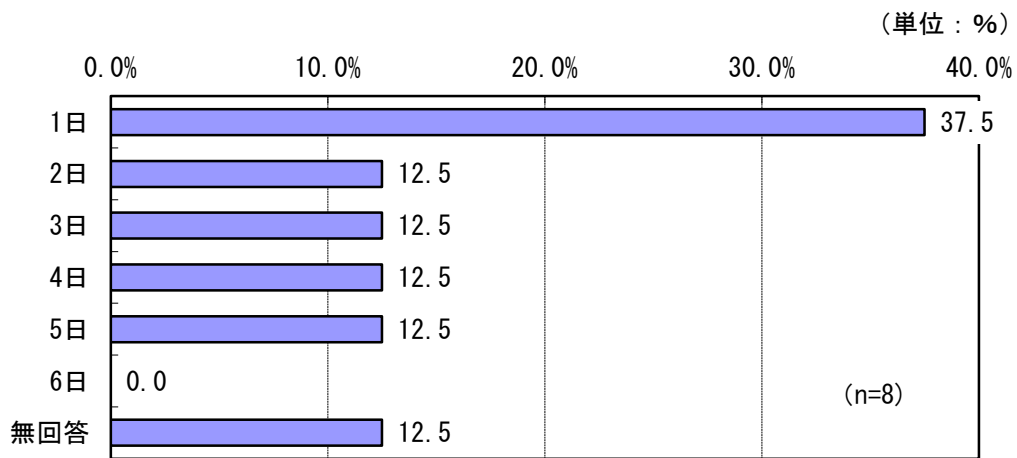
習い事

「1日」が45.8%、「2日」が40.2%となっており、低学年に比べ「2日」の割合が大きく伸びています。



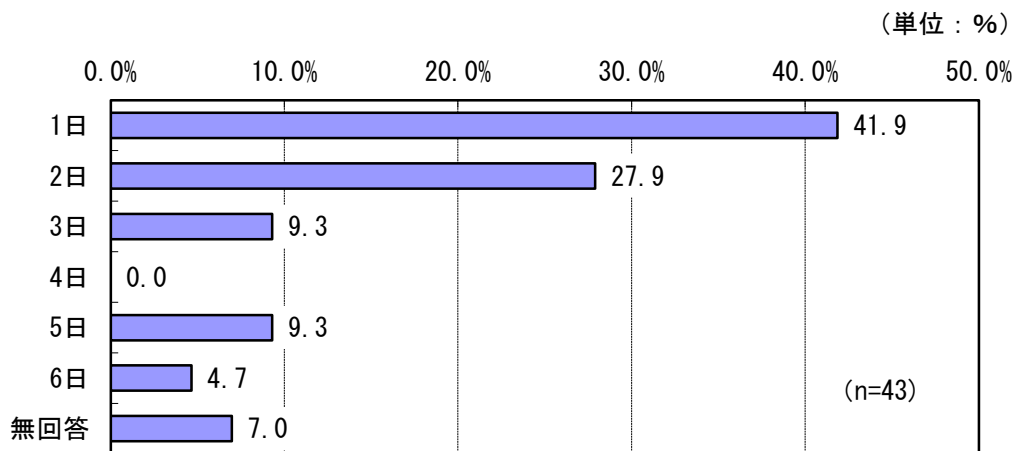
児童館

児童館は「1日」が37.5%と低学年の22.2%に比べ大きく増えています。



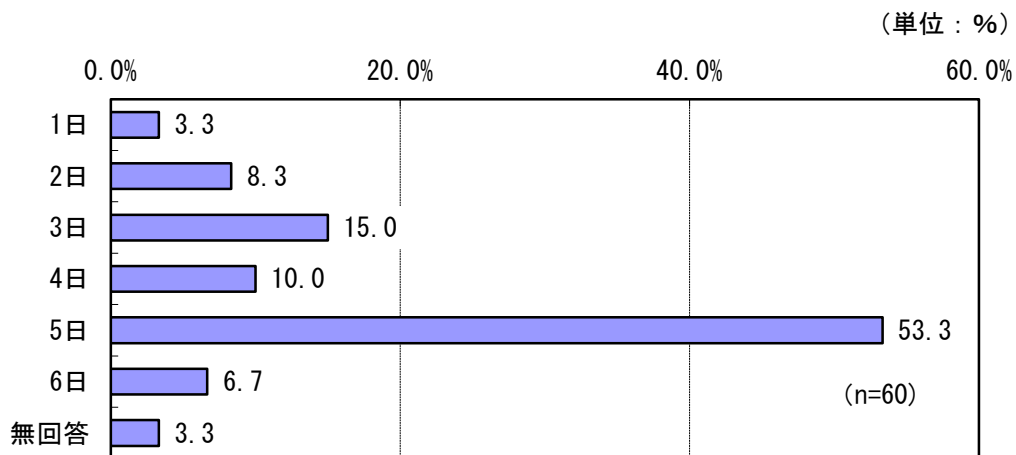
放課後子ども教室

「1日」が41.9%、「2日」が27.9%となっています。



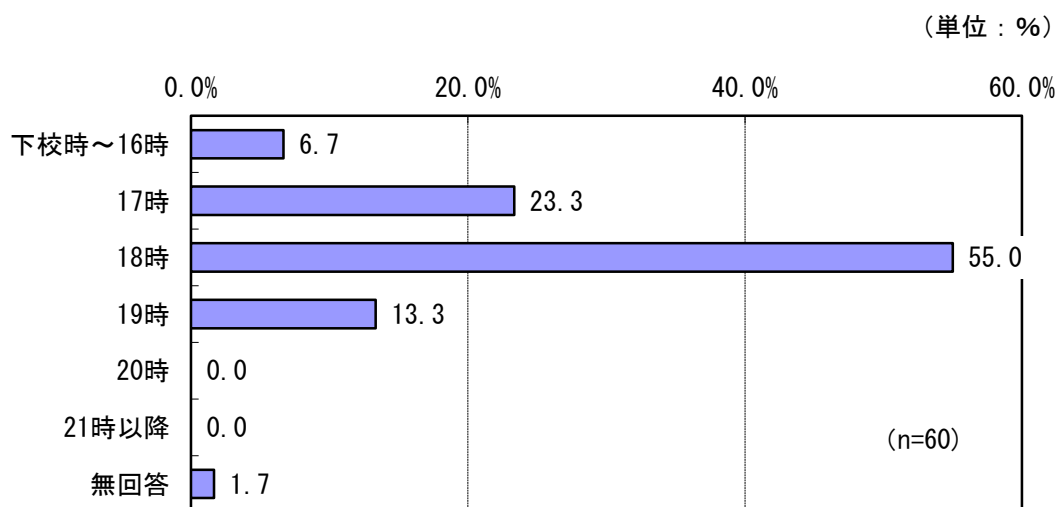
学童保育所

高学年になっても学童保育所を使いたい人は、低学年に比べやや減少していますが、希望者は「5日」が53.3%と半数を占めるなど、利用率の希望は高くなっています。



学童保育所の終了時間

「18時」までが55.0%と最も多くなっています。

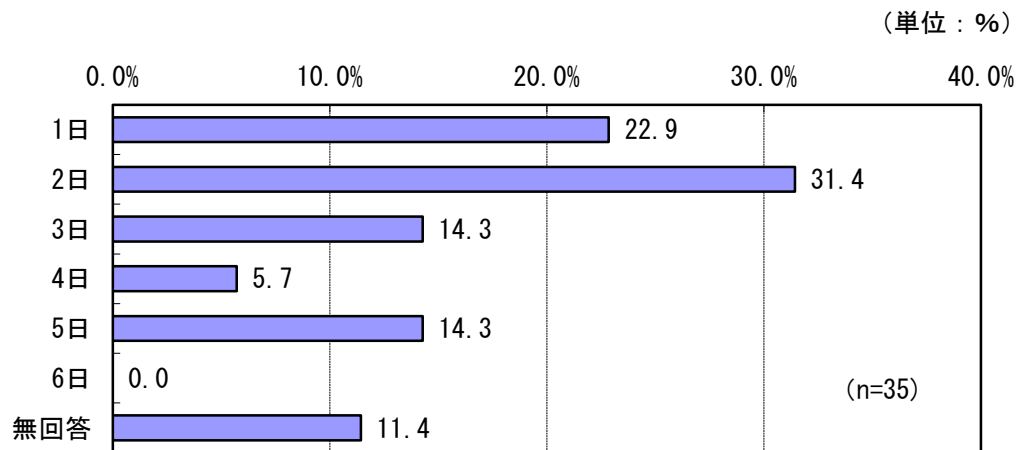


ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターの希望者は1人、「5日」の希望があります。

その他(公民館、公園など)

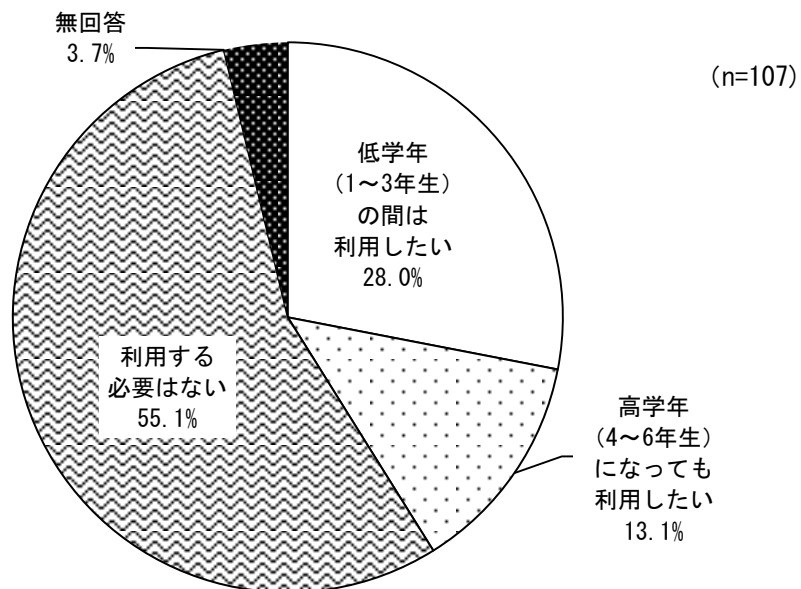
その他の利用は「2日」が31.4%、「1日」が22.9%です。



問 29 問 27 または問 28 で「6.学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)、(2)それぞれについてあてはまるものひとつに○をつけ、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。

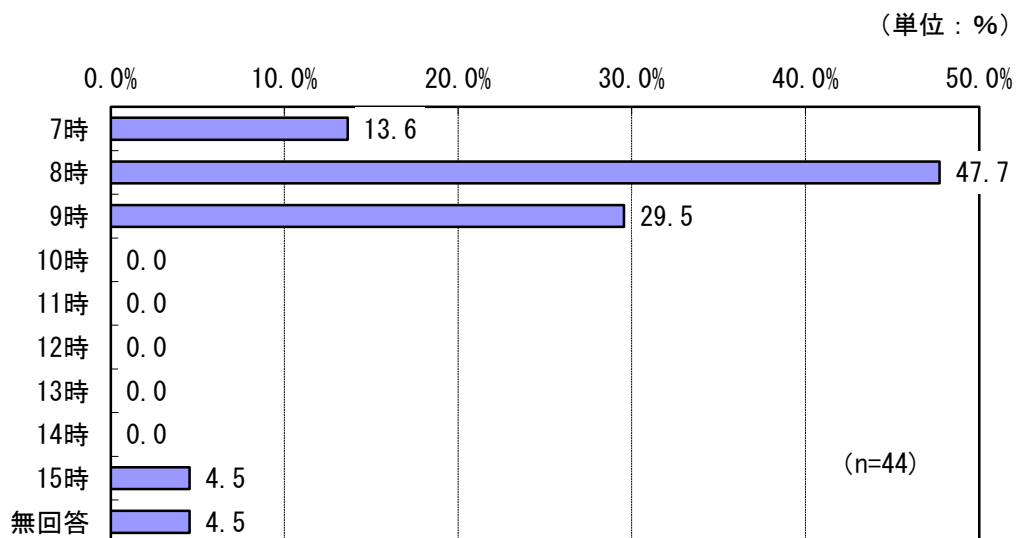
(1) 土曜日

土曜日の学童保育所の利用希望は、「低学年(1～3年生)の間は利用したい」が28.0%、「高学年(4～6年生)になっても利用したい」が13.1%で、あわせて利用希望は41.1%に達しています。



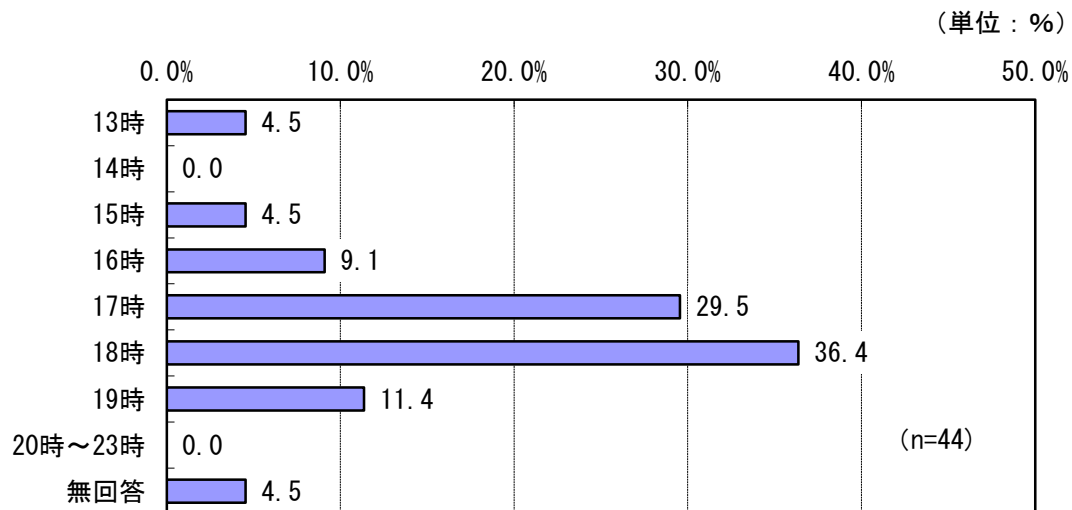
開始時刻

開始時刻の希望は、「8時」が47.7%、「9時」が29.5%となっています。



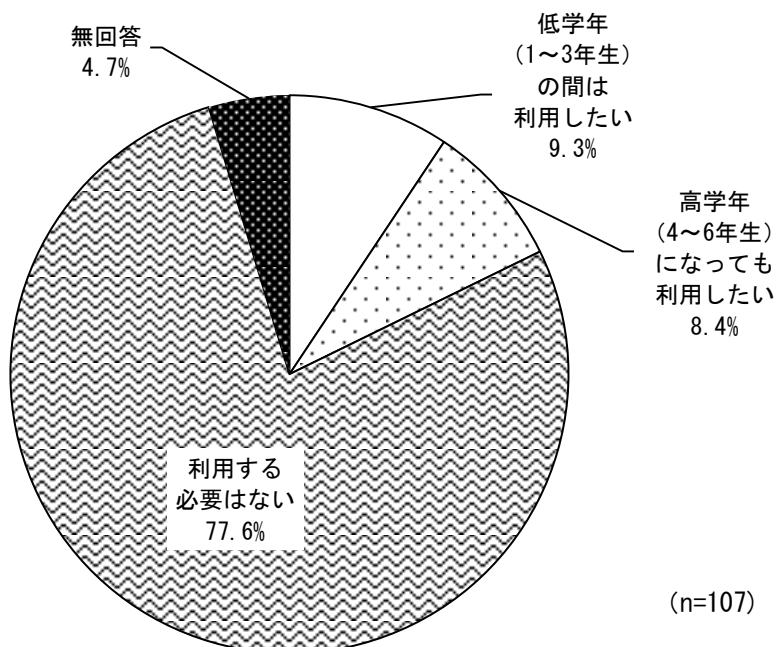
終了時刻

終了時刻は、「18時」が最も多く、36.4%、「17時」が29.5%です。



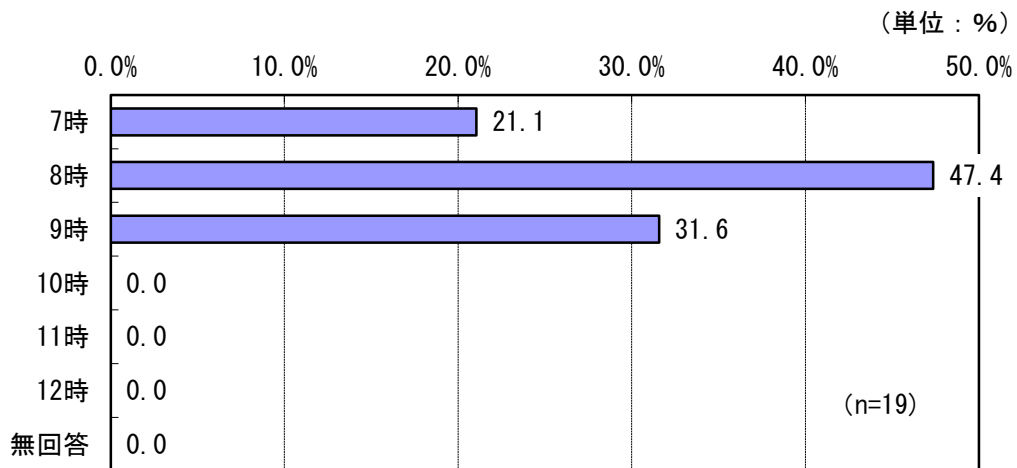
(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日の学童保育所の利用希望は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が9.3%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が8.4%で、あわせて利用希望は17.7%となっています。



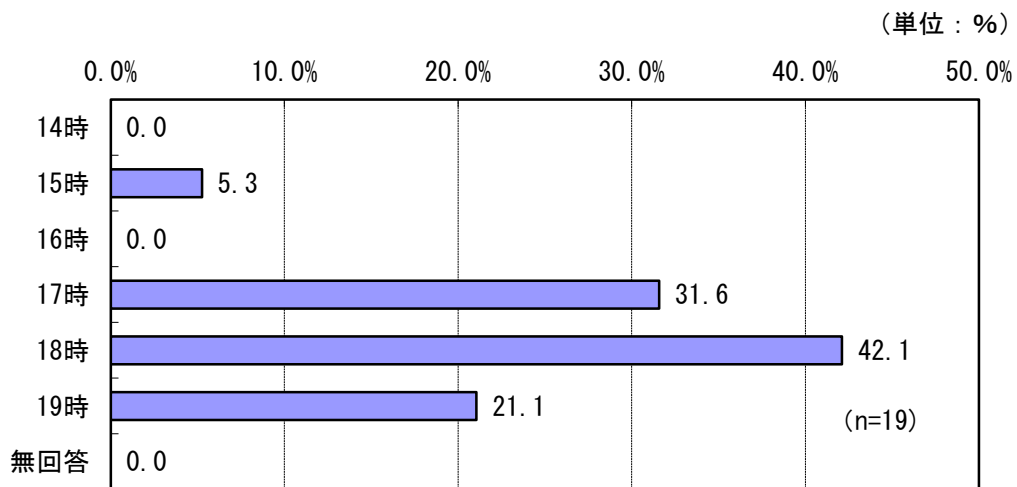
開始時刻

日曜日の開始時刻の希望は「8時」が47.4%、「9時」が31.6%、「7時」が21.1%となっています。



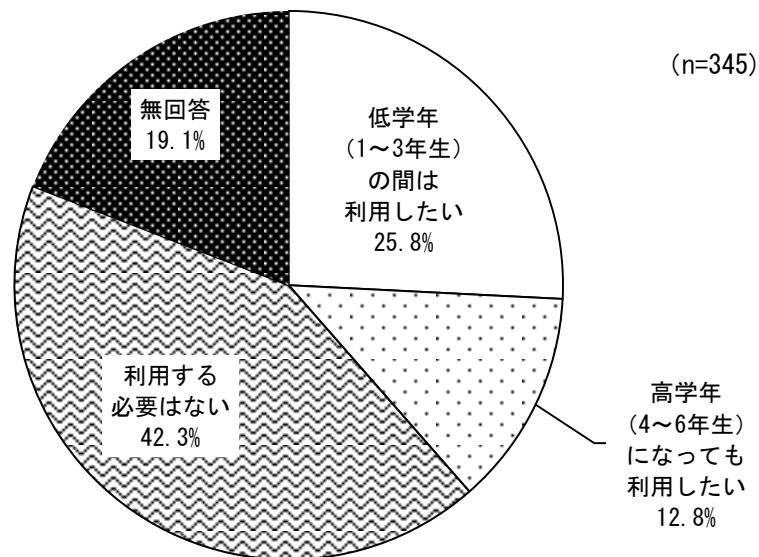
終了時刻

終了時刻は、「18時」が42.1%、「17時」が31.6%、「19時」が21.1%です。



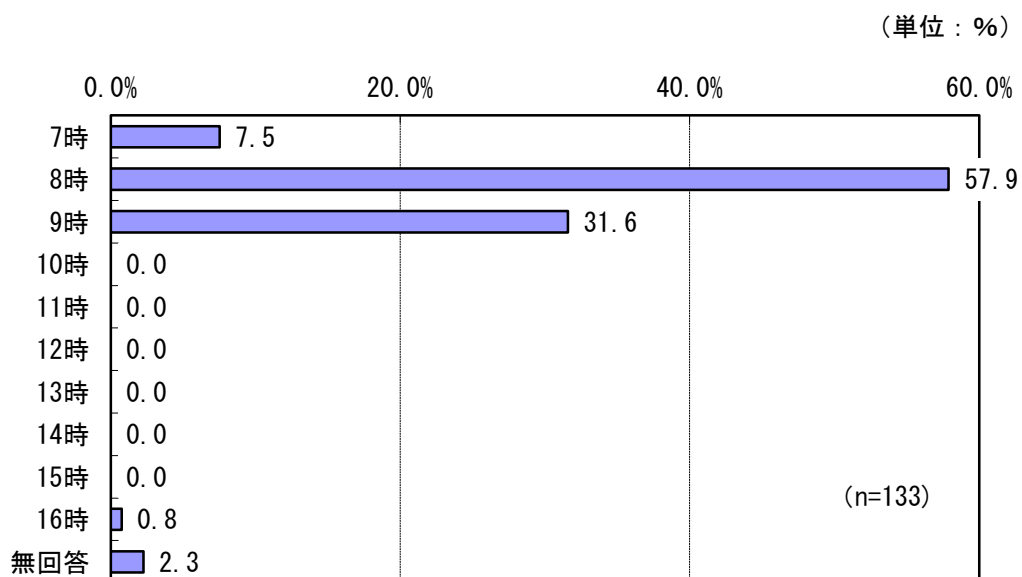
問 30 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまるものひとつに○をつけ、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。

「利用する必要はない」が42.3%となっています。「高学年（4～6年生）になっても利用したい」は12.8%と少数で、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が25.8%となっています。



開始時刻

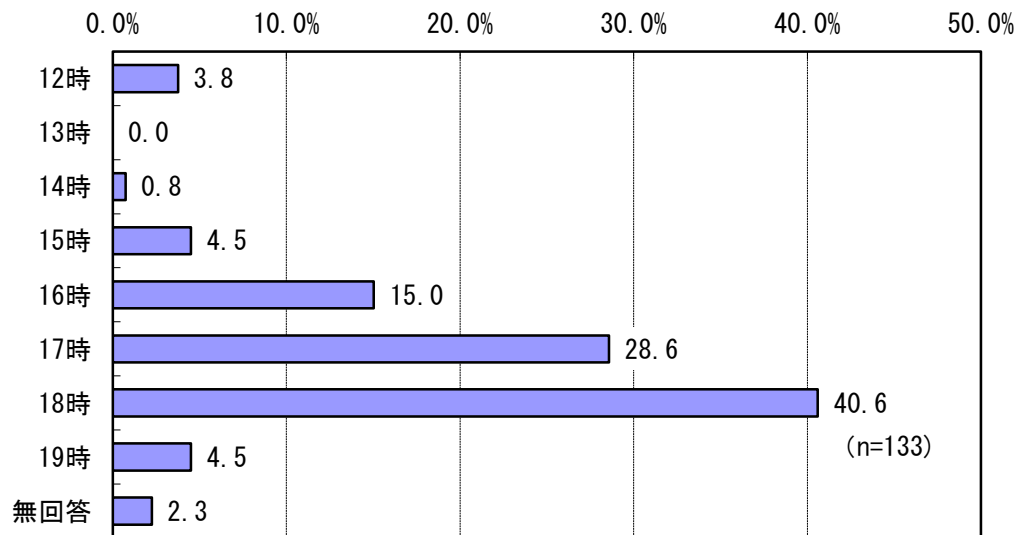
夏休み・冬休みなどの長期休暇中の学童保育所の開始時刻の希望は「8時」が57.9%、「9時」が31.6%、「7時」が7.5%となっています。



終了時刻

終了時刻は、「18時」が40.6%、「17時」が28.6%、「16時」が15.0%です。

(単位：%)

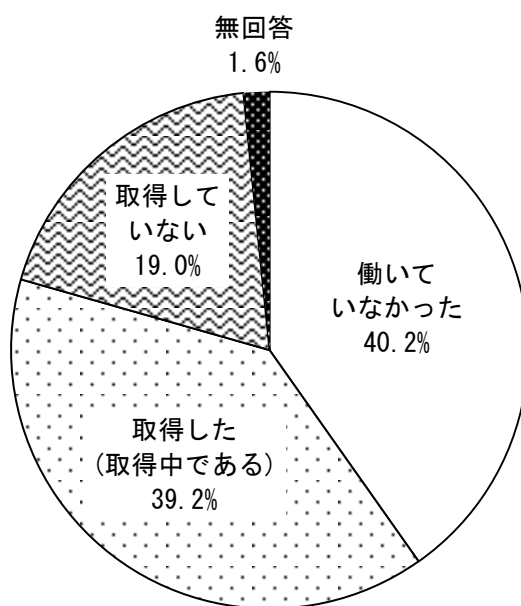


8 育児休業とライフワークバランス

問 31 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、あてはまるものひとつに○をつけて、該当する口内に数字をご記入ください。また、育児休業を取得していない方はその理由をご記入ください。

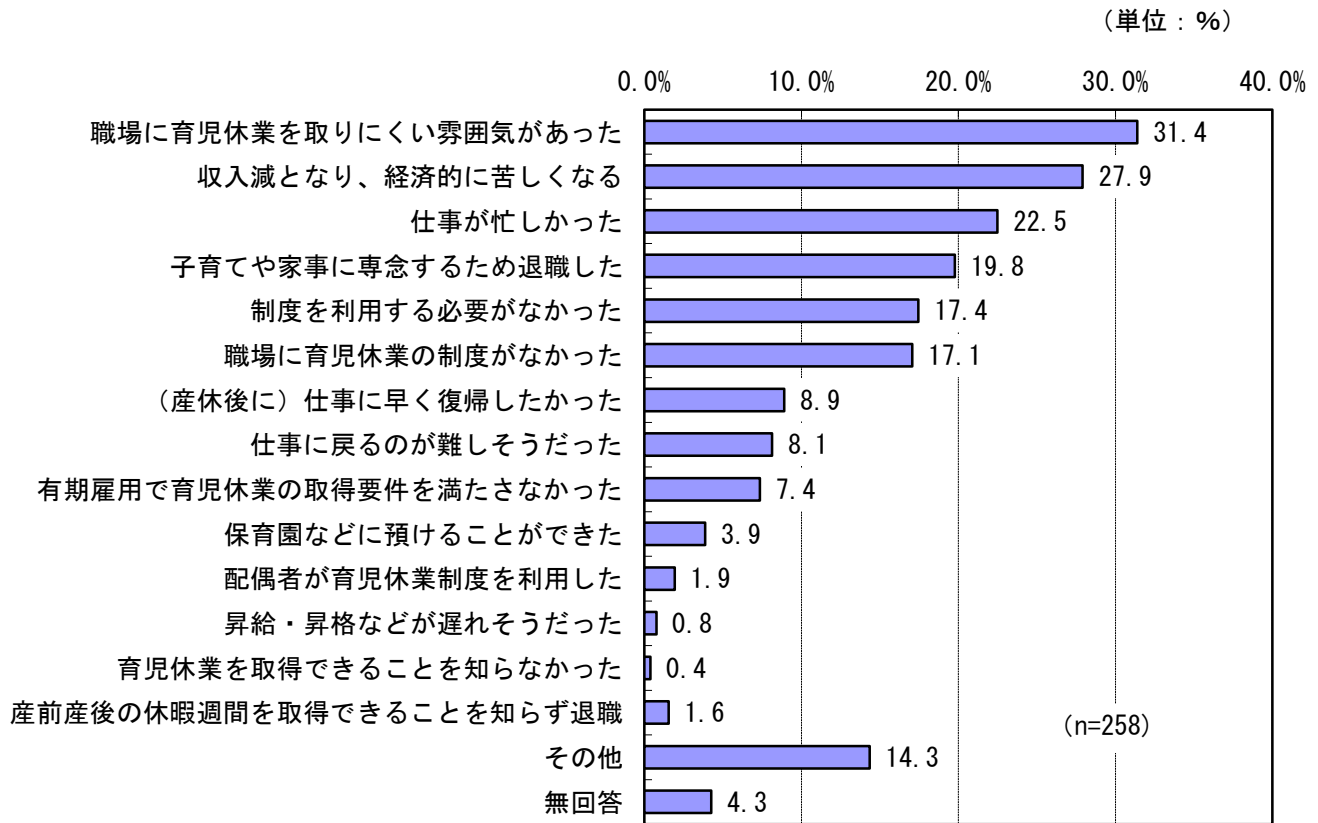
母親

「働いていなかった」(40.2%)と「取得した(取得中である)」(39.2%)がともに4割を占めています。



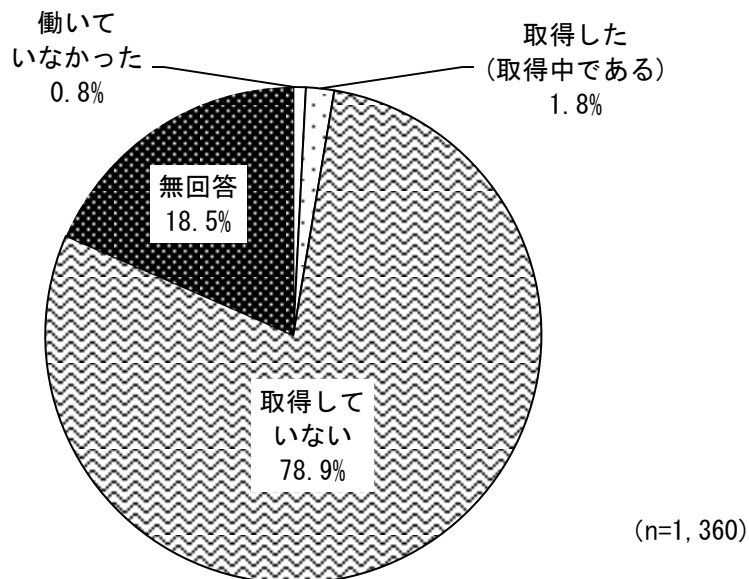
(n=1,360)

その理由としては、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 31.4%、「収入減となり、経済的に苦しくなる」が 27.9%、「仕事が忙しかった」が 22.5%で、上位にあげられています。

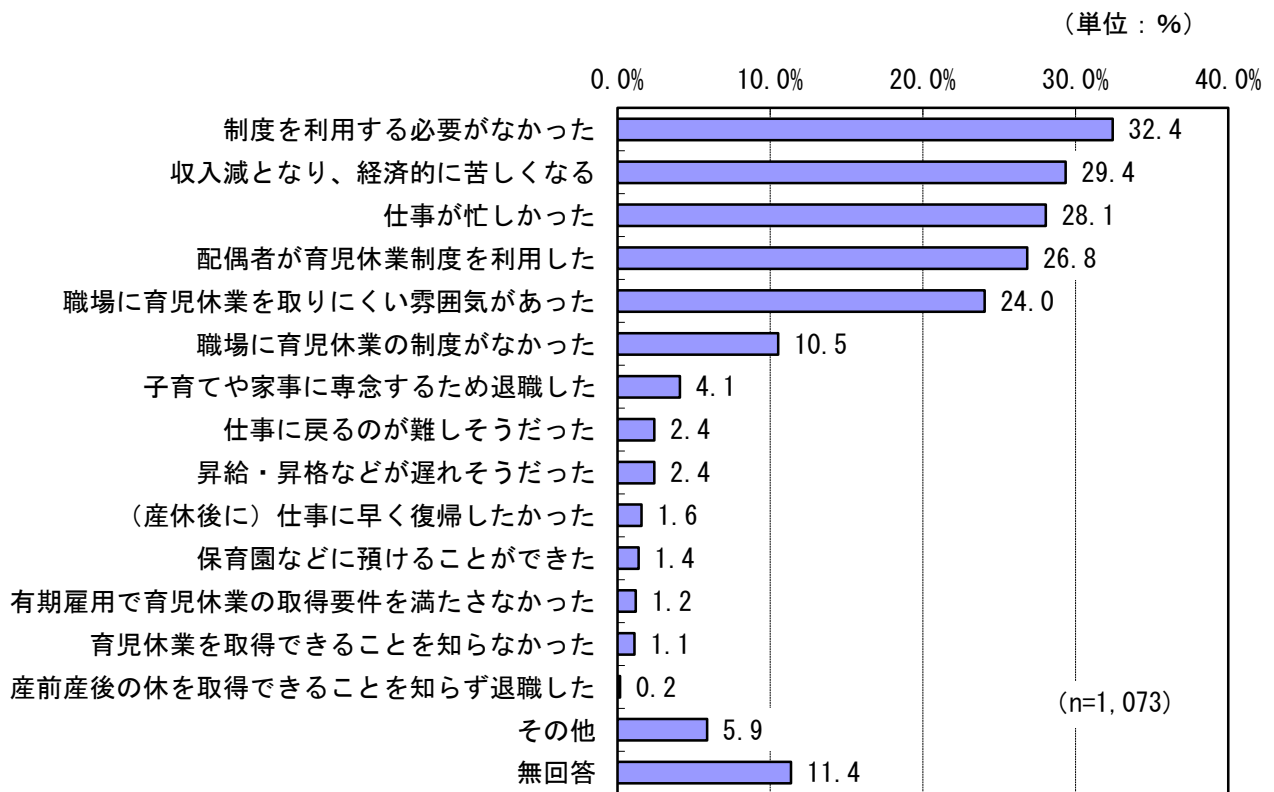


父親

父親は「取得していない」が 78.9%で大多数となっています。



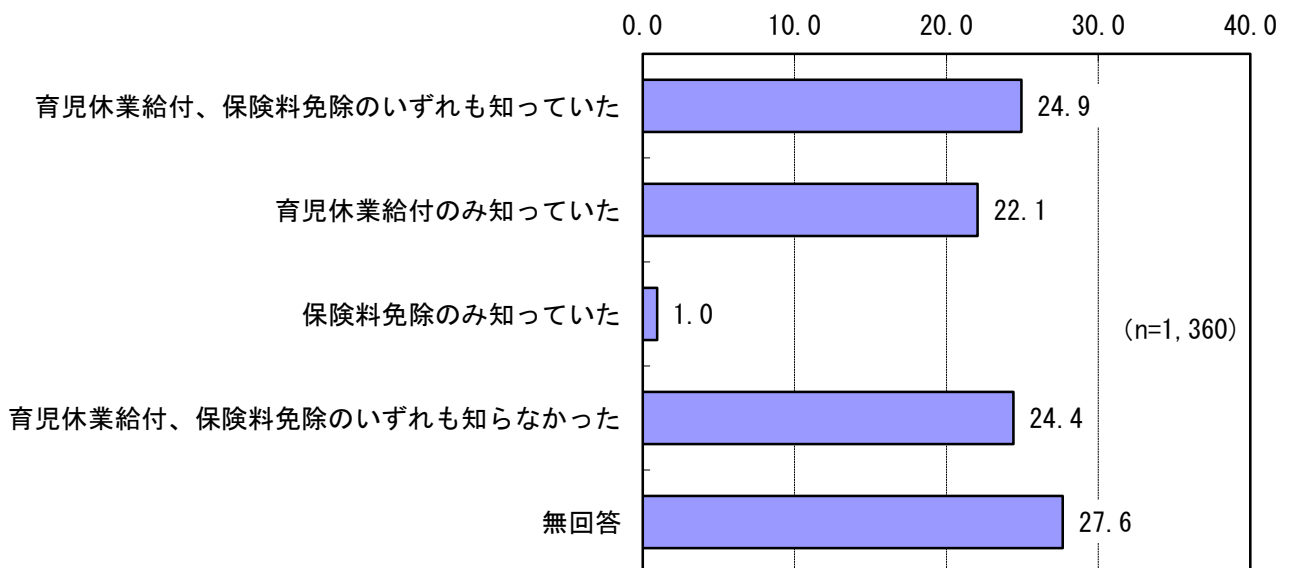
父親の理由は、「制度を利用する必要がなかった」が32.4%で最も多く、母親と同様に「収入減となり、経済的に苦しくなる」が29.4%で、第2位となっています。「仕事が忙しかった」が28.1%、「配偶者が育児休業制度を利用した」が26.8%などとなっています。



問 31-1 子どもが原則1歳になるまで、育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間については健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存知でしたか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

回答は、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた」が24.9%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった」が24.4%、「育児休業給付のみ知っていた」が22.1%で、ほぼ均等に分散した回答となり、「保険料免除のみ知っていた」は1.0%でした。

(単位：%)

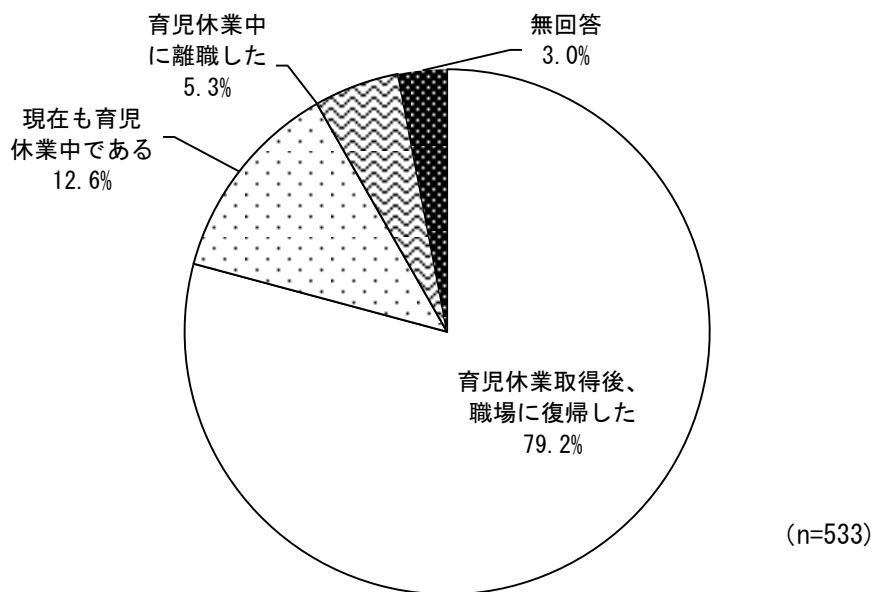


問 31 で「2. 取得した（取得中である）」と回答した方にうかがいます。該当しない方は問 32 へお進みください。

問 31-2 育児休業取得後、職場に復帰しましたか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

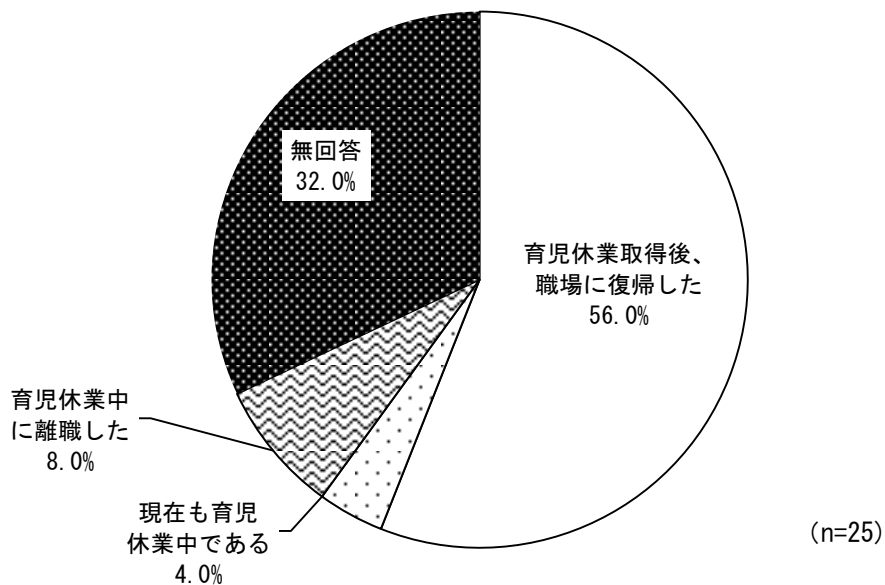
（1）母親

母親は、育児休業取得後、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 79.2%と大多数となっています。「育児休業中に離職した」は 5.3%です。



（2）父親

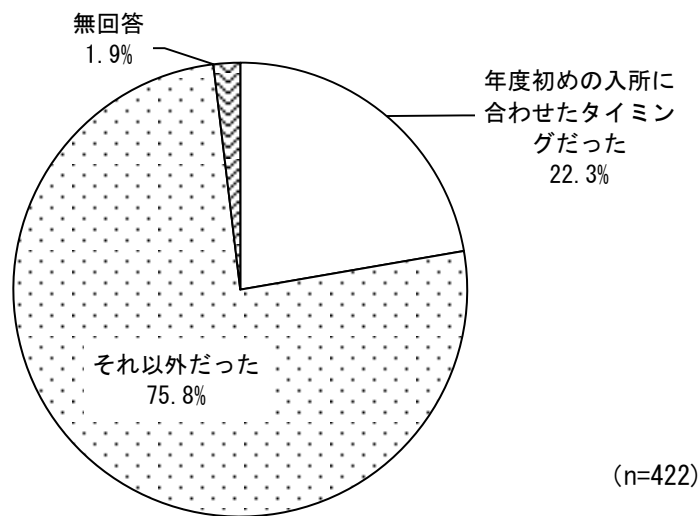
父親は、育児休業取得者は 25 人とどまっていますが、「育児休業取得後、職場に復帰した」が 56.0%と過半数となっています。「育児休業中に離職した」は 8.0%（2 人）のみです。



問 31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。
問 31-3 育児休業から職場に復帰したのは、どのタイミングでしたか。あてはまるものに
○をつけてください。

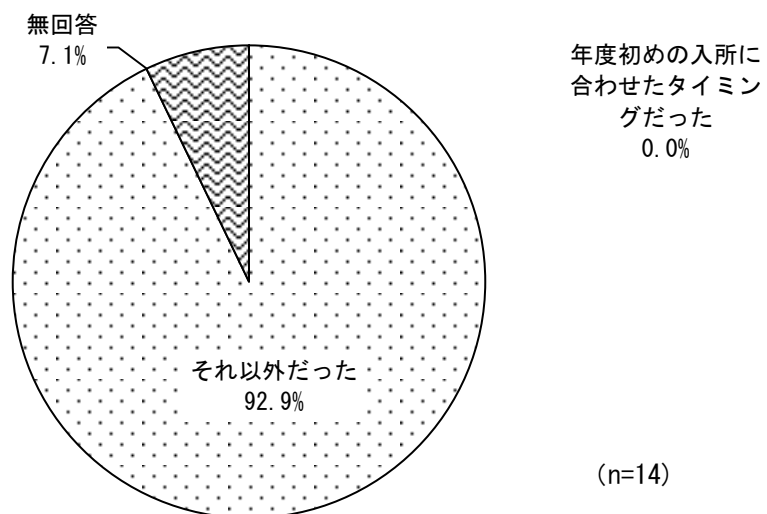
(1) 母親

母親は、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は 22.3%で、「それ以外だった」
が 75.8%となっています。



(2) 父親

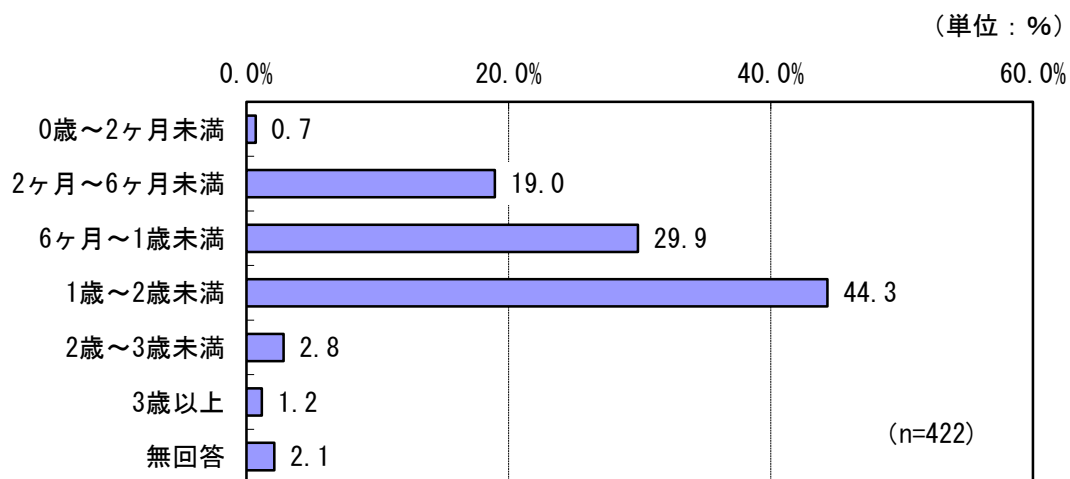
父親は、回答者は 14 人ですが、「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」は
ゼロで、「それ以外だった」が 92.9%と大多数となっており、入所にあわせた復帰が全く考
慮されていないことがわかります。



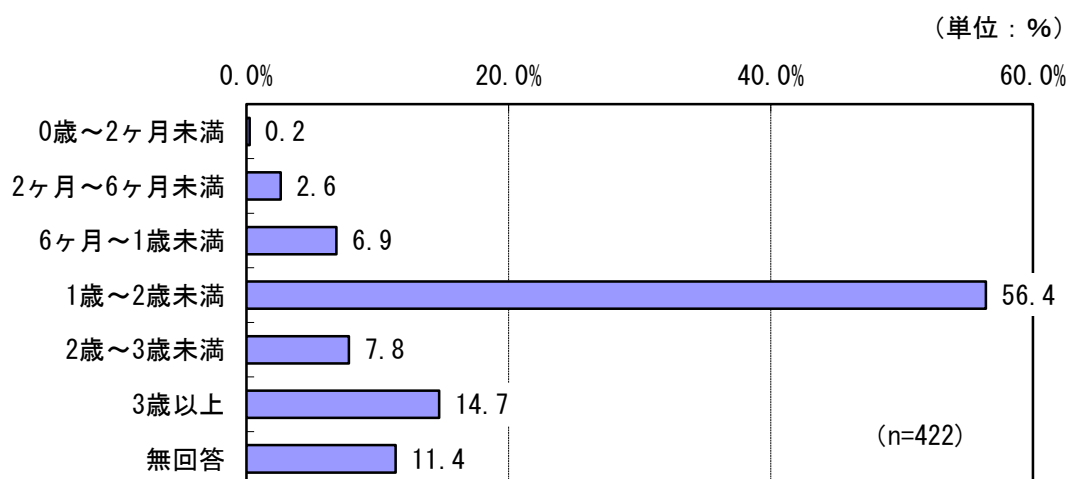
問 31-4 育児休業から実際に職場に復帰したのはお子さんが何歳何ヶ月のときですか。
 また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。
 □内に数字でお答えください。

(1) 母親

実際の復帰は「1歳～2歳未満」が最も多く44.3%、「6ヶ月～1歳未満」が29.9%、「2ヶ月～6ヶ月未満」が19.0%となっています。

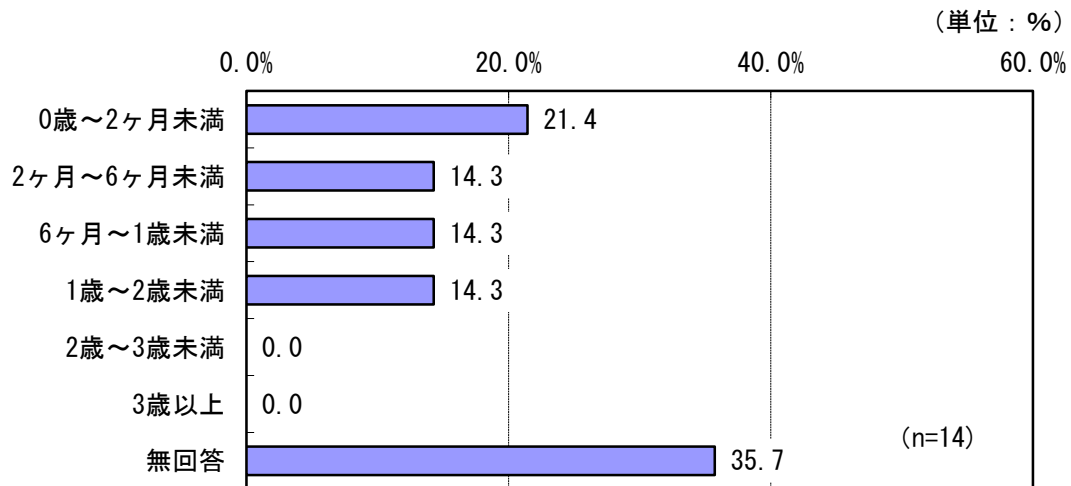


これに対し希望する復帰時期は「1歳～2歳未満」が最も多く56.4%となっていますが、実際の復帰時期である1歳未満が大きく減少し、「6ヶ月～1歳未満」が6.9%となっており、「3歳以上」が14.7%、「2歳～3歳未満」が7.8%と2歳以上の希望が増えています。

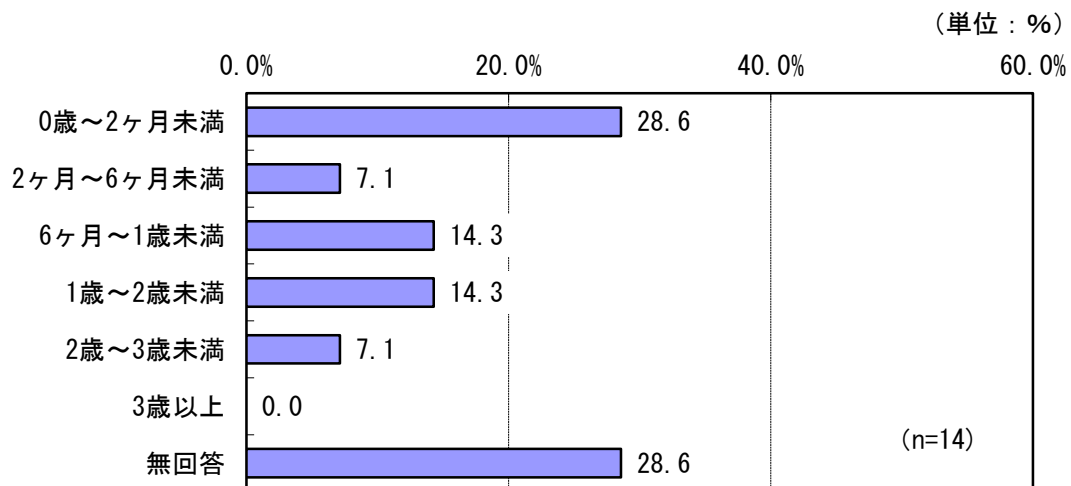


(2) 父親

父親の場合は「0歳～2ヶ月未満」が最も多く 21.4%、「2ヶ月～6ヶ月未満」、「6ヶ月～1歳未満」、「1歳～2歳未満」がそれぞれ 14.3%となっています。



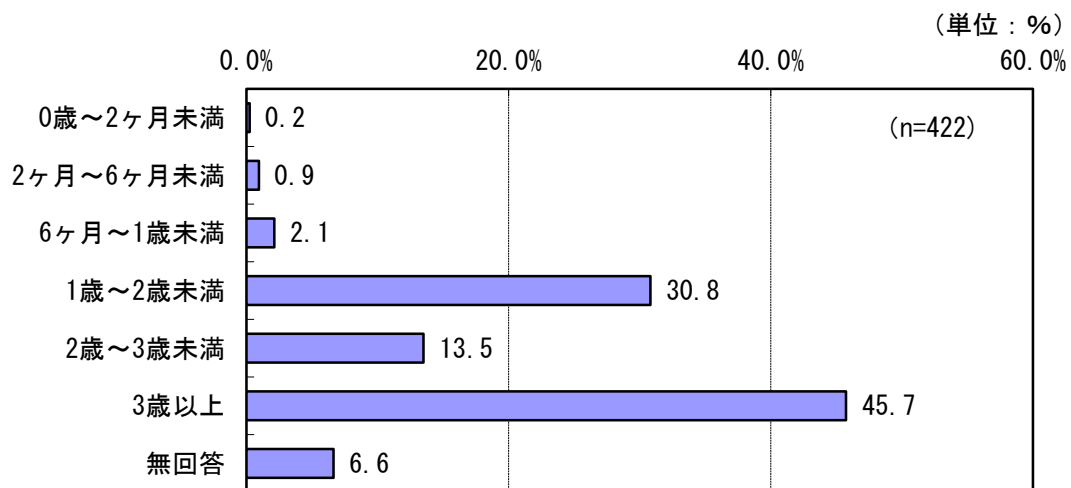
父親の希望は「0歳～2ヶ月未満」が 28.6%と最も多くなっていますが、「6ヶ月～1歳未満」、「1歳～2歳未満」がそれぞれ 14.3%、「2歳～3歳未満」が 7.1%と母親同様より遅い時期を希望する人が増えています。



問 31-5 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。口内に数字でお答えください。

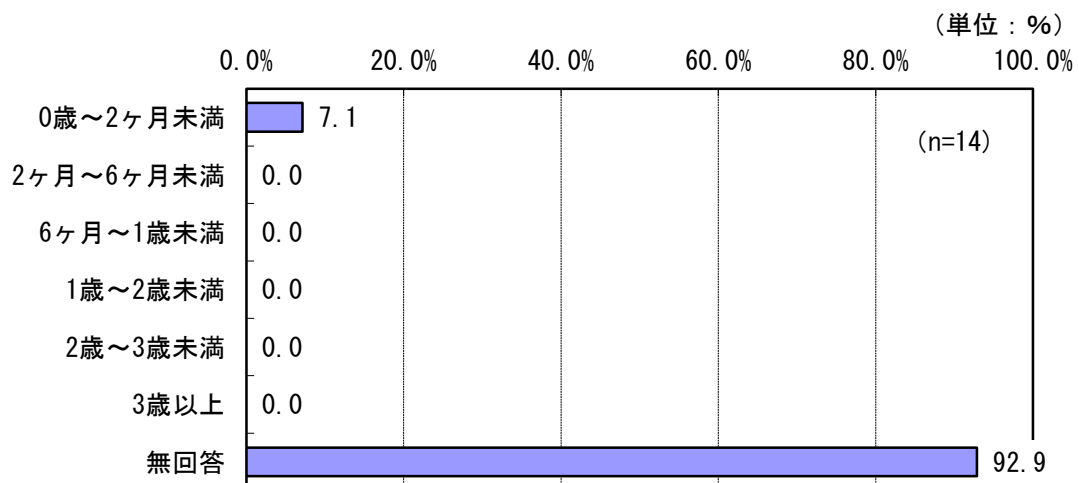
① 母親

「3歳以上」が45.7%と半数に近い回答となっています。第2位は「1歳～2歳未満」が30.8%で、1歳未満は少数です。



② 父親

「0歳～2ヶ月未満」が7.1%(1人)のみの回答です。



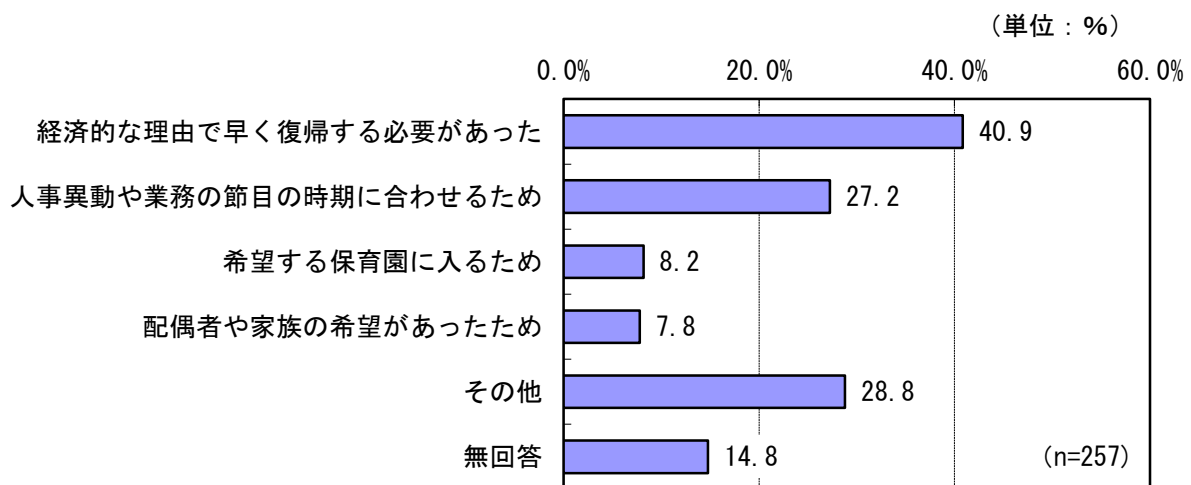
問 31-4 で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問 31-6 希望の時期に職場復帰しなかった理由についてうかがいます。

(1) 「希望」より早く復帰した方

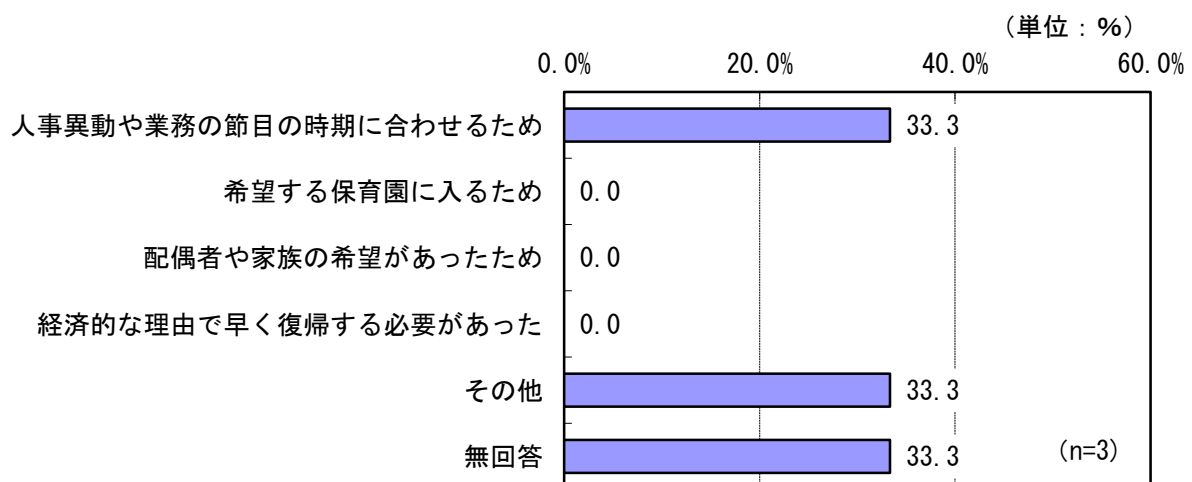
① 母親

「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 40.9%、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 27.2%となっており、就労側の事情が多くみられます。



③ 父親

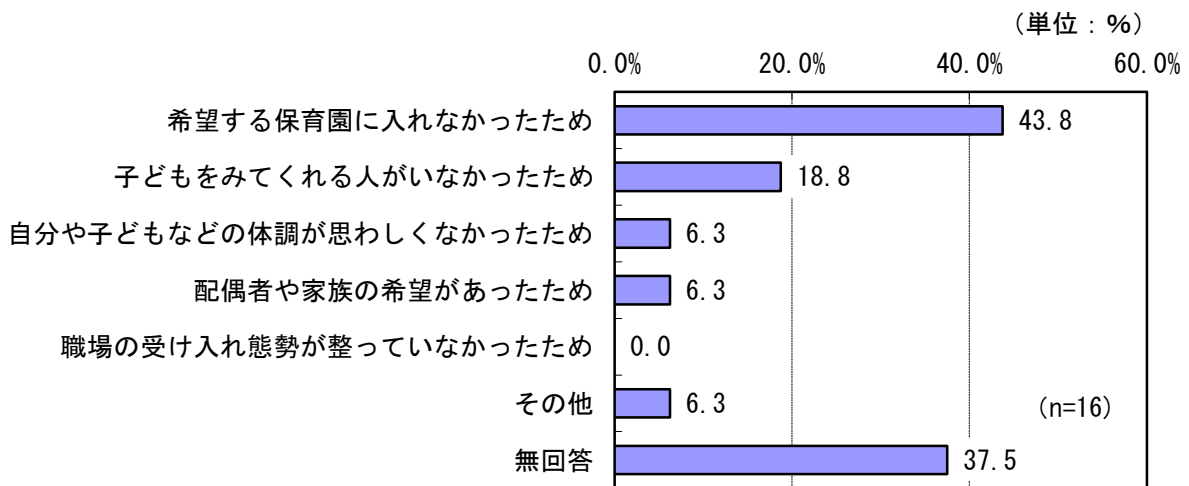
回答は 3 件のみであり、「人事異動や業務の節目の時期に合わせるため」が 33.3% (1 人) となっています。



(2)「希望」より遅く復帰した方

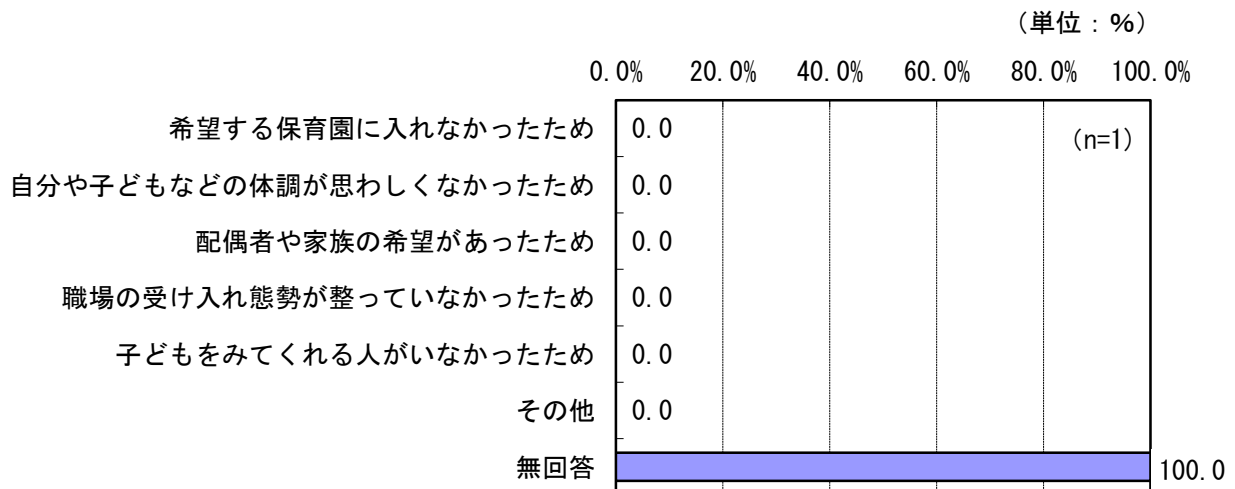
① 母親

「希望する保育園に入れなかったため」が43.8%と最も多く、「子どもをみてくれる人がいなかったため」が18.8%、「自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため」と「配偶者や家族の希望があったため」がともに6.3%となっています。



② 父親

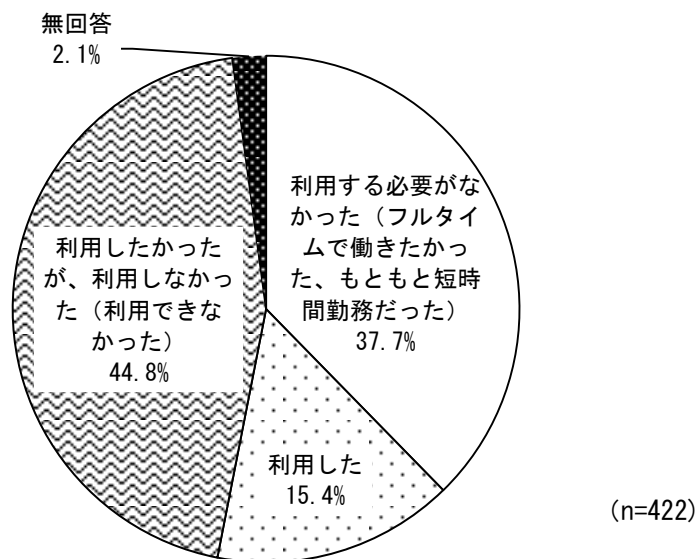
回答者は1人で「無回答」でした。



問 31-2 で「1. 育児休業取得後、職場に復帰した」と 回答した方にうかがいます。
 問 31-7 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

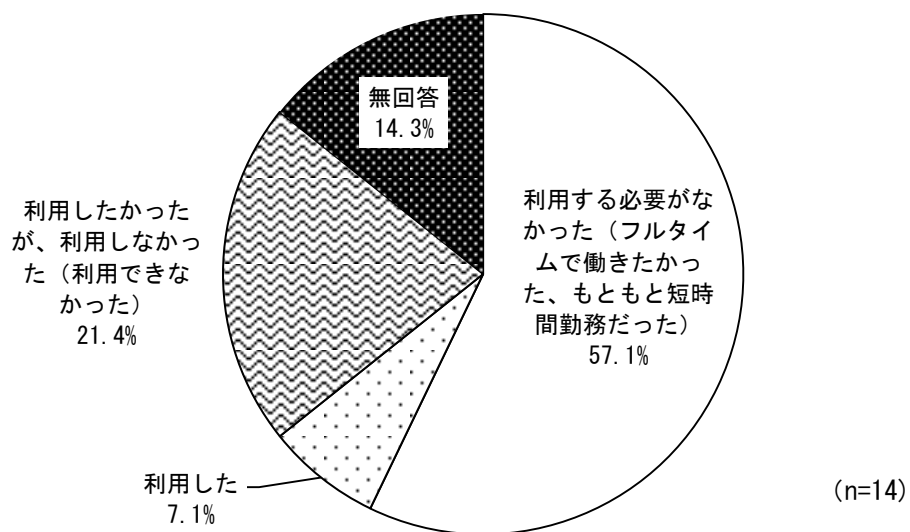
① 母親

「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 44.8%と最も多く、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が 37.7% となっています。



② 父親

父親の場合は、「利用する必要がなかった（フルタイムで働きたかった、もともと短時間勤務だった）」が 57.1%と半数を超えており、「利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」が 21.4%となっています。

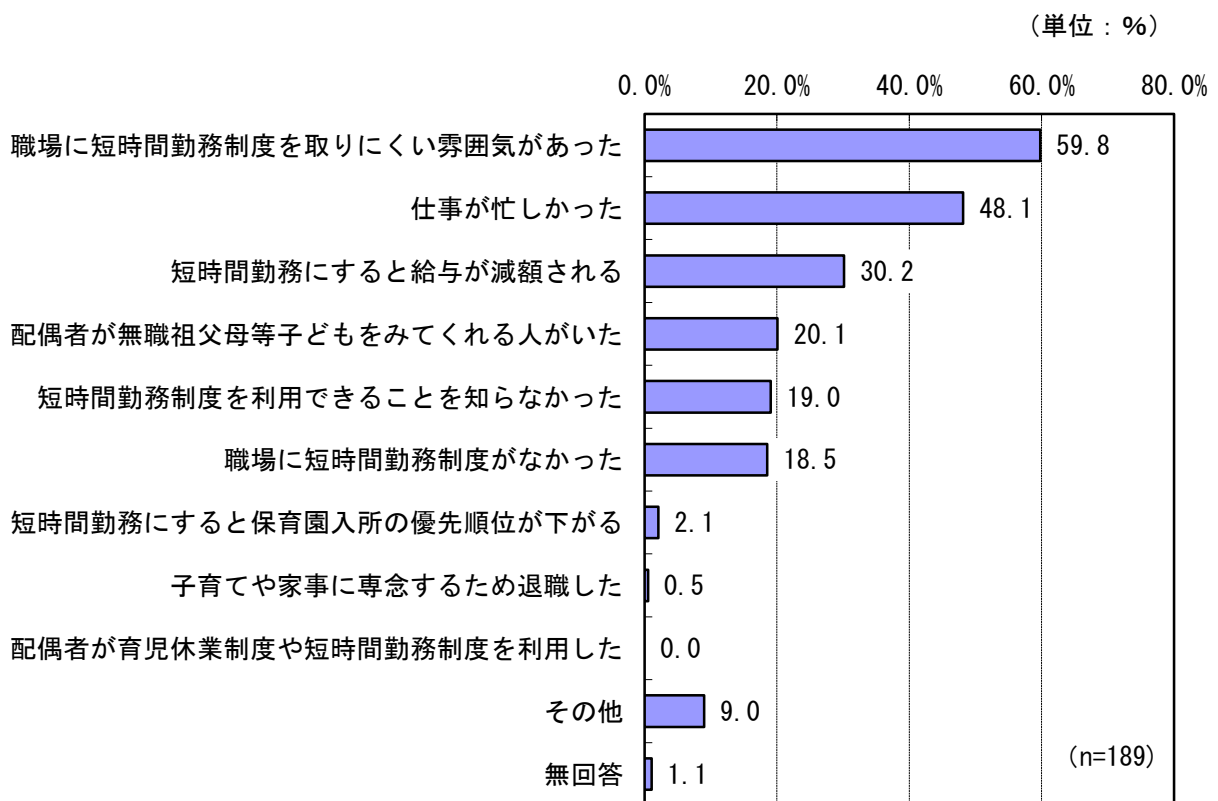


問 31-7 で「3. 利用したかったが、利用しなかった（利用できなかった）」と 回答した方にかかっています。

問 31-8 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

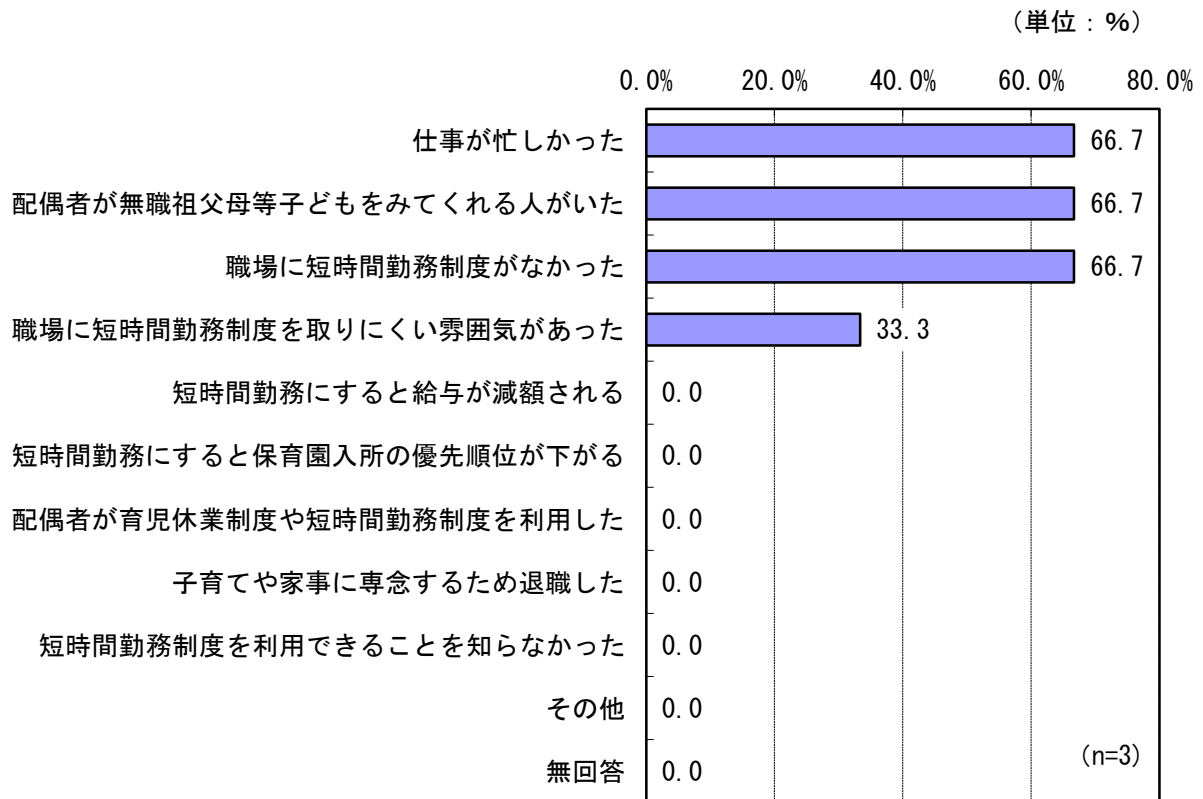
① 母親

「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が 59.8%と最も多く、「仕事が忙しかった」が 48.1%、「短時間勤務にすると給与が減額される」が 30.2%などとなっています。



② 父親

父親の回答は3人のみであり、「仕事が忙しかった」、「配偶者無職、父母等子どもをみてくれる人がいた」、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」などの回答がみられます。

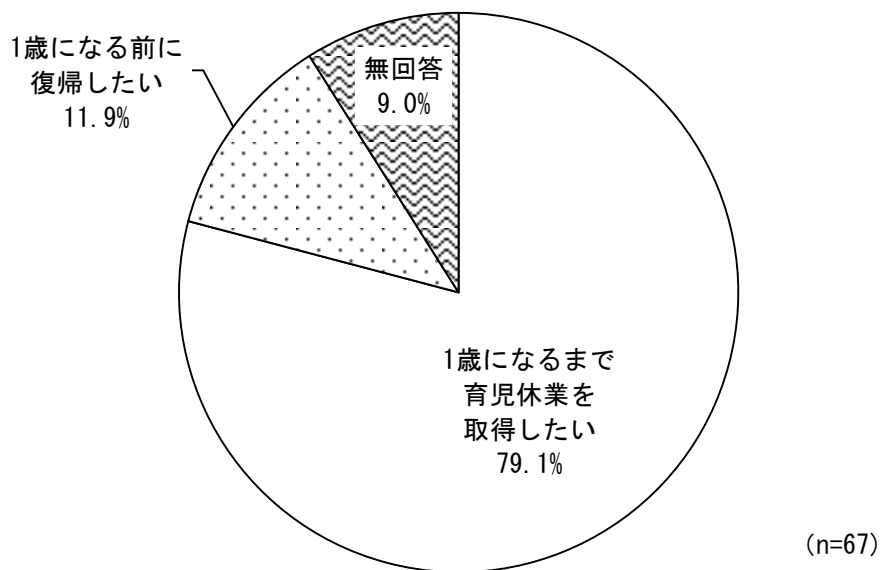


問 31-2 で「2. 現在も育児休業中である」と 回答した方にうかがいます。

問 31-9 あて名のお子さんが1歳になった時に必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても、1歳になる前に復帰しますか。あてはまるものに○をつけてください。

① 母親

母親は「1歳になるまで育児休業を取得したい」が79.1%と大多数となっています。



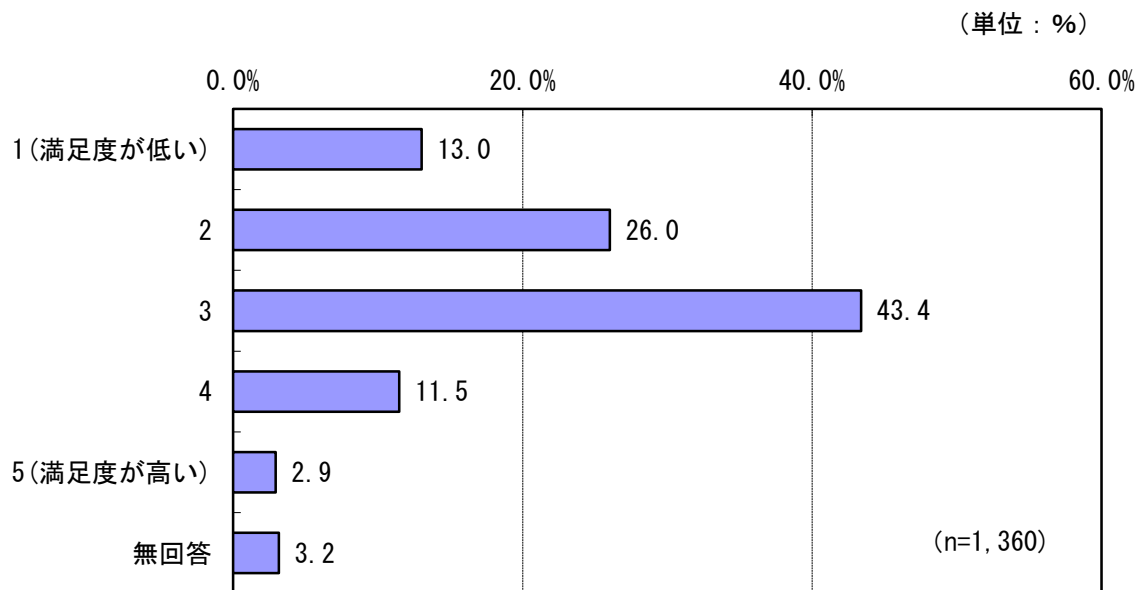
③ 父親

父親の回答者は1人のみで、「無回答」です。

9 子育て環境や支援

問 32 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまるものひとつに○をつけてください。

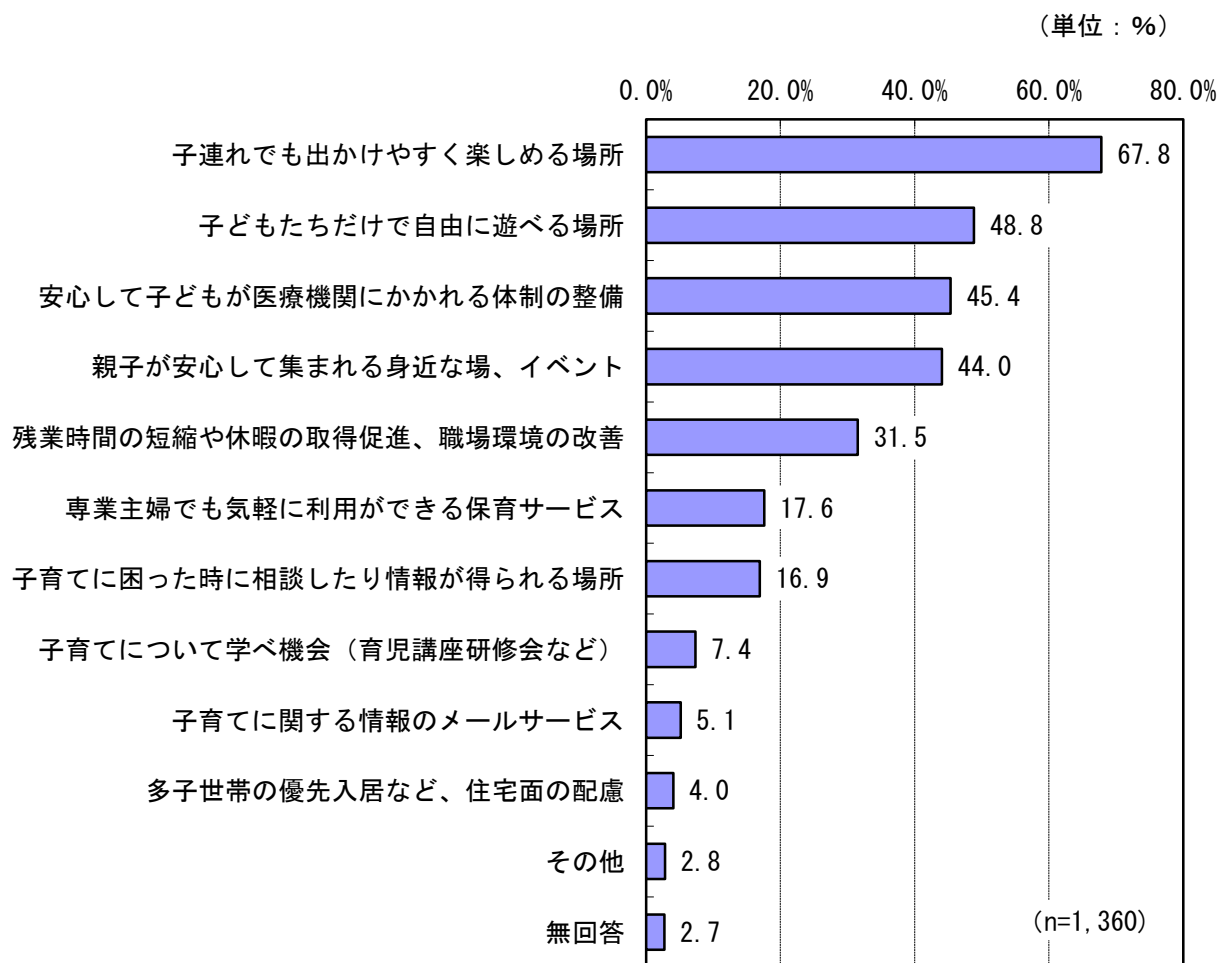
中央の「3」が最も多く 43.4%となっています。平均は 2.64 で中央値の 3 よりやや低くなっています。



問 33 今後、どのような子育て支援の充実を望みますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」が 67.8%と全体の3分の2を占め最も多くなっています。「子どもたちだけで自由に遊べる場所」が 48.8%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備」が 45.4%、「親子が安心して集まれる身近な場、イベント」が 44.0%、などとなっております、これらの選択肢が上位となっております。

また、「残業時間の短縮や休暇の取得促進、職場環境の改善」は 31.5%です。



問 34 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

その他・自由意見
子供の遊び場がない。遊具の老朽化や老朽したため、取りはずされた後に遊具が新しく設置されない。
子供があそべる公園を作るべきです。
就労の有無に関係なく、保育園を利用できたらありがたいです。
保育園の先生方には感謝の言葉しかありません。先生方が余計な事務作業などに追われることなく、子供たちと触れ合うことに多く時間をとれる体制であってほしいと願います。雨の日や雪の季節でも体を動かして遊べる施設があると良いと思います。保育園の運動会などが平日開催なので、休日開催にできるよう、対応をお願いできればありがたいです。
村上是子育てがしにくいと感じています。行政も、補助等はないし、予防接種も産まれた時に全部問診表をもらうので、忘れることもある。
子供の遊び場所が少ないと思います。土・日曜日など、保育園が休みの日に気軽に行けるイベントや、集まれる所があればいいなと思います。
保育園料の見直し。
これからの季節、自由にいつでも遊べる施設が少ないと思う。もっと体育館など開放して、伸び伸び体を動かして遊べる施設があればいいと思います。
働きたいので、保育園に入園できる園児の数を増やしてほしいです。保育園に入園できるという決定がないと、就職活動したくても出来ません。
冬でも親子で遊べるような屋内の施設があると嬉しいです。
村上是保育士の質が低すぎる。延長保育を19時までにして欲しい。
保育園の空きを待っている為仕事に戻れない状態ですが、私より後に出産した人が保育園受け入れが決まり復帰するそうです。なぜ先に待っている私が後回しにされるのでしょうか。同じ保育園で兄弟が在園中なのはかわらないと思いますが。
祖父母等親族の助けを借りられるため行政サービスを利用する必要がなかった。そうでない家庭も多いと聞くので、子育て環境の整備、サービスの充実を強く願う。
ファミサポを利用してみたが、預かってくれる人の判断で親がして欲しくない事が心配で、預けにくい。預かってくれる人の情報がわかると安心できる。
就園前の小さい子連れで出かける所がなく、考えてしまいます。室内遊園地のような所があると良いです。整備された公園があると良いと思います。子育てに関する情報があまり入って来ないので、情報発信して欲しいです。
村上市は小児科が少ないので増やして欲しい。鶴岡市と比べるとサービスが充実しておらず、もっと充実させて欲しいと思う。健診を村上地区または朝日地区で行うと聞いたが、各地区で行って欲しいと思う。

※一部意見を抜粋して掲載

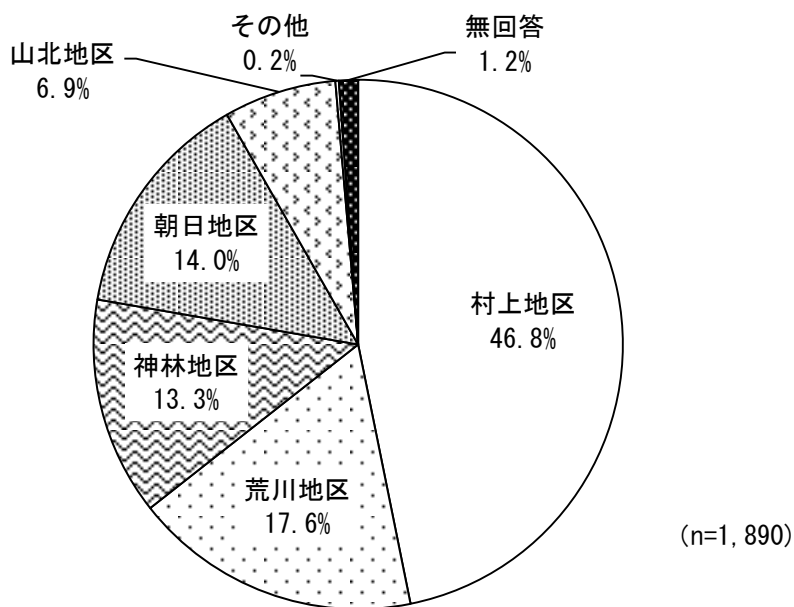
第 3 章

小学生児童調査結果

1 子どもと家族の状況

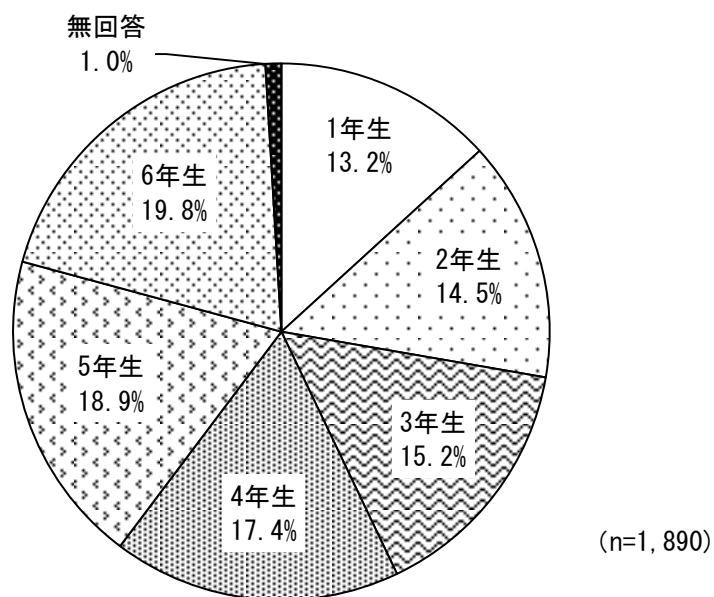
問1 お住まいの地区はどちらですか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

就学児童調査の回答者の居住地区は以下のとおりです。



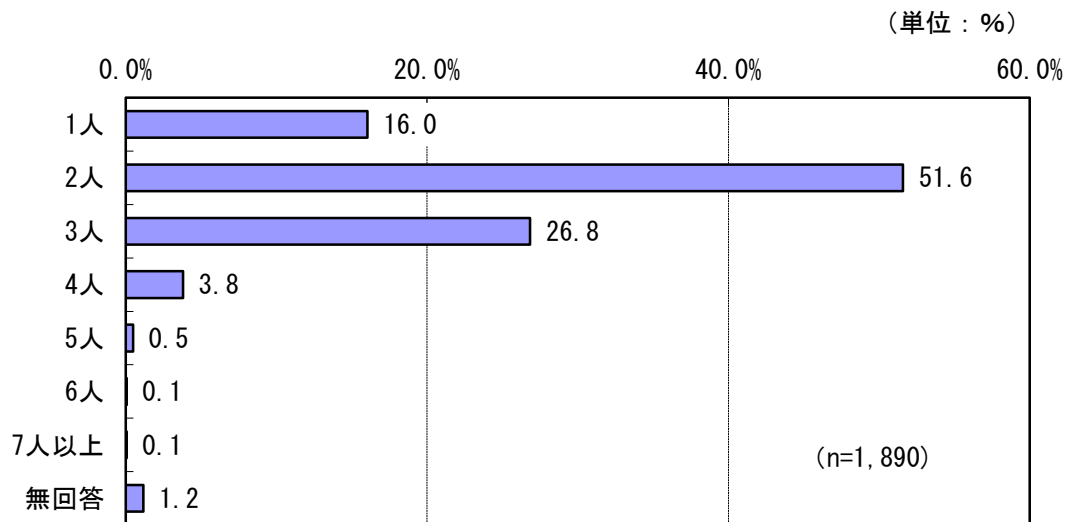
問2 あて名のお子さんの生年月と学年を口内に数字でご記入ください。

各学年の構成比は以下の通りです。ほぼ均等に分布しています。



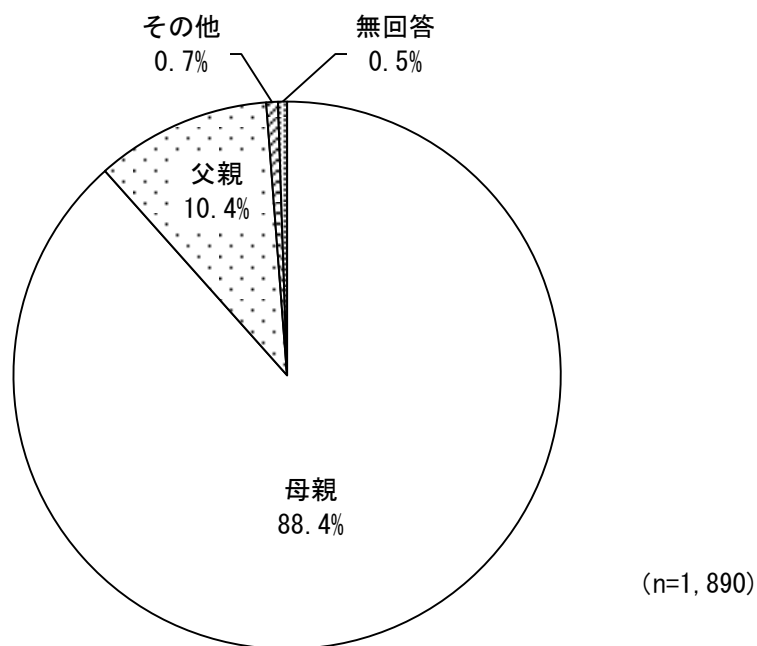
問3 あて名のお子さんを含め、お子さんは何人いらっしゃいますか。また、お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を口内に数字でご記入ください。

小学生の兄弟は、「2人」が最も多く51.6%と半数となっています。



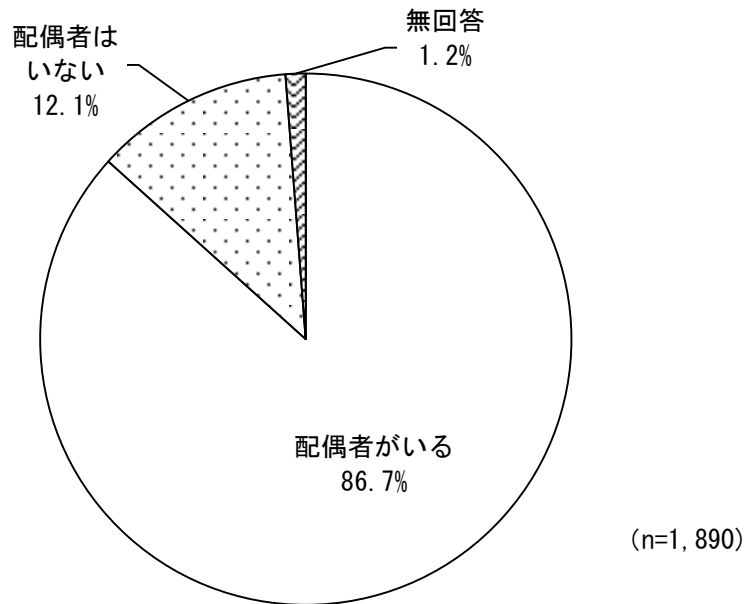
問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。あて名のお子さんから見た関係でお答えください。あてはまるものひとつに○をつけてください。

調査の回答者は、母親が88.4%となっています。



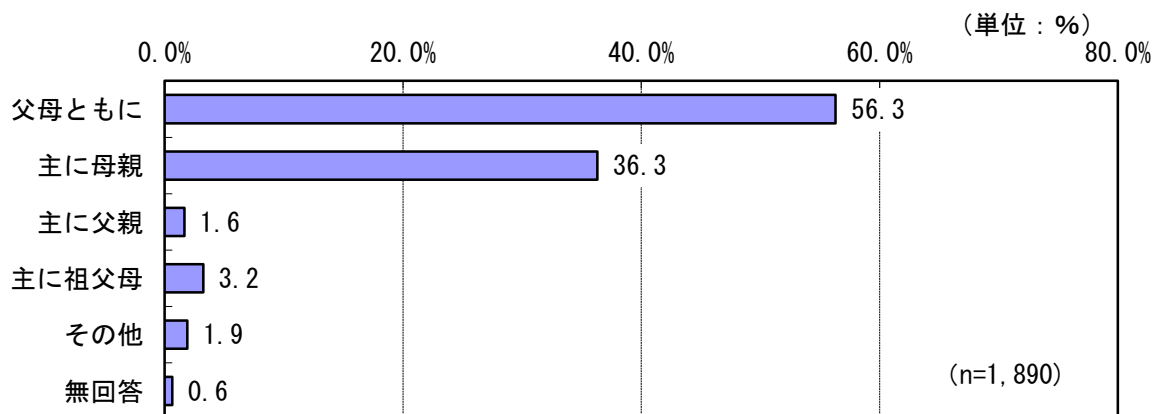
問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。あてはまるものに○をつけてください。

回答者の配偶関係は、「配偶者がいる」が86.7%、「配偶者はいない」は12.1%です。



問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。続柄はあて名のお子さんからみた関係です。あてはまるものひとつに○をつけてください。

子育てや教育を主に行っているのは「父母ともに」が56.3%と最も多く、「主に母親」は36.3%です。就学前調査と比べると「父母ともに」でやや増え、「主に母親」では減少しています。

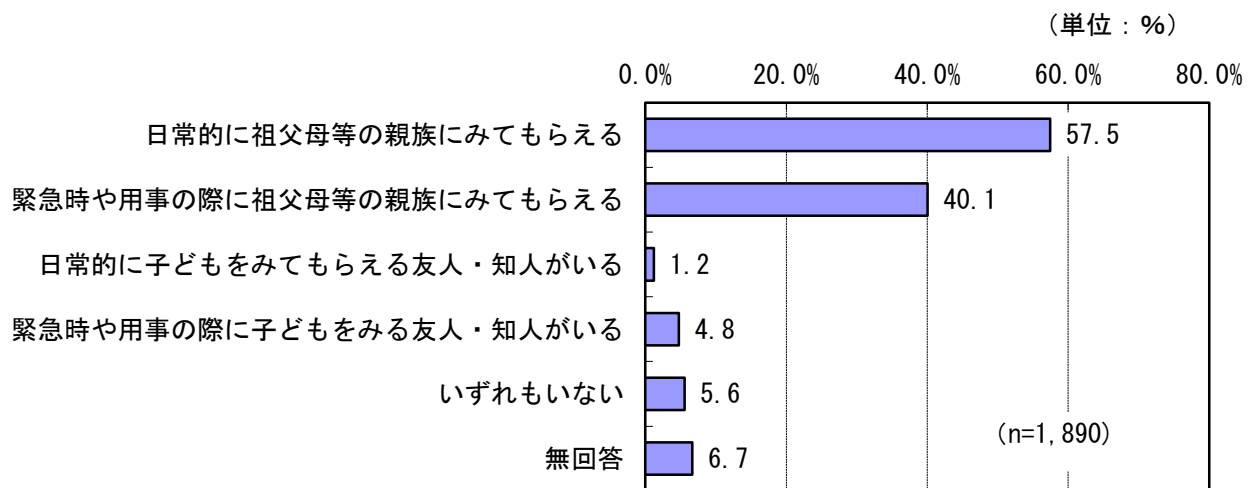


問7 日頃、あて名のお子さんをみてもらえる人はいますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 57.5%、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 40.1%と祖父母が大きな役割を果たしています。

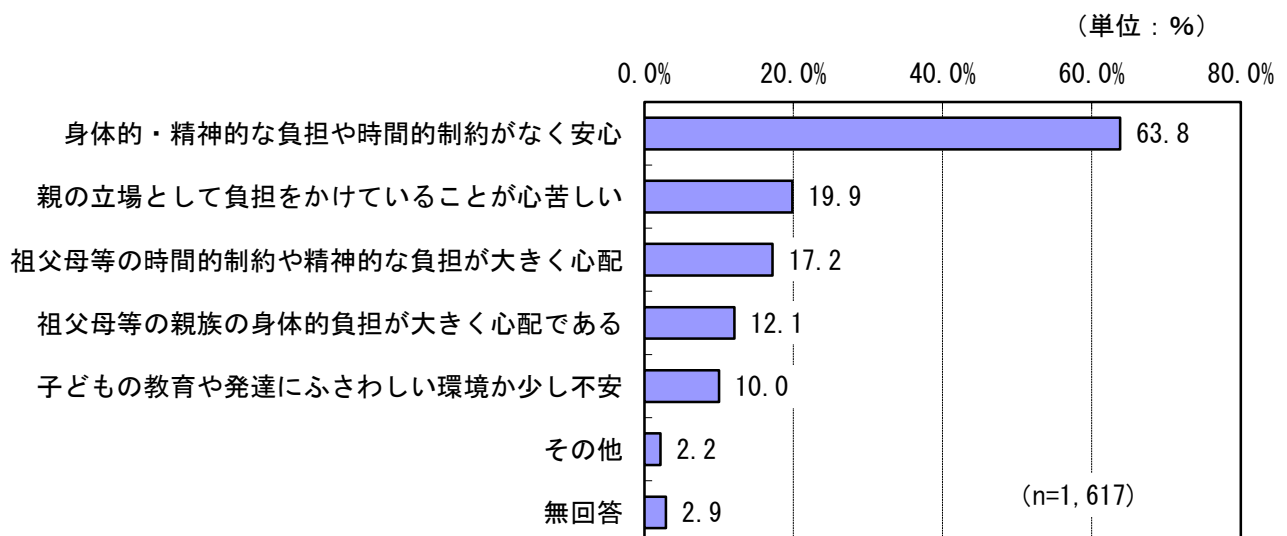
友人・知人は「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 4.8%、「日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は 1.2%です。

「いずれもない」は 5.6%です。



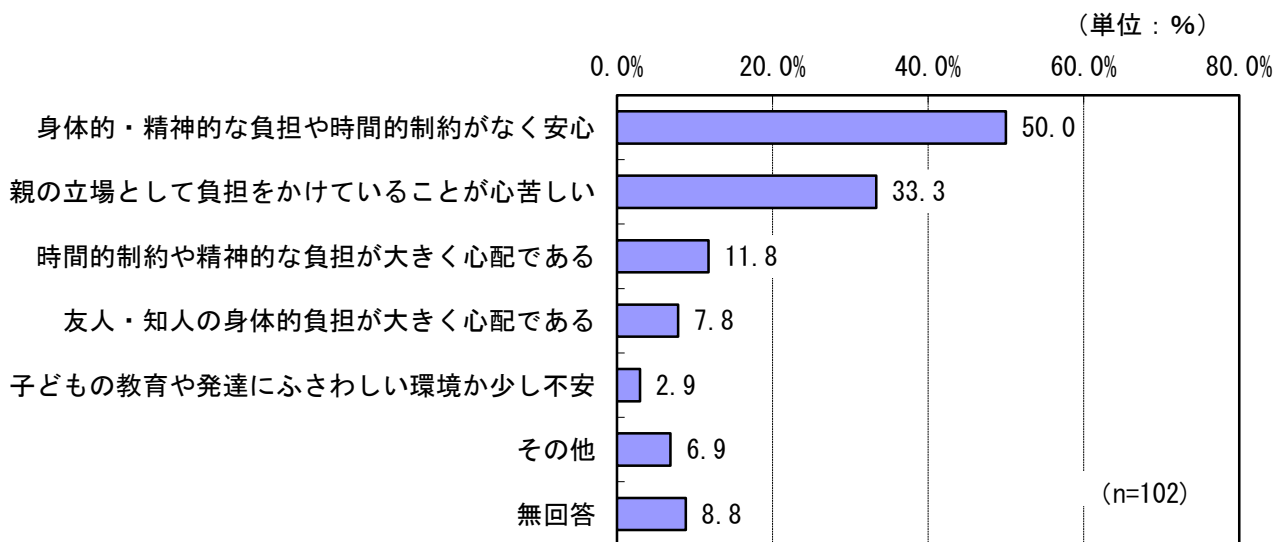
問7-1 問7で「1.」または「2.」に回答された方にうかがいます。祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

祖父母に子どもをみてもらっている状況は「身体的・精神的な負担や時間的制約がなく安心」が 63.8%と高い割合となっています。



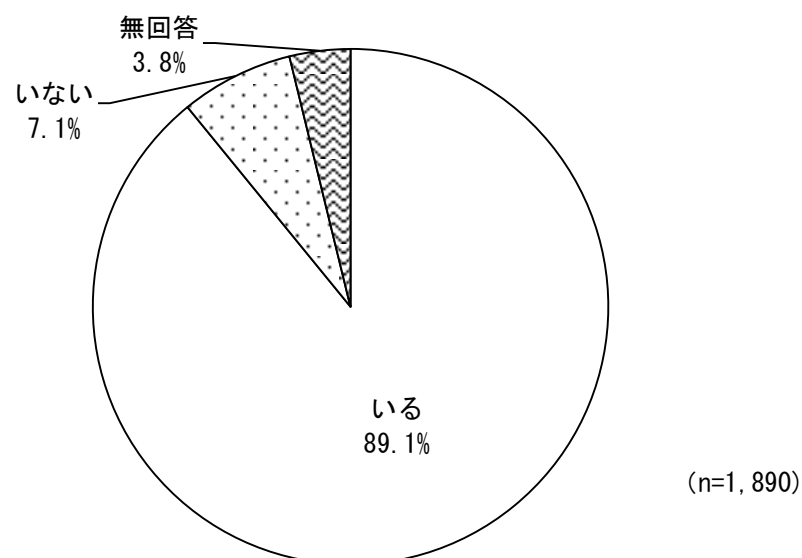
問7-2 問7で「3.」または「4.」に回答された方にうかがいます。友人・知人にお子さんをみてもらっている状況について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

友人・知人に対しては「身体的・精神的な負担や時間的制約がなく安心」が50.0%となっていますが、「親の立場として負担をかけていることが心苦しい」も33.3%みられます。



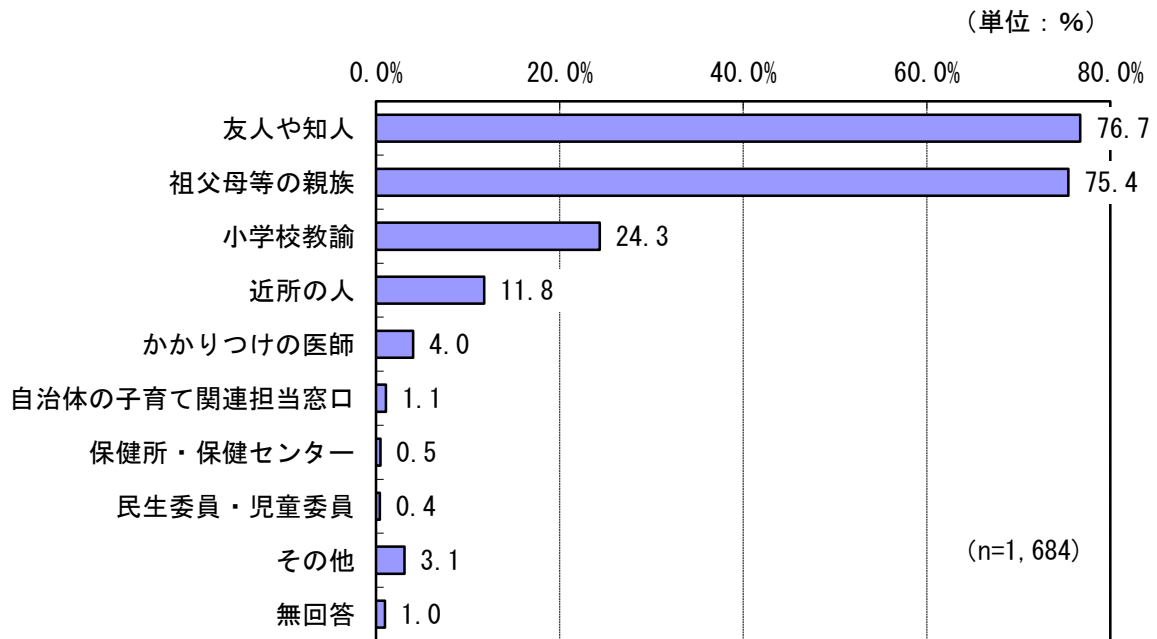
問8 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。あてはまるものに○をつけてください。

「いる」が89.1%、「いない」が7.1%となっています。



問8-1 問8で「1. いる」に回答された方にうかがいます。お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できるのは、誰（どこ）ですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「友人や知人」が76.7%、「祖父母等の親族」が75.4%でこの両者が全体の4分の3の高い回答を集めています。



問9 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいと思いますか。ご自由にお書きください。

その他・自由意見
病児保育、子供のどのような状況にも会社を休んだりして、負担がかかってくるのが母親です。我が子のためにも、側にいてあげたいのですが、会社側からの休む事への理解が乏しいのが現状です。
気軽に相談できる場の提供（インターネットなどでもよい）や子育てに関する情報提供。緊急時に子どもの面倒をみてもらえるなどのサポート。
親の具合が悪い時、日曜でも低料金で預って頂ける場所があるとありがたいです。
こまった時など話を聞いてくれて、アドバイスなどしてくれる場があればいいと思う。
親育てのセミナーなどあれば良いと思います。
経済的な面でのサポート（例えば子供手当の拡大など）。
気軽に話が出来る窓口みたいなものがあるといいです（人と直接話したり電話できたり）。
子供だけでも気軽に遊びに行ける場所。
子どもが病気にかかった際、助けてもらえるサポート。
夏休みなどに近くで子供をみてもらえると助かる。
気軽に利用出来る保育、学童施設があるとよい。（土、日、祝も）利用料金も負担の少ない額であれば、尚可。冬場も室内遊技場がほしい。
いつでもあずかってもらえる託児所があれば良い。病院等あまり早くしまってしまうのでこまる。
病気や体、発育等を相談できる場所（専門の知識を持っている人がいること）。病院の医師は診断だけで、悩みや相談、これからどうしたら良いか等話したいのにできない。ネットを見れば他の市や団体ではそういう集る支援スポットがあつてうらやましい。村上はそういう所がまだまだ遅れている事が残念です。
気軽に相談できるところがあるといい。
話を聞いてくれる人がいること。色々なサービスがあつても利用する勇気がない人もいるかもしれないので、メールでの相談などネットでのサービスもあれば良い。
緊急の時に誰も居ないときにお迎えなどのサポートがあるとよい。
同年代の子供のいる人達や同じ悩みのある人、あつた人に相談できたりすると参考になったりするので、回りにそういう人がいない時は集まりがあつたりできるといいと思います。
まだ家のこと、子供のことは母親の役目と思われていますが、今は母親も仕事をする時代です。父親にももっと家のことや子供のこと、学校のことなど協力し、負担を軽くしてほしい。

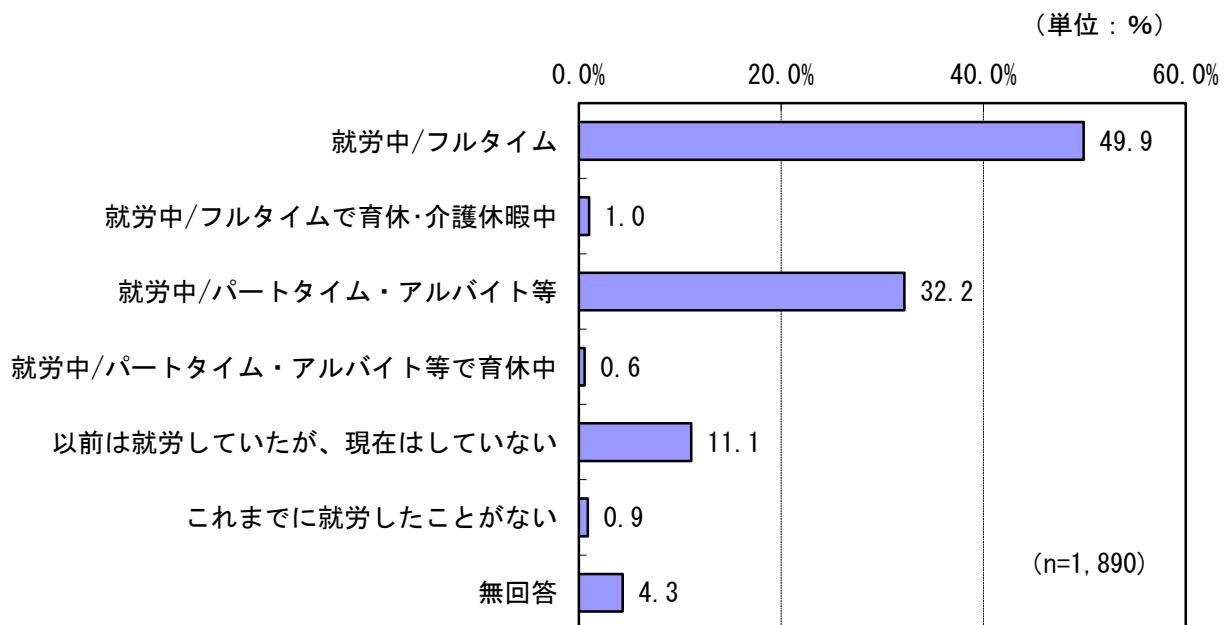
※一部意見を抜粋して掲載

2 両方の保護者の就労状況

問 10 あて名のお子さんの両方の保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）についてうかがいます。

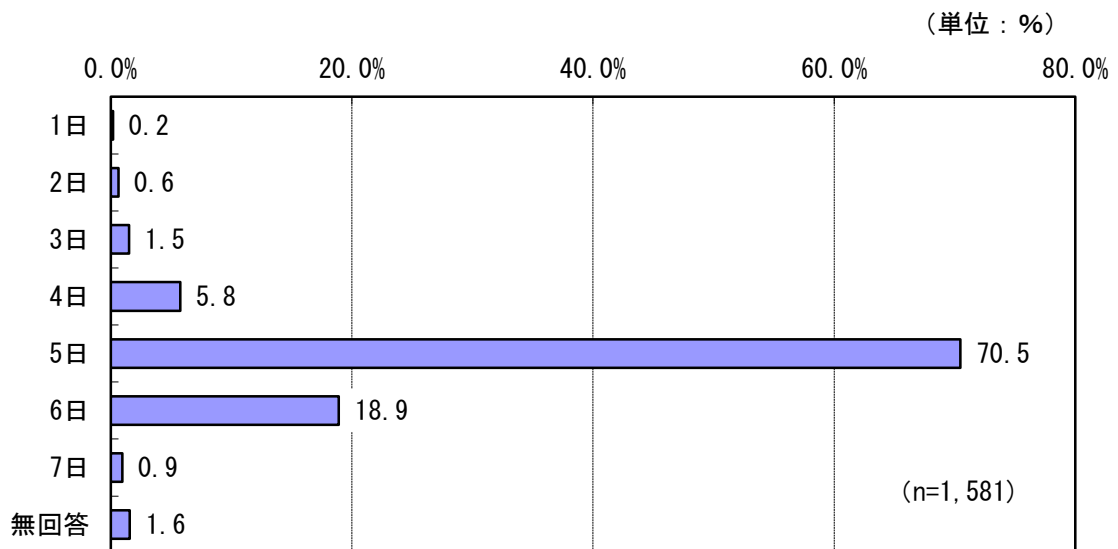
（1）母親 あてはまるものひとつに○をつけてください。

「就労中／フルタイム」が 49.9%と半数となっています。「就労中／パートタイム・アルバイト等」は 32.2%でフルタイムのほうが多くなっています。また、育休・介護休暇中はフルタイム、パートタイムともにわずかです。

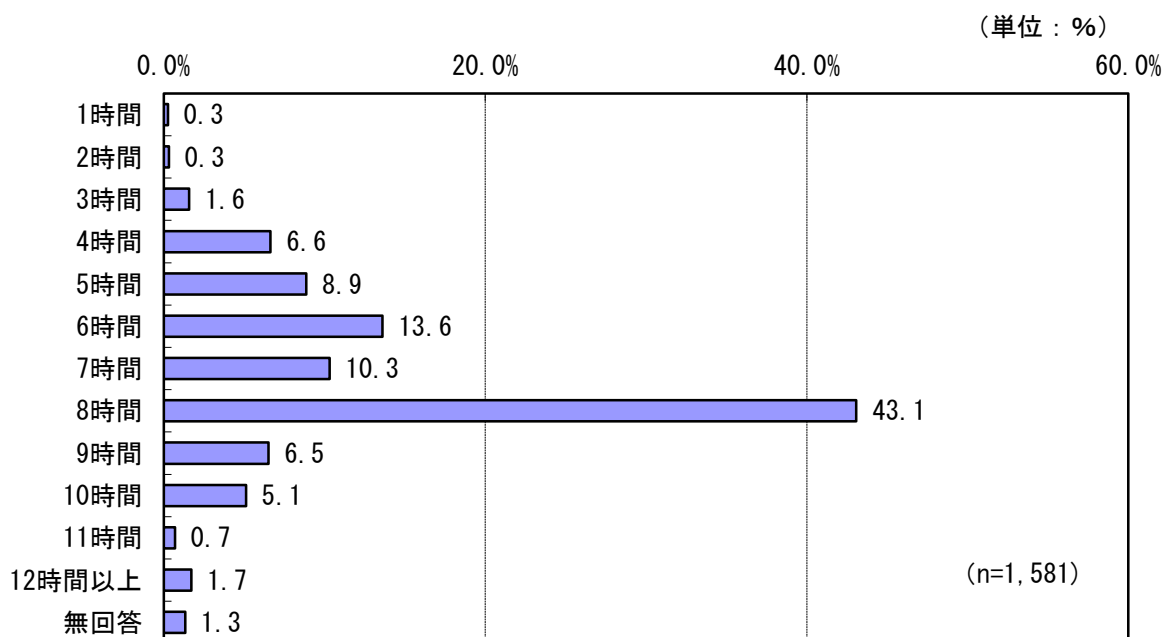


(1) - 1 (1) で「1.~4.」(就労している)に回答した方にうかがいます。
 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間含む)」をお答えください。
 就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

就労日数は「5日」が70.5%、「6日」が18.9%です。



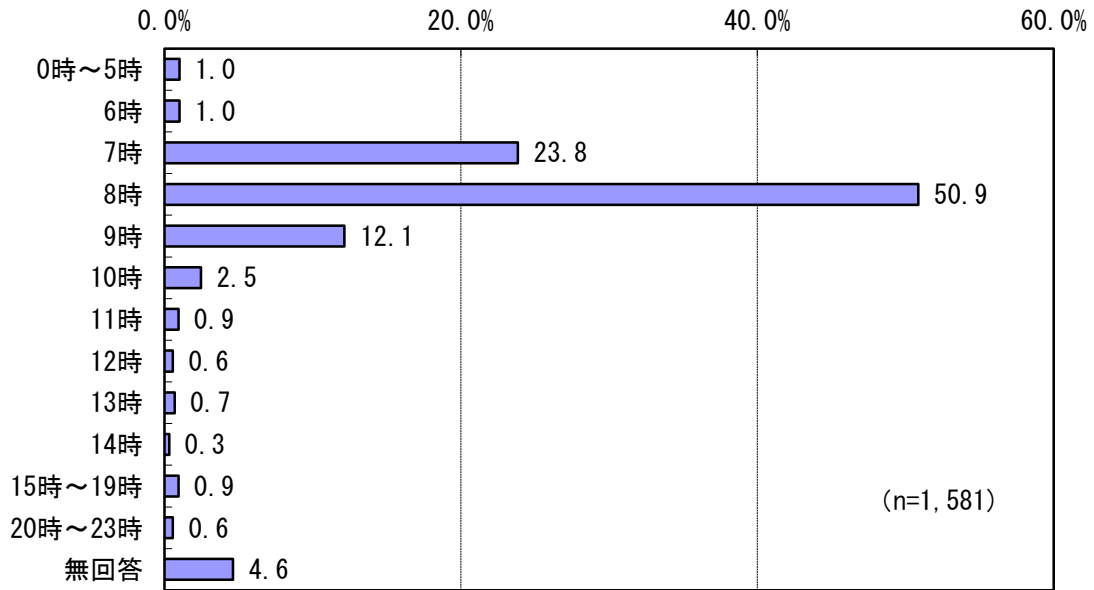
就労時間は、「8時間」が43.1%と4割を超える高い回答となっています。また「6時間」が13.6%です。



(1) - 2 (1) で「1.~4.」(就労している)に回答した方にうかがいます。
 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

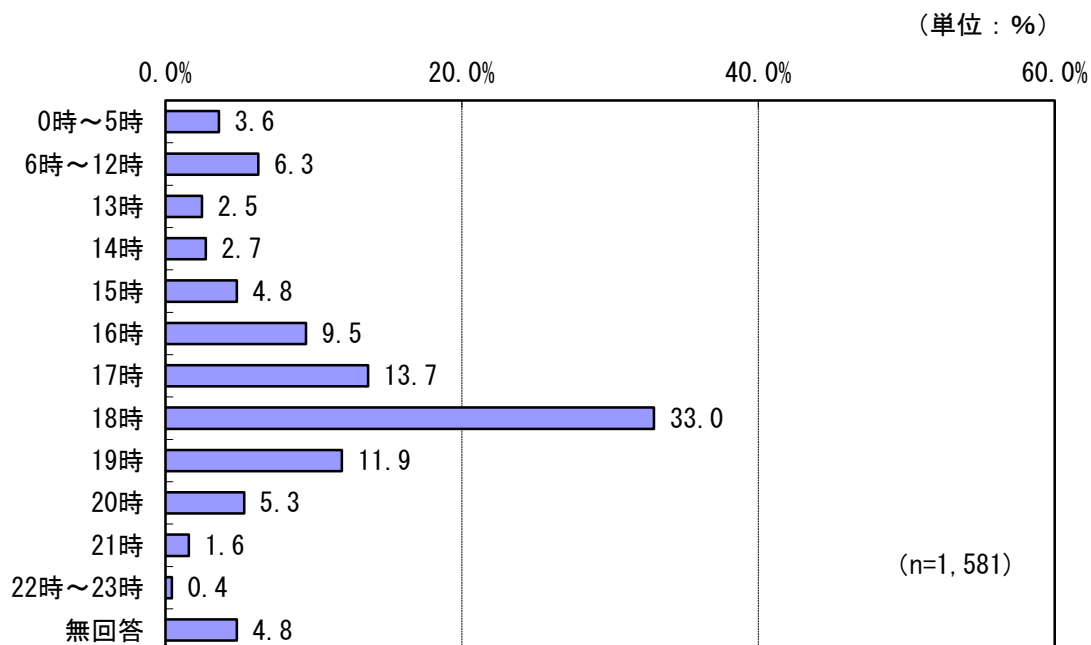
家を出る時間は「7時」が23.8%、「8時」が50.9%です。

(単位：%)



	合計	問1 居住地区						無回答
		村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区	その他	
全体	1581	744	275	206	228	109	1	18
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0時~5時	16	5	4	4	2	1	0	0
	1.0%	0.7%	1.5%	1.9%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%
6時	16	7	1	1	3	4	0	0
	1.0%	0.9%	0.4%	0.5%	1.3%	3.7%	0.0%	0.0%
7時	377	131	80	55	71	32	1	7
	23.8%	17.6%	29.1%	26.7%	31.1%	29.4%	100.0%	38.9%
8時	804	409	130	96	116	49	0	4
	50.9%	55.0%	47.3%	46.6%	50.9%	45.0%	0.0%	22.2%
9時	192	97	34	30	20	10	0	1
	12.1%	13.0%	12.4%	14.6%	8.8%	9.2%	0.0%	5.6%
10時	39	26	5	5	0	3	0	0
	2.5%	3.5%	1.8%	2.4%	0.0%	2.8%	0.0%	0.0%
11時	15	7	3	2	2	1	0	0
	0.9%	0.9%	1.1%	1.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%
12時	9	4	1	0	4	0	0	0
	0.6%	0.5%	0.4%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	0.0%
13時	11	5	0	2	1	1	0	2
	0.7%	0.7%	0.0%	1.0%	0.4%	0.9%	0.0%	11.1%
14時	5	3	1	0	0	1	0	0
	0.3%	0.4%	0.4%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%
15時~19時	15	8	3	0	2	2	0	0
	0.9%	1.1%	1.1%	0.0%	0.9%	1.8%	0.0%	0.0%
20時~23時	9	6	1	0	1	0	0	1
	0.6%	0.8%	0.4%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	5.6%
無回答	73	36	12	11	6	5	0	3
	4.6%	4.8%	4.4%	5.3%	2.6%	4.6%	0.0%	16.7%

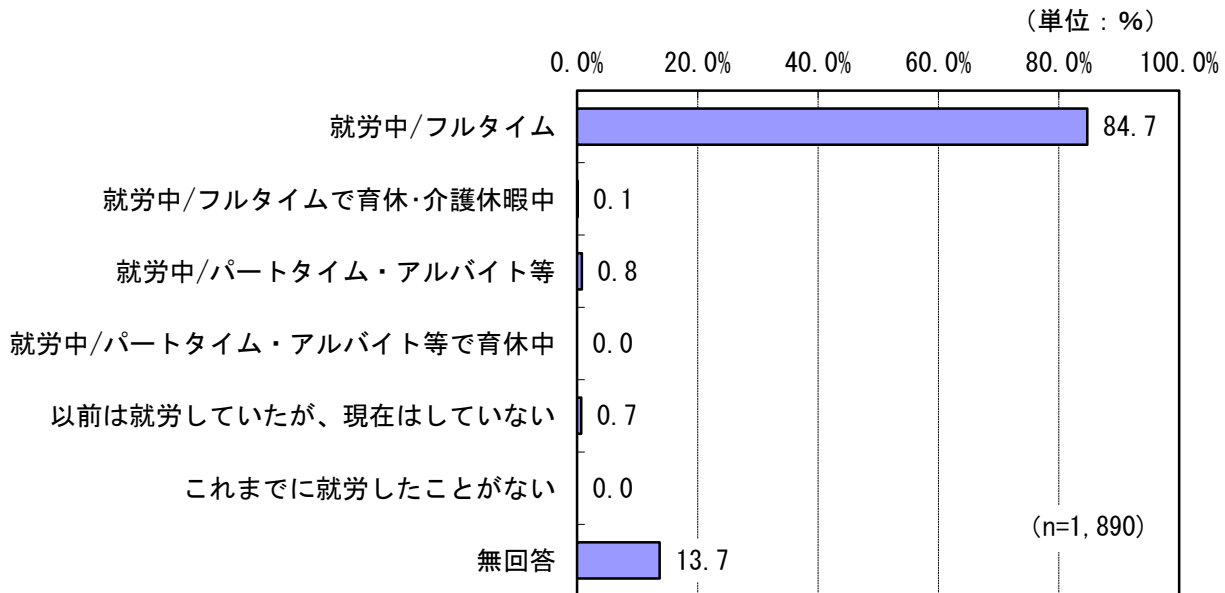
帰宅時間は「18時」が33.0%と最も多くなっています。「17時」が13.7%、「19時」が11.9%です。



	合計	問1 居住地区						無回答
		村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区	その他	
全体	1581	744	275	206	228	109	1	18
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0時～5時	57	23	13	6	10	4	0	1
	3.6%	3.1%	4.7%	2.9%	4.4%	3.7%	0.0%	5.6%
6時～12時	99	45	15	11	14	12	0	2
	6.3%	6.0%	5.5%	5.3%	6.1%	11.0%	0.0%	11.1%
13時	39	21	9	3	5	1	0	0
	2.5%	2.8%	3.3%	1.5%	2.2%	0.9%	0.0%	0.0%
14時	43	24	5	4	7	3	0	0
	2.7%	3.2%	1.8%	1.9%	3.1%	2.8%	0.0%	0.0%
15時	76	43	14	9	6	3	1	0
	4.8%	5.8%	5.1%	4.4%	2.6%	2.8%	100.0%	0.0%
16時	150	74	24	22	20	9	0	1
	9.5%	9.9%	8.7%	10.7%	8.8%	8.3%	0.0%	5.6%
17時	216	113	30	32	28	11	0	2
	13.7%	15.2%	10.9%	15.5%	12.3%	10.1%	0.0%	11.1%
18時	521	230	89	63	92	41	0	6
	33.0%	30.9%	32.4%	30.6%	40.4%	37.6%	0.0%	33.3%
19時	188	73	47	30	23	12	0	3
	11.9%	9.8%	17.1%	14.6%	10.1%	11.0%	0.0%	16.7%
20時	84	44	11	11	12	6	0	0
	5.3%	5.9%	4.0%	5.3%	5.3%	5.5%	0.0%	0.0%
21時	25	13	3	4	3	2	0	0
	1.6%	1.7%	1.1%	1.9%	1.3%	1.8%	0.0%	0.0%
22時～23時	7	3	2	0	2	0	0	0
	0.4%	0.4%	0.7%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	76	38	13	11	6	5	0	3
	4.8%	5.1%	4.7%	5.3%	2.6%	4.6%	0.0%	16.7%

(2) 父親 あてはまるものひとつに○をつけてください。

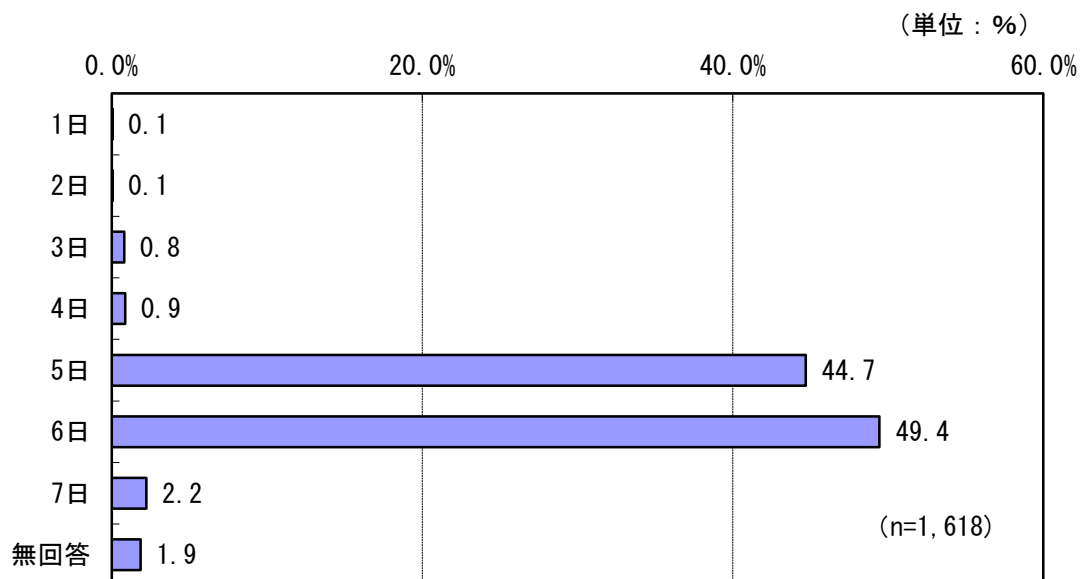
父親は、「就労中／フルタイム」が 84.7%と大多数となっています。「就労中／パートタイム・アルバイト等」はわずか0.8%です。



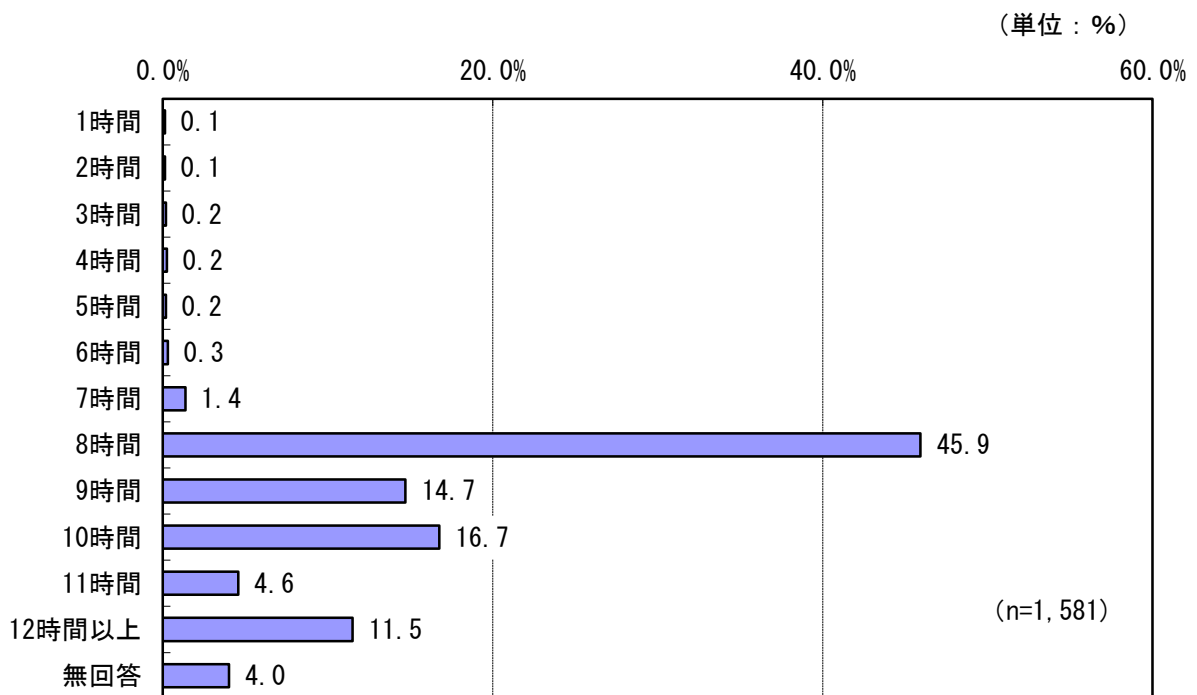
(2) - 1 (1) で「1.~4.」(就労している)に回答した方にうかがいます。

週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

1週間のうち「5日」が44.7%、「6日」が49.4%となっており、6日のほうが5日よりやや多くなっています。



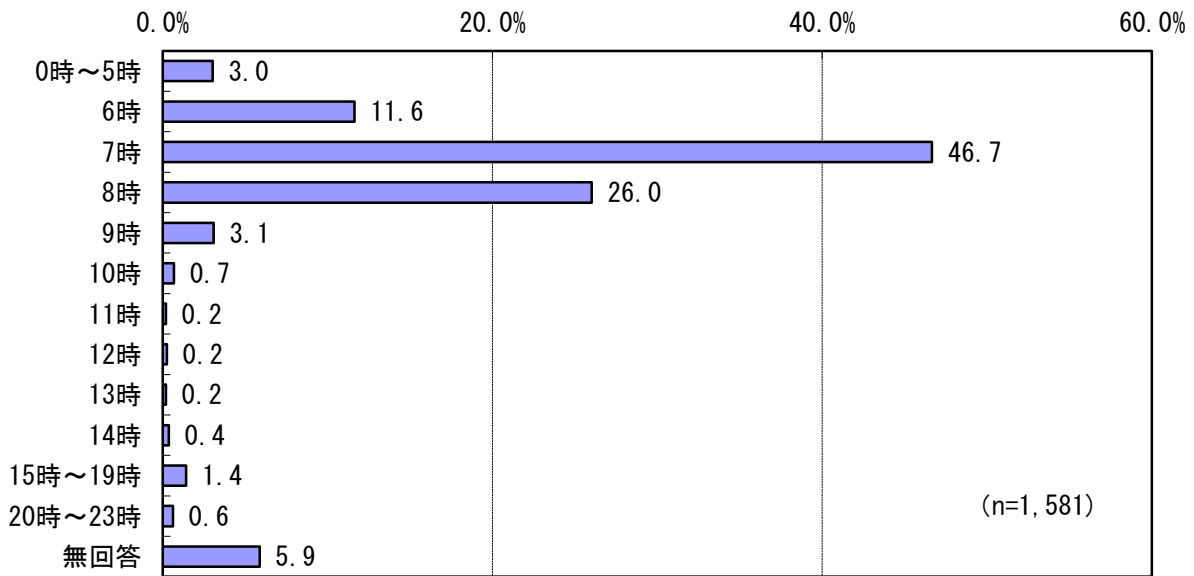
就労時間は「8時間」が45.9%と最も多く、「9時間」が14.7%、「10時間」が16.7%となっています。



(2) - 2 (1) で「1.~4.」(就労している)に回答した方にうかがいます。
 家を出る時間と帰宅時間をお答えください。
 時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。
 産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

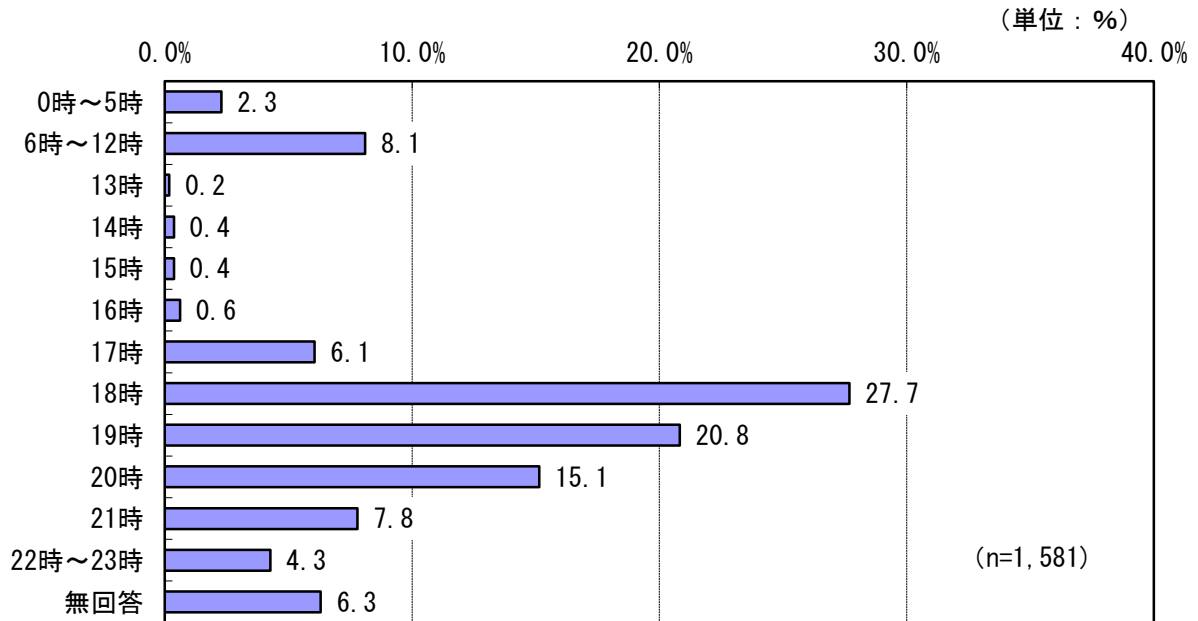
家を出る時間は、「7時」が46.7%、「8時」が26.0%、「6時」が11.6%などとなっています。

(単位：%)



	合計	問1 居住地区						その他	無回答
		村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区	その他		
全体	1618	744	293	221	234	108	3	15	
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
0時~5時	49	25	8	5	8	3	0	0	
	3.0%	3.4%	2.7%	2.3%	3.4%	2.8%	0.0%	0.0%	
6時	188	75	43	29	24	17	0	0	
	11.6%	10.1%	14.7%	13.1%	10.3%	15.7%	0.0%	0.0%	
7時	755	339	138	106	116	49	0	7	
	46.7%	45.6%	47.1%	48.0%	49.6%	45.4%	0.0%	46.7%	
8時	421	205	63	58	61	27	2	5	
	26.0%	27.6%	21.5%	26.2%	26.1%	25.0%	66.7%	33.3%	
9時	50	25	7	5	10	2	1	0	
	3.1%	3.4%	2.4%	2.3%	4.3%	1.9%	33.3%	0.0%	
10時	11	7	3	0	0	0	0	1	
	0.7%	0.9%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	
11時	3	2	1	0	0	0	0	0	
	0.2%	0.3%	0.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
12時	4	3	0	0	1	0	0	0	
	0.2%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
13時	3	1	1	0	1	0	0	0	
	0.2%	0.1%	0.3%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	0.0%	
14時	6	4	1	0	0	1	0	0	
	0.4%	0.5%	0.3%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	
15時~19時	23	9	9	1	2	2	0	0	
	1.4%	1.2%	3.1%	0.5%	0.9%	1.9%	0.0%	0.0%	
20時~23時	10	6	2	2	0	0	0	0	
	0.6%	0.8%	0.7%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	
無回答	95	43	17	15	11	7	0	2	
	5.9%	5.8%	5.8%	6.8%	4.7%	6.5%	0.0%	13.3%	

帰宅時間は、「18時」が27.7%、「19時」が20.8%、「20時」が15.1%などとなっています。



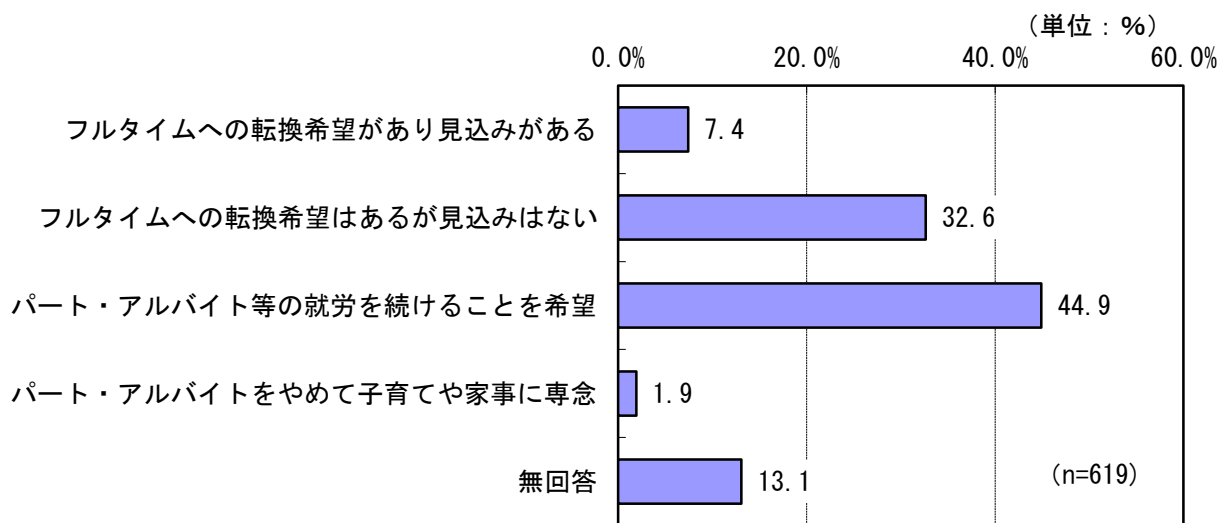
	合計	問1 居住地区						無回答
		村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区	その他	
全体	1618	744	293	221	234	108	3	15
	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0時～5時	37	17	12	2	3	2	0	1
	2.3%	2.3%	4.1%	0.9%	1.3%	1.9%	0.0%	6.7%
6時～12時	131	56	30	22	10	12	1	0
	8.1%	7.5%	10.2%	10.0%	4.3%	11.1%	33.3%	0.0%
13時	3	0	1	0	2	0	0	0
	0.2%	0.0%	0.3%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
14時	6	3	1	1	0	1	0	0
	0.4%	0.4%	0.3%	0.5%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%
15時	6	5	0	1	0	0	0	0
	0.4%	0.7%	0.0%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16時	10	5	2	0	1	1	0	1
	0.6%	0.7%	0.7%	0.0%	0.4%	0.9%	0.0%	6.7%
17時	98	44	24	15	7	6	0	2
	6.1%	5.9%	8.2%	6.8%	3.0%	5.6%	0.0%	13.3%
18時	448	209	60	62	71	42	0	4
	27.7%	28.1%	20.5%	28.1%	30.3%	38.9%	0.0%	26.7%
19時	337	167	54	53	46	14	0	3
	20.8%	22.4%	18.4%	24.0%	19.7%	13.0%	0.0%	20.0%
20時	245	101	45	28	49	18	2	2
	15.1%	13.6%	15.4%	12.7%	20.9%	16.7%	66.7%	13.3%
21時	126	62	34	8	20	2	0	0
	7.8%	8.3%	11.6%	3.6%	8.5%	1.9%	0.0%	0.0%
22時～23時	69	29	12	12	13	3	0	0
	4.3%	3.9%	4.1%	5.4%	5.6%	2.8%	0.0%	0.0%
無回答	102	46	18	17	12	7	0	2
	6.3%	6.2%	6.1%	7.7%	5.1%	6.5%	0.0%	13.3%

問 11 問 10 の (1) または (2) で「3.」または「4.」(パート・アルバイト等で就労している) に回答された方にうかがいます。該当しない方は、問 14 へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。あてはまるものひとつに○をつけてください

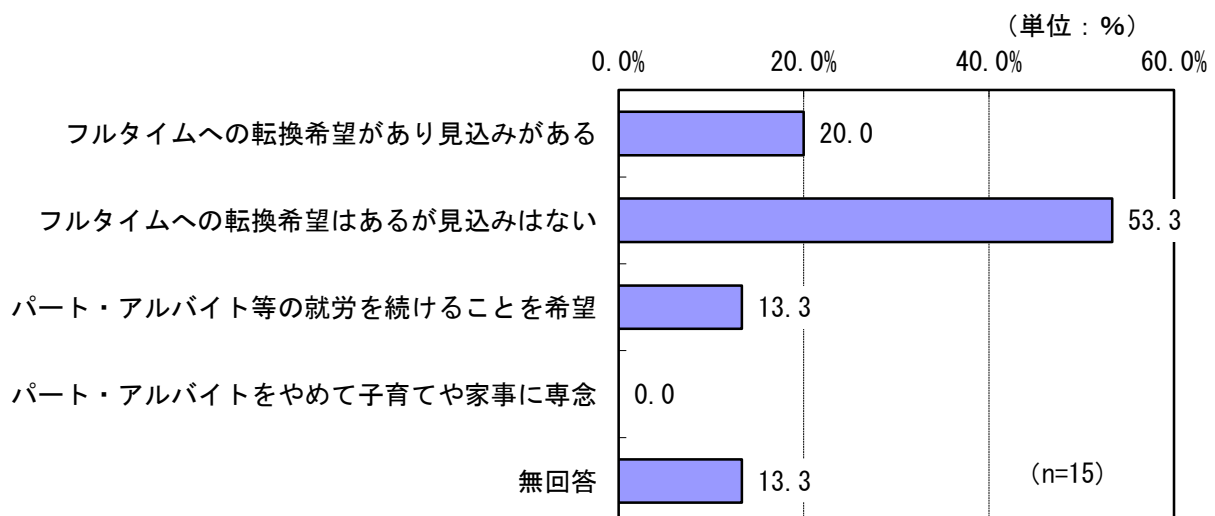
(1) 母親

パート・アルバイト等で就労している母親の希望は、「パート・アルバイト等の就労を続けることを希望」する人が 44.9%、「フルタイムへの転換希望はあるが見込みはない」が 32.6%、「フルタイムへの転換希望があり見込みがある」が 7.4%でフルタイムへの転換希望をあわせて 40.0%となっています。



(2) 父親

パート・アルバイト等で就労している父親は 15 人だけであり、「フルタイムへの転換希望はあるが見込みはない」が 53.3%、「フルタイムへの転換希望があり見込みがある」が 20.0%であわせて 73.3%がフルタイムでの就労を希望しています。



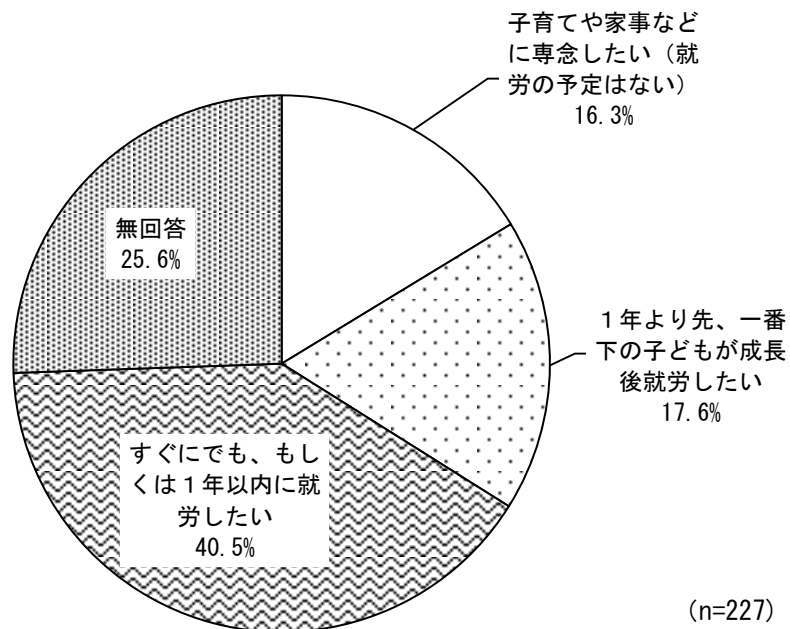
問12 問10の(1)または(2)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に回答された方にうかがいます。該当しない方は、問13へお進みください。

就労したいという希望はありますか。

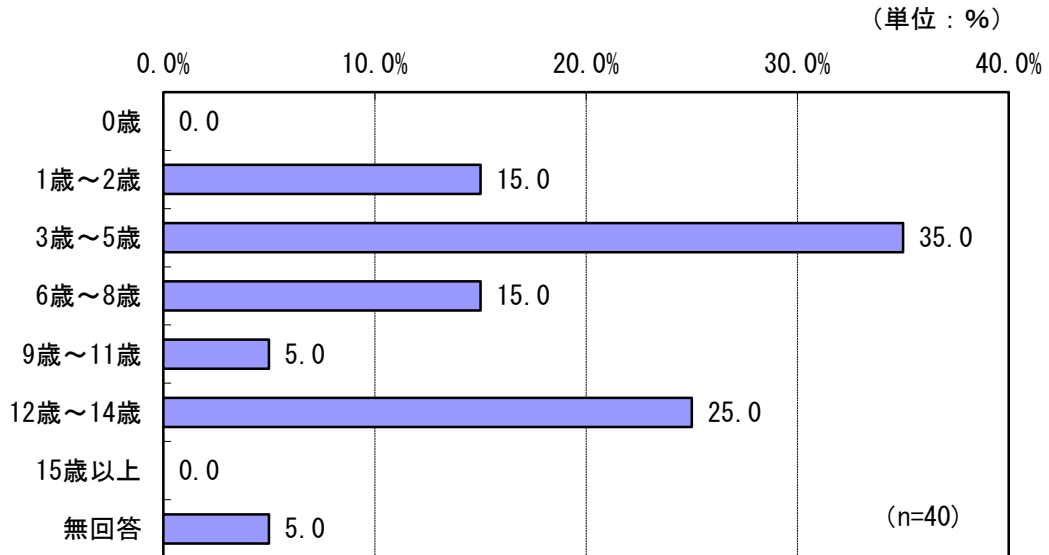
あてはまる番号・記号(ア、イ)のそれぞれひとつに○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

(1) 母親

「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が40.5%と最も多く、「1年より先、一番下の子どもが成長後就労したい」は17.6%、「子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)」が16.3%となっています。

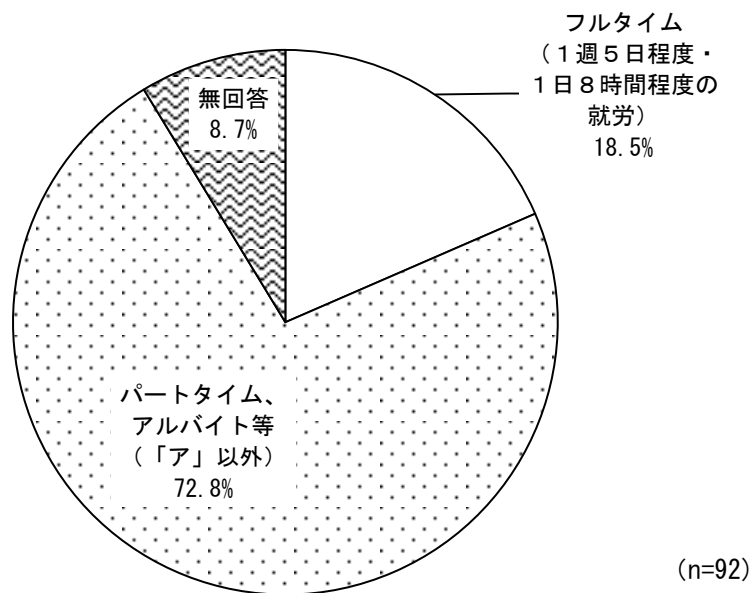


一番下の子が成長後就労したいという人の子どもの年齢は、「3歳～5歳」が35.0%、「12歳～14歳」が25.0%、「1歳～2歳」と「6歳～8歳」がともに15.0%となっています。「0歳」は回答がありません。

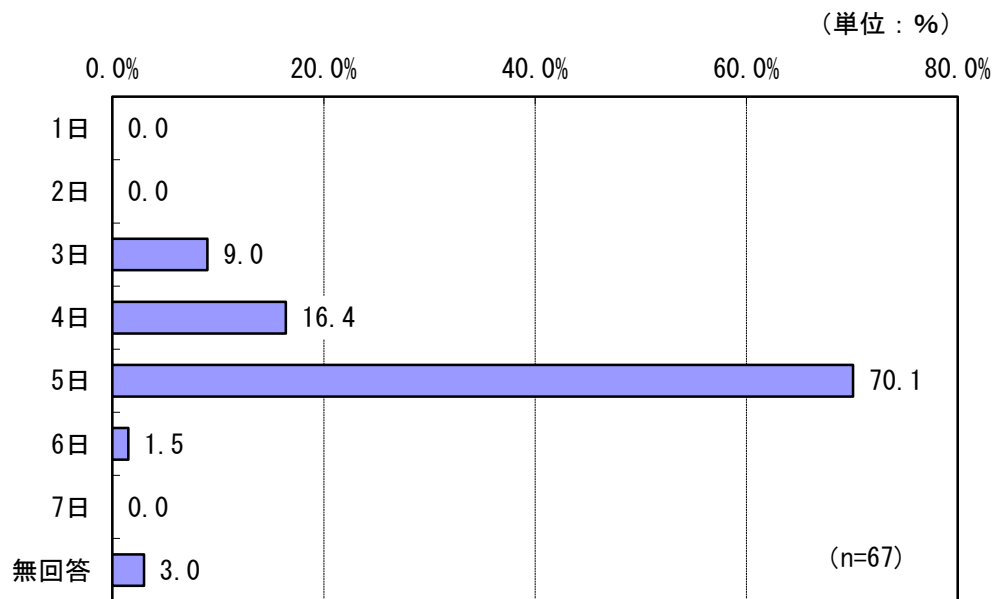


3 希望する就業形態

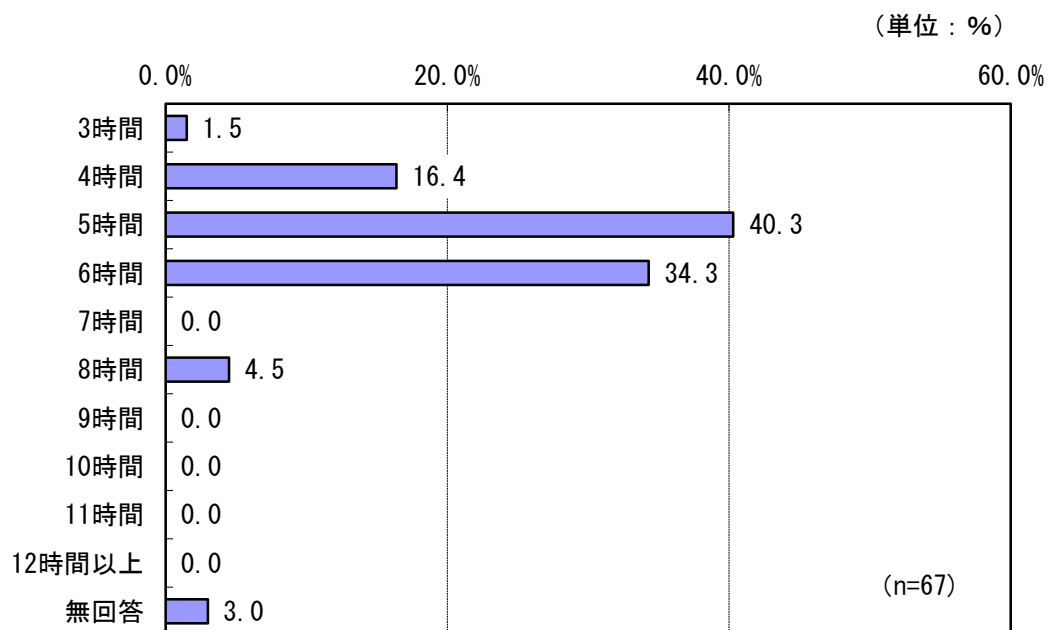
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」母親の希望する就労形態は、「パートタイム、アルバイト等（「フルタイム」以外）」が72.8%と大多数を占め、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」は18.5%となっています。



「パートタイム、アルバイト等」を希望する母親の1週間の就労日数は「5日」が70.1%、「4日」が16.4%となっています。

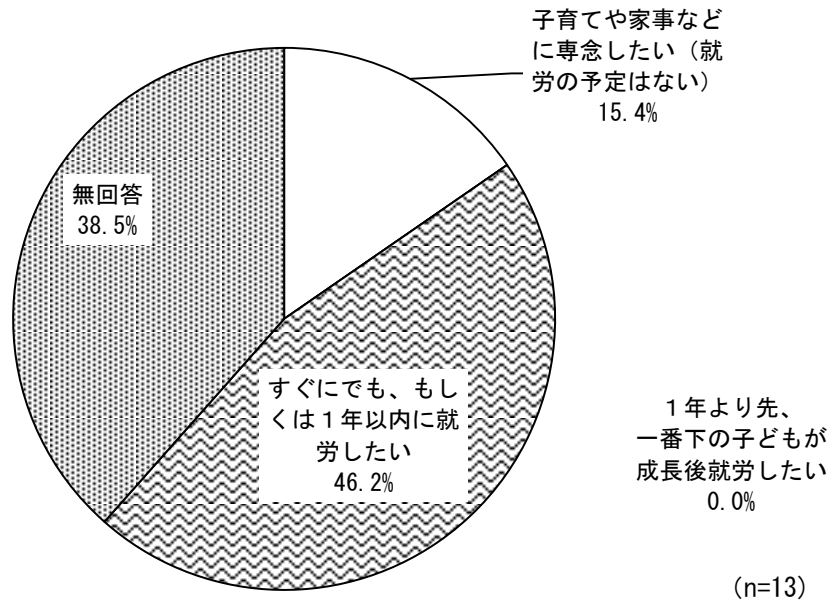


また、1日の就労希望期間は「5時間」が40.3%、「6時間」が34.3%、「4時間」が16.4%です。また、「8時間」は4.5%です。



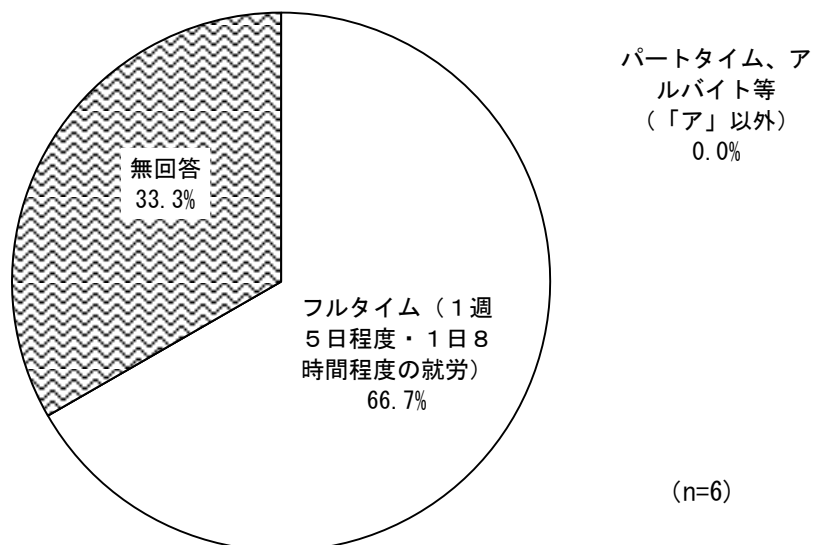
(2) 父親

父親の場合は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が46.2%と最も多く、「子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）」は15.4%、「1年より先、一番下の子どもが成長後就労したい」の回答はありませんでした。



3 希望する就業形態

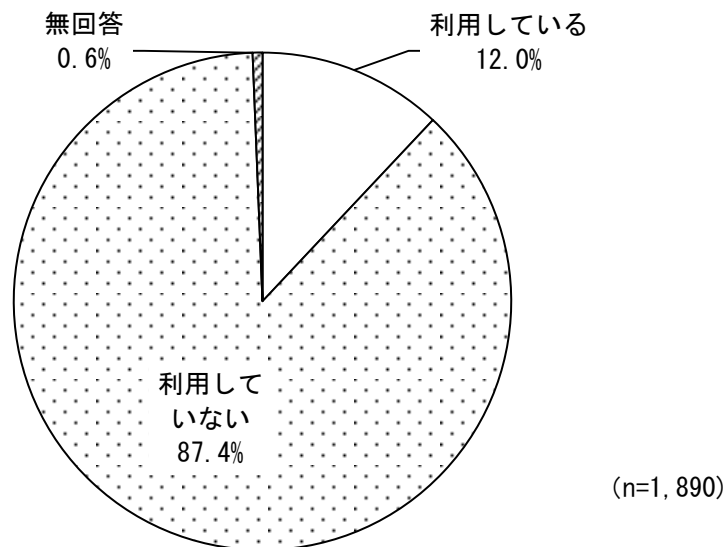
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」と回答した6人の内訳は、「フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度の就労）」が4人、残りの2人は「無回答」で、「パートタイム、アルバイト等」の回答はありませんでした。



3 学童保育所の利用

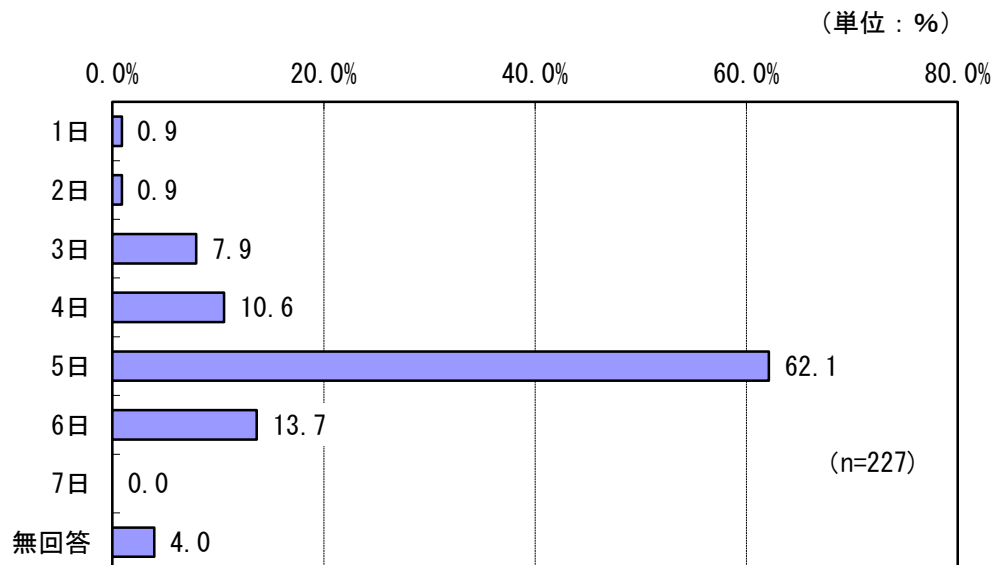
問 13 あて名のお子さんは、現在、学童保育所を利用していますか。あてはまるものに○をつけてください。

「利用している」が12.0%、「利用していない」が87.4%となっています。

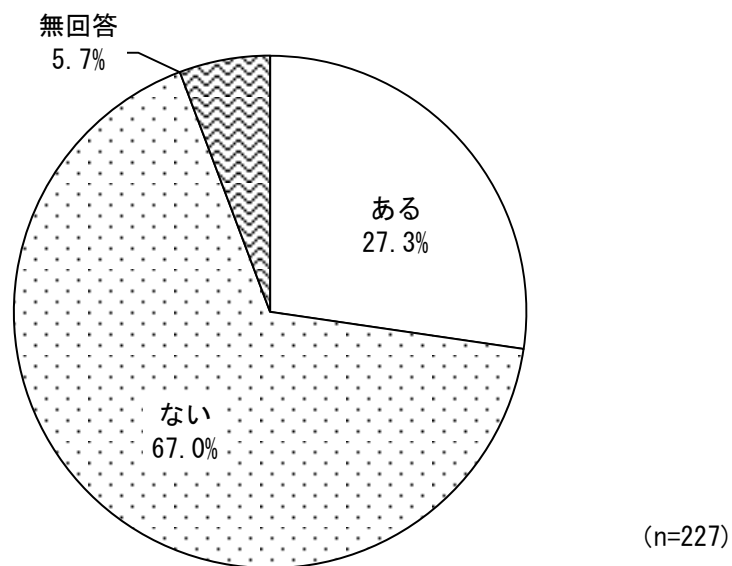


問 13-1 問 13 で「1. 利用している」と回答された方にうかがいます。あて名のお子さんについて、学童保育所の利用日数はどれくらいですか。また、利用している理由についてあてはまるものに○をつけてください。

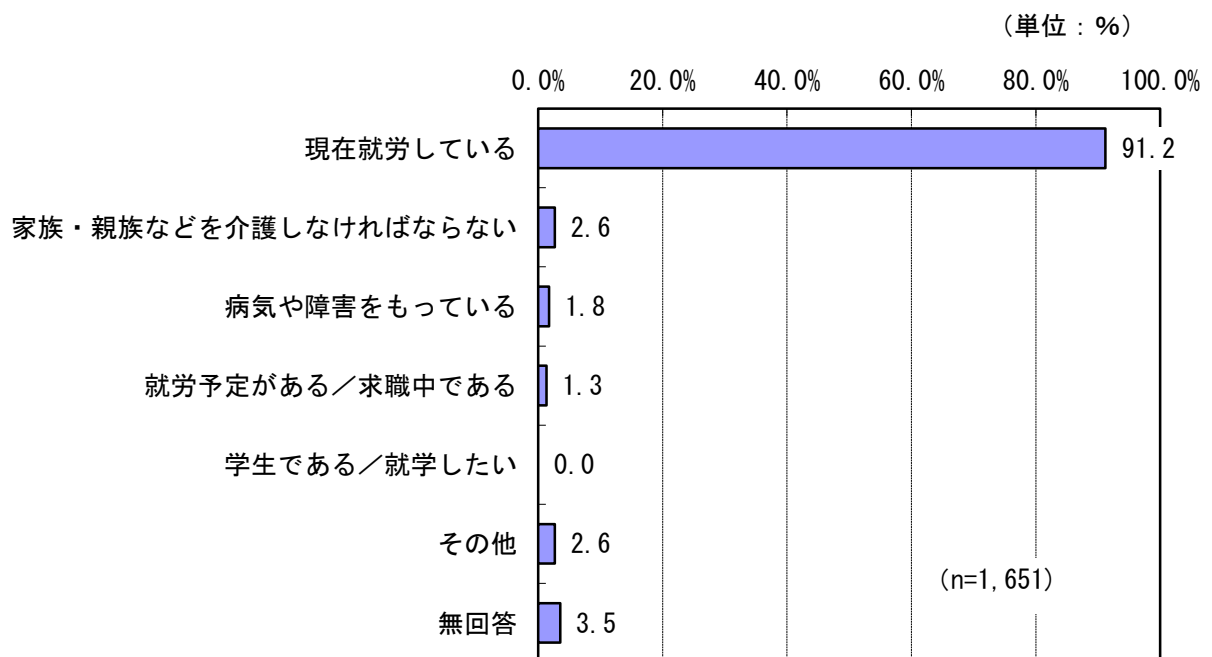
利用日数は、「5日」が62.1%、「6日」が13.7%、「4日」が10.6%となっています。



学童保育所の土曜日利用は、「ある」が27.3%、「ない」が67.0%です。

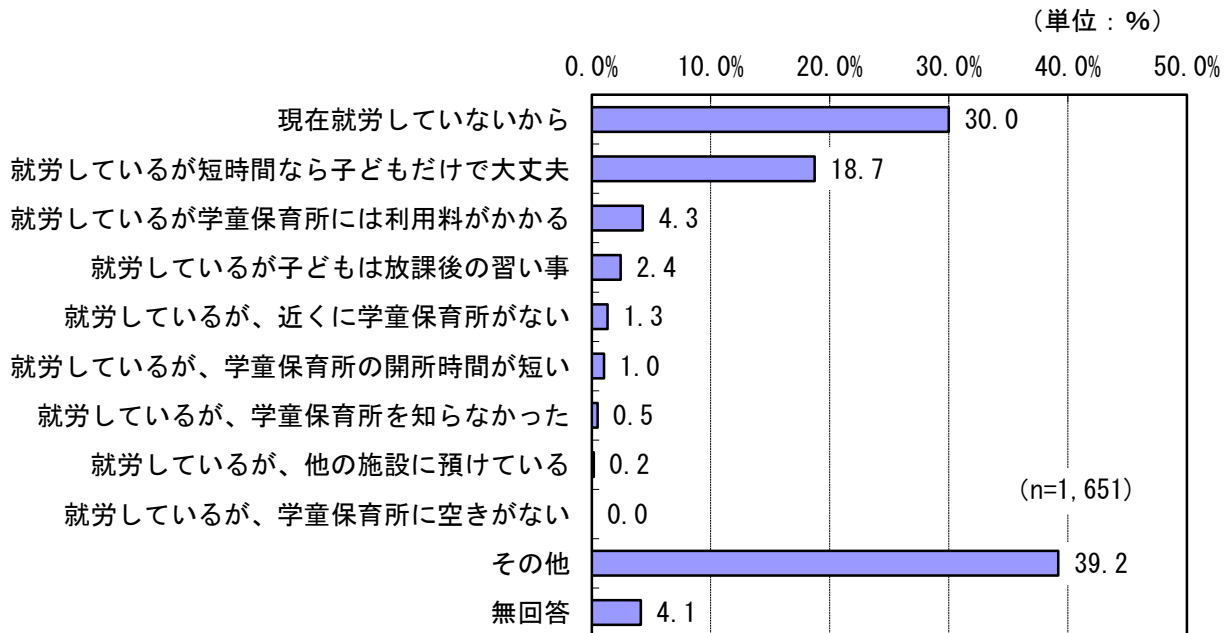


学童保育所の利用の理由は「「現在就労している」が91.2%と大多数となっています。



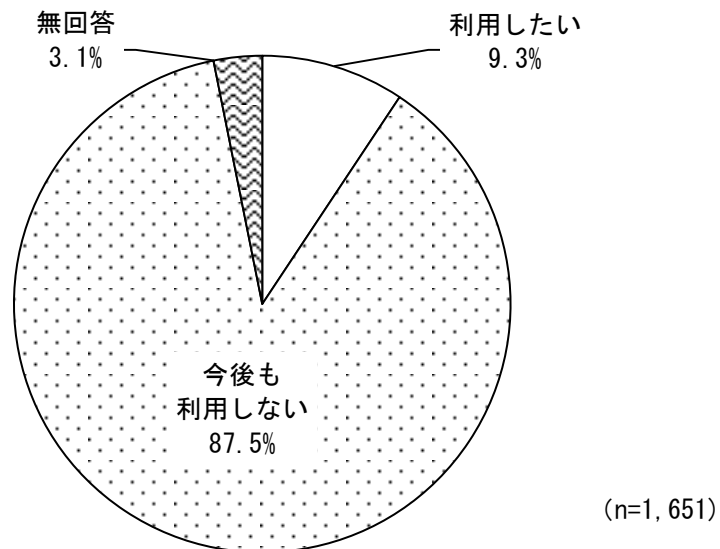
問 13-2 問 13 で「2. 利用していない」と回答された方にうかがいます。利用していない理由は何ですか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

利用していない理由は、「現在就労していないから」が 30.0%と最も多く、「就労しているが短時間なら子どもだけで大丈夫」が 18.7%となっています。

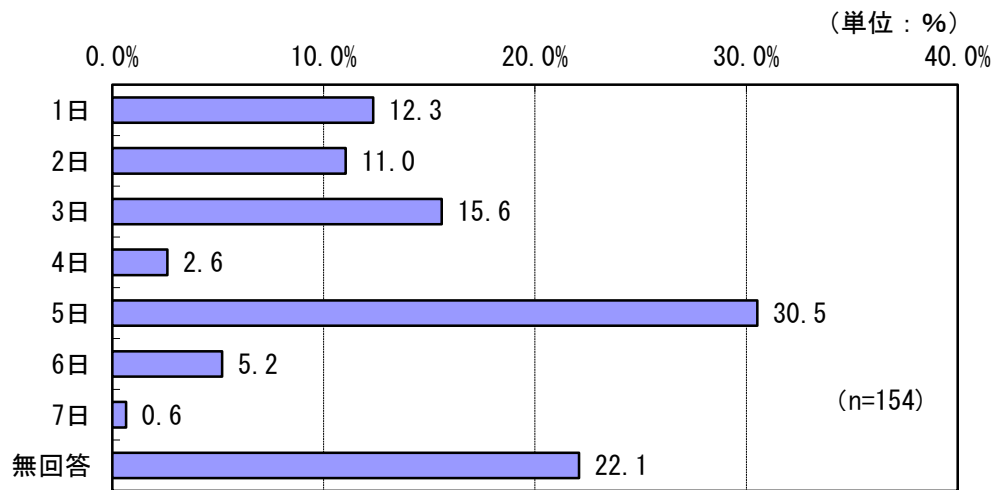


問 13-3 問 13 で「2. 利用していない」と回答された方にうかがいます。あて名のお子さんについて、今後、学童保育所を利用したいとお考えですか。あてはまるものに○をつけてください。

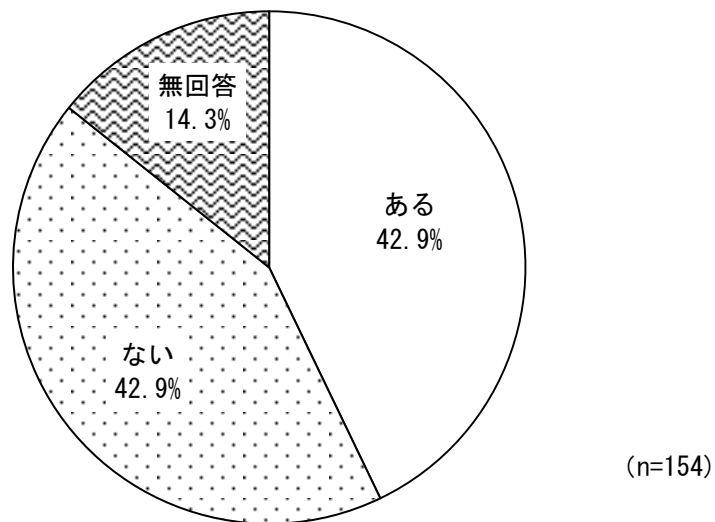
「利用したい」が 9.3%、「今後も利用しない」が 87.5%です。



「利用したい」と回答した人の1週間の利用希望日数は、「5日」が30.5%と多くなっていますが、「1日」(12.3%)や「3日」(15.6%)を希望する人もみられます。

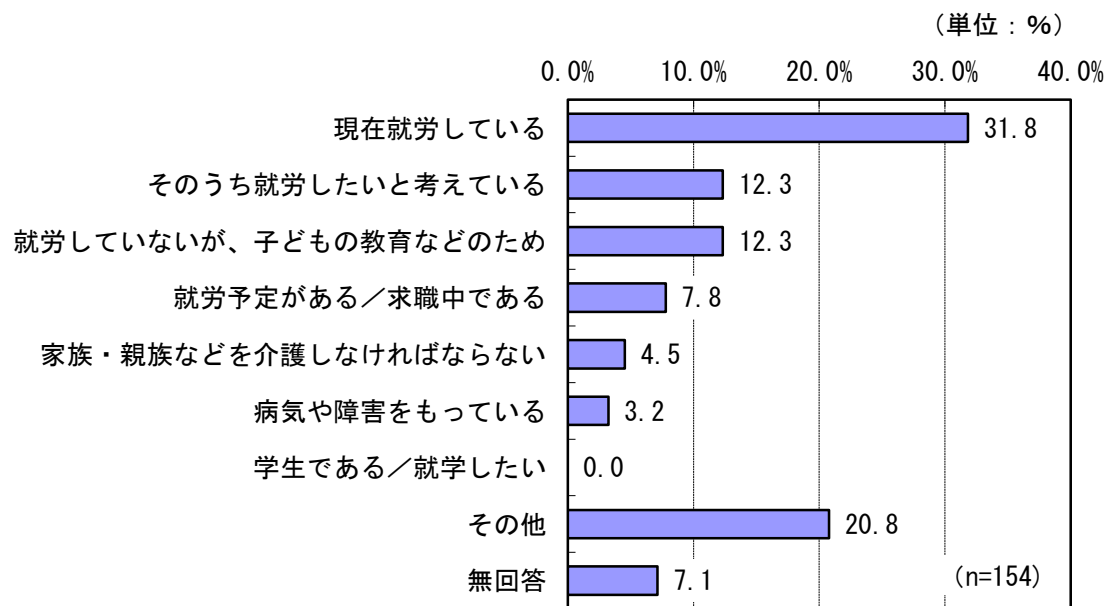


また、土・日の利用については、「ある」、「ない」とともに42.9%となっています。



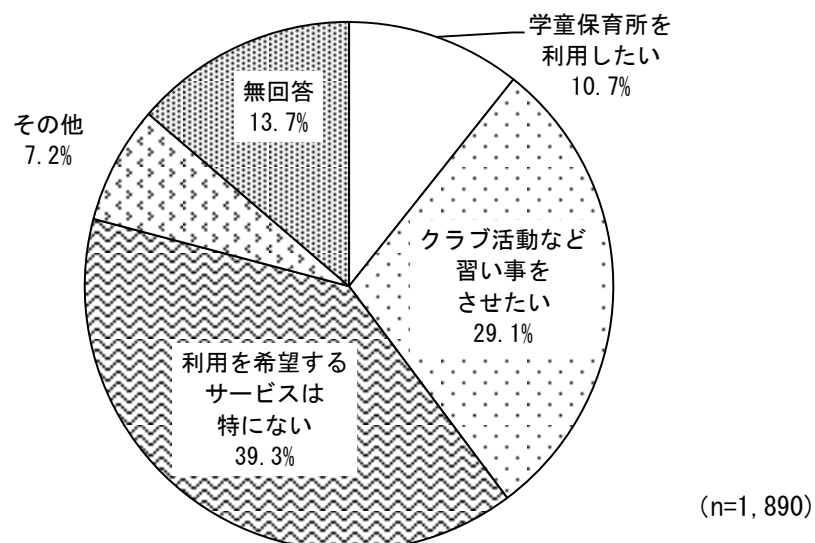
問 13-4 問 13-3 で「1. 利用したい」と回答された方にうかがいます。今後、学童保育所を利用したい理由について、あてはまるものひとつに○をつけてください。

「現在就労している」が 31.8%と最も多く、「そのうち就労したいと考えている」と「就労していないが、子どもの教育などのため」がともに 12.3%、「就労予定がある／求職中である」が 7.8%など就労に関する選択肢が上位に選ばれています。



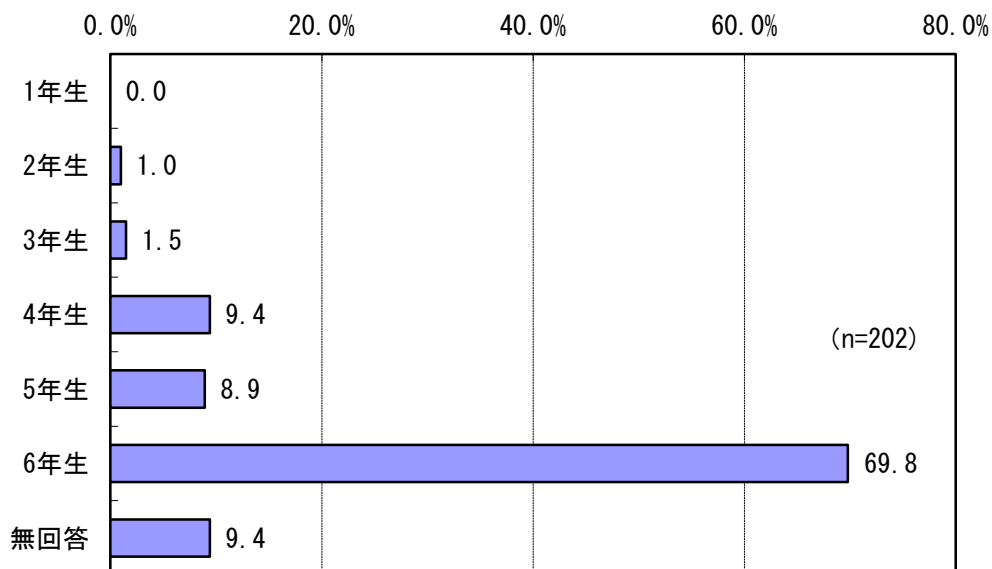
問 14 あて名のお子さんの小学4年生以降の放課後の過ごし方について、どのようなことを望みますか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

「クラブ活動など習い事をさせたい」が 29.1%、「学童保育所を利用したい」が 10.7%となっています。これに対し「利用を希望するサービスは特にない」が 39.3%です。



学童保育所を何年生まで利用したいかという問では、「6年生」までが最も多く 69.8%で7割を占めています。「4年生」が9.4%、「5年生」が8.9%となっています。

(単位：%)

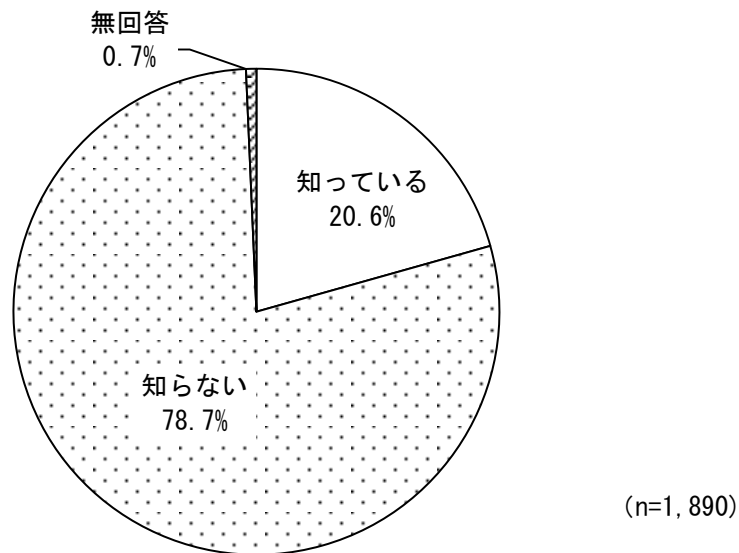


	合計	問1 居住地区						無回答
		村上地区	荒川地区	神林地区	朝日地区	山北地区	その他	
全体	202 100.0%	108 100.0%	28 100.0%	23 100.0%	16 100.0%	26 100.0%	0 0.0%	1 100.0%
1年生	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
2年生	2 1.0%	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
3年生	3 1.5%	1 0.9%	1 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%
4年生	19 9.4%	15 13.9%	3 10.7%	1 4.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
5年生	18 8.9%	11 10.2%	4 14.3%	2 8.7%	0 0.0%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%
6年生	141 69.8%	68 63.0%	17 60.7%	18 78.3%	14 87.5%	23 88.5%	0 0.0%	1 100.0%
無回答	19 9.4%	12 11.1%	3 10.7%	2 8.7%	1 6.3%	1 3.8%	0 0.0%	0 0.0%

4 村上市ファミリー・サポート・センターの利用

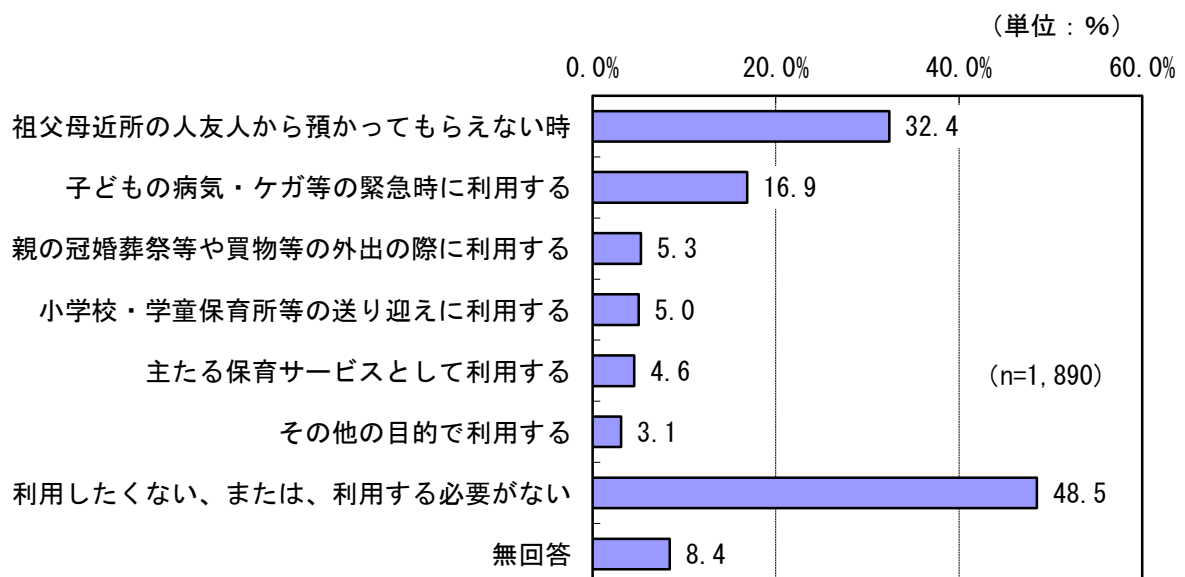
問 15 村上市ファミリー・サポート・センターを知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

「知っている」が20.6%、「知らない」が78.7%となっています。



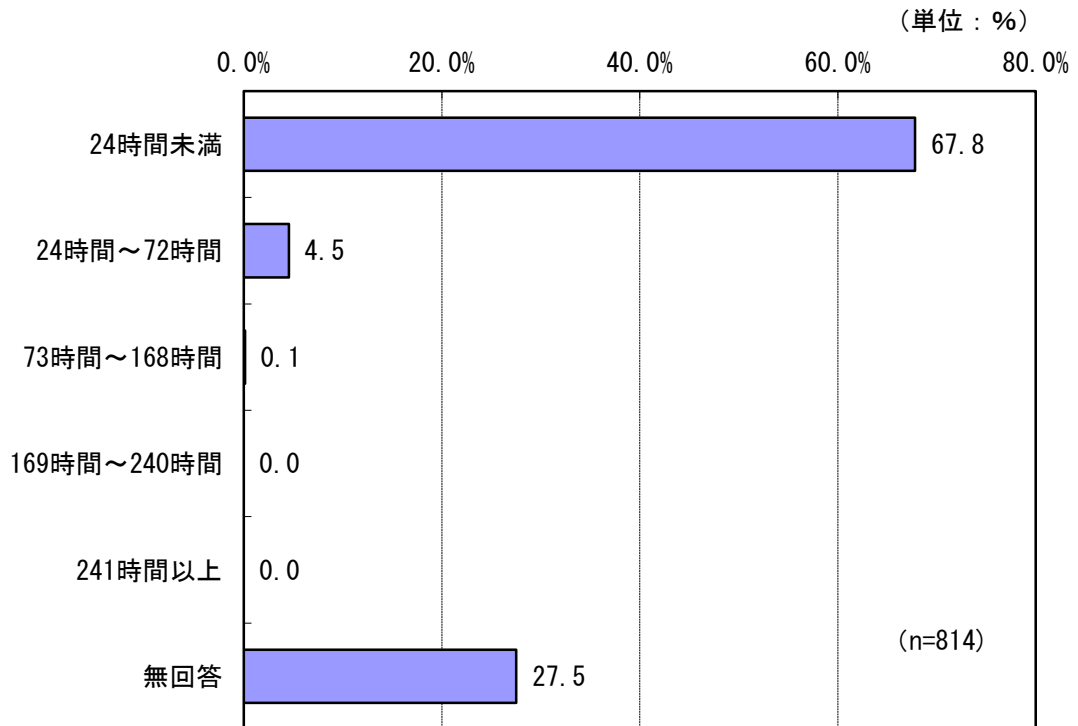
問 15-1 どのような目的で利用したいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「祖父母近所の人友人から預かってもらえない時」が32.4%、「子どもの病気・ケガ等の緊急時に利用する」が16.9%などの回答がみられますが、「利用したくない、または、利用する必要がない」が48.5%となっています。



問 15-2 利用したい場合は、希望の時間はどれくらいですか。口内に数字でご記入ください。

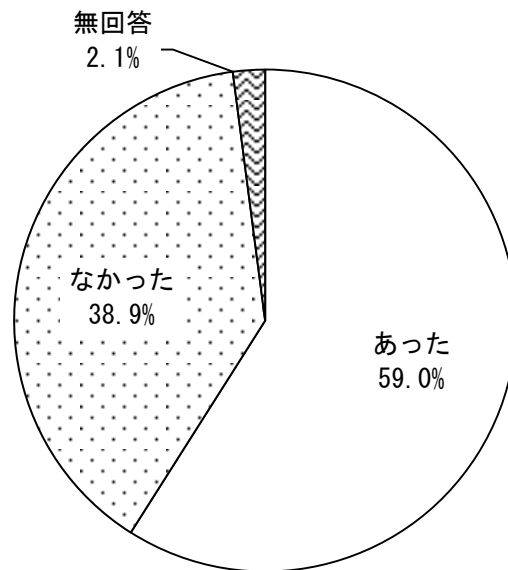
利用したい場合は、「24時間未満」が67.8%と全体の3分の2を占めています。



5 病気やケガをした際の対応・宿泊を伴う一時預かり等の利用

問 16 この1年間にあて名のお子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。あてはまるものに○をつけてください。

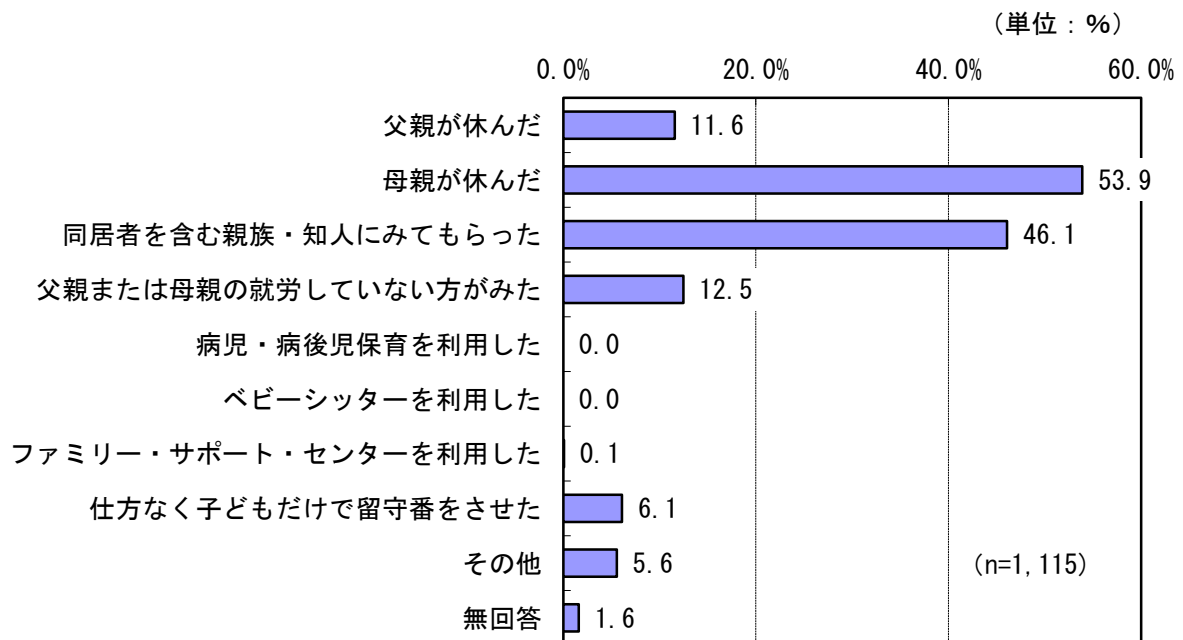
「あった」が59.0%、「なかった」が38.9%となっています。



(n=1, 890)

問16-1 問16で「1. あった」と回答された方にうかがいます。この1年間の対処方法とそれぞれの日数はおおよそ何日ですか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれの日数を□内に数字でご記入ください。

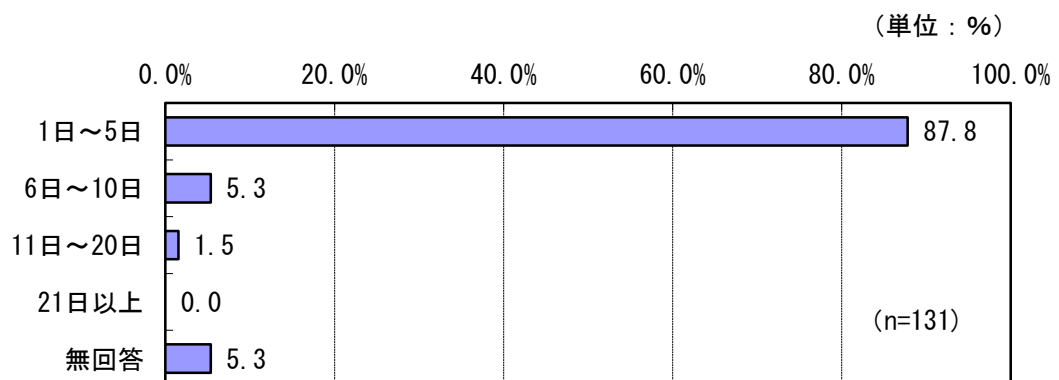
「母親が休んだ」が53.9%、「同居者を含む親族・知人にみてもらった」が46.1%となっています。また「父親が休んだ」が11.6%、「父親または母親の就労していない方がみた」が12.5%となっています。



日数

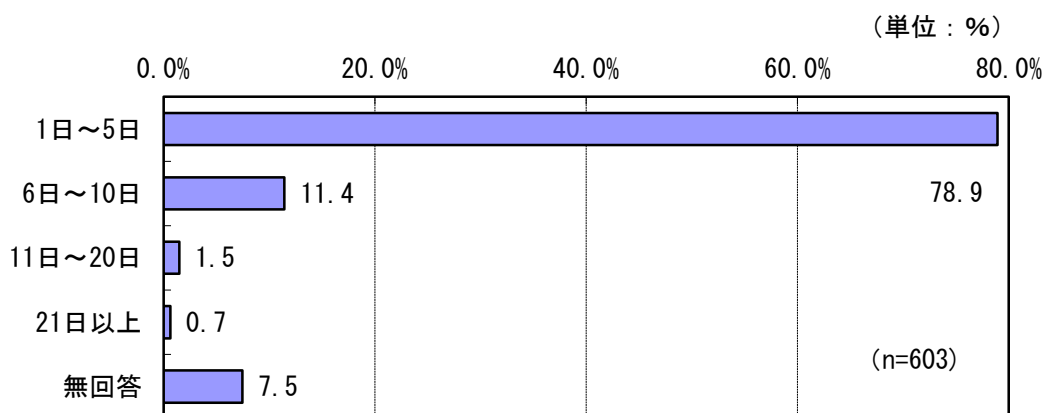
父親が休んだ

父親が休んだのは「1日～5日」が87.8%と大多数で、短い期間となっています。



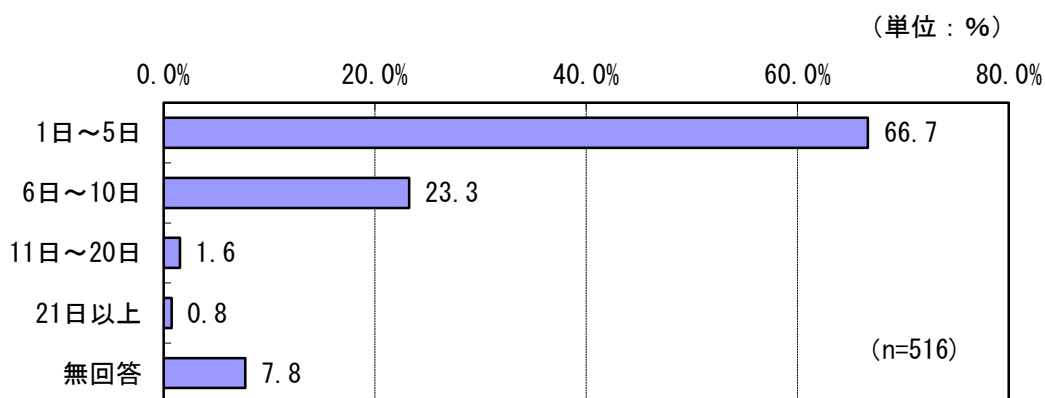
母親が休んだ

母親が休んだのは「1日～5日」が78.9%と大多数ですが、父親よりは少なくなっています。「6日～10日」が11.4%みられます。



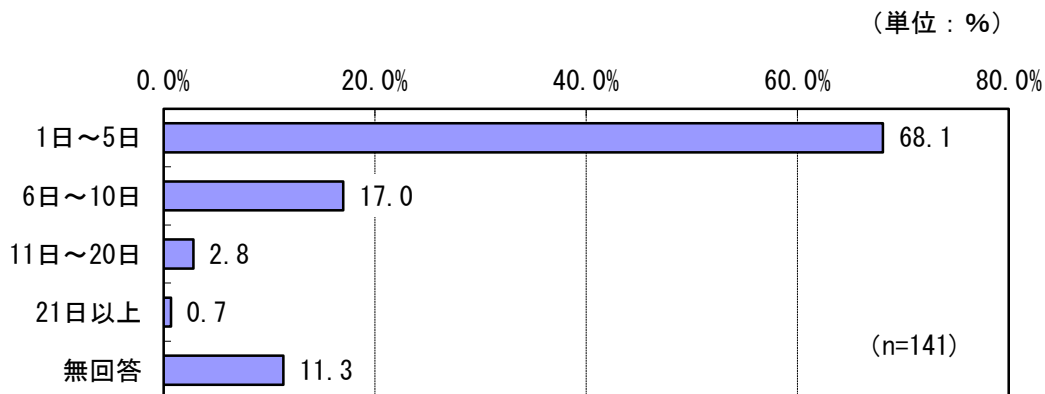
同居者を含む親族・知人にみてもらった

親族・友人は、「1日～5日」が66.7%と3分の2で、「6日～10日」が23.3%です。



父親または母親の就労していない方がみた

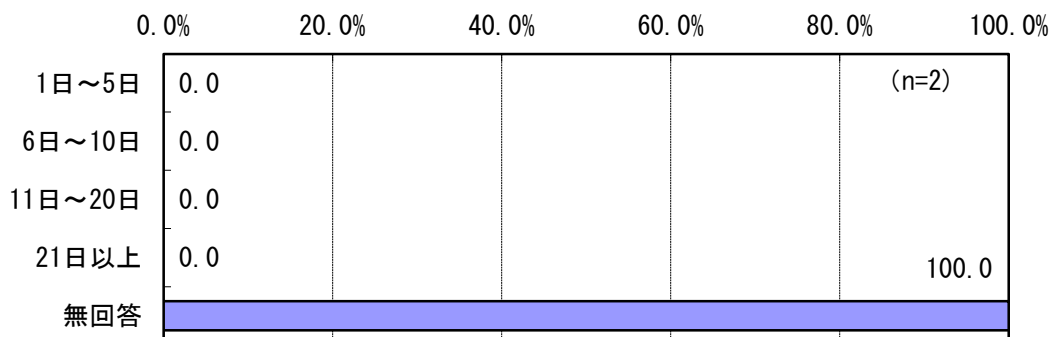
「1日～5日」が68.1%と3分の2となっています。



病児・病後時保育を利用した

病児・病後時保育の回答者は2人だけで「無回答」です。

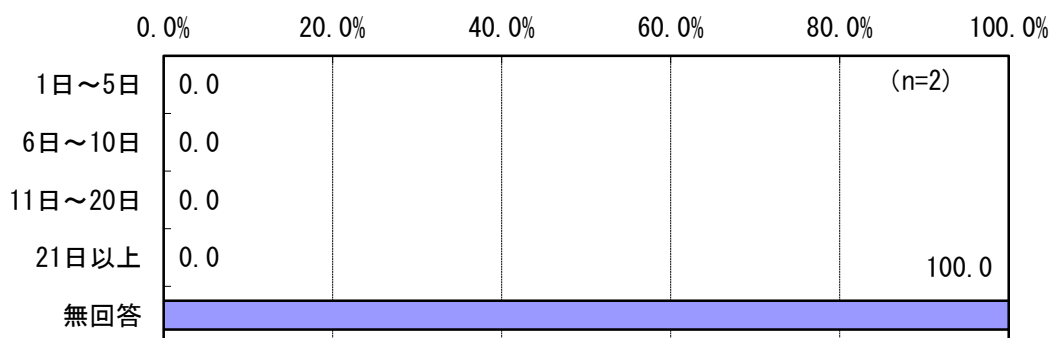
(単位：%)



ベビーシッターを利用した

ベビーシッターも回答者は2人だけで「無回答」です。

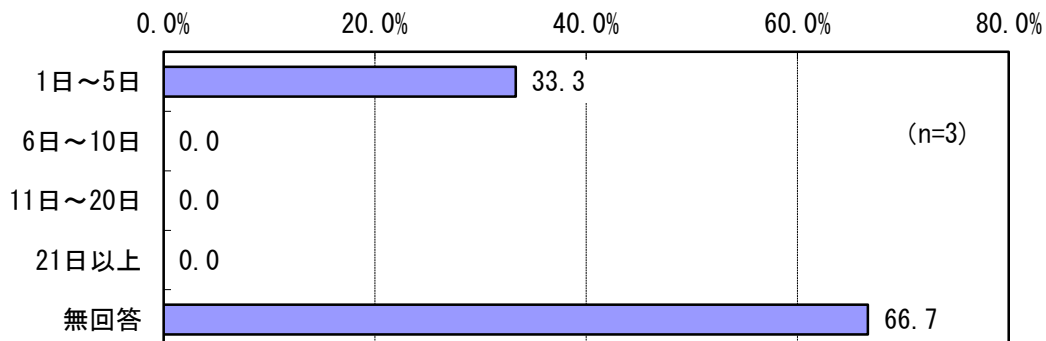
(単位：%)



ファミリー・サポート・センターを利用した

回答者は3人で「1日～5日」が1人、「無回答」が2人です。

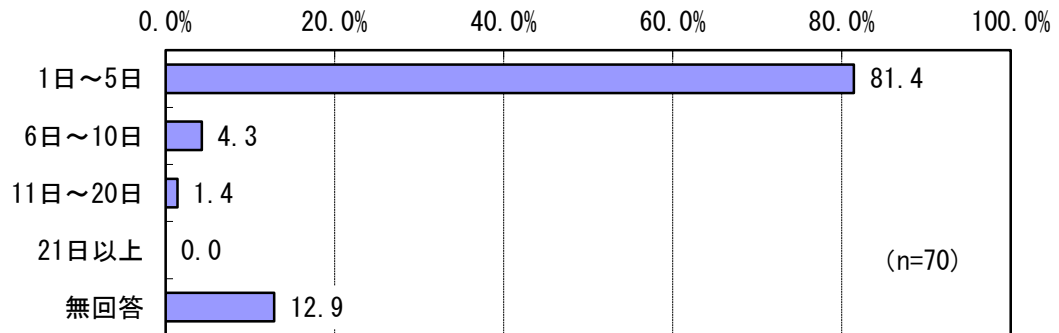
(単位：%)



仕方なく子どもだけで留守番をさせた

留守番は「1日～5日」が81.4%と大多数です。

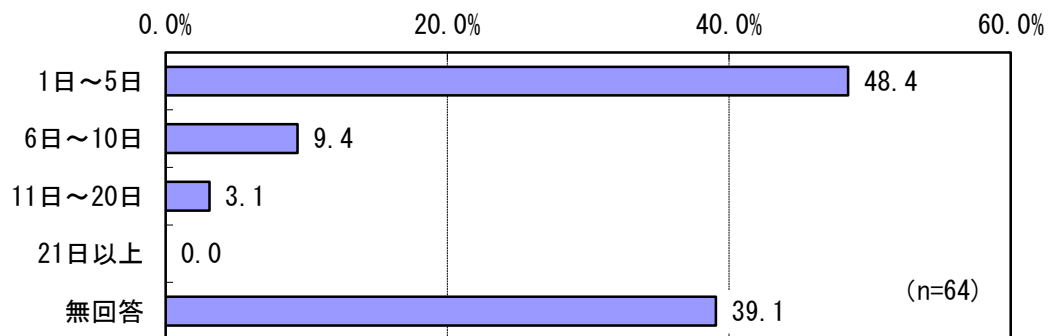
(単位：%)



その他

その他は「1日～5日」が48.4%、「6日～10日」が9.4%となっています。

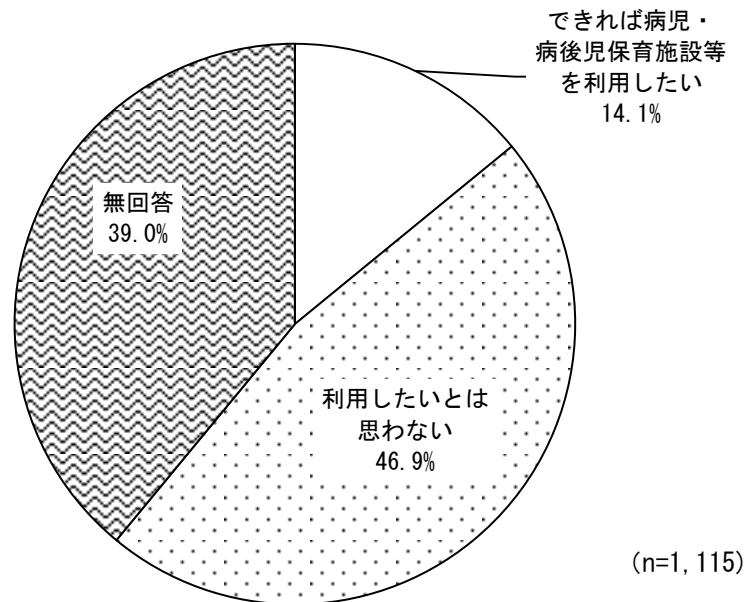
(単位：%)



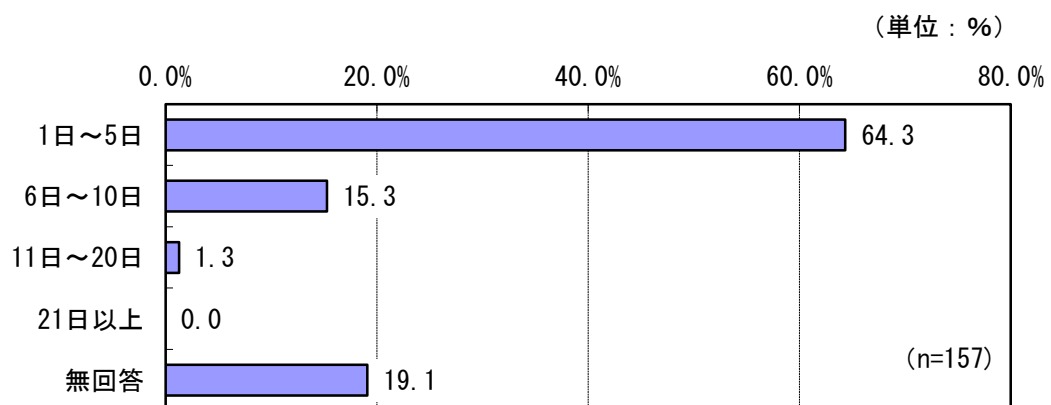
問 16-2 問 16-1 で「ア.」、「イ.」のいずれかに回答された方にうかがいます。

その際に、「できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思われましたか。
あてはまるものに○をつけ、日数を口内に数字でご記入ください。

父親あるいは母親が休んだ場合に「できれば病児・病後時保育施設等を利用したい」は
14.1%、「利用したいとは思わない」は46.9%となっています。



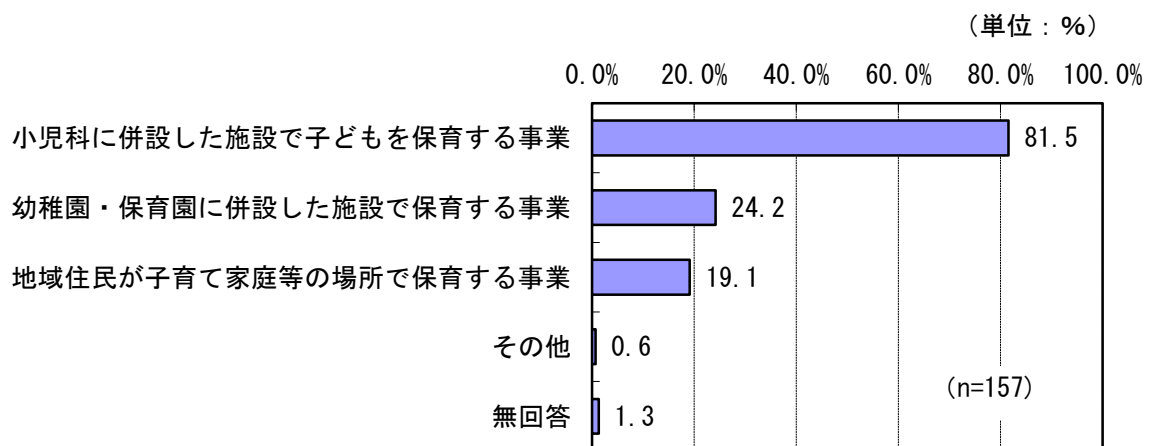
できれば病児・病後時保育施設等を利用したいと回答した人の日数は、「1日～5日」
が64.3%、「6日～10日」が15.3%となっています。



問 16-3 問 16-2 で「1. できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答された方にかがいます。

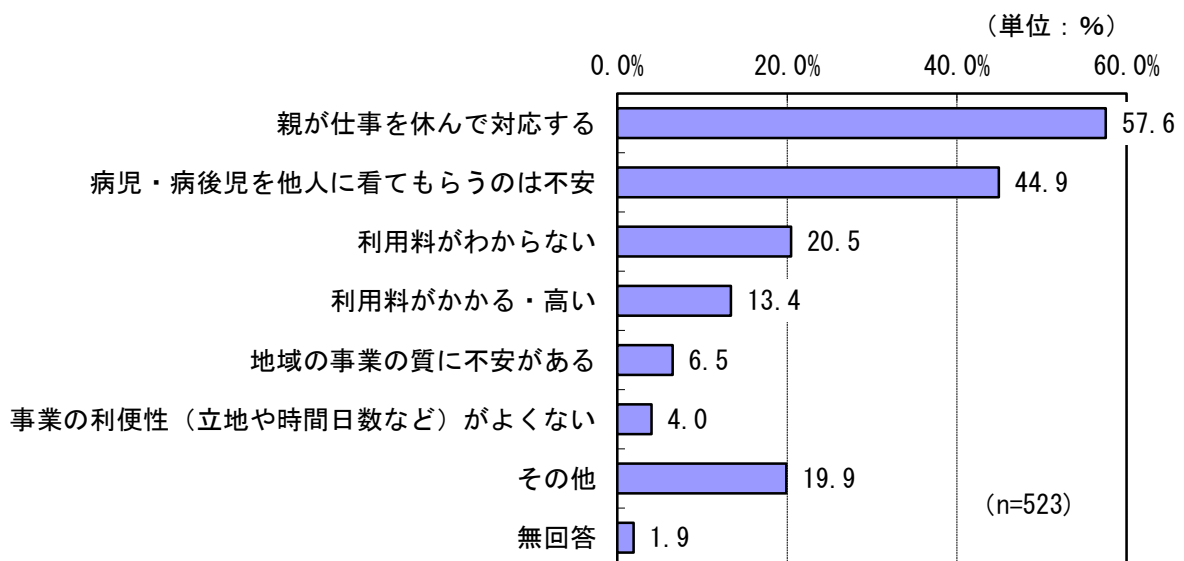
病児・病後児を預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が 81.5%と大多数を占めています、「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が 24.2%、「地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業」は 19.1%となっています。



問 16-4 問 16-2 で「2. 利用したいと思わない」と回答された方にかがいます。そう思われる理由についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

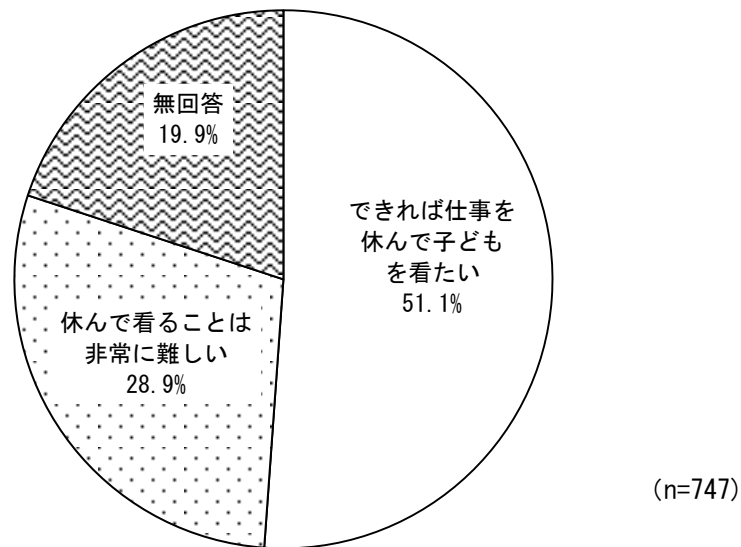
「親が仕事を休んで対応する」が 57.6%で最も多く、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が 44.9%、「利用料がわからない」は 20.5%となっています。



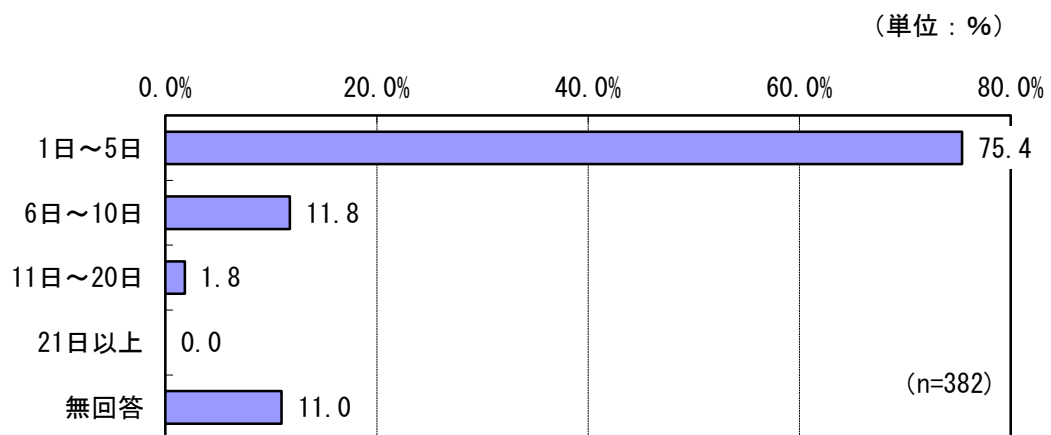
問 16-1 で「ウ.」から「ケ.」のいずれかに回答された方にうかがいます。

問 16-5 その際に、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで子どもを看たい」と思われましたか。あてはまるものに○をつけ、仕事を休んで看たかった日数を口内に数字でご記入ください。

「できれば仕事を休んで子どもを看たい」が 51.1%、「休んで看ることは非常に難しい」が 28.9%となっています。



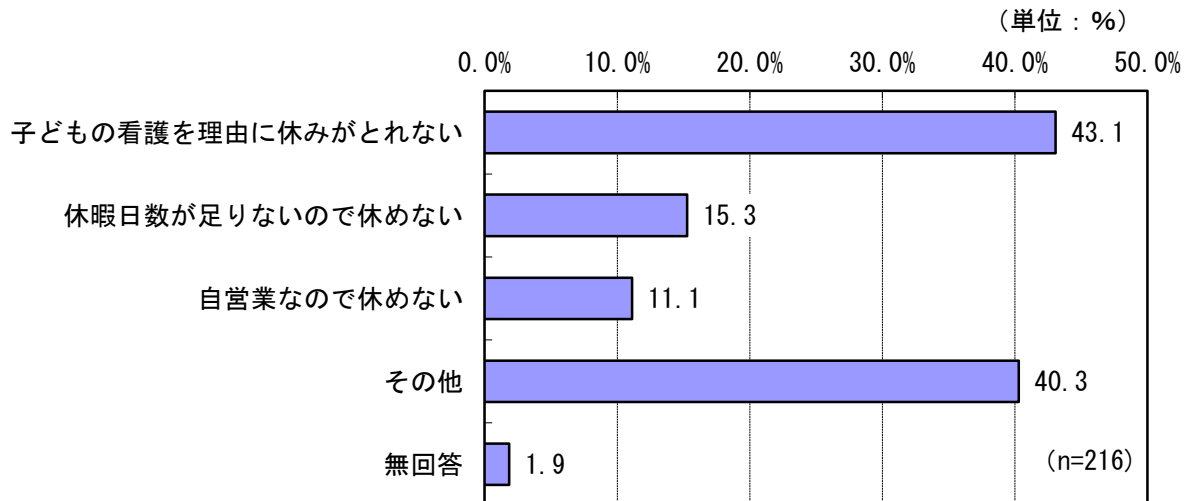
できれば仕事を休んで子どもを看たいという人の希望日数は「1日～5日」が 75.4%となっており、比較的短期間であることがわかります。



問 16-5 で「2. 休んで見ることは非常に難しい」と回答された方にうかがいます。

問 16-6 そう思われる理由についてあてはまるものすべてに○をつけてください。

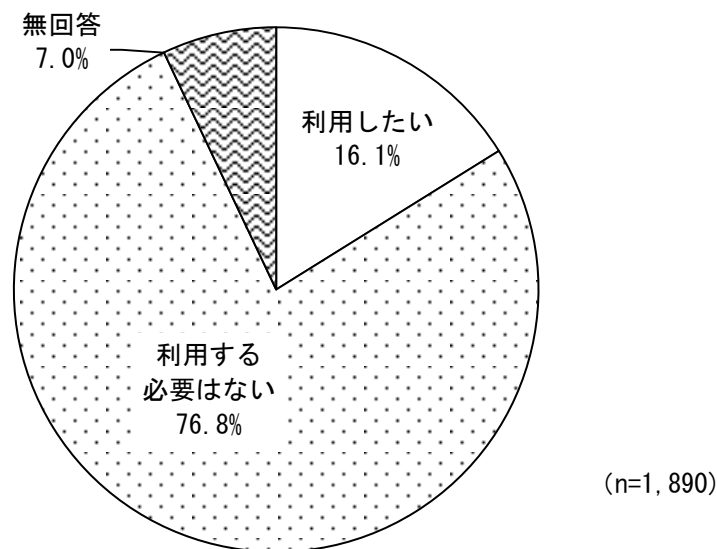
「子どもの看護を理由に休みがとれない」が 43.1%ともっとも多く、「休暇日数が足りないので休めない」が 15.3%、「自営業なので休めない」が 11.1%となっています。



6 不定期の一時預かり等の利用

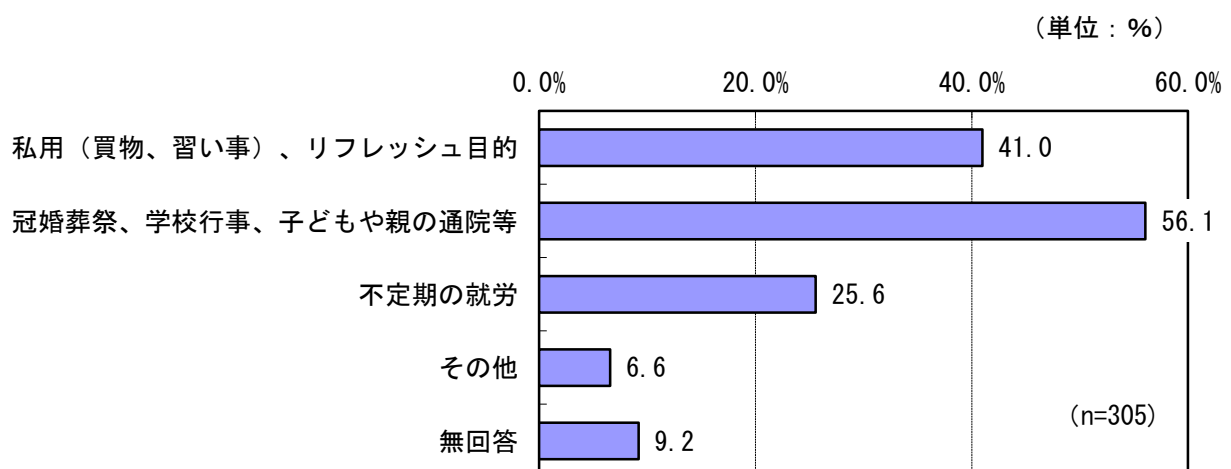
問 17 あて名のお子さんについて、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無についてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数の合計とそれぞれの目的別の内訳日数を口内へご記入ください。

一時的預かりは「利用したい」が16.1%、「利用する必要はない」は76.8%となっています。



理由

利用したいと回答した人の理由は「私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」が41.0%、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が56.1%となっており、この2つの選択肢が中心となっていますが、「不定期の就労」も25.6%となっています。

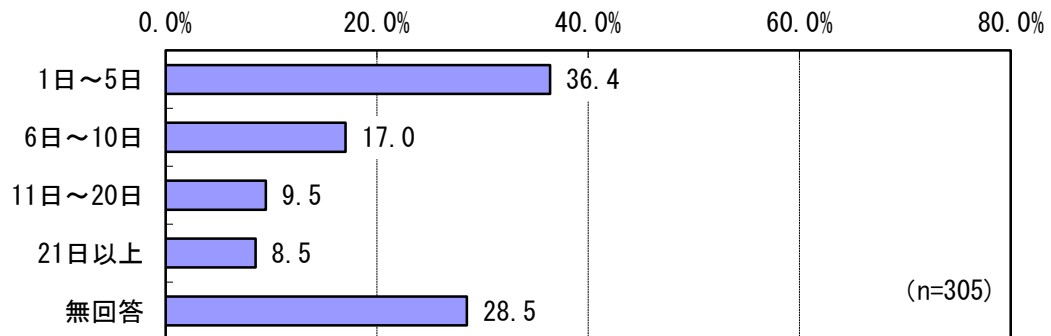


日数

合計

利用したい場合の総日数は、年間で「1日～5日」が36.4%、「6日～10日」が17.0%、「11日～20日」が9.5%などとなっています。

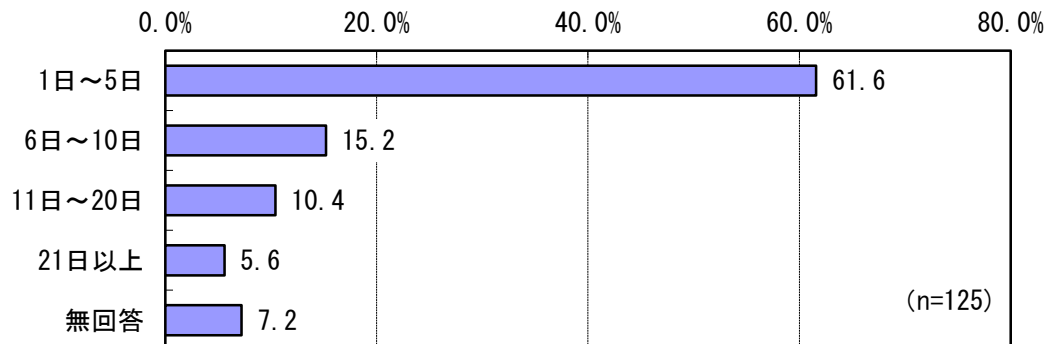
(単位：%)



私用(買物、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の習い事等)、リフレッシュ目的

私用、リフレッシュ目的の場合は、「1日～5日」が61.6%と多くなっています。

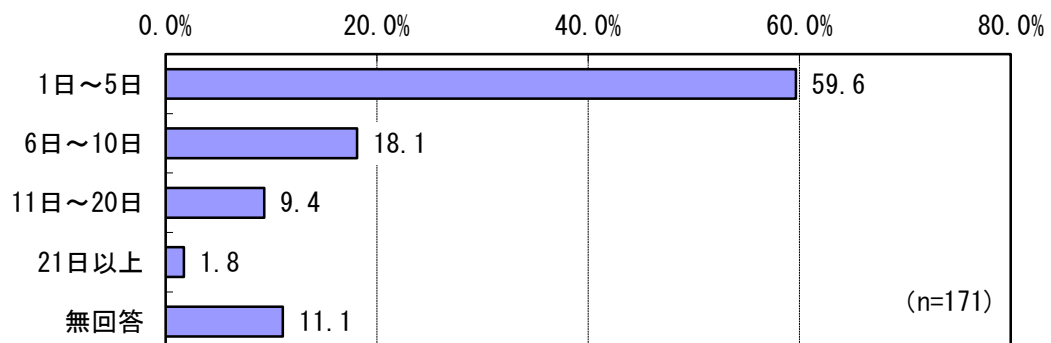
(単位：%)



冠婚葬祭、学校行事、子ども(兄弟姉妹を含む)や親の通院等

冠婚葬祭、学校行事等の場合も「1日～5日」が59.6%と多くなっています。

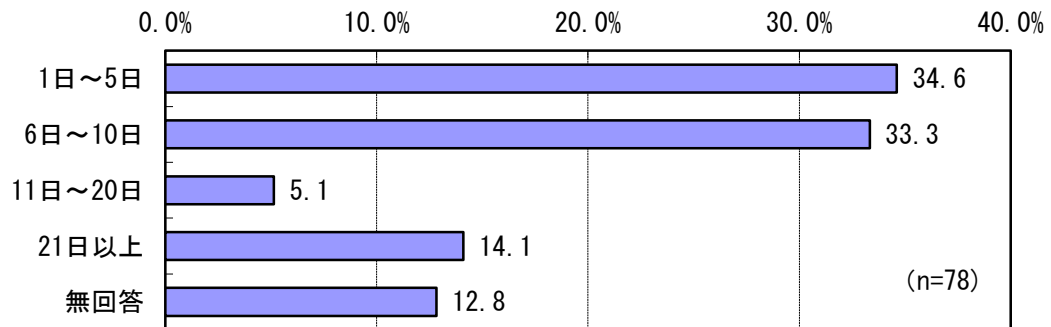
(単位：%)



不定期の就労

不定期の就労の場合は、「1日～5日」が34.6%、「6日～10日」が33.3%となっており、私用や冠婚葬祭などくらべ長期となっています。

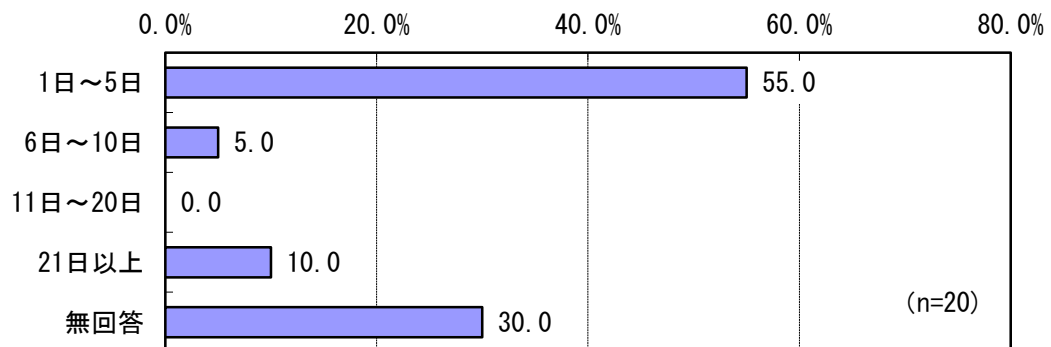
(単位：%)



その他

その他の場合は「1日～5日」が55.0%となっています。

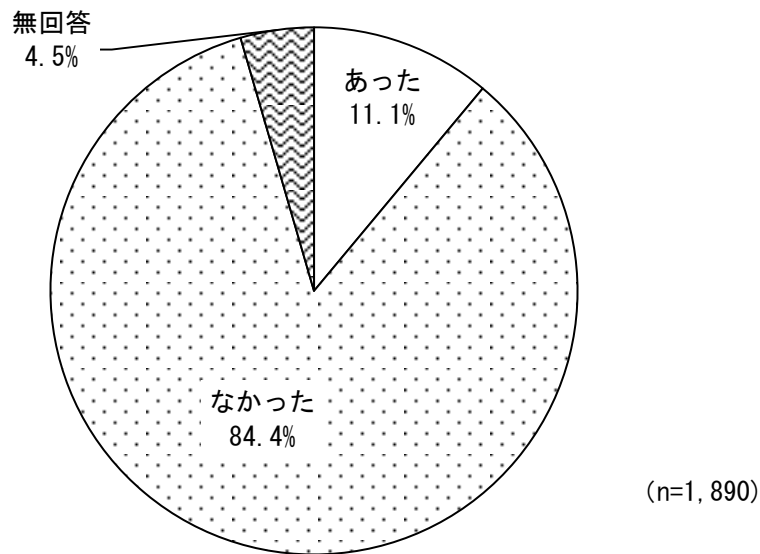
(単位：%)



7 泊まりがけの外出

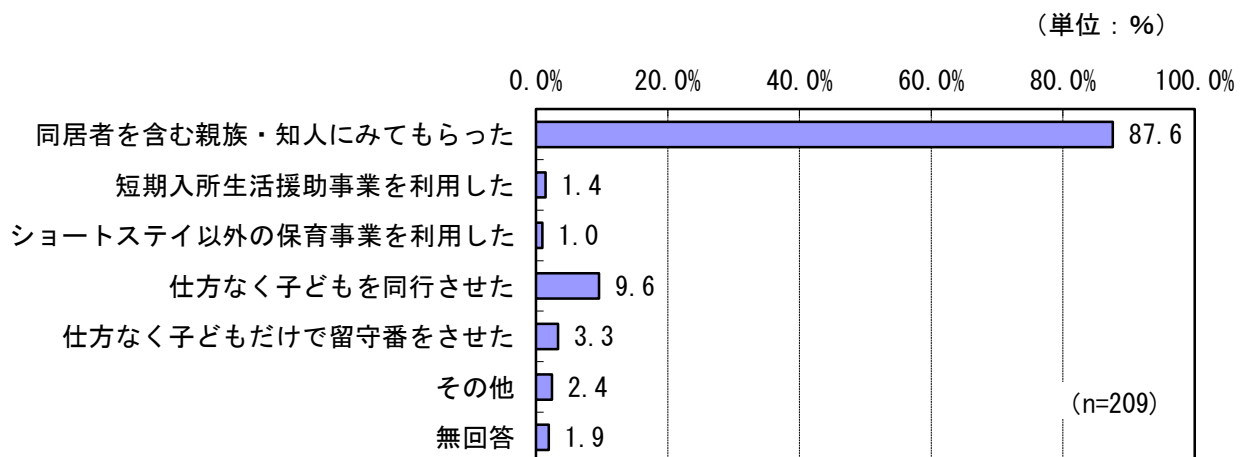
問 18 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか。（預け先が見つからなかった場合も含みます）あった場合は、この1年間の対処方法としてあてはまる番号・記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も口内に記入してください。

「あった」が11.1%、「なかった」は84.4%となっています。



対処方法

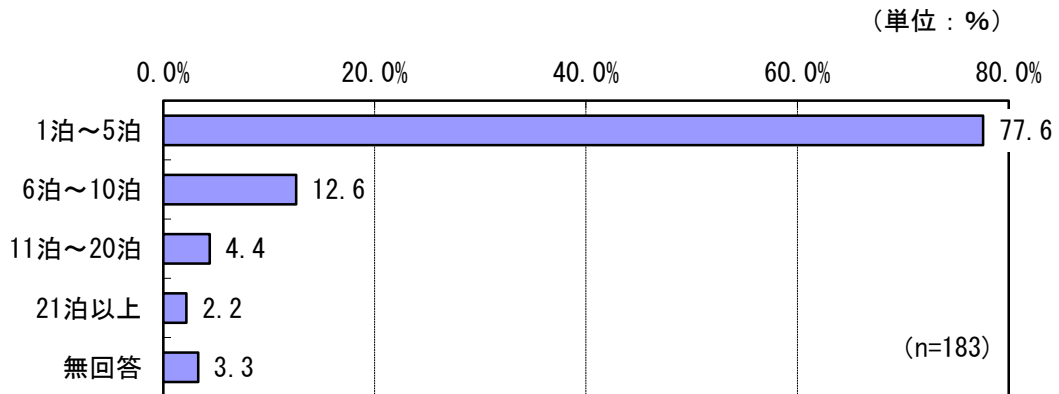
「同居者を含む親族知人にみてもらった」が87.6%と大多数となっています。また「仕方なく子どもを同行させた」が9.6%。「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が3.3%となっており、「短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した」は1.4%とわずかです。



日数

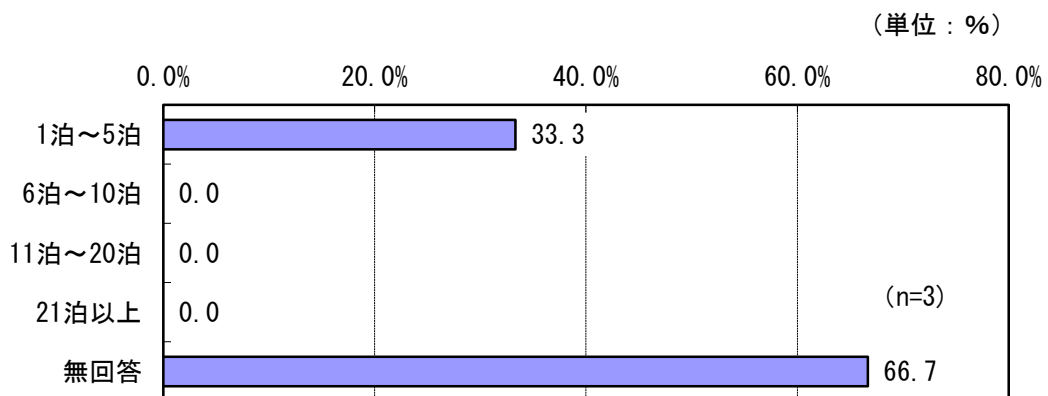
同居者を含む親族・知人にみてもらった

「1泊～5泊」が77.6%と最も多くなっています。



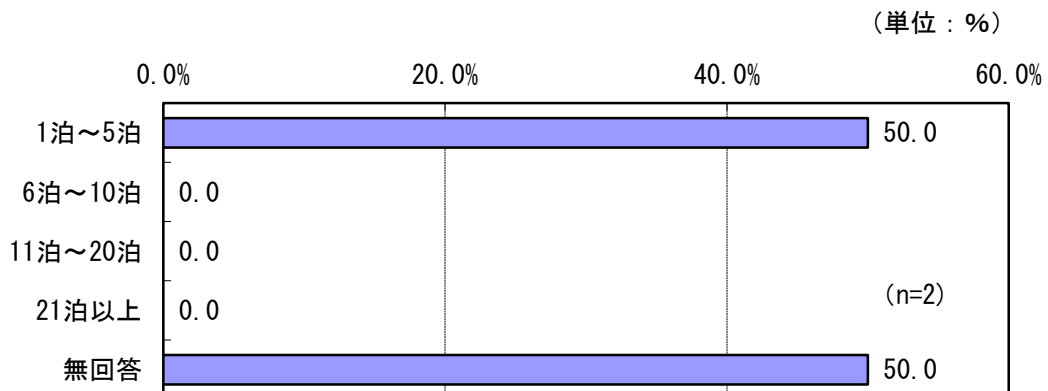
短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した

回答者は3人で「1泊～5泊」が1人、「無回答」が2人です。



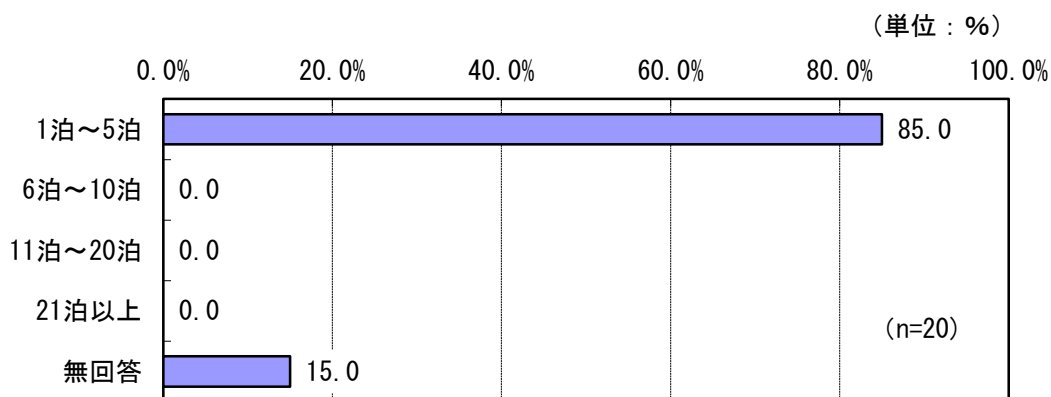
ショートステイ以外の保育事業を利用した

回答者は2人で「1泊～5泊」が1人です。



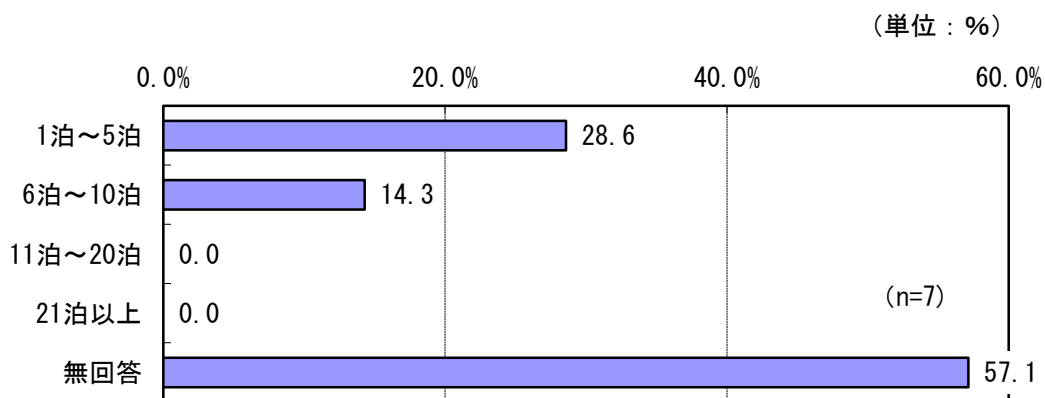
仕方なく子どもを同行させた

「1泊～5泊」が85.0%と最も多くなっています。



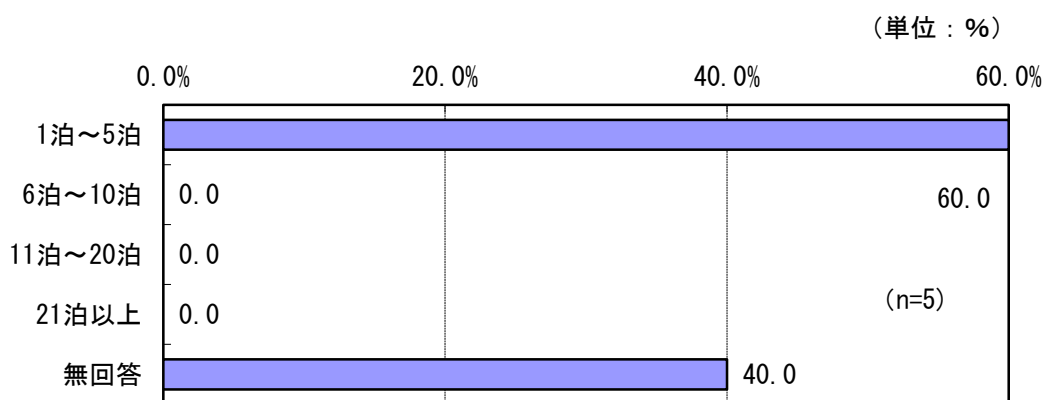
仕方なく子どもだけで留守番をさせた

「1泊～5泊」が2人(28.6%)、「6泊～10泊」が1人(14.3%)です。



その他

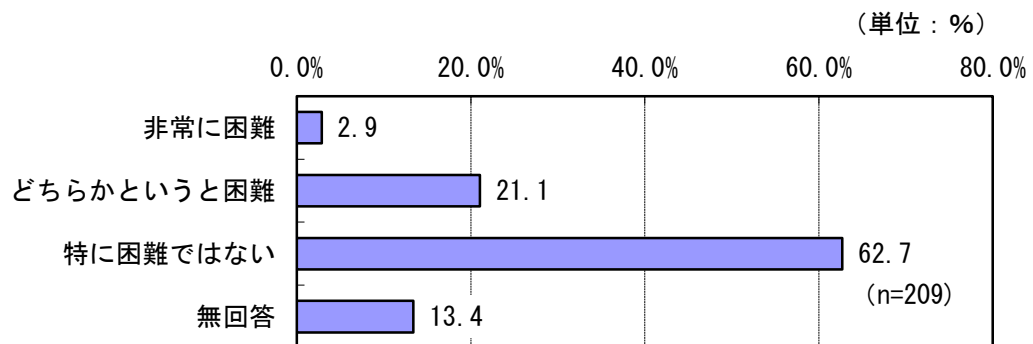
その他は、「1泊～5泊」が3人(60.0%)です。



問 18 で「1. あった ア. 同居者を含む親族・知人にみてもらった」と回答された方にうかがいます。

問 18-1 親族・知人にみてもらった場合の困難度はどの程度でしたか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

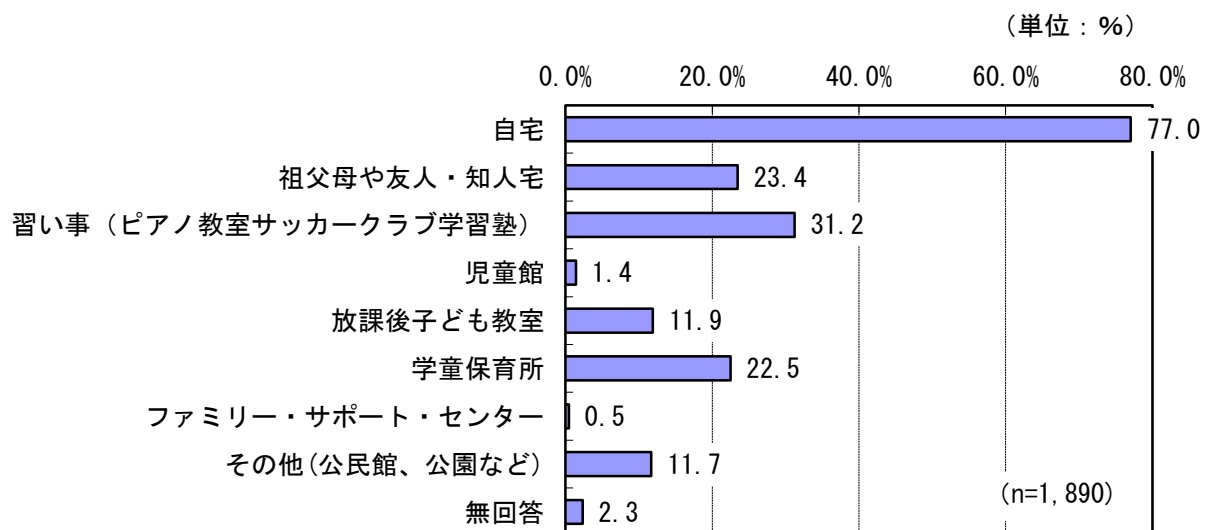
「特に困難ではない」が 62.7%、「どちらかというと困難」が 21.1%となっています。「非常に困難」は 2.9%です。



8 日常生活、放課後の過ごし方

問 19 あて名のお子さんについて、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。あてはまるものすべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たりの日数を口内に数字でご記入ください。

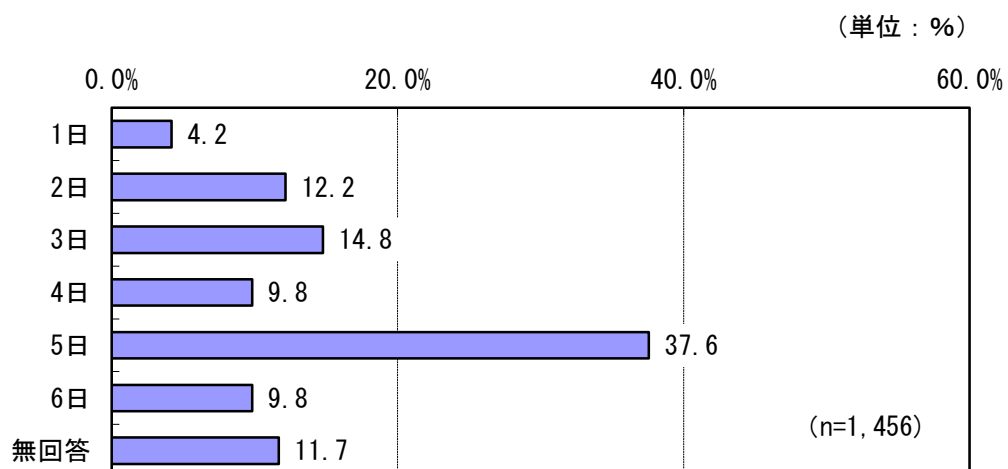
放課後の時間を過ごしたい場所としては「自宅」が 77.0%と最も多くなっています。次いで「習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等）」が 31.2%、「祖父母や友人・知人宅」が 23.4%、「学童保育所」が 22.5%などとなっています。



放課後の過ごし方（1週間）

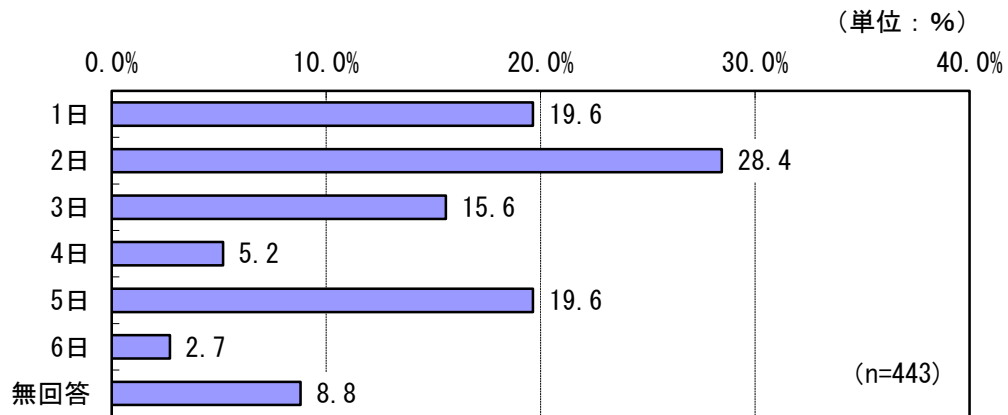
自宅

自宅は「5日」が 37.6%、「3日」が 14.8%、「2日」が 12.2%となっています。



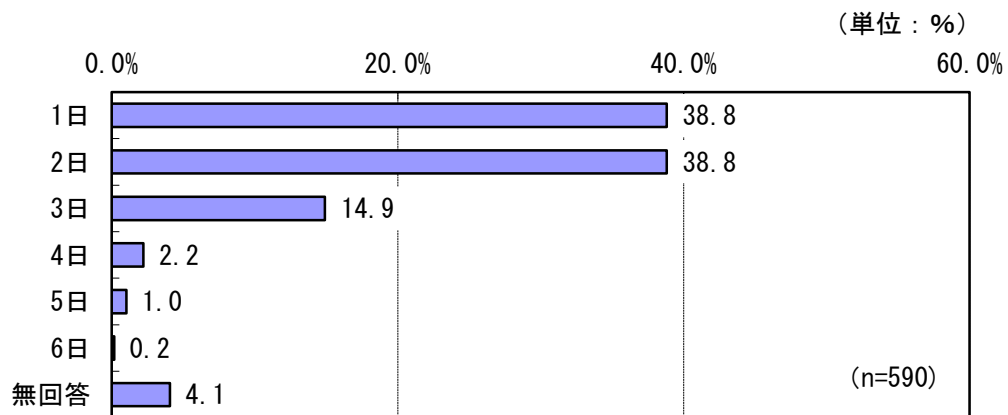
祖父母や友人・知人宅

「2日」が28.4%と最も多く、「1日」と「5日」が19.6%となっています。



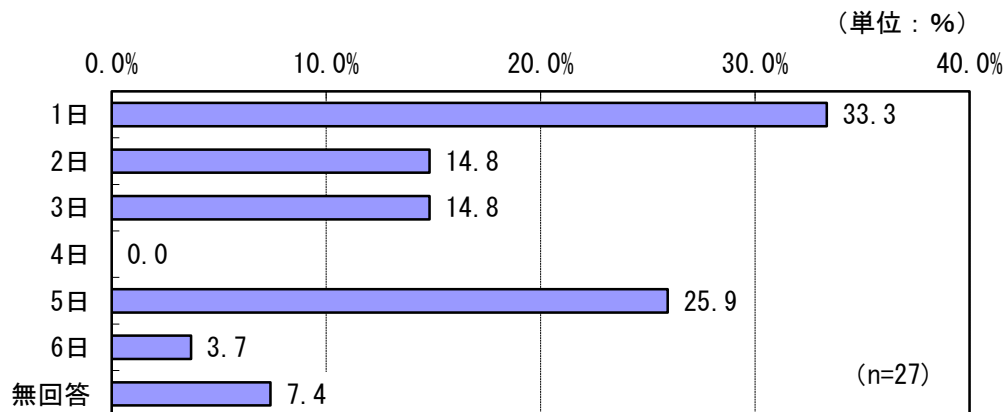
習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾等)

習い事は「1日」と「2日」が38.8%と多く、「3日」も14.9%みられます。



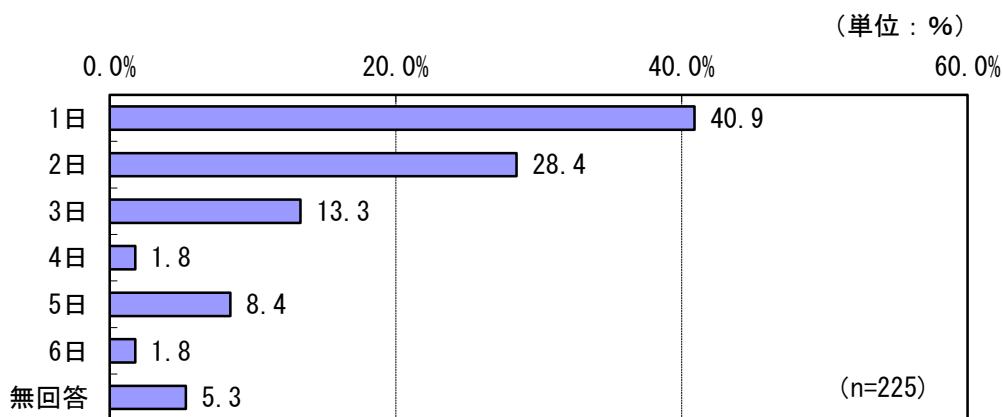
児童館

児童館は「1日」が33.3%、「5日」が25.9%となっており、毎日通う子と1日だけ通う子が多くなっています。



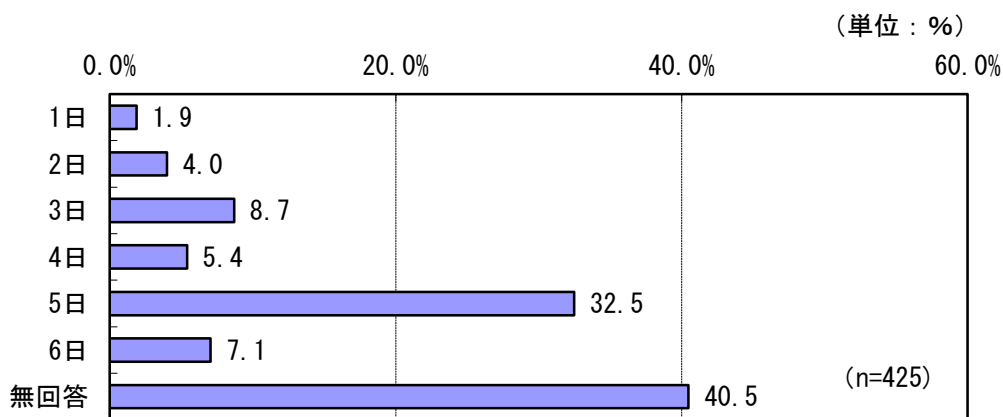
放課後子ども教室

「1日」が40.9%、「2日」が28.4%です。

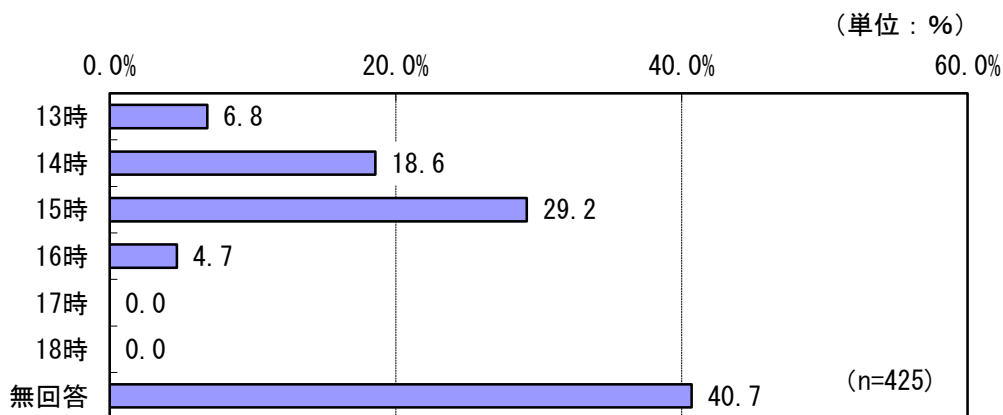


学童保育所

「5日」が32.5%と最も多くなっています。

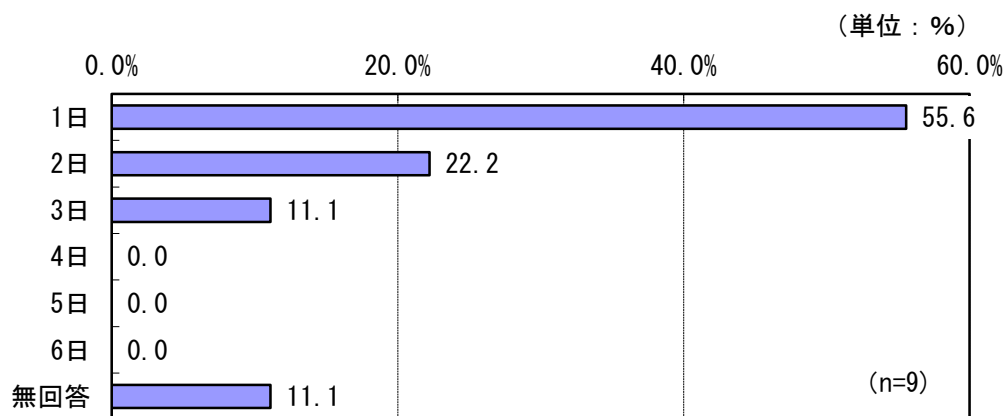


学童保育所の終了時間の希望は「15時」が29.2%、「14時」が18.6%です。



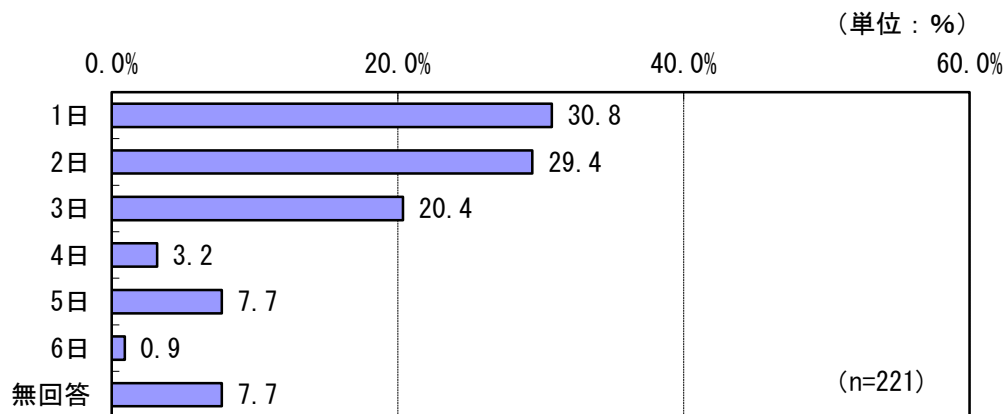
ファミリー・サポート・センター

ファミリー・サポート・センターの利用希望は9人、うち5人が「1日」(55.6%)と回答しています。



その他 (公民館・公園など)

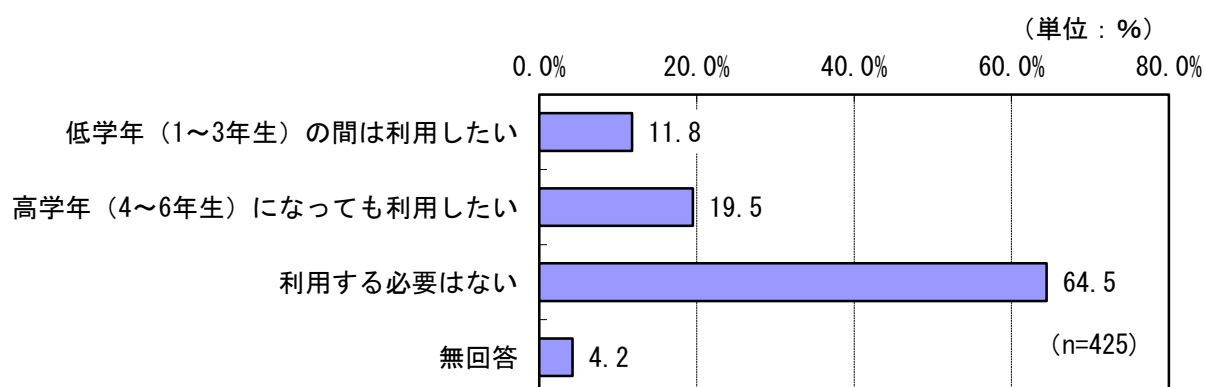
その他の希望は「1日」が30.8%、「2日」が29.4%です。



問 20 問 19 で「6. 学童保育所」に○をつけた方にうかがいます。あて名のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。(1)、(2) それぞれについてあてはまるものひとつに○をつけ、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。

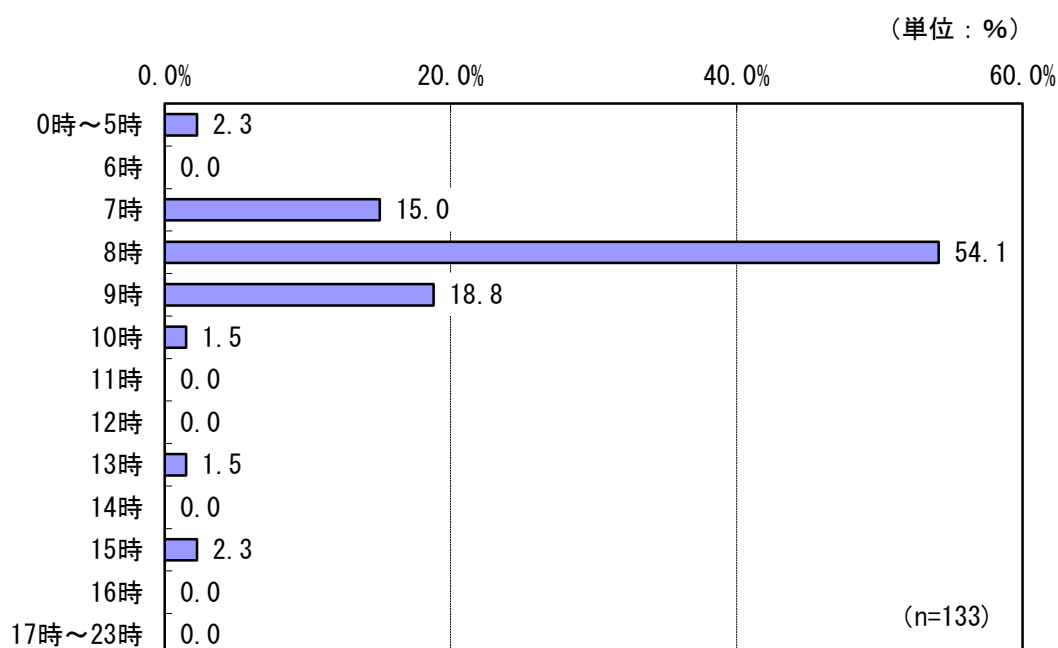
(1) 土曜日

土曜日は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が 11.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が 19.5%となっており、利用希望をあわせて 31.3%となっています。「利用する必要はない」は 64.5%です。



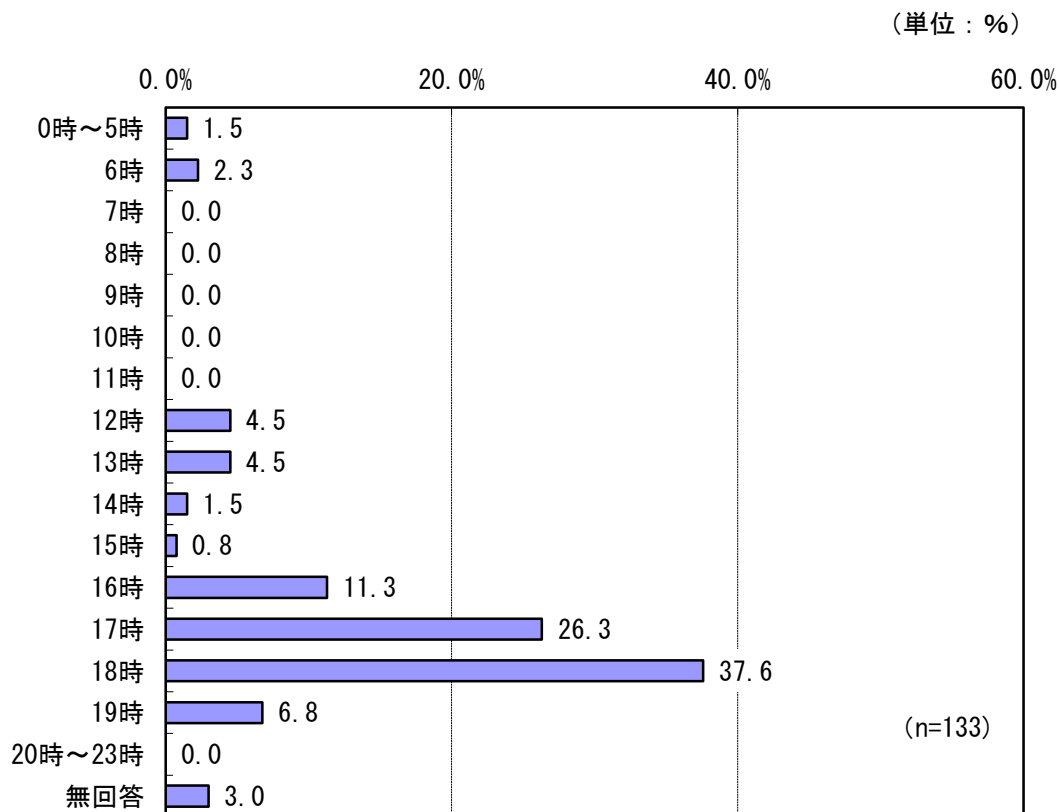
開始時刻

土曜日の学童保育の開始時刻の希望は「8時」が 54.1%と半数となっています。また「9時」が 18.8%、「7時」が 15.0%です。



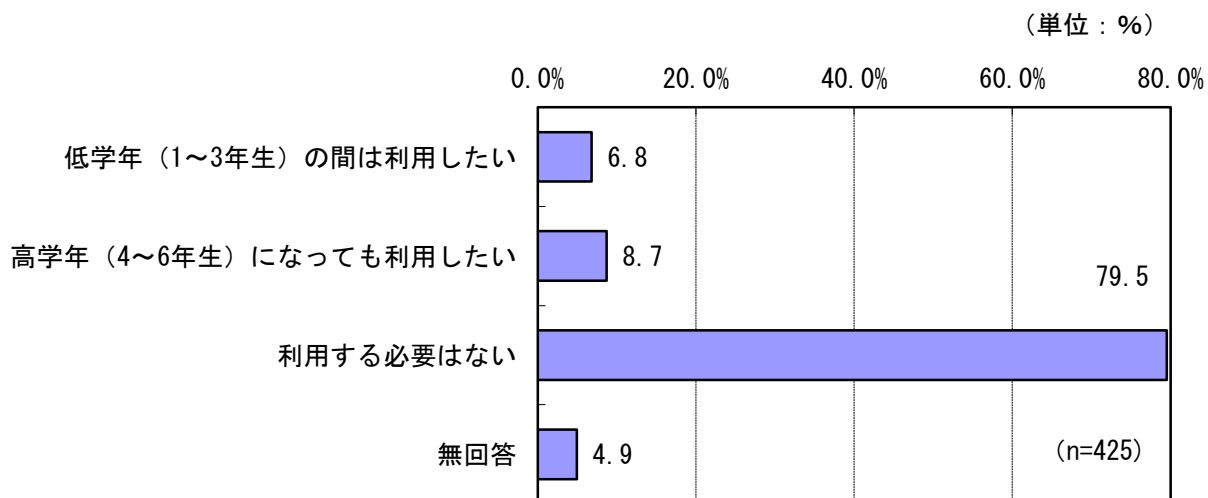
終了時刻

土曜日の学童保育の終了時刻の希望は「18時」が37.6%、「17時」が26.3%などとなっており、お昼の「12時」から「18時」までに分散しています。



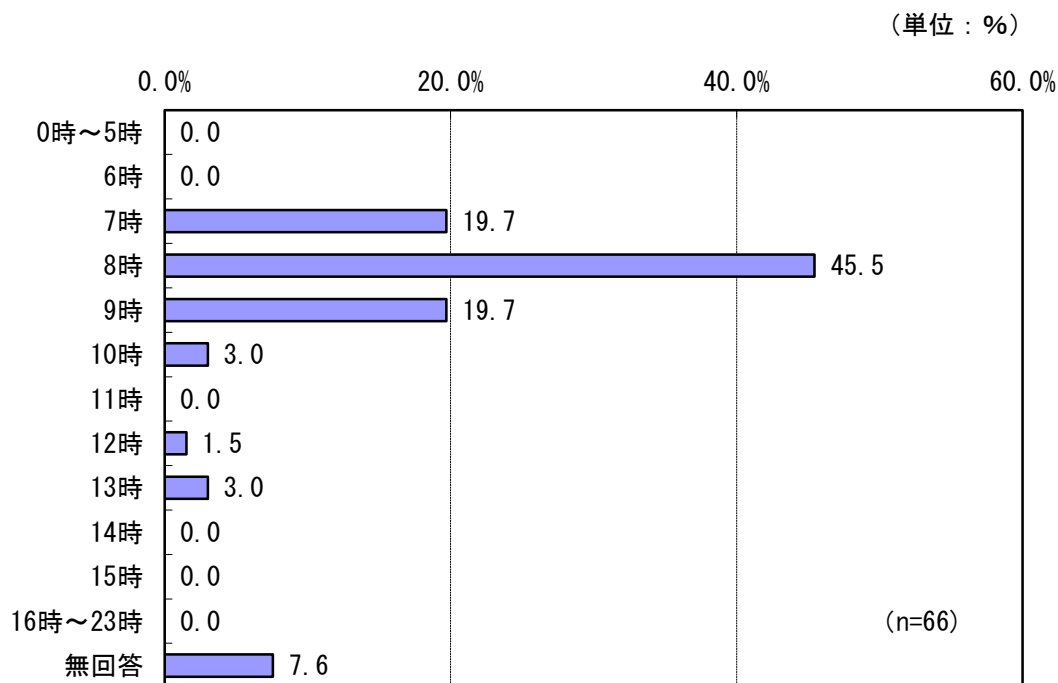
(2) 日曜日・祝日

日曜日・祝日は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が6.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が8.7%となっており、利用希望はあわせて15.5%となっています。「利用する必要はない」は79.5%と8割となっています。



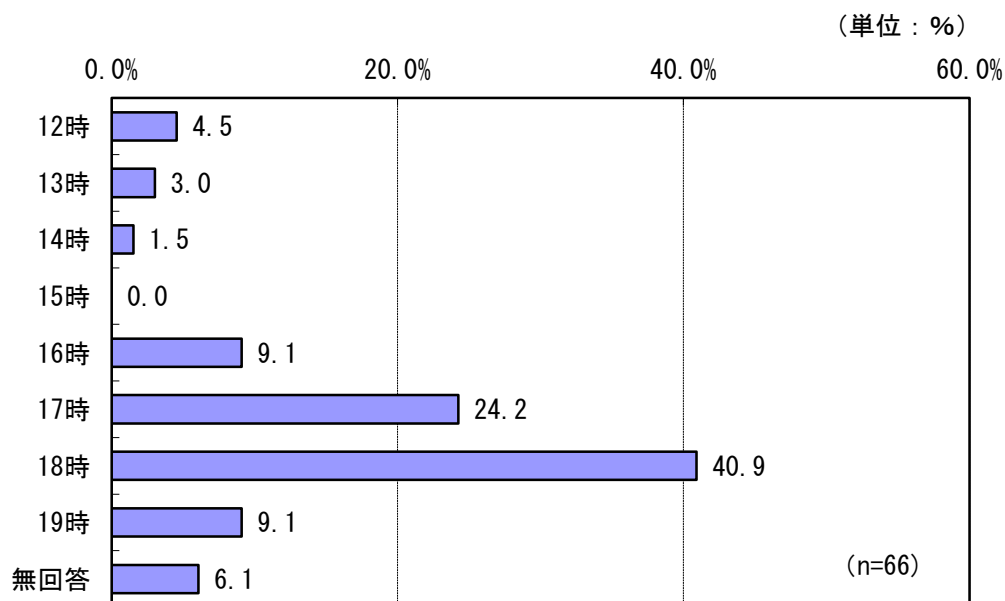
開始時刻

日曜日・祝日の学童保育の開始時刻の希望は「8時」が45.5%と半数となっています。また「7時」と「9時」が19.7%です。



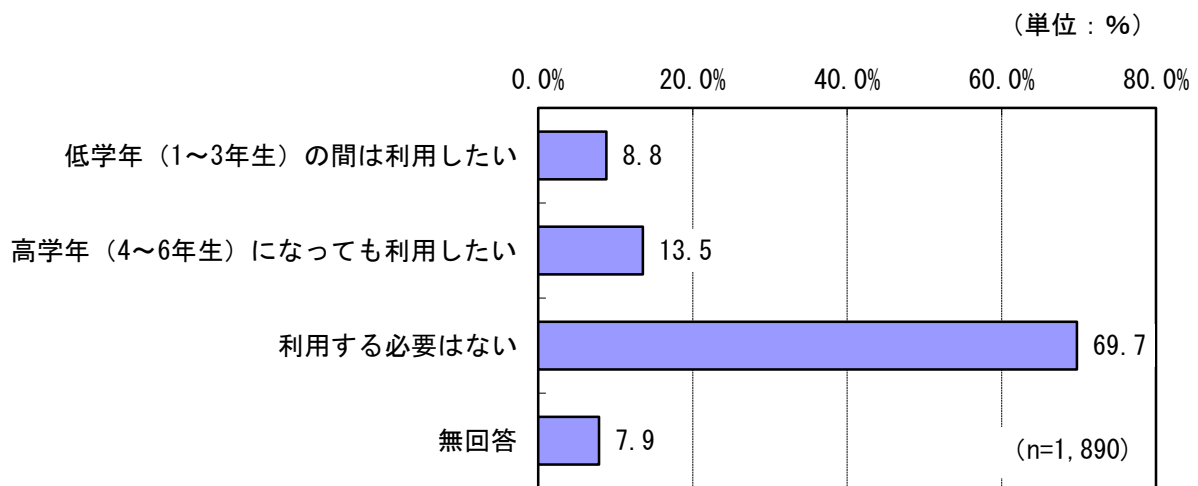
終了時刻

終了時刻は「18時」が40.9%、「17時」が24.2%となっています。



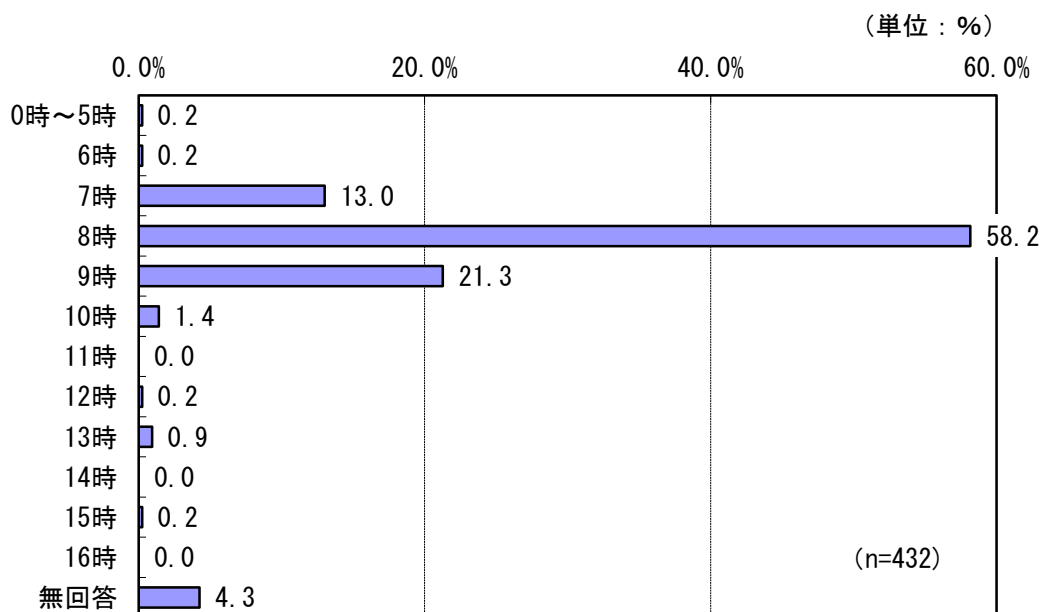
問 21 あて名のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期休暇中の学童保育所の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。あてはまるものひとつに○をつけ、利用したい時間帯を口内に数字でご記入ください。

長期期間中は、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が8.8%、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が13.5%となっており、利用希望をあわせて22.3%となっています。「利用する必要はない」は69.7%と割となっています。



開始時刻

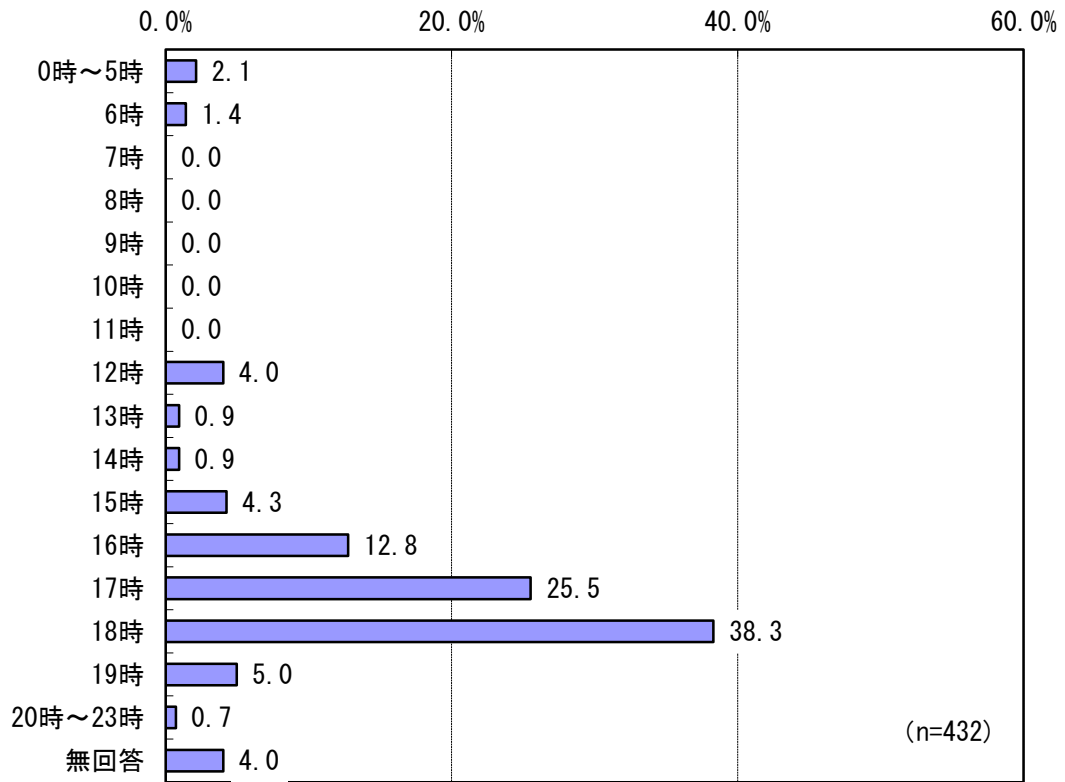
長期休暇中の学童保育の開始時刻の希望は「8時」が58.2%、「9時」が21.3%、「7時」が13.0%、「10時」が1.4%、「16時」が0.0%、「15時」が0.2%、「14時」が0.0%、「13時」が0.9%、「12時」が0.2%、「11時」が0.0%、「6時」が0.2%、「0時～5時」が0.2%です。



終了時刻

終了時刻の希望は、「18時」が38.3%、「17時」は25.5%です。

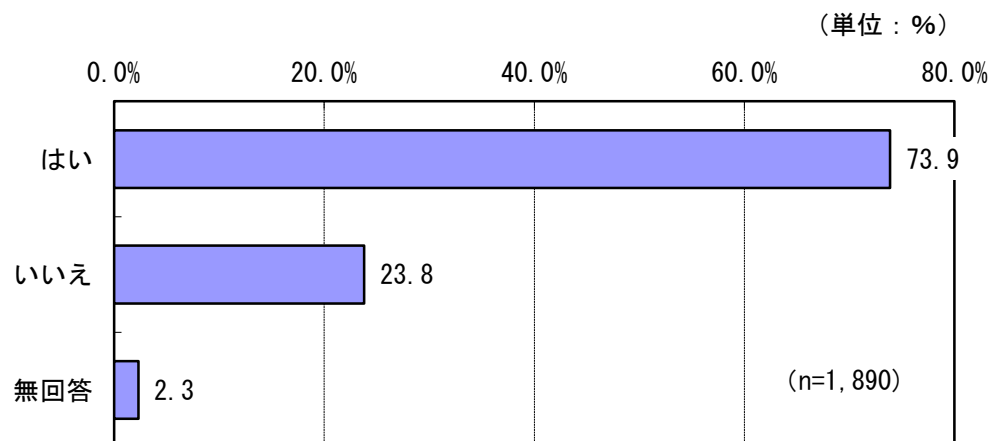
(単位：%)



9 子育てについて

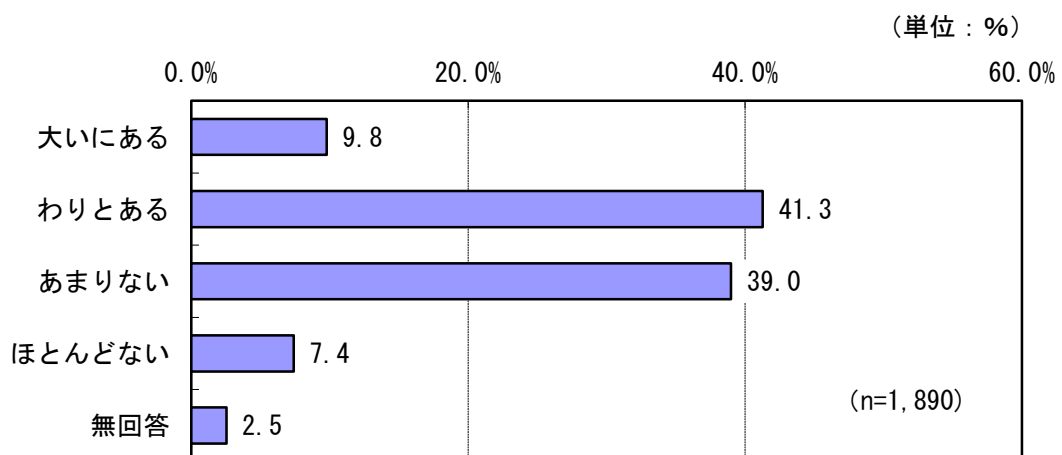
問 22 あなたは、ゆったりとした気分でお子さんと過ごせる時間がありますか。あてはまるものに○をつけてください。

「はい」が73.9%となっています。



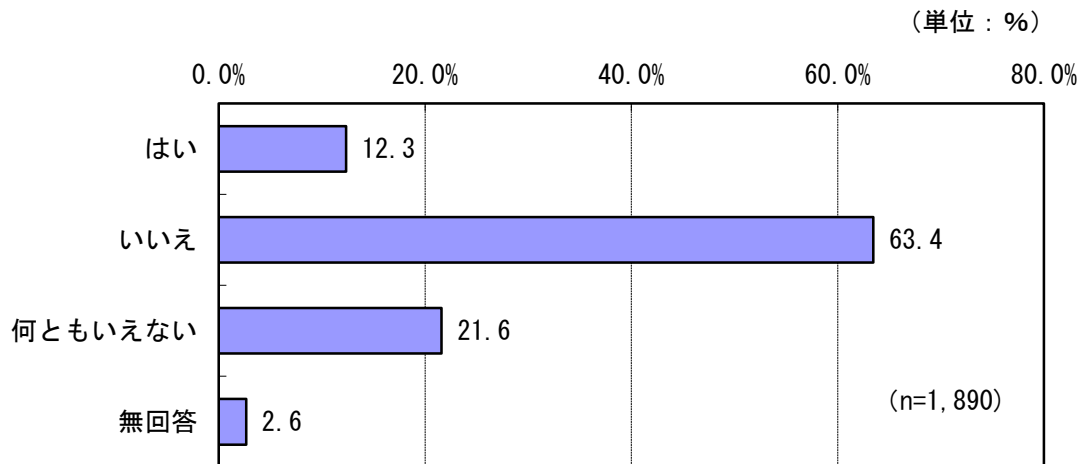
問 23 あなたは子育てに自信がもてないことがありますか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

「わりとある」が41.3%、「あまりない」が39.0%となっています。また「大いにある」が9.8%と1割を占めています。



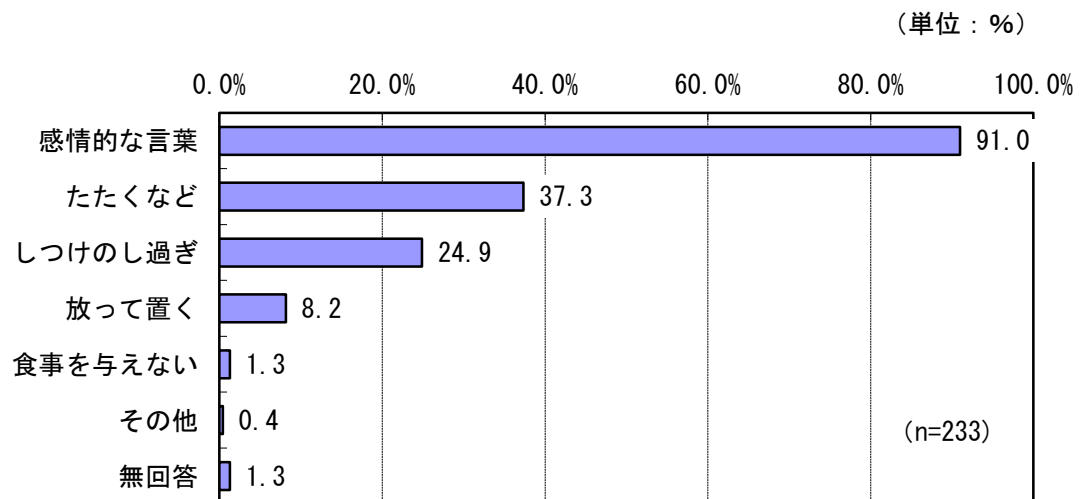
問 24 あなたはお子さんを虐待しているのではないかと思うことがありますか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

「はい」は12.3%にとどまっています。「いいえ」が63.4%と多数です。



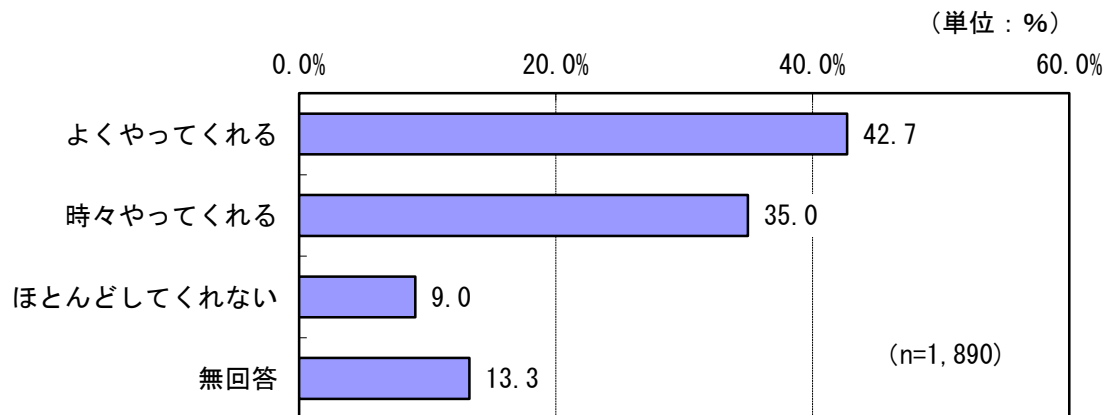
問 24-1 「はい」と答えた方にうかがいます。それはどのようなことですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。

「感情的な言葉」が91.0%です。「たたくなど」が37.3%、「しつけのし過ぎ」が24.9%みられます。



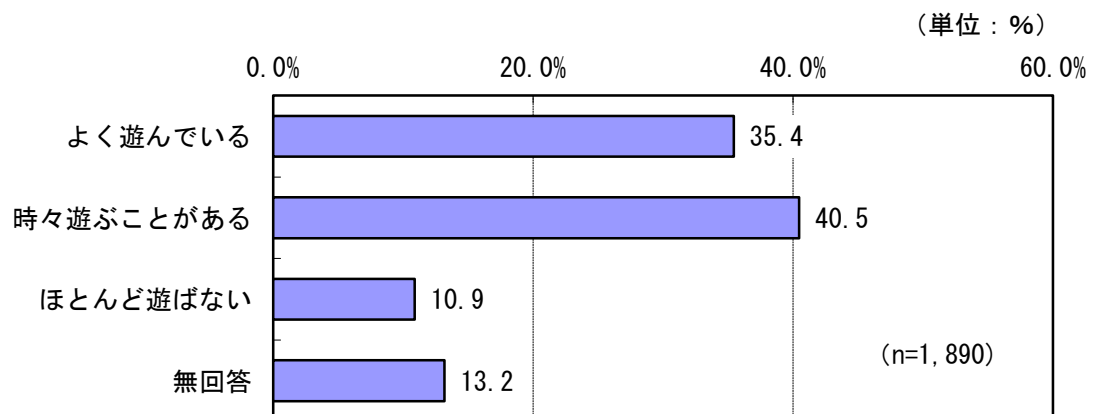
問 25 配偶者の方は子育てに参加してくれていますか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

「よくやってくれる」が42.7%、「時々やってくれる」が35.0%となっていますが、「ほとんどしてくれない」が9.0%みられます。



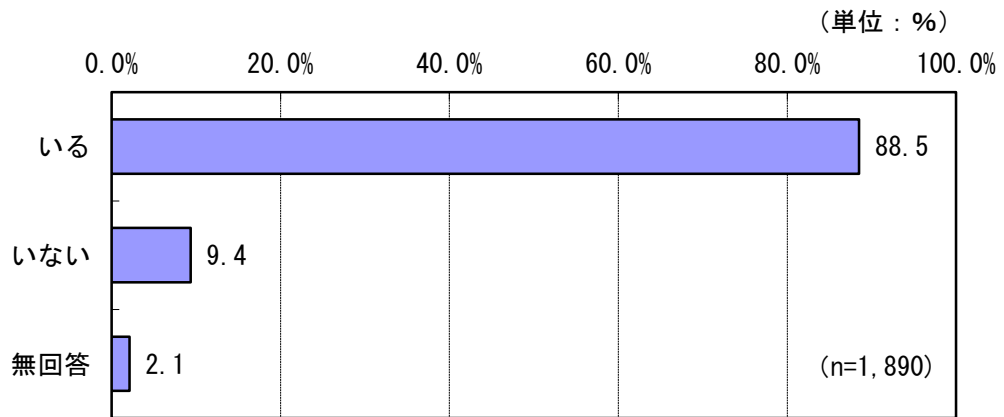
問 25-1 配偶者の方はお子さんとよく遊んでいますか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

「よく遊んでくれる」が35.4%、「時々あそぶことがある」が40.5%です。「ほとんど遊ばない」は10.9%です。



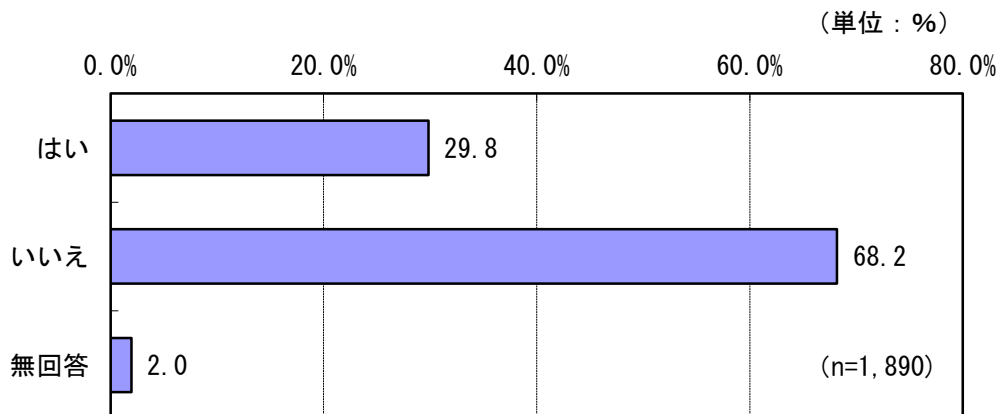
問 26 子育てのことで気軽に相談できる人はいますか。あてはまるものに○をつけてください。

「いる」が88.5%と大多数です。「いない」は9.4%です。



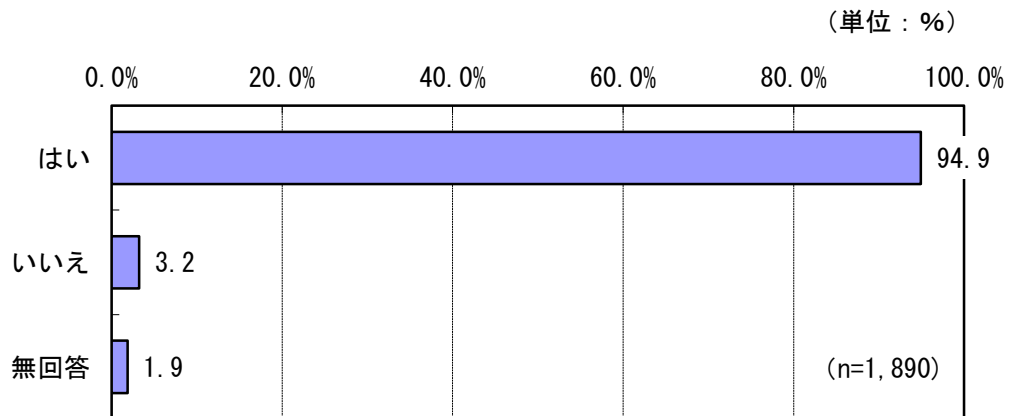
問 27 お子さんは、一日3回以上、間食（甘味食品・飲料）をすることがありますか。あてはまるものに○をつけてください。

「はい」が29.8%、「いいえ」が68.2%です。



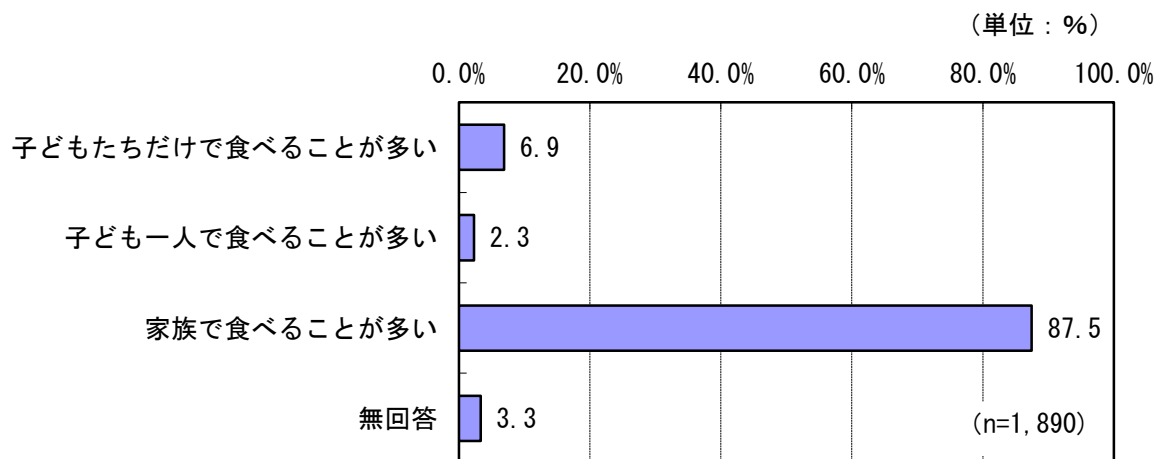
問 28 お子さんは毎日朝食を食べていますか。あてはまるものに○をつけてください。

「はい」が94.9%と大多数となっています。



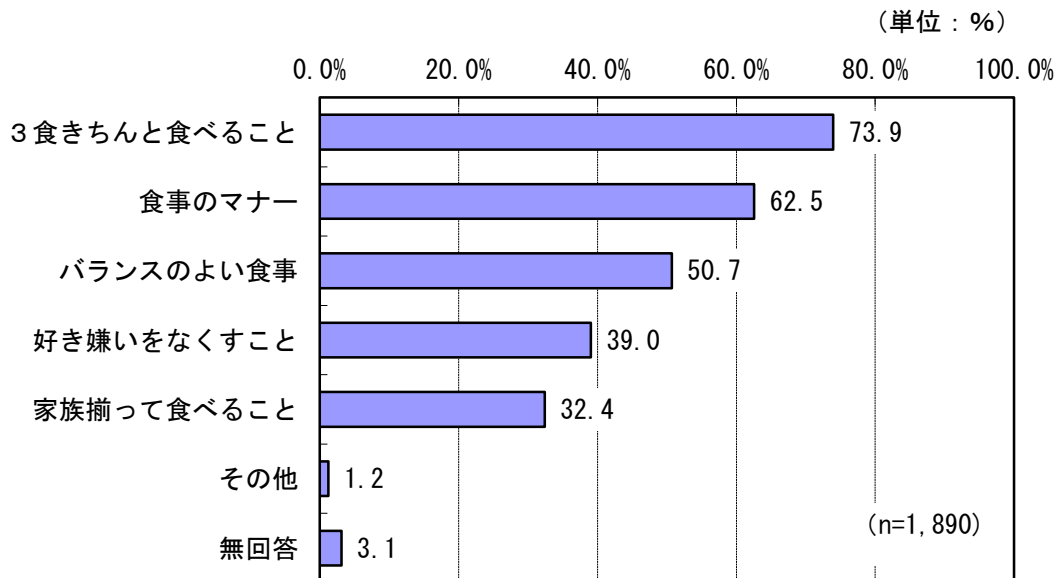
問 29 お子さんと一緒に食事をとりますか。あてはまるものひとつに○をつけてください。

「家族で食べることが多い」が87.5%と大多数となっています。「子どもたちだけで食べるが多い」は6.9%、「子ども一人で食べるが多い」が2.3%です。



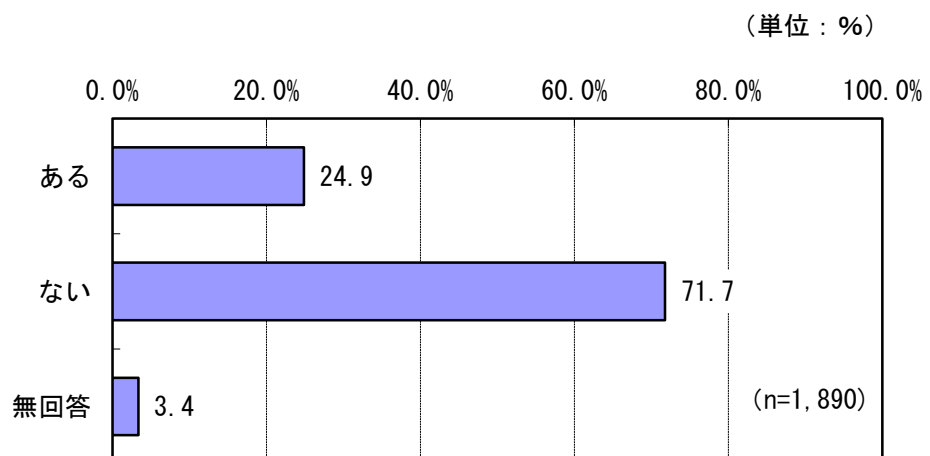
問 30 お子さんの食事に関して特に気をつけていることはありますか。あてはまるものに○をつけてください。(○は3つまで)

「3食きちんと食べること」が73.9%、「バランスのよい食事」が50.7%など、栄養面の配慮がうかがえるほか、「食事のマナー」が62.5%なども高い回答がみられます。



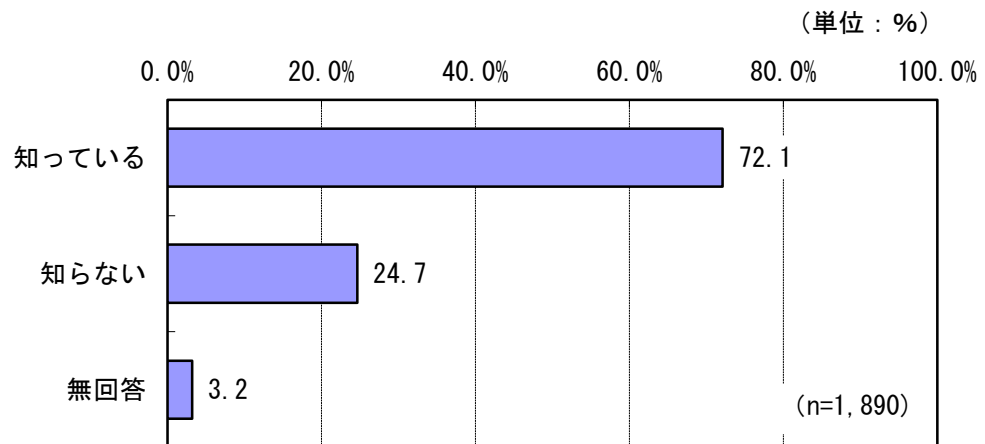
問 31 お子さんが高熱を出すなどの急病の場合、すぐに診てくれる医療機関が見つからず困ったことがありますか。あてはまるものに○をつけてください。

「ある」が24.9%、「ない」が71.7%となっています。



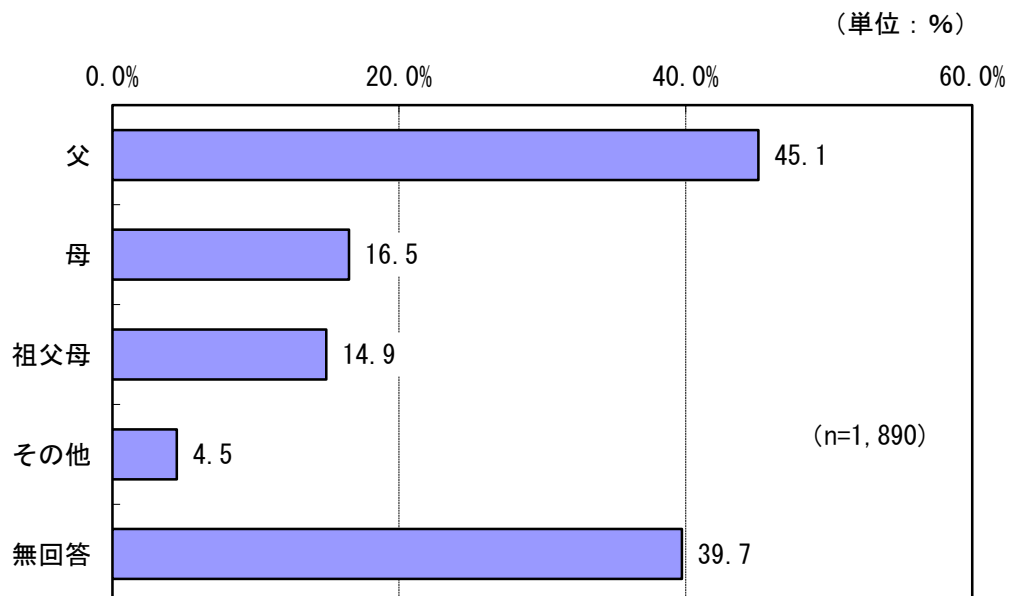
問 32 休日や夜間の小児救急医療機関を知っていますか。あてはまるものに○をつけてください。

「知っている」が72.1%と高い回答がみられます。「知らない」は24.7%となっています。



問 33 家族に喫煙をされている方はいらっしゃいますか。あてはまる方すべてに○をつけてください。

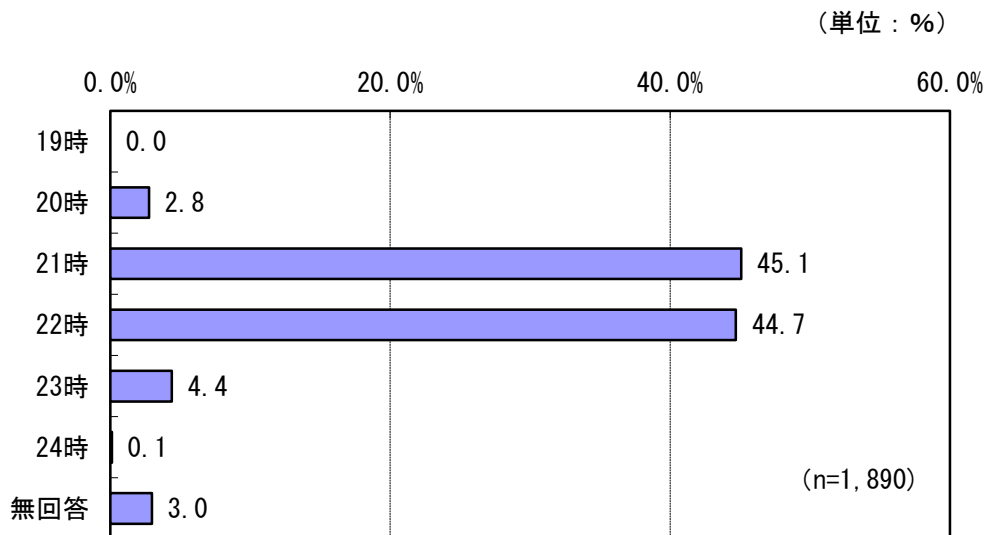
「父」が45.1%、「母」が16.5%、「祖父母」が14.9%となっています。



問 34 あて名のお子さんが寝付く時間はだいたい何時頃ですか。

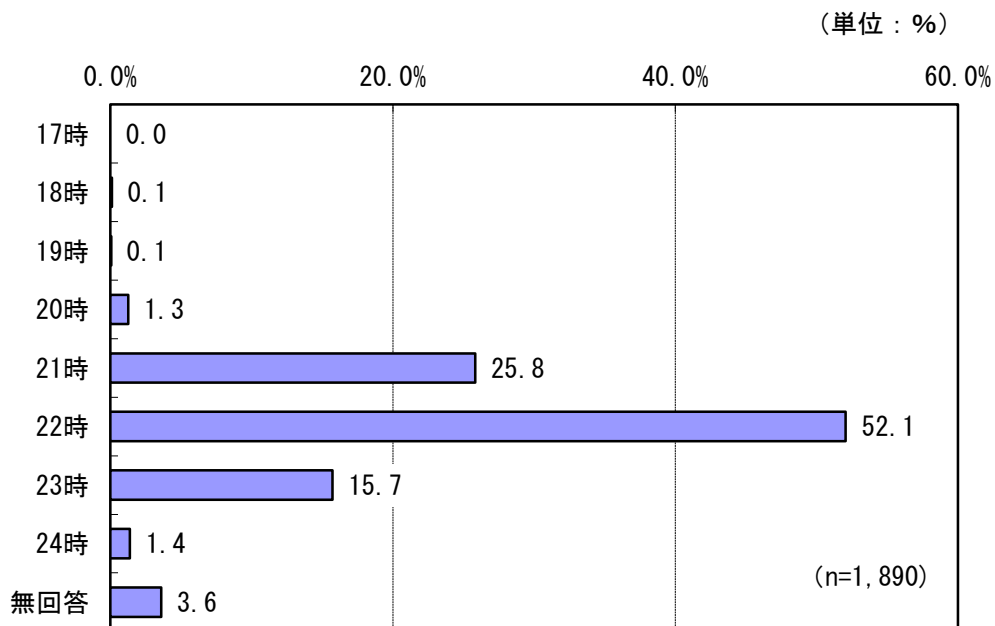
平日

平日の寝付く時間は、「21 時」が 45.1%、「22 時」が 44.7%と大多数がこの時間帯です。



休日

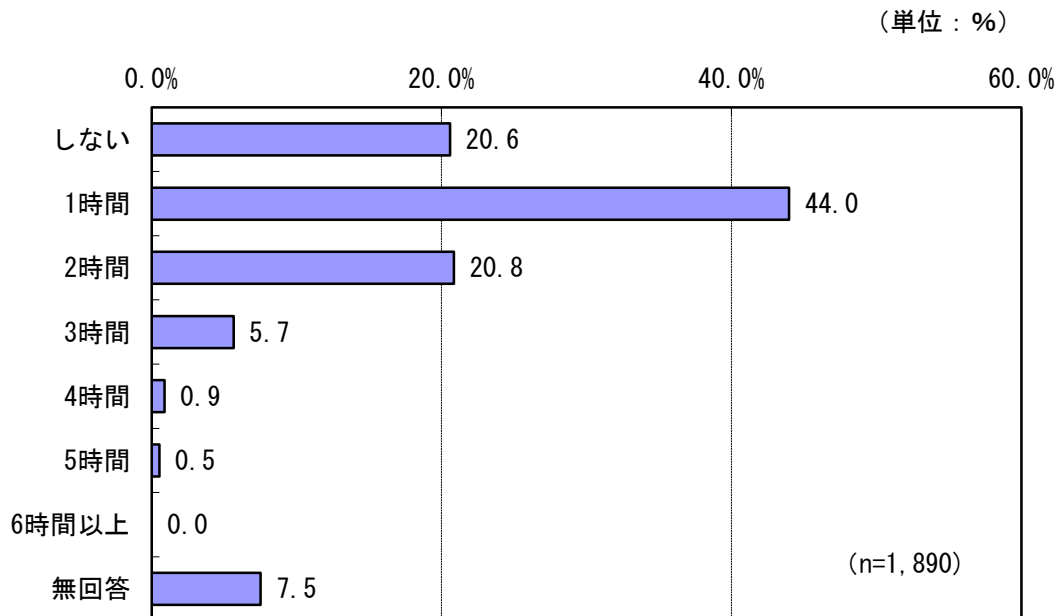
休日には、「22 時」が 52.1%と半数を占め、「21 時」が 25.8%と減少し、「23 時」が 15.7%と増加しており、平日よりおそくなっています。



問 35 あて名のお子さんはテレビゲーム等を一日平均何時間くらいしていますか。

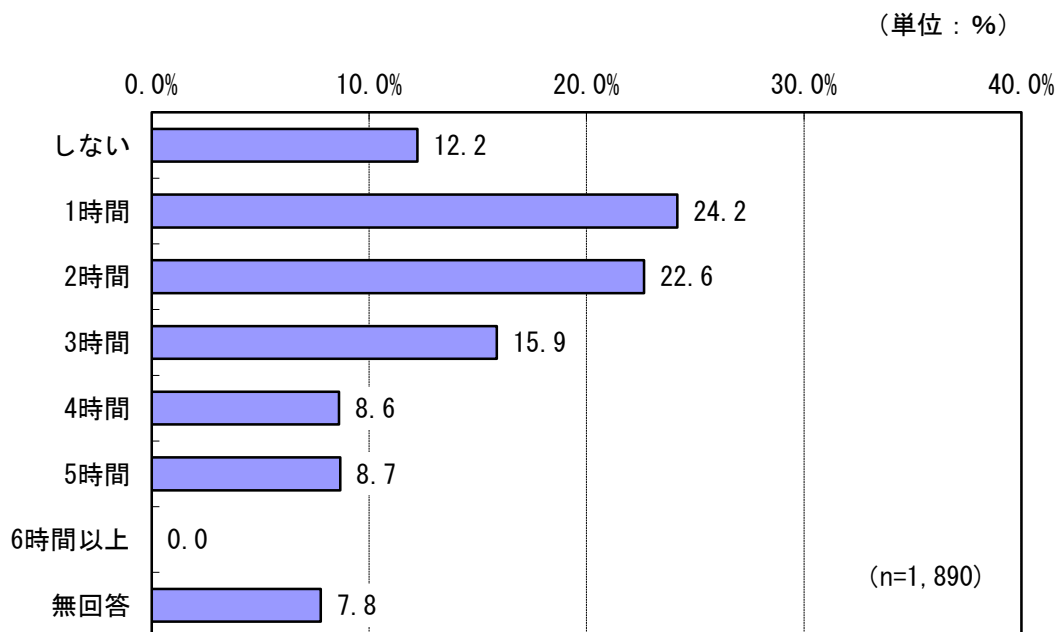
平日

平日のテレビゲームは、「1時間」が44.0%と最も多く、「2時間」が20.8%、「しない」が20.6%です。



休日

休日は、「1時間」が24.2%、「2時間」が22.6%、「3時間」が15.9%となっており、「4時間」、「5時間」という児童もみられます。

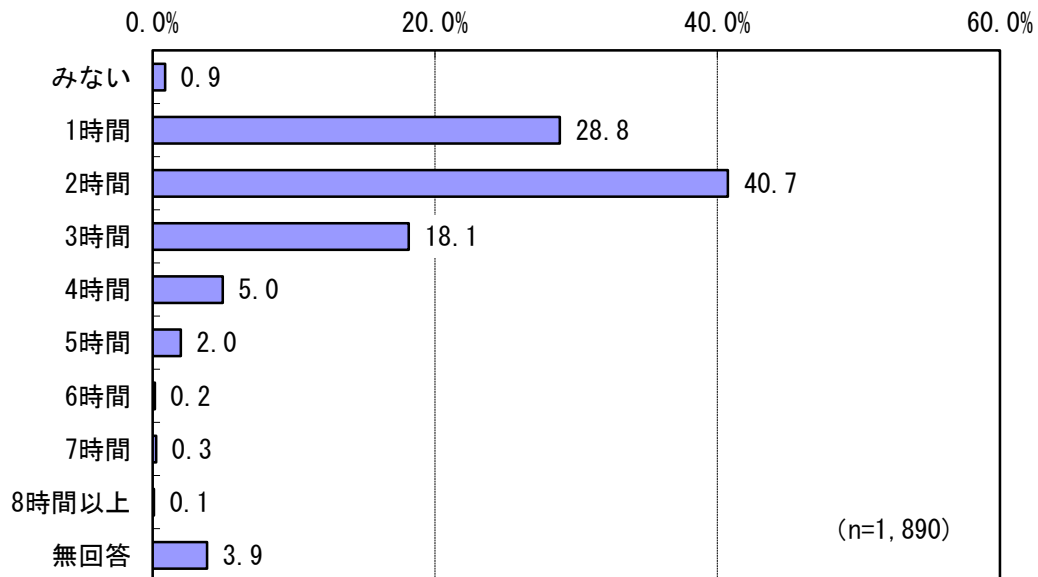


問 36 あて名のお子さんは一日何時間くらいテレビを見ていますか。

平日

平日は、「2時間」が40.7%、「1時間」が28.8%、「3時間」が18.1%です。

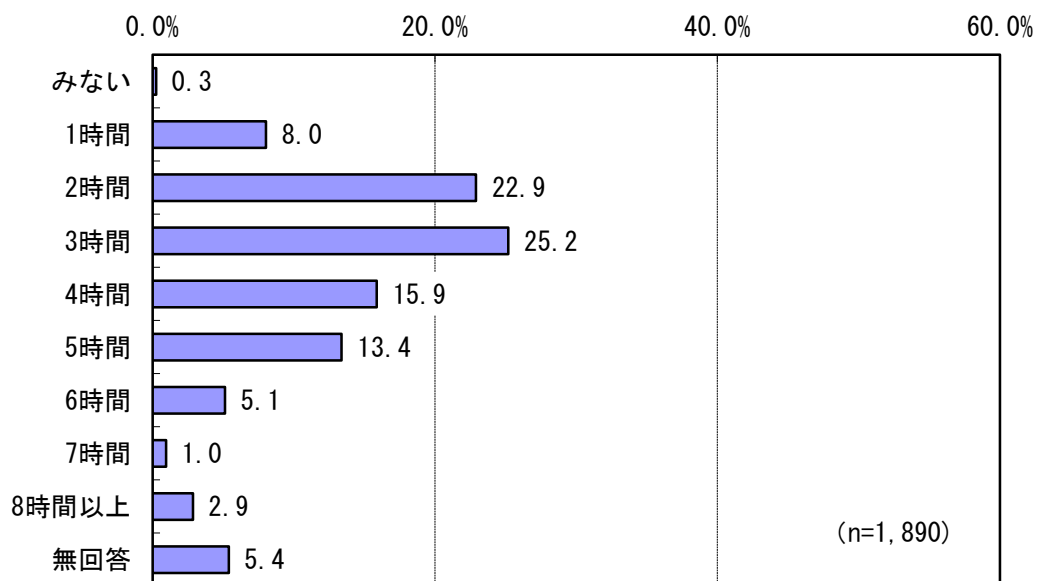
(単位：%)



休日

日曜日は、「3時間」が最も多く25.2%、「2時間」が22.9%などとなっており、平日より長くなっています。

(単位：%)

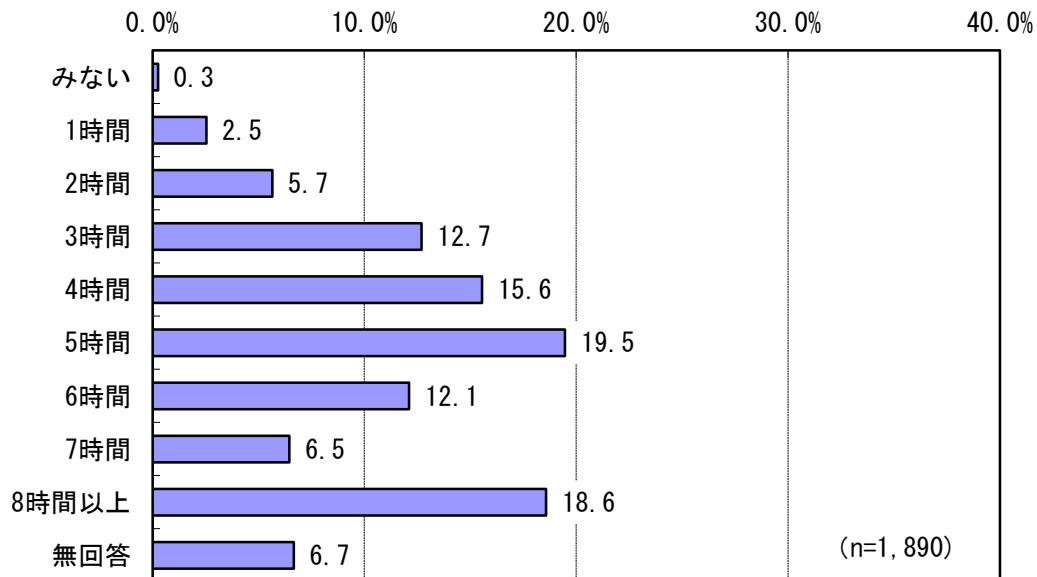


問 37 ご家庭のテレビは一日平均何時間スイッチが入っていますか。

平日

平日は、「5時間」が19.5%と最も多く、「8時間以上」が18.6%です。

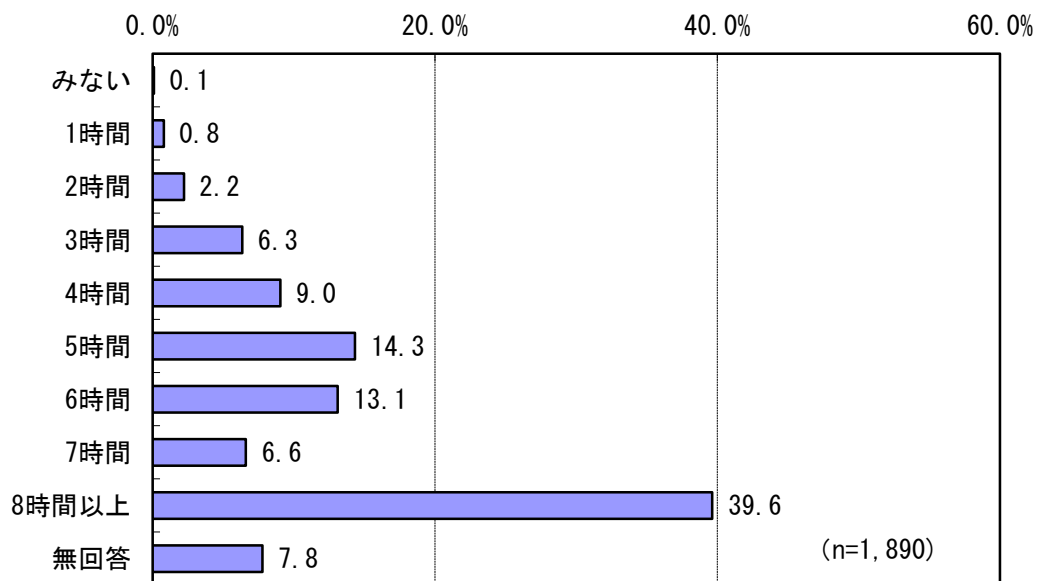
(単位：%)



休日

休日は、「8時間以上」が39.6%と1日中ついている家庭が多いことがわかります。

(単位：%)

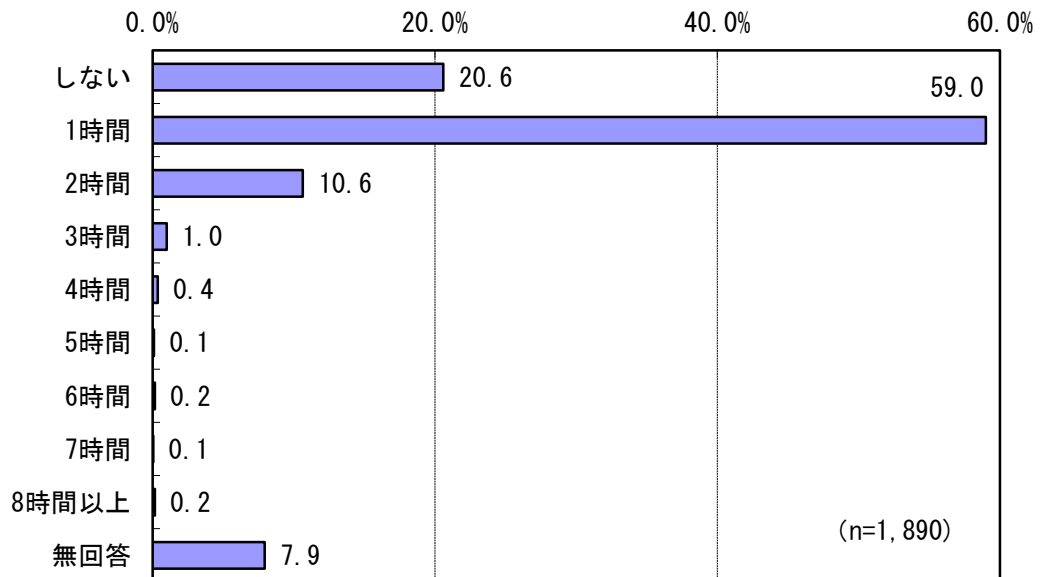


問 38 あて名のお子さんが外遊びをする時間は一日平均どれくらいですか。

平日

平日は、「1時間」が59.0%と6割を占めています。

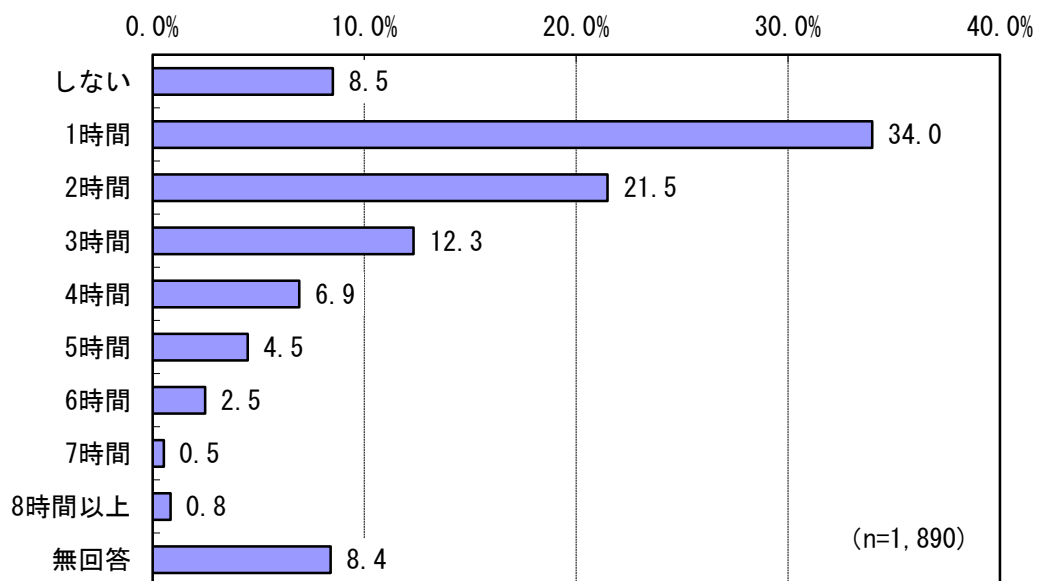
(単位：%)



休日

休日は、「1時間」が34.0%となり、「2時間」が21.5%、「3時間」が12.3%など長時間遊ぶ子が増えています。

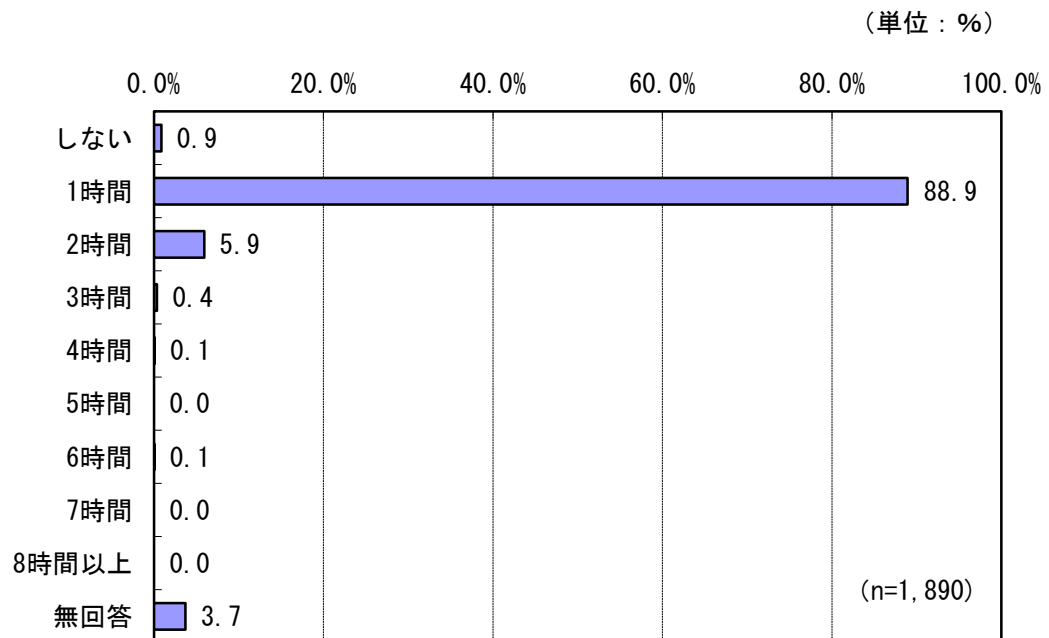
(単位：%)



問 39 あて名のお子さんの家庭学習時間は一日平均どれくらいですか。

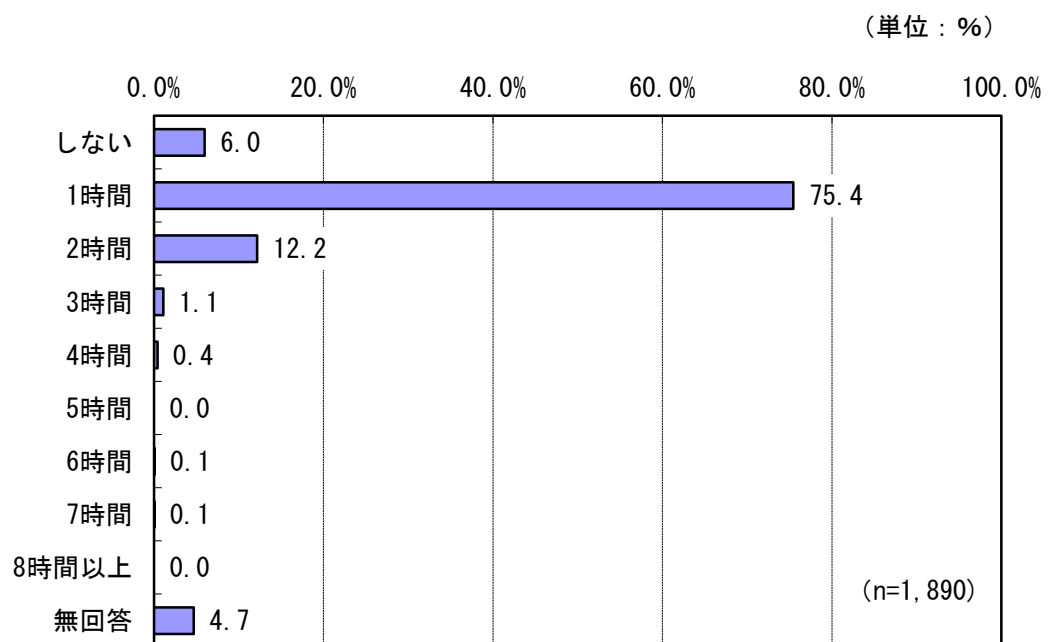
平日

平日の家庭学習は、「1時間」が88.9%と大多数です。



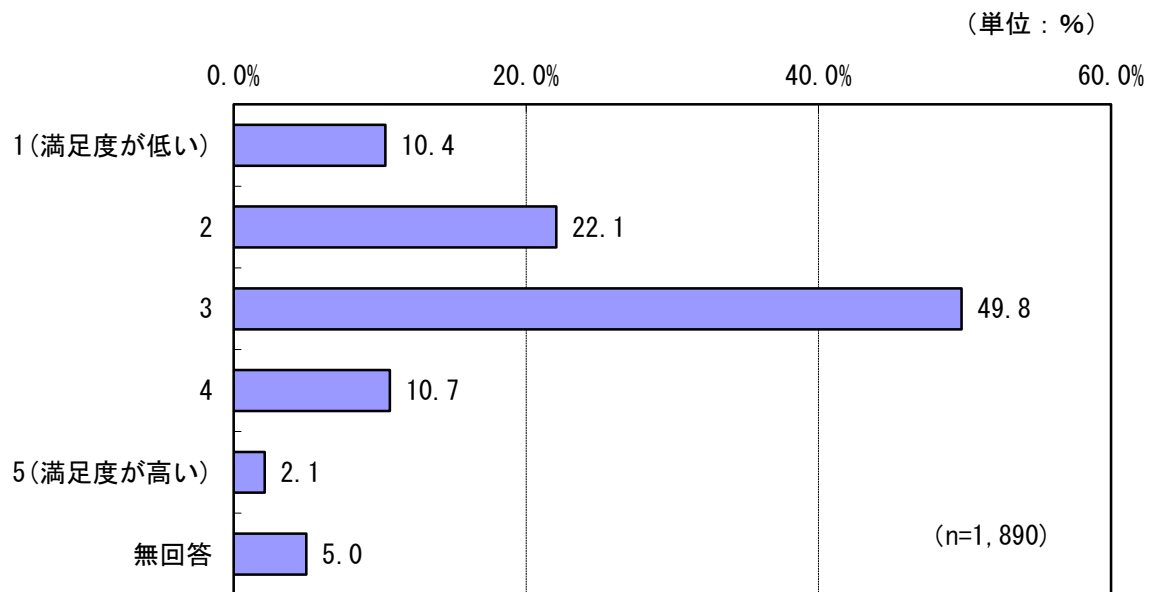
休日

休日は「1時間」が75.4%となっていますが、「2時間」も12.2%みられます。一方で「しない」子どもも6.0%と平日に比べ増えています。



問 40 お住まいの地域における子育ての環境や支援への満足度について、あてはまるものひとつに○をつけてください。

真ん中の「3」が最も多く 49.8%と半数となっています。平均は 2.71 と中央値よりやや低めとなっています。

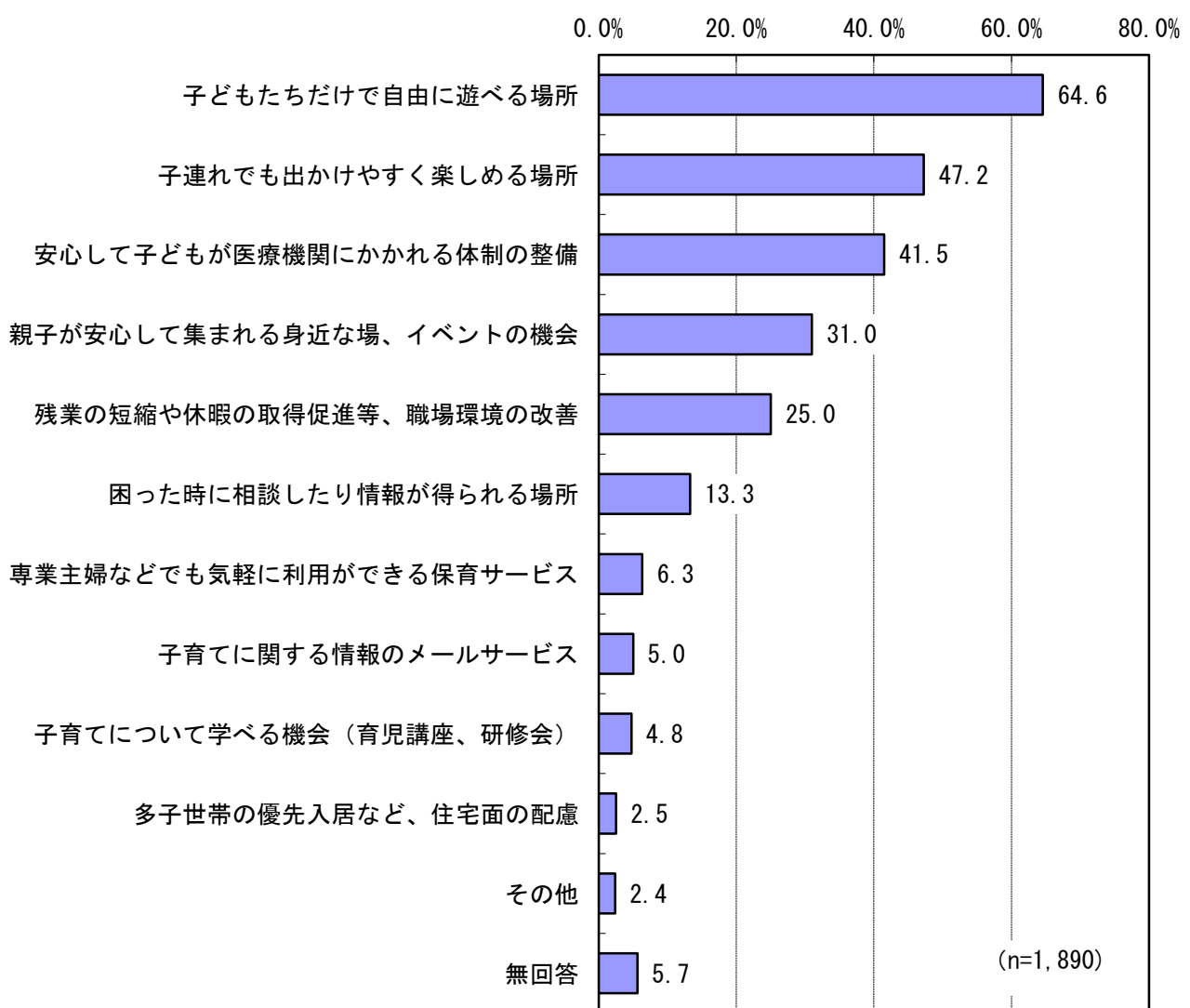


問 41 今後、どのような子育て支援の充実を望みますか。あてはまるもの3つまでに○をつけてください。

最も望まれているのは、「子どもたちだけで自由に遊べる場所」で 64.6%と全体の3分の2を占めています。次いで「子連れでも出かけやすく楽しめる場所」が 47.2%、「安心して子どもが医療機関にかかれる体制の整備」が 41.5%となっています。

また、「親子が安心して集まれる身近な場、イベントの機会」が 31.0%、「残業の短縮や休暇の取得促進等、職場環境の改善」も 25.0%みられます。

(単位：%)



問 42 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

その他・自由意見
学童が6年までになったことや場所が変更されることなど、連絡が徹底していないので、周知に力を入れてほしい。
下校の時間に合わせてパトロールなどをしていただけると安心できる。
父子家庭で仕事をなるべく休みたくないで学校行事をすべて日曜日にしてもらいたいです。
学校で気軽に相談できるような窓口や相談員のような人は必要ではないか。子供から学校での様子、担任の行動を聞いて人間性を疑う部分がある。ファミリーサポートの情報提供や申請場所などが明確でなく、わからない人が多いと思う。
五十公野公園のような遊具のある公園、子供と親が集まって自然に会話ができる場所が村上市にもあるべき。市を良くするならそういうところにお金を使ってほしい。
親子で楽しめる遊び場や、施設が増えるとよいと思います。
学童を利用して頂いておりますが、就業上、日曜日も出勤している。遠くの親戚に預けてはいるが、学童が月2回位でも良いので、利用できると本当助かる。
子どもの心のケアをしてほしい。いじめに発するような場面があるように思う。学校の先生の子供達との関わり方の研修をしてほしい。
子供だけで、スポーツクラブ(スポ少など)に行きたがらないので、親子で一緒に行える運動のイベントを、増やしてほしいです。
インフルエンザの予防接種助成を小学生までしていただきたいですね。
困ったときの相談窓口があると助かる。
子育て支援センターやファミ・サポの利用のしかたや料金、利用状況などのインフォメーションを充実させた方がいいと思う。
市内に遊具のある公園がないため、休みの日は市外に出かける事が多い。市内にも作って欲しい。
山北地区に住んでいるが、小児科が無いのでとても不便です。医療機関を良くして欲しい。夜間休日診療所が整っていないのは不便なので、保育の充実も必要だが、医療機関の充実も考えて欲しい。
医療機関が少なすぎる。荒川地区に産科がないと子供がうめません。
村上には小児科が少なく困る。特に日曜・祝日・お盆・正月です。新潟市のような医療体制がととのって欲しい。
教育、保育に関わる全ての方々の知識の向上、意識改革を望みます。子供に関わる仕事であるからには、子供達の目標となるような方であって頂きたいと思います。行政からの支援でより良い人材を育てて頂きたいです。
村上市には子供が楽しめる遊具のある公園がありません。整備されるといいです。医療機関が不足しています。アレルギー鼻炎ですが市内には村上総合病院しかなく、新発田へ土曜通院しています。

※一部意見を抜粋して掲載

村上市子ども子育てに関する
ニーズ調査結果報告書
《就学前児童調査、小学生児童調査》

発行日 平成 26 年 3 月

発 行 村上市 福祉課 子育て支援室

〒958-8501 村上市三之町 1 番 1 号

電 話 (0254) 53-2111 (代表)

F A X (0254) 53-3840